

第 10 期にっしん高齢者ゆめプラン アンケート調査

調査結果報告書

令和8年5月

日 進 市

I. 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法等	1
3. 調査対象及び調査票の回収状況	1
4. 標本誤差	2
5. 報告書の見方	2
II. 調査結果 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
1. はじめに	3
1. 記入者	3
2. 居住地域（認定データより）	3
3. 年齢（認定データより）	4
4. 性別（認定データより）	4
5. 要介護状態区分（認定データより）	5
2. ご家族や生活状況について	6
1. 家族構成	6
2. 介護・介助の要否	7
3. 介護・介助が必要になった主な原因	8
4. 主な介護・介助者	9
5. 経済状況	10
6. 住居形態	11
7. 学校教育を受けた年数	12
8. スマートフォンの利用時間	13
9. スマートフォンの利用目的	14
3. からだを動かすことについて	15
1. 階段を昇ること	15
2. 椅子から立ち上がること	16
3. 15分続けて歩くこと	17
4. 1日の平均歩行時間	18
5. 過去1年間に転んだこと	19
6. 転倒に対する不安	20
7. 外出の頻度	21
8. 外出の回数の変化	22
9. 外出を控えているか	23
10. 外出を控えている理由	24
11. 外出する際の移動手段	25
4. 食えることについて	26
1. BMI	26
2. 人と食事をともにする機会の有無	27

3.	急な体重減少の有無	28
4.	固いものが食べにくくなったか	29
5.	お茶や汁物等でむせることがあるか	30
6.	口の渇きが気になるか	31
7.	歯磨きの毎日の実施	32
8.	歯の本数と入れ歯の利用状況	33
9.	入れ歯の手入れ	34
10.	歯の噛み合わせ	35

5. 健康状態・毎日の生活について 36

1.	現在の健康状態	36
2.	現在治療中、または後遺症のある病気	37
3.	飲酒習慣	38
4.	喫煙習慣	39
5.	バスや電車を使って一人で外出すること	40
6.	食品・日用品の買物	41
7.	食事の用意	42
8.	請求書の支払い	43
9.	預貯金の出し入れ	44
10.	新聞を読むこと	45
11.	健康についての記事や番組への関心	46
12.	友人の家を訪ねること	47
13.	家族や友人の相談にのること	48
14.	気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすること	49
15.	物忘れの状況	50
16.	電話番号を調べてかけること	51
17.	今日の日付がわからないこと	52
18.	物事に対して興味がわかない、心から楽しめないこと	53
19.	生活の充実感	54
20.	物事を楽しめなくなったこと	55
21.	物事がおっくうに感じられること	56
22.	自分が役に立つ人間だと思えないこと	57
23.	わけもなく疲れたように感じること	58
24.	生活への満足感	59
25.	生きていても仕方がないと思うこと	60
26.	毎日の活動力や世間への関心	61
27.	生きているのがむなしいと感じること	62
28.	退屈に思うこと	63
29.	普段の気分のよさ	64
30.	悪いことがおこりそうな気がする	65
31.	自分は幸せなほうだと思うこと	66
32.	どうしようもないと思うこと	67
33.	外出よりも家にいることが好きか	68
34.	ほかの人より物忘れが多いこと	69
35.	周りの人から物忘れがあるとと言われること	70

36.	生きていることはすばらしいと思うこと	71
37.	自分は活力が満ちていると感じること	72
38.	暮らしに希望がないと思うこと	73
39.	ほかの人は自分より裕福だと思うこと	74
40.	年金などの書類を書くこと	75
41.	病人を見舞うこと	76
42.	趣味の有無	77
43.	生きがいの有無	78
44.	現在の幸福度	79

6.	地域での活動について	80
1.	地域活動への参加状況	80
2.	つどいの場への参加期間	91
3.	おたっしやハウスへの参加期間	92
4.	地域づくり活動への参加意向【参加者として】	93
5.	地域づくり活動への参加意向【企画・運営（お世話役）として】	94

7.	就労について	95
1.	現在の就労状態	95
2.	今後の就労希望	96
3.	今後の就労継続希望	97

8.	まわりの人との関係について	98
1.	たすけあいの状況について	98
2.	家族や友人・知人以外の相談相手	102
3.	友人・知人と会う頻度	103
4.	会った友人・知人の人数	104
5.	地域の人々は信用できるか	105
6.	地域の人々は他の人の役に立とうとするか	106
7.	地域への愛着	107

9.	認知症について	108
1.	認知症の症状の有無	108
2.	認知症相談窓口の認知度	109
3.	「新しい認知症観」の認知度	110
4.	地域で支え合える社会が大切だと思うか	111

10.	介護保険制度および高齢者福祉施策について	112
1.	介護保険制度や高齢者サービスなどに関する情報の入手先	112
2.	「人生会議」の認知度	113
3.	高齢者の福祉・介護・医療に関する意見・要望	114

III. 調査結果 在宅介護実態調査 115

1.	調査票対象者について	115
1.	調査票の回答者	115
2.	居住地域（認定データより）	115
3.	年齢（認定データより）	116

4.	性別（認定データより）	116
5.	要介護状態（認定データより）	117
6.	世帯類型	117
7.	施設等への入所・入居の検討状況	118
8.	介護・介助が必要になった主な原因	119
9.	現在抱えている傷病	120
10.	介護保険サービスの利用の有無	121
11.	介護保険サービスを利用していない理由	122
12.	利用中の「介護保険サービス以外」の支援・サービス	123
13.	在宅生活の継続に必要な支援・サービス	124
14.	訪問診療の利用の有無	125
15.	家族・親族からの介護の頻度	126

2. 主な介護者について 127

1.	主な介護者	127
2.	主な介護者の性別	127
3.	主な介護者の年齢	128
4.	主な介護者が行っている介護等	129
5.	主な介護者が不安に感じる介護等	130
6.	介護を理由とした家族等の離職の有無	131
7.	主な介護者の勤務形態	132
8.	介護のための働き方の調整等	133
9.	仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援	134
10.	主な介護者の就労継続の可否に係る意識	135

3. 介護保険制度および高齢者福祉施策について 136

1.	介護保険制度や高齢者サービスなどに関する情報の入手先	136
2.	「人生会議」の認知度	137
3.	高齢者の福祉・介護・医療に関する意見・要望	138

IV. 調査結果 フレイル予防に関する調査 139

1. 調査票対象者について 139

1.	調査票の回答者	139
2.	居住地域（認定データより）	139
3.	年齢（認定データより）	140
4.	性別（認定データより）	140

2. 対象者の状況について 141

1.	家族構成	141
2.	経済状況	142
3.	学校教育を受けた年数	143
4.	スマートフォンの利用時間	144
5.	スマートフォンの利用目的	145
6.	階段を昇ること	146
7.	椅子から立ち上がること	147
8.	15分続けて歩くこと	148

9.	過去1年間に転んだこと	149
10.	転倒に対する不安	150
11.	外出の頻度	151
12.	外出の回数の変化	152
13.	BMI	153
14.	急な体重減少の有無	154
15.	固いものが食べにくくなったか	155
16.	お茶や汁物等でむせることがあるか	156
17.	口の渇きが気になるか	157
18.	現在の健康状態	158
19.	バスや電車を使って一人で外出すること	159
20.	食品・日用品の買物	160
21.	預貯金の出し入れ	161
22.	友人の家を訪ねること	162
23.	家族や友人の相談にのること	163
24.	電話番号を調べてかけること	164
25.	今日の日付がわからないこと	165
26.	生活の充実感	166
27.	物事を楽しめなくなったこと	167
28.	物事がおっくうに感じられること	168
29.	自分が役に立つ人間だと思えないこと	169
30.	わけもなく疲れたように感じる事	170
31.	周りの人から物忘れがあると言われること	171
32.	現在の幸福度	172
33.	地域活動への参加状況	173
34.	つどいの場の参加期間	184
35.	おたっしゃハウスの参加期間	185
36.	現在の就労状態	186
37.	今後の就労希望	187
38.	今後の就労継続希望	188
39.	たすけあいの状況について	189
40.	地域の人々は信用できるか	192
41.	地域の人々は他の人の役に立とうとするか	193
42.	地域への愛着	194

調査概要

I. 調査概要

1. 調査の目的

より良い高齢者福祉・介護保険・生活支援サービス等を提供するため、市民の皆様のご意見や生活状態を把握し、令和8年度策定の「第10期にっしん高齢者ゆめプラン」（日進市高齢者福祉計画・介護保険事業計画）に反映させることを目的として、調査を実施しました。

2. 調査方法等

- ・調査地域：日進市内
- ・標本抽出方法：無作為抽出
- ・調査時期：令和8年1月
- ・調査方法：郵送配布、郵送回収・Web回収
- ・調査実施機関：日進市

3. 調査対象及び調査票の回収状況

	① 介護予防・日常生活 圏域ニーズ調査	② 在宅介護実態調査	③ フレイル予防に関する 調査
調査対象者	日進市在住の65歳以上の方で、要介護認定を受けていない方	日進市に在住し、要支援・要介護認定を受け、在宅で暮らしている方	日進市在住の65歳以上の方で、要介護認定を受けていない方（①の対象者を除く。）
標本サイズ	2,500件	1,200件	13,065件
有効回収数	1,679件 (うちWeb 363件)	741件 (うちWeb 125件)	8,304件 (うちWeb 1,658件)
有効回収率	67.2%	61.8%	63.6%

4. 標本誤差

この調査は、母集団である調査対象者から一部の標本を無作為に抽出して行いました。この調査結果からもとの全体の値を推定する標本調査です。この“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差です。今回の調査では下記の式で標本誤差を求めることができます。

$$\text{標本誤差} \quad \sigma = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}} \quad P: \text{回答率}(\%) \quad n: \text{有効回収数(件)}$$

以下の表は、上式にnとPの値を代入して標本誤差を求め、作成したものです。

	有効 回収数 (件)	回答率 (%)									
		5% (95%)	10% (90%)	15% (85%)	20% (80%)	25% (75%)	30% (70%)	35% (65%)	40% (60%)	45% (55%)	50% (50%)
一般高齢者等	1,679	1.1	1.5	1.7	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.4	2.4
在宅要介護等認定者	741	1.6	2.2	2.6	2.9	3.2	3.4	3.5	3.6	3.7	3.7

この表の見方について例を挙げると、「一般高齢者等の標本数は 1,679 人であり、ある設問の 1 つの選択肢の回答率が 50%であった場合、全数調査との誤差の範囲は 95%の確率で±2.4%以内であり、実際の割合は 47.6%～52.4%の範囲にある」と意味づけられるものです。

5. 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が 100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が 100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が 0 の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、選択肢の文章を簡略化してある場合もあります。
- ・クロス集計表の各行のセルは、数値の多いものほど濃く色付けして表示しています。
- ・有効回収数の 1 割に満たない回答数のグラフ・表は参考程度の数値として表記している場合があります。
- ・回答率の比較については、主に対象間の差が 5 ポイント以上あるものについて言及しており、5 ポイント未満の差しかない場合は「特に大きな差はみられません」等とコメントしています。

調査結果

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

Ⅱ. 調査結果 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1. はじめに

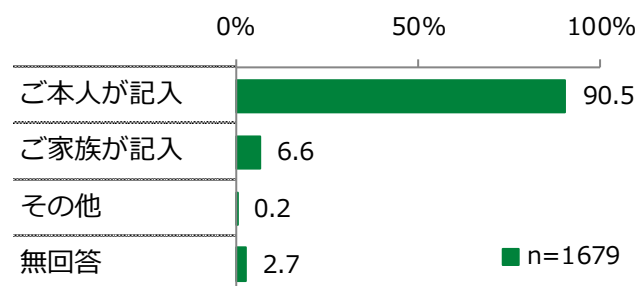
1. 記入者

問1 調査票をご記入されたのはどなたですか。(○は1つ)

☑ 「本人が記入」が90.5%

調査票の記入については、「本人が記入」が90.5%、「家族が記入」(6.6%)となっています。

図表1 記入者

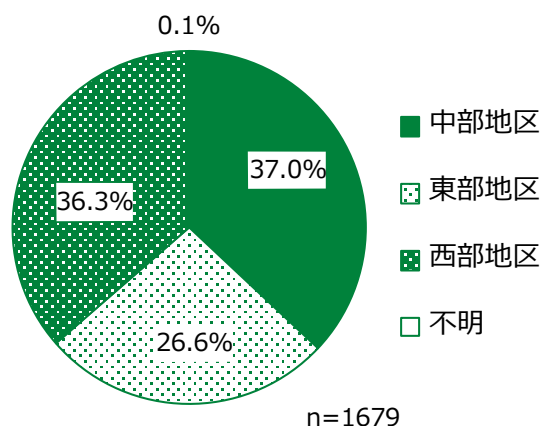


2. 居住地域(認定データより)

☑ 「中部地区」が37.0%

居住地域については、「中部地区」が37.0%、「西部地区」(36.3%)、「東部地区」(26.6%)となっています。

図表2 居住地域



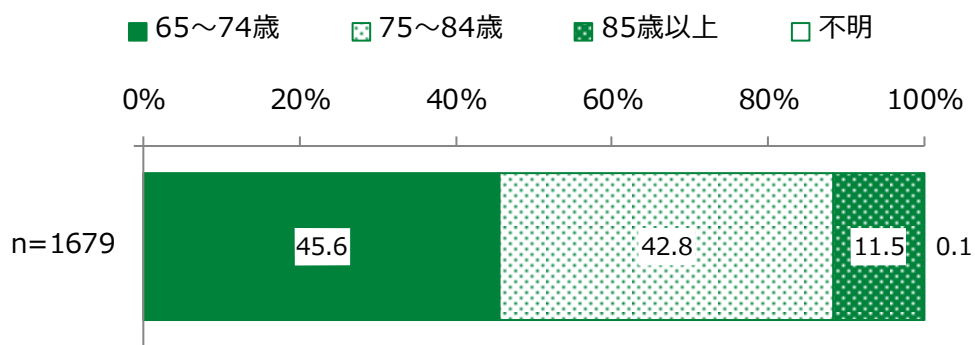
中部地区 (蟹甲・折戸・栄 (1～2丁目)・本郷・岩崎・岩藤・南ヶ丘・東山・藤塚・竹の山)
東部地区 (藤枝・米野木・米野木台・三本木・藤島・北新・五色園・栄 (3～5丁目))
西部地区 (赤池・赤池南・浅田・浅田平子・梅森・梅森台・野方・香久山・岩崎台)

3. 年齢(認定データより)

☑ 「65～74 歳」が 45.6%

対象者の年齢については、「65～74 歳」（前期高齢者）が 45.6%、「75～84 歳」が 42.8%、「85 歳以上」が 11.5%となっています。後期高齢者（75 歳以上）は 54.3%となっています。

図表 3 年齢

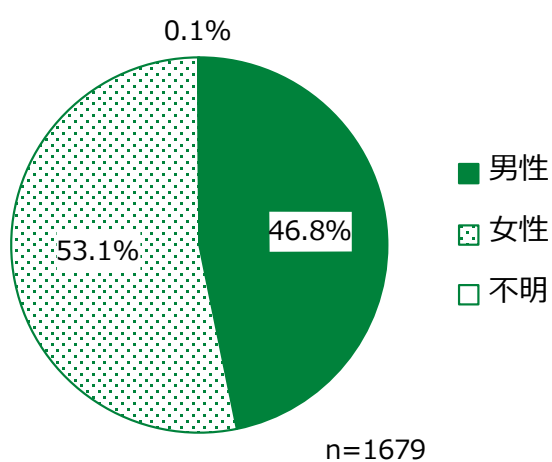


4. 性別(認定データより)

☑ 「女性」が 53.1%

対象者の性別については、「女性」が 53.1%、「男性」が 46.8%となっています。

図表 4 性別

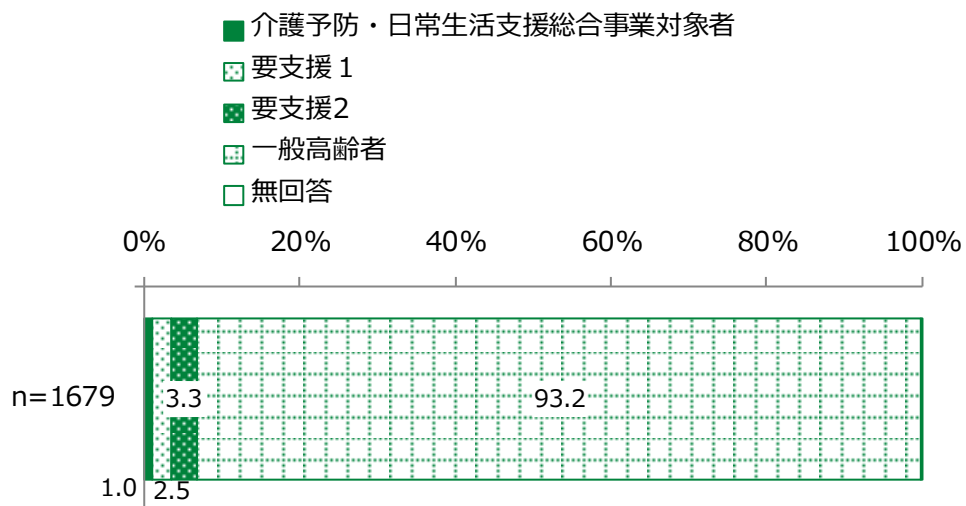


5. 要介護状態区分(認定データより)

☑ 「一般高齢者」が 93.2%

要介護状態区分については、「一般高齢者」が 93.2%、「要支援 2」が 3.3%、「要支援 1」が 2.5%、「介護予防・日常生活支援総合事業対象者」が 1.0%となっています。

図表 5 要介護状態区分



2. ご家族や生活状況について

1. 家族構成

問2 家族構成をお教えてください。(〇は1つ)

☑ 「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が44.0%

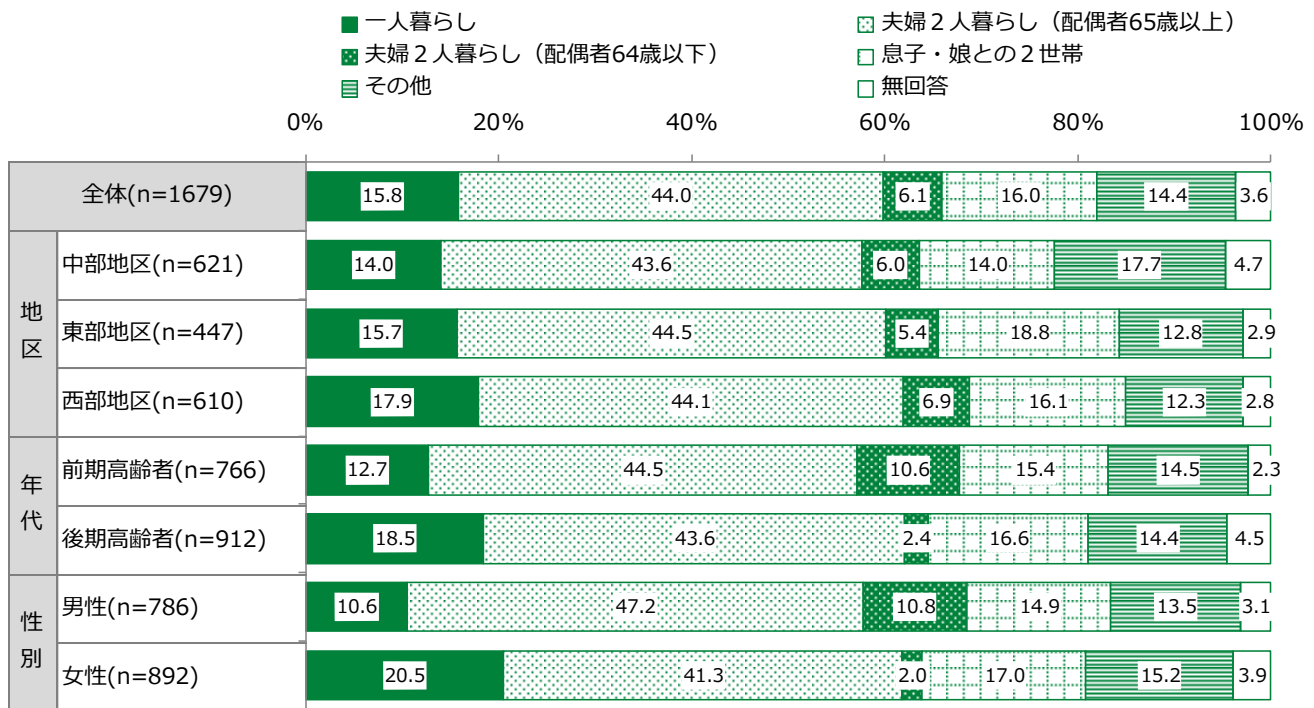
家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が44.0%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」（16.0%）、「一人暮らし」（15.8%）となっています。

地区別でみると、西部地区では「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」に次いで「一人暮らし」が高くなっています。

年代別でみると、後期高齢者で「一人暮らし」が5.8ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「一人暮らし」が9.9ポイント、男性より高くなっています。

図表 6 家族構成



2. 介護・介助の要否

問3 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

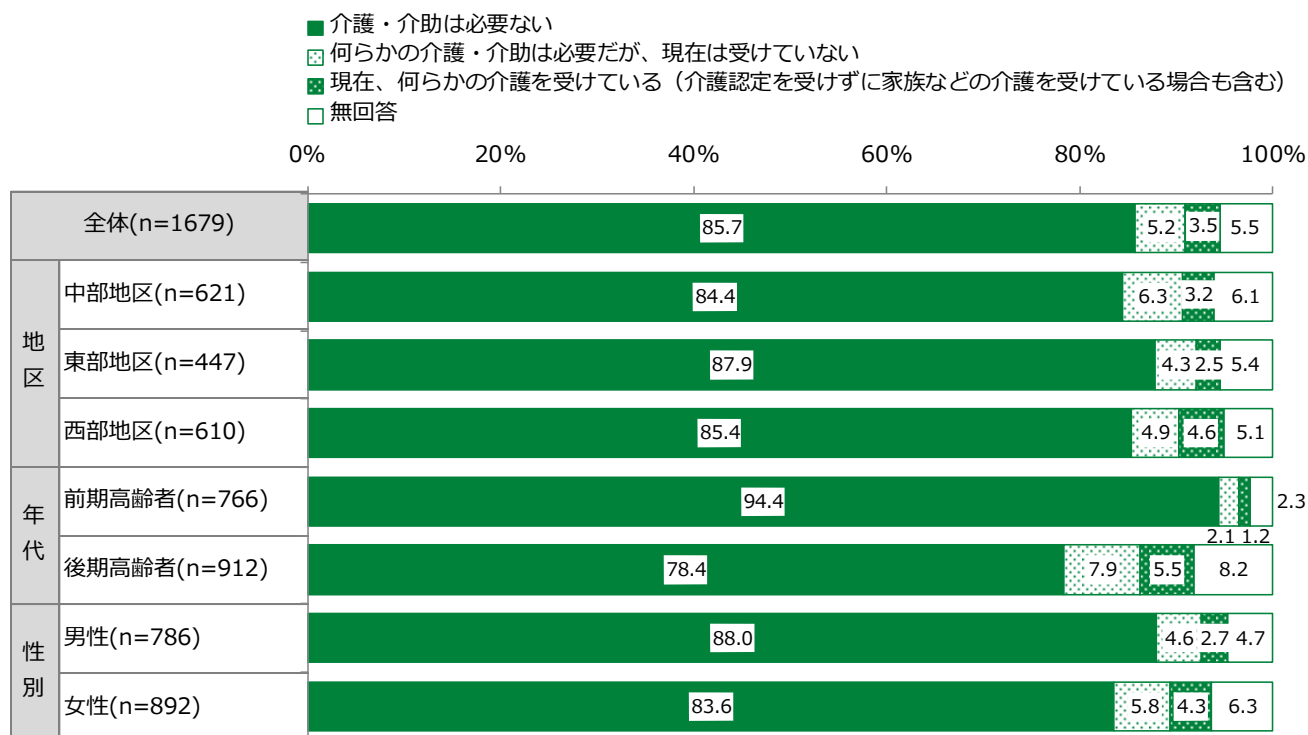
☑ 「介護・介助は必要ない」が85.7%

普段の生活における介護・介助の要否については、「介護・介助は必要ない」が85.7%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(5.2%)、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」(3.5%)となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「介護・介助は必要ない」が16.0ポイント、後期高齢者より高くなっています。一方、後期高齢者で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.8ポイント、前期高齢者より高くなっています。

図表7 介護・介助の要否



3. 介護・介助が必要になった主な原因

※問3で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」とお答えの方

問3－1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（○はいくつでも）

☑ 「高齢による衰弱」が22.4%

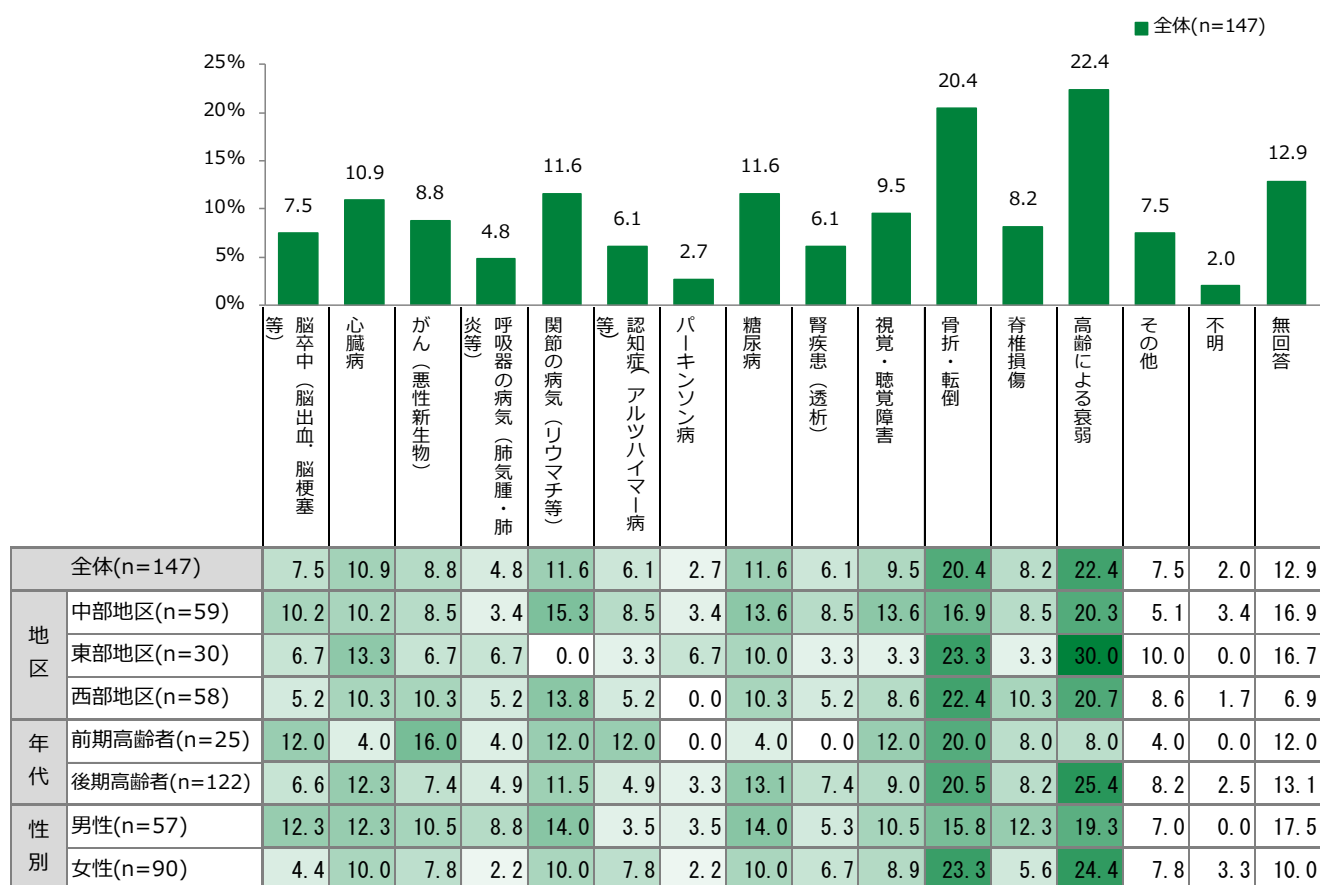
介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」が22.4%と最も高く、次いで「骨折・転倒」（20.4%）、「関節の病気（リウマチ等）」「糖尿病」（ともに11.6%）、「心臓病」（10.9%）となっています。

地区別でみると、中部地区で「視覚・聴覚障害」、東部地区で「高齢による衰弱」が他の地区より高く、西部地区では「骨折・転倒」が最も高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者では「骨折・転倒」が最も高く、次いで「がん（悪性新生物）」が高くなっています。

性別でみると、特に大きな差はみられません。

図表 8 介護・介助が必要になった主な原因



4. 主な介護・介助者

※問3で「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」とお答えの方

問3-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。（〇はいくつでも）

☑ 「配偶者（夫・妻）」が39.0%

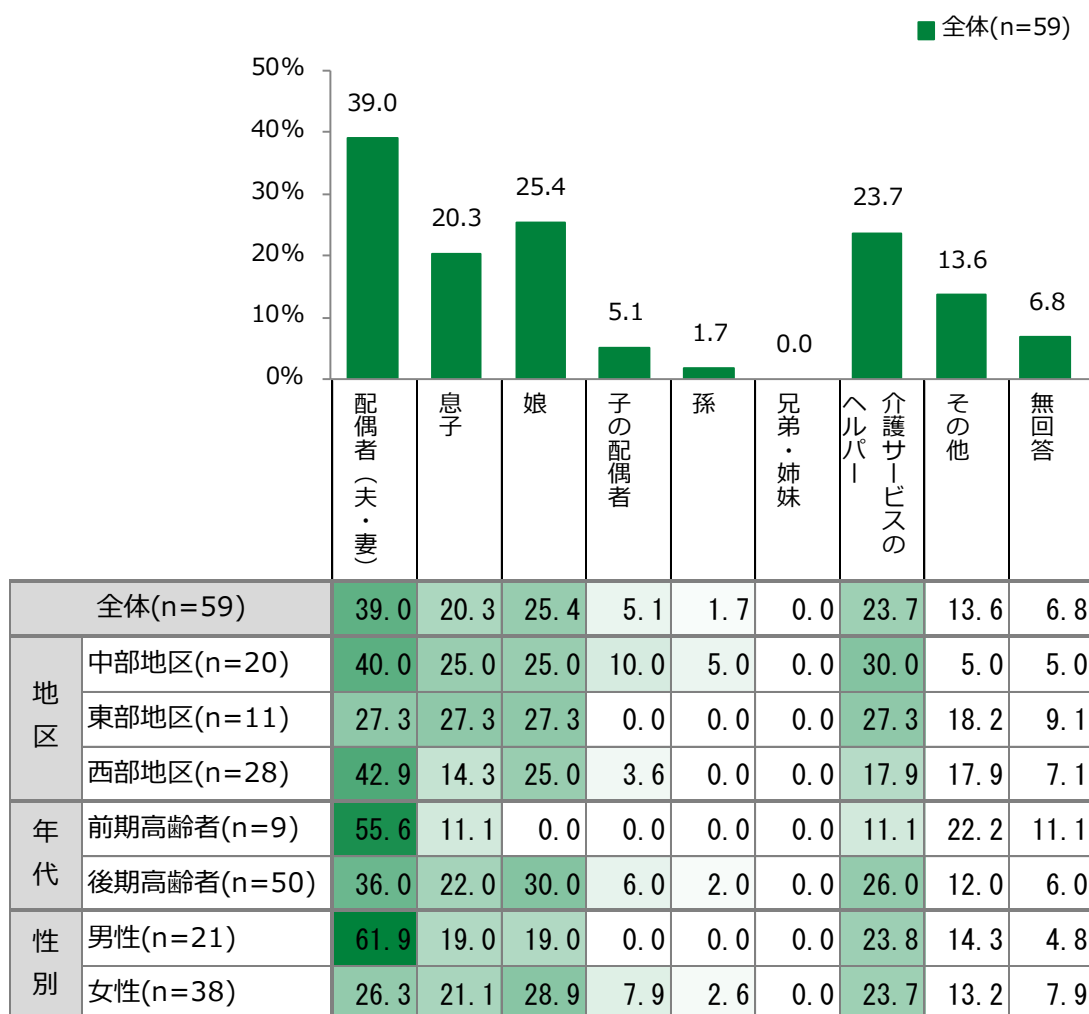
主な介護・介助者については、「配偶者（夫・妻）」が39.0%と最も高く、次いで「娘」（25.4%）、「介護サービスのヘルパー」（23.7%）、「息子」（20.3%）となっています。

地区別でみると、西部地区で「介護サービスのヘルパー」「息子」が他の地区より低くなっています。

年代別でみると、特に大きな差はみられません。

性別でみると、女性では「娘」が最も高くなっています。

図表 9 主な介護・介助者



5. 経済状況

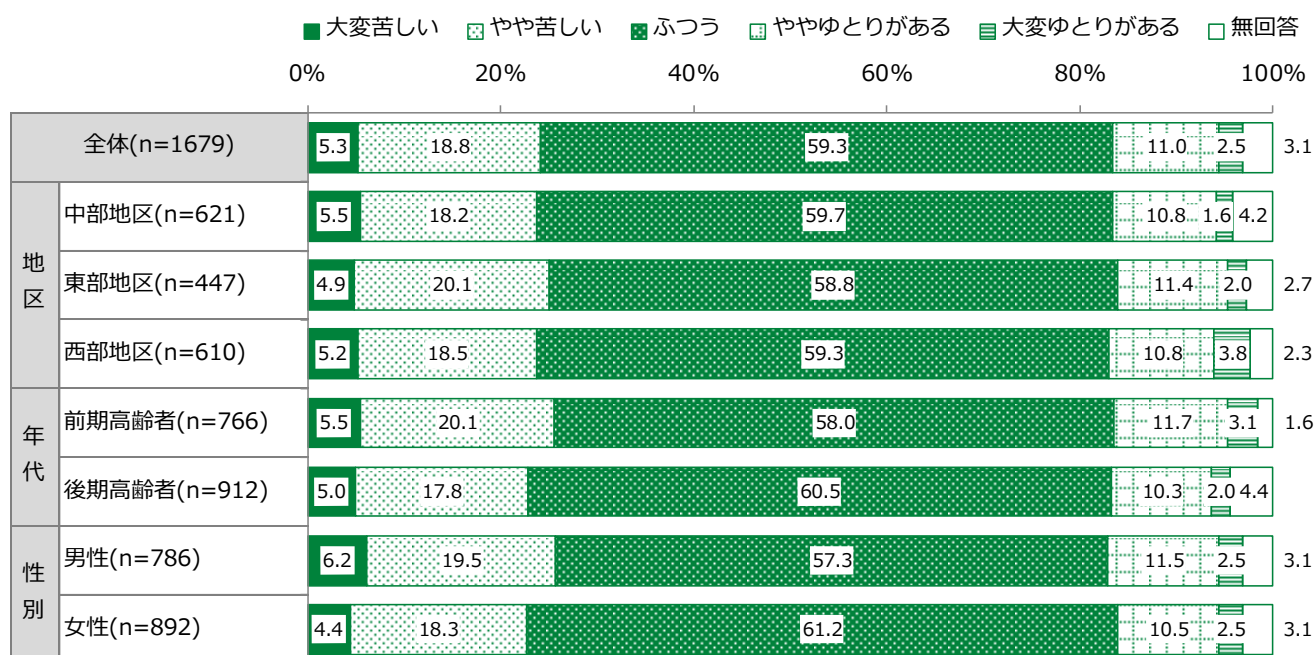
問4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

☑ 「ふつう」が59.3%

現在の経済状況については、「ふつう」が59.3%と最も高く、次いで「やや苦しい」(18.8%)、「ややゆとりがある」(11.0%)となっています。また、“経済的に苦しい”(「大変苦しい」+「やや苦しい」)は24.1%、“経済的にゆとりがある”(「ややゆとりがある」+「大変ゆとりがある」)は13.5%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 10 経済状況



6. 住居形態

問5 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

☑ 「持家（一戸建て）」が78.3%

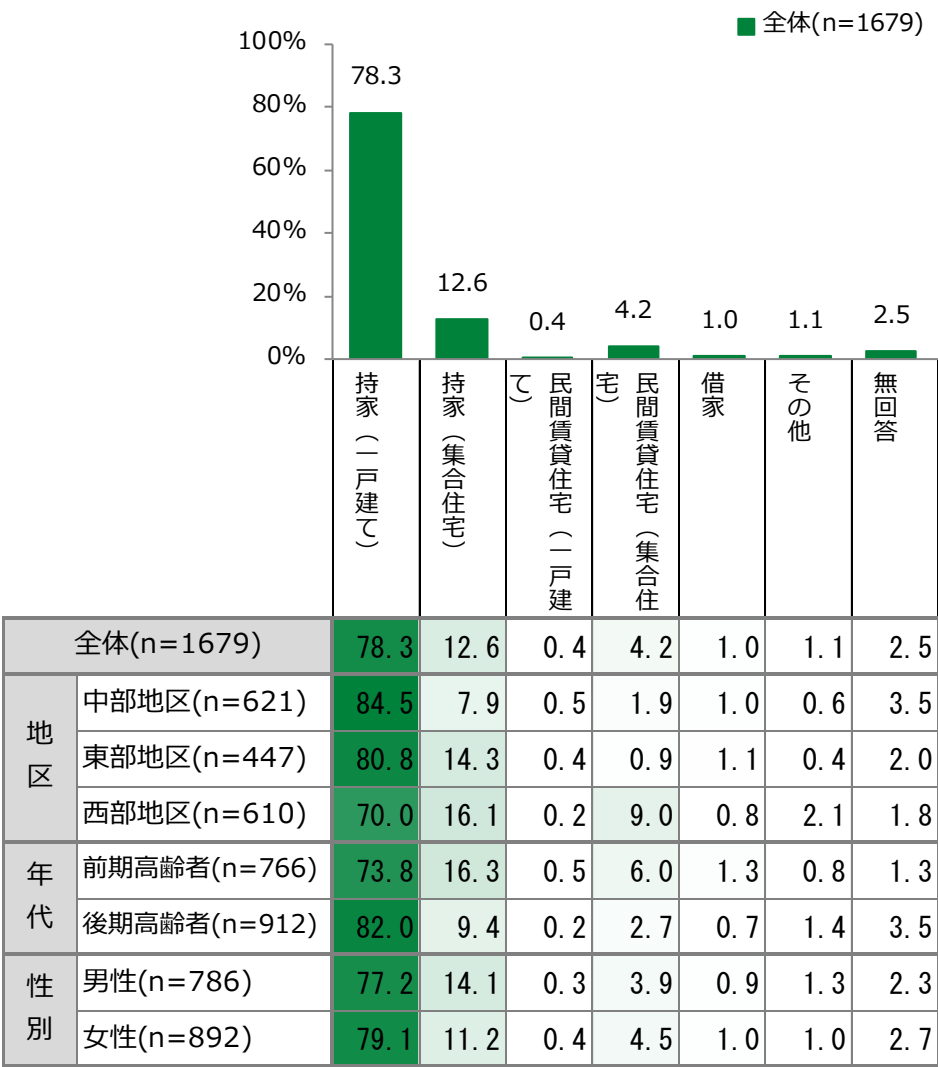
住居形態については、「持家（一戸建て）」が78.3%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」(12.6%)、「民間賃貸住宅（集合住宅）」(4.2%)となっています。

地区別でみると、西部地区で「持家（一戸建て）」が他の地区より低くなっています。

年代別でみると、後期高齢者で「持家（一戸建て）」が8.2ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、特に大きな差はみられません。

図表 11 住居形態



7. 学校教育を受けた年数

問6 あなたが受けられた学校教育は何年間でしたか。(〇は1つ)

☑ 「13年以上」が43.8%

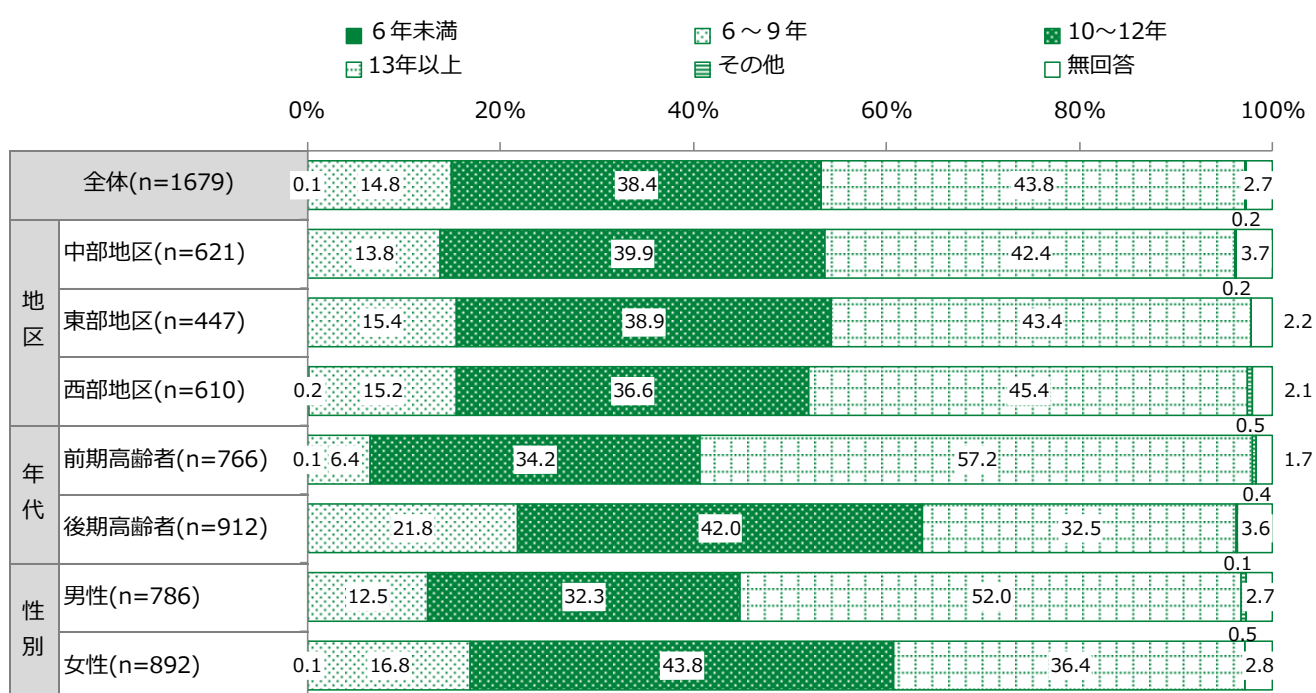
学校教育を受けた年数については、「13年以上」が43.8%と最も高く、次いで「10～12年」(38.4%)、「6～9年」(14.8%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者では「10～12年」が最も高くなっています。

性別でみると、女性では「10～12年」が最も高くなっています。

図表 12 学校教育を受けた年数



8. スマートフォンの利用時間

問7 あなたは1日にどのくらいの時間、スマートフォンを使っていますか。(○は1つ)
(電話・メール・LINE・写真・ゲームなど、すべての利用を含みます)

☑ 「1時間くらい」が23.3%

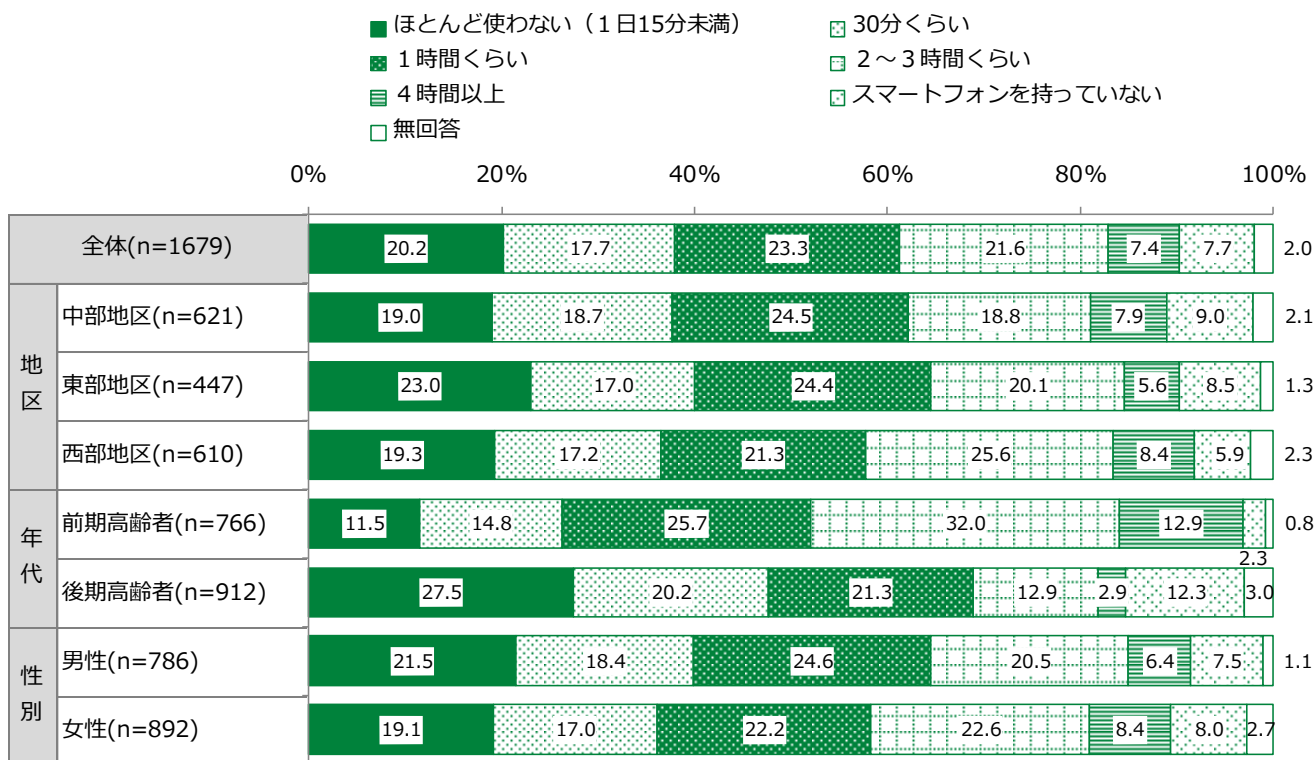
スマートフォンの利用時間については、「1時間くらい」が23.3%と最も高く、次いで「2～3時間くらい」(21.6%)、「ほとんど使わない(1日15分未満)」(20.2%)となっています。

地区別でみると、西部地区では「2～3時間くらい」が最も高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者では「2～3時間くらい」が最も高く、後期高齢者では「ほとんど使わない」が最も高くなっています。また、後期高齢者で「スマートフォンを持っていない」が10.0ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性では「2～3時間くらい」が最も高くなっています。

図表 13 スマートフォンの利用時間



9. スマートフォンの利用目的

※問7で「1. ほとんど使わない（1日15分未満）」～「5. 4時間以上」とお答えの方

問7-1 あなたは主にどのような目的でスマートフォンを使っていますか。（〇はいくつでも）

☑ 「電話をかける・受ける」が69.3%

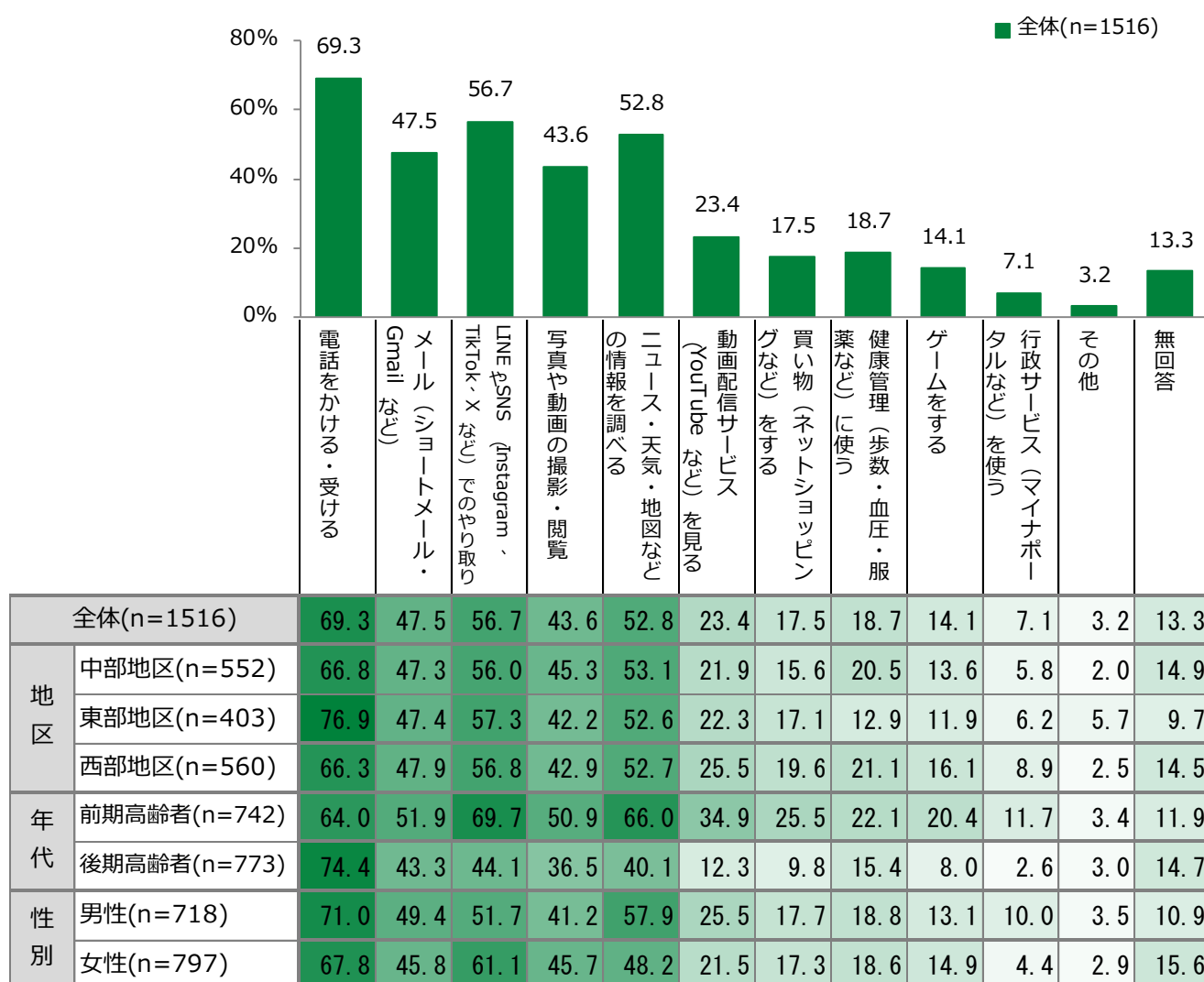
スマートフォンの利用目的については、「電話をかける・受ける」が69.3%と最も高く、次いで「LINEやSNSでのやり取り」（56.7%）、「ニュース・天気・地図などの情報を調べる」（52.8%）となっています。

地区別でみると、東部地区で「電話をかける・受ける」が他の地区より10ポイント以上高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者では「LINEやSNSでのやり取り」が最も高く、「電話をかける・受ける」を除くすべての項目で前期高齢者の割合が後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「ニュース・天気・地図などの情報を調べる」が9.7ポイント、女性より高く、女性で「LINEやSNSでのやり取り」が9.4ポイント、男性より高くなっています。

図表 14 スマートフォンの利用目的



3. からだを動かすことについて

1. 階段を昇ること

問8 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(〇は1つ)

☑ 「できるし、している」が63.8%

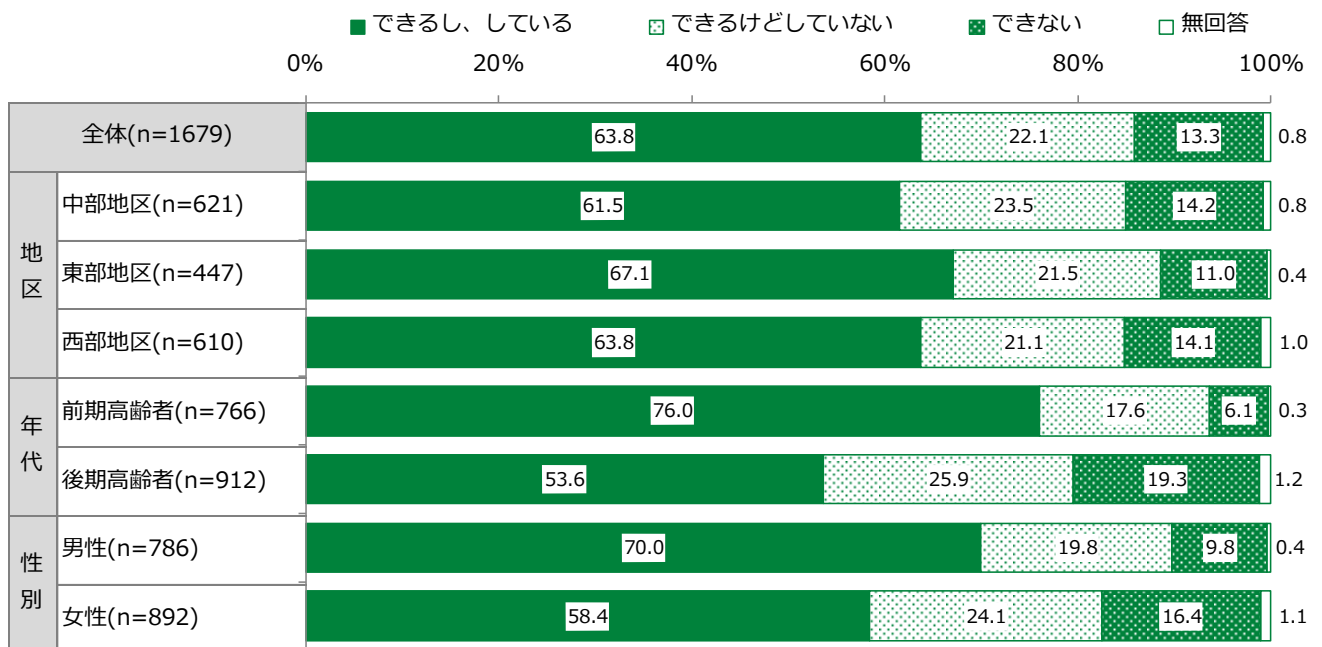
階段を手すりや壁をつたわずに昇ることについては、「できるし、している」が63.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(22.1%)、「できない」(13.3%)となっています。

地区別でみると、東部地区で「できるし、している」が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が22.4ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「できるし、している」が11.6ポイント、女性より高くなっています。

図表 15 階段を昇ること



2. 椅子から立ち上がること

問9 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

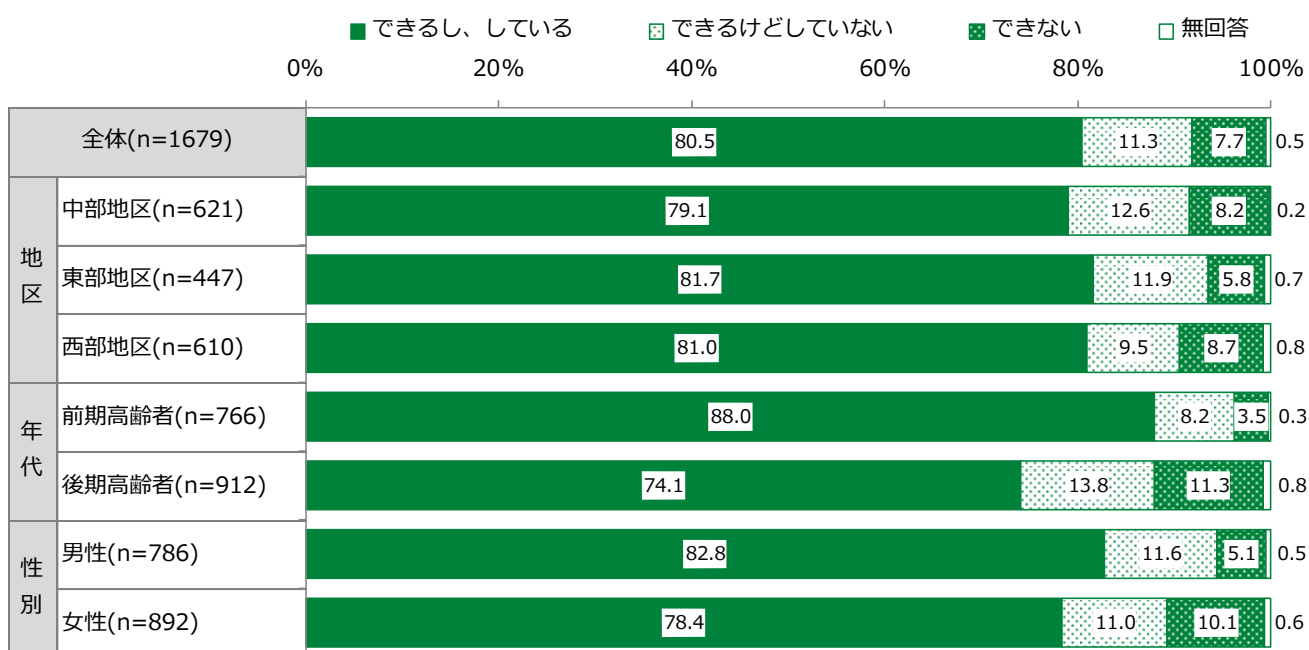
☑ 「できるし、している」が80.5%

椅子から何もつかまらずに立ち上がることについては、「できるし、している」が80.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(11.3%)、「できない」(7.7%)となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が13.9ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 16 椅子から立ち上がること



3. 15分続けて歩くこと

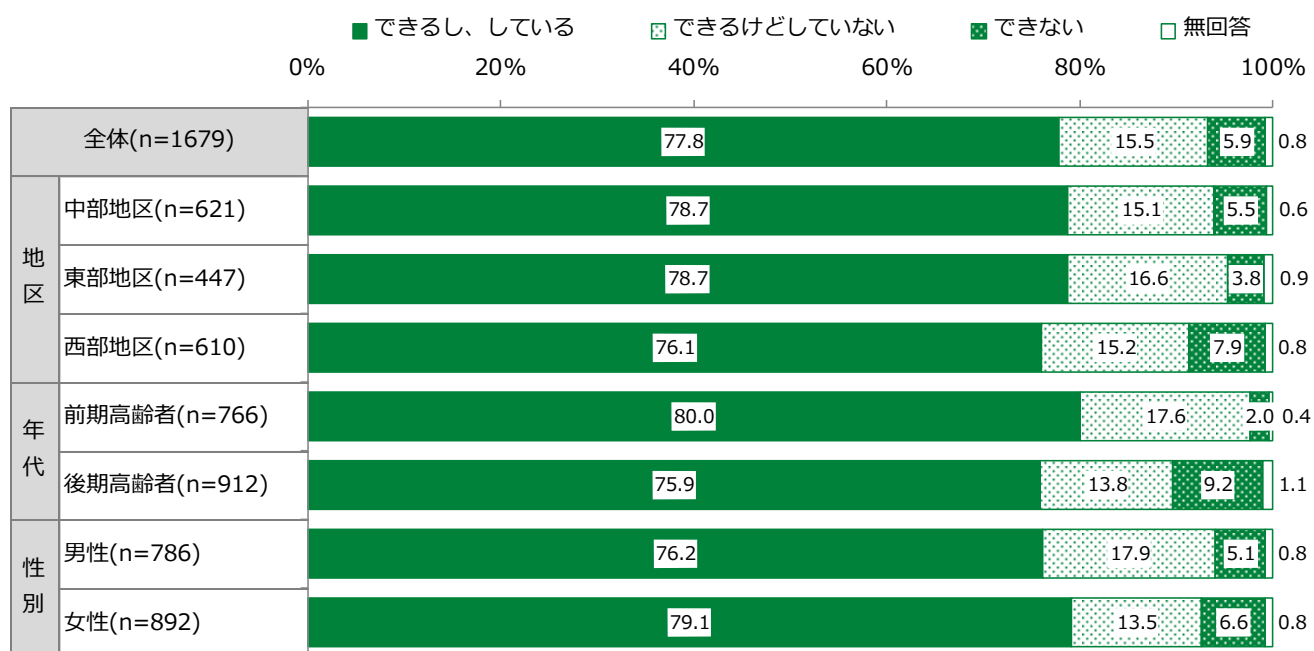
問 10 15分続けて歩いていますか。(○は1つ)

☑ 「できるし、している」が77.8%

15分続けて歩くことについては、「できるし、している」が77.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(15.5%)、「できない」(5.9%)となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 17 15分続けて歩くこと



4. 1日の平均歩行時間

問 11 平均すると1日の合計で何分ぐらい歩きますか。(○は1つ)

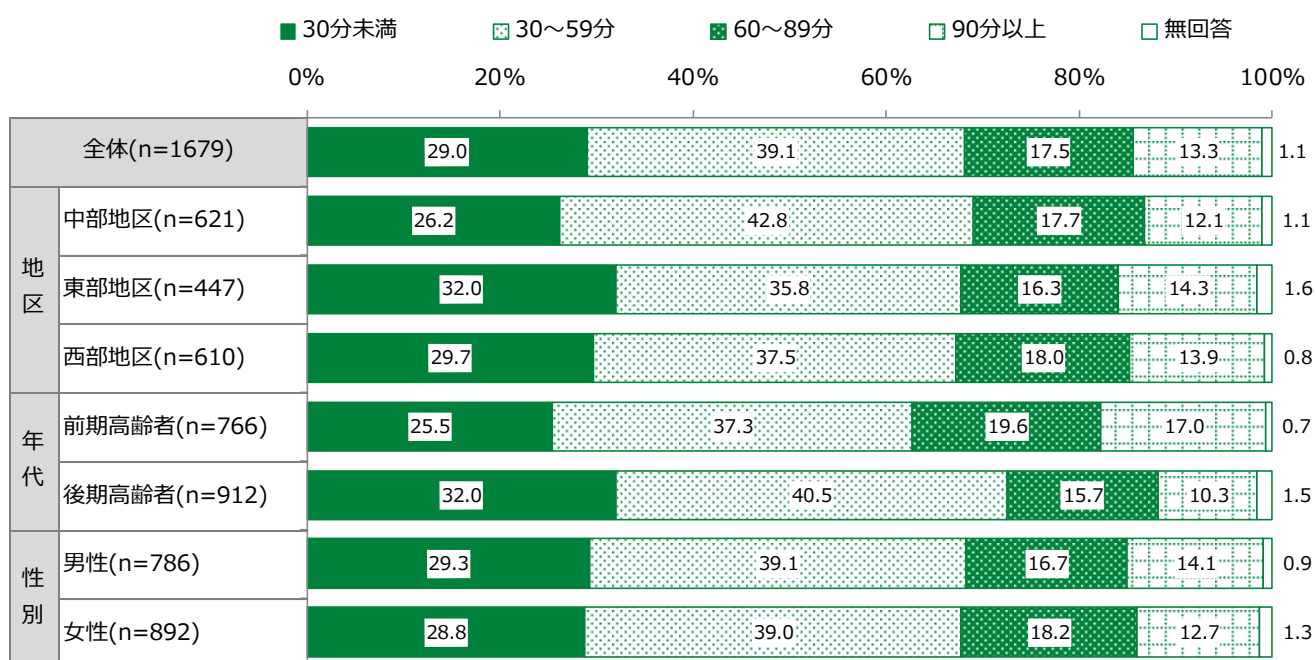
☑ 「30～59分」が39.1%

1日の平均歩行時間については、「30～59分」が39.1%と最も高く、次いで「30分未満」(29.0%)、「60～89分」(17.5%)となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「90分以上」が6.7ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 18 1日の平均歩行時間



5. 過去1年間に転んだこと

問 12 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

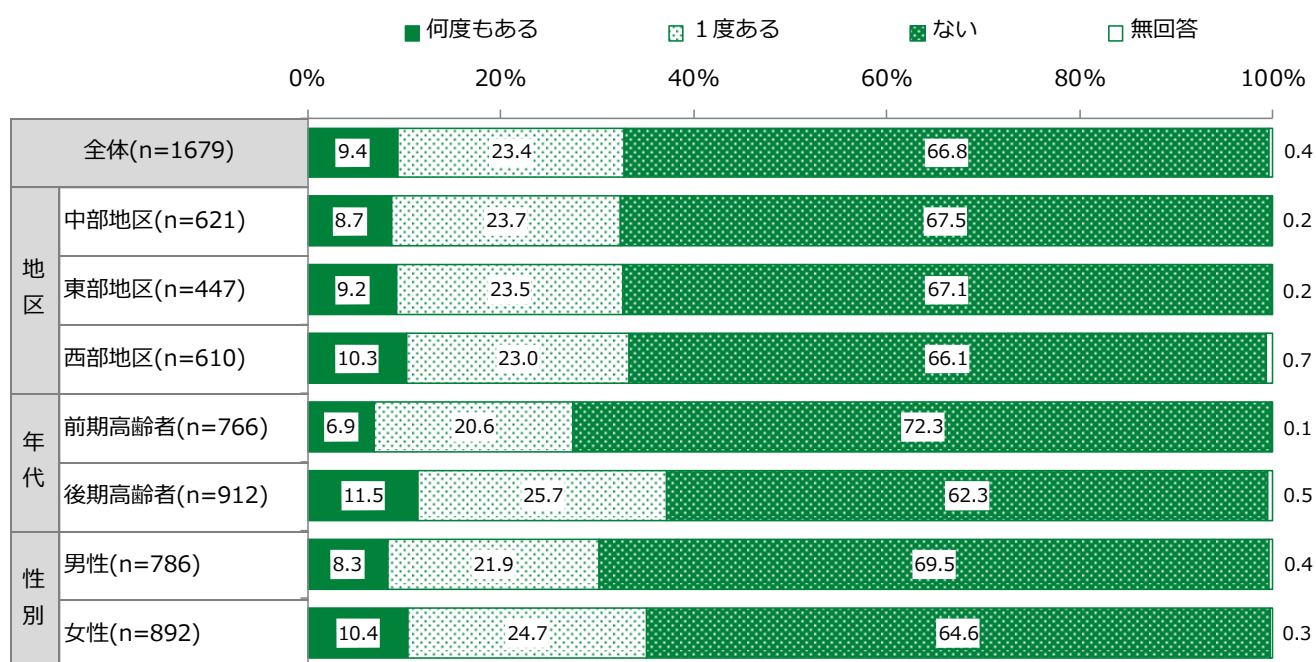
☑ 「ない」が66.8%

過去1年間の転倒経験については、「ない」が66.8%と最も高く、次いで「1度ある」(23.4%)、「何度もある」(9.4%)となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「ない」が10.0ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 19 過去1年間に転んだこと



6. 転倒に対する不安

問 13 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

☑ “不安でない” (「あまり不安でない」 + 「不安でない」) が 47.8%

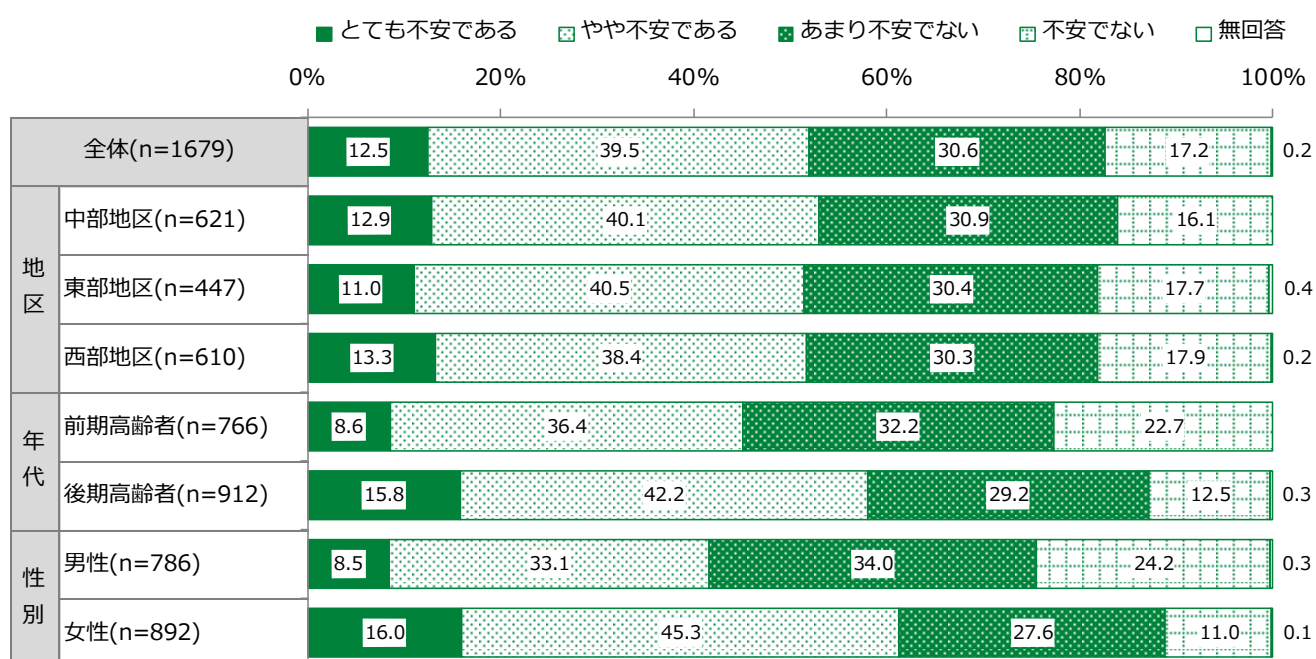
転倒に対する不安については、「やや不安である」が 39.5%と最も高く、次いで「あまり不安でない」(30.6%)となっています。また、“不安でない”が 47.8%、“不安である”(「とても不安である」 + 「やや不安である」)が 52.0%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で“不安である”が 13.0 ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で“不安である”が 19.7 ポイント、男性より高くなっています。

図表 20 転倒に対する不安



7. 外出の頻度

問 14 週に 1 回以上は外出していますか。(○は 1 つ)

☑ 「週 2 ～ 4 回」 が 45.8%

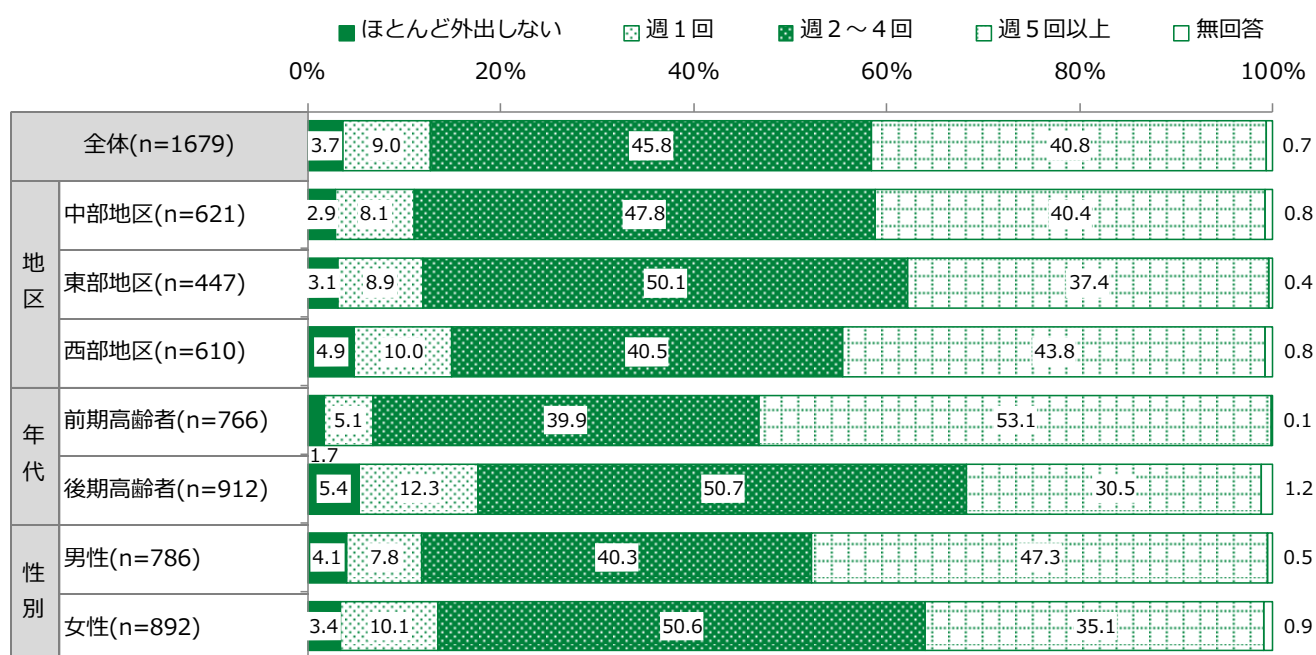
外出の頻度については、「週 2 ～ 4 回」が 45.8%と最も高く、次いで「週 5 回以上」(40.8%)となっています。

地区別でみると、西部地区では「週 5 回以上」が最も高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者では「週 5 回以上」が最も高くなっています。

性別でみると、男性では「週 5 回以上」が最も高くなっています。

図表 21 外出の頻度



8. 外出の回数の変化

問 15 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇は1つ)

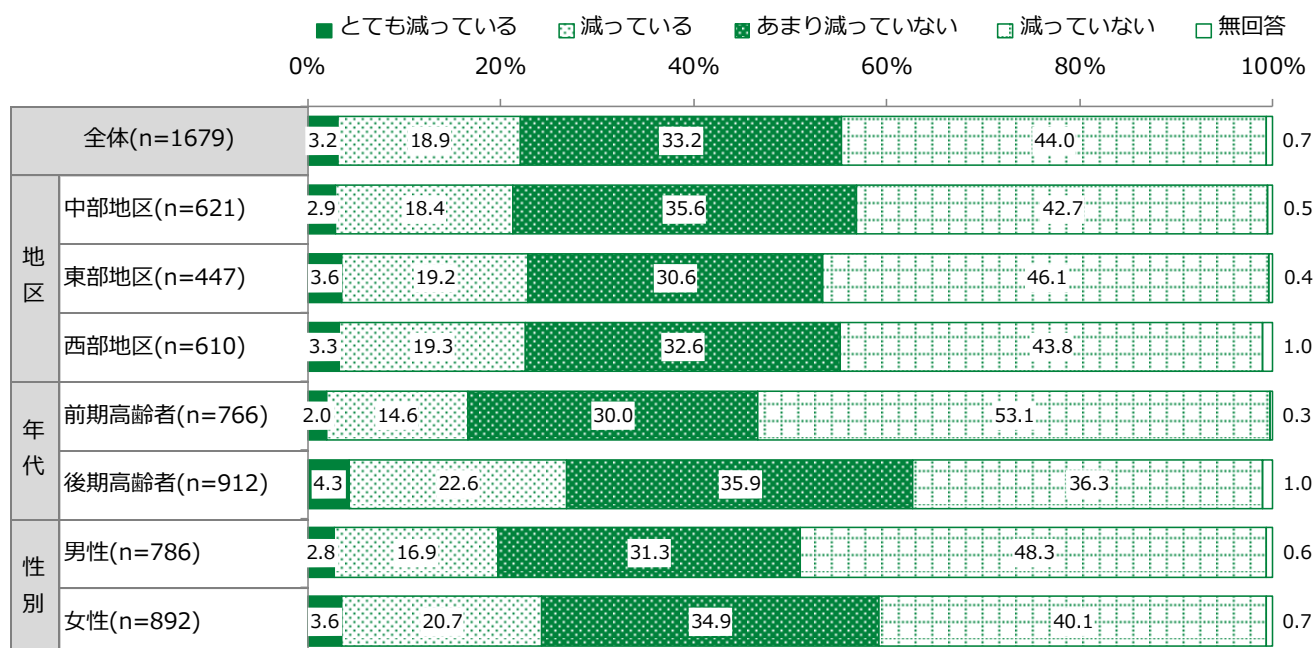
☒ 「減っていない」が 44.0%

外出の回数の変化については、「減っていない」が 44.0%と最も高く、次いで「あまり減っていない」(33.2%)となっています。また、“外出回数が減っていない”(「あまり減っていない」+「減っていない」)が 77.2%、“外出回数が減っている”(「とても減っている」+「減っている」)が 22.1%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で“外出回数が減っている”が 10.3 ポイント、前期高齢者より高くなっています。

図表 22 外出の回数の変化



9. 外出を控えているか

問 16 外出を控えていますか。(○は1つ)

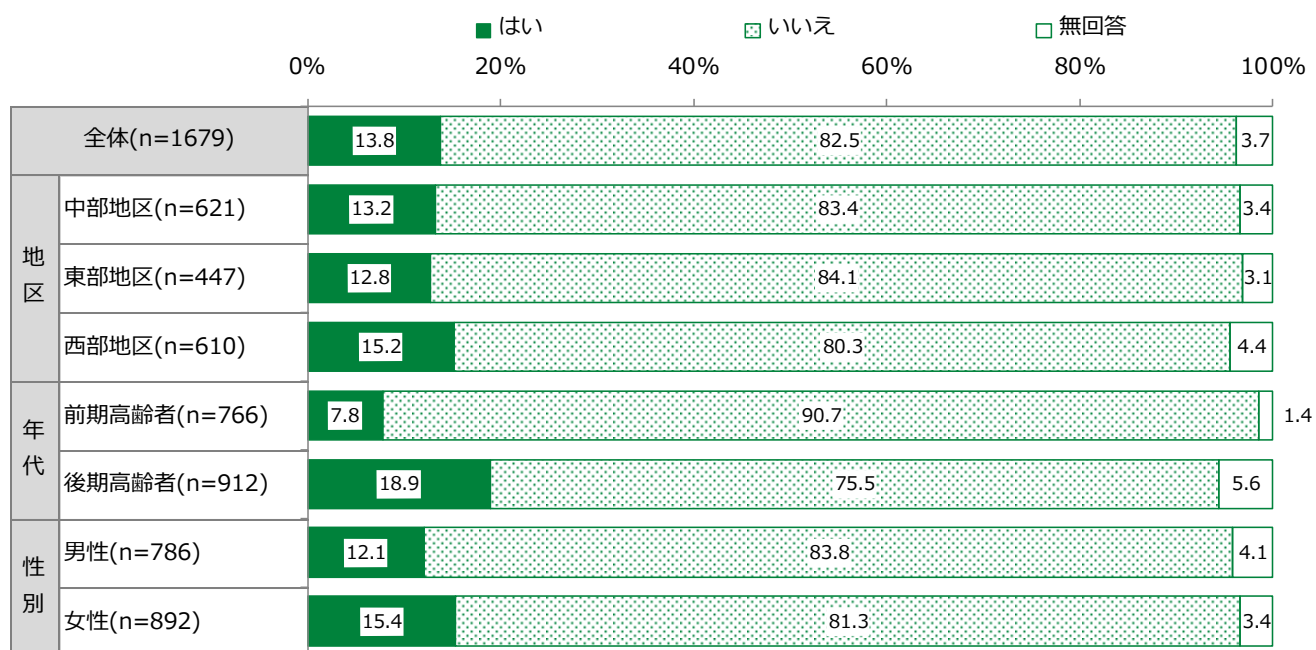
☑ 「いいえ」が82.5%

外出を控えているかについては、「いいえ」が82.5%、「はい」が13.8%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で「はい」が11.1ポイント、前期高齢者より高くなっています。

図表 23 外出を控えているか



10.外出を控えている理由

※問 16 で「1. はい」とお答えの方

問 16－1 外出を控えている理由は、次のどれですか。（○はいくつでも）

☑ 「足腰などの痛み」が 47.0%

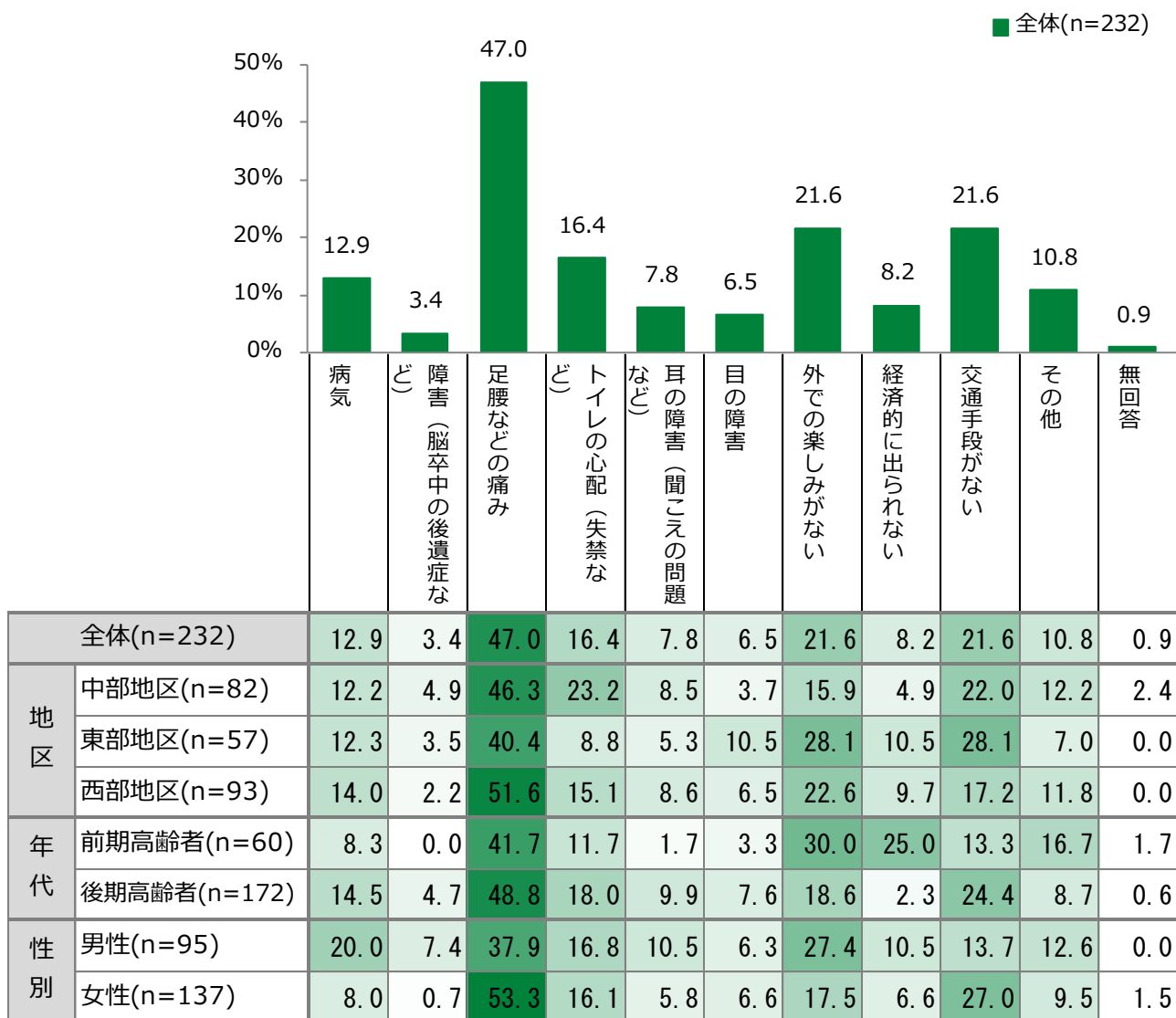
外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が 47.0%と最も高く、次いで「外での楽しみがない」「交通手段がない」（ともに 21.6%）、「トイレの心配（失禁など）」（16.4%）となっています。

地区別でみると、中部地区では「足腰などの痛み」に次いで「トイレの心配」が高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「外での楽しみがない」「経済的に出られない」、後期高齢者で「交通手段がない」が 10 ポイント以上、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、男性で「病気」、女性で「足腰などの痛み」「交通手段がない」が 10 ポイント以上、それぞれ異性より高くなっています。

図表 24 外出を控えている理由



11.外出する際の移動手段

問 17 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

☑ 「自動車（自分で運転）」が 70.2%

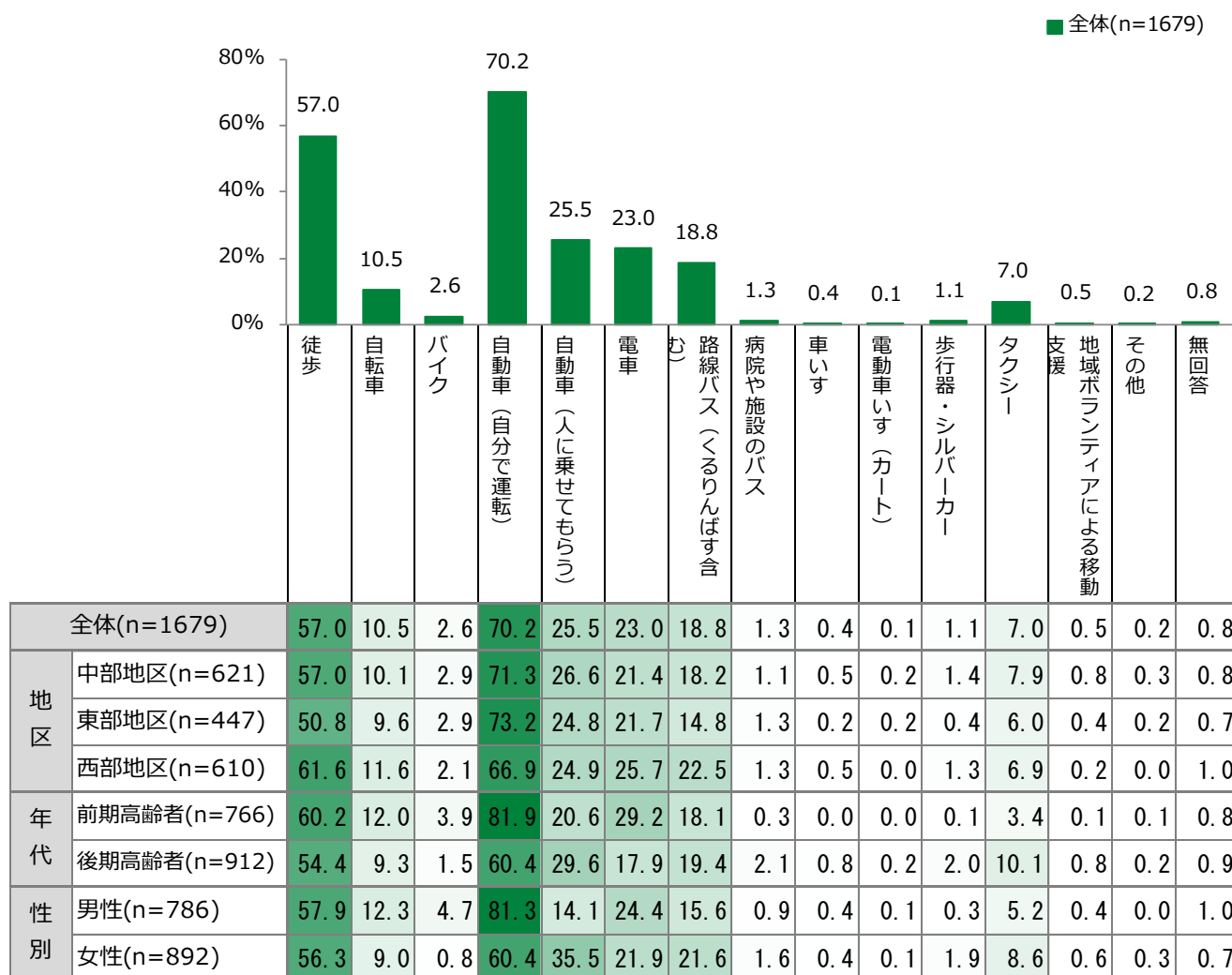
外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が 70.2%と最も高く、次いで「徒歩」(57.0%)、「自動車（人に乗せてもらう）」(25.5%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「自動車（自分で運転）」が 21.5 ポイント、「電車」が 11.3 ポイント、後期高齢者で「自動車（人に乗せてもらう）」が 9.0 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、男性で「自動車（自分で運転）」が 20.9 ポイント、女性で「自動車（人に乗せてもらう）」が 21.4 ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 25 外出する際の移動手段



4. 食べることについて

1. BMI¹

問 18 身長と体重をお書きください。

☑ 「普通体重（18.5 以上 25.0 未満）」が 70.8%

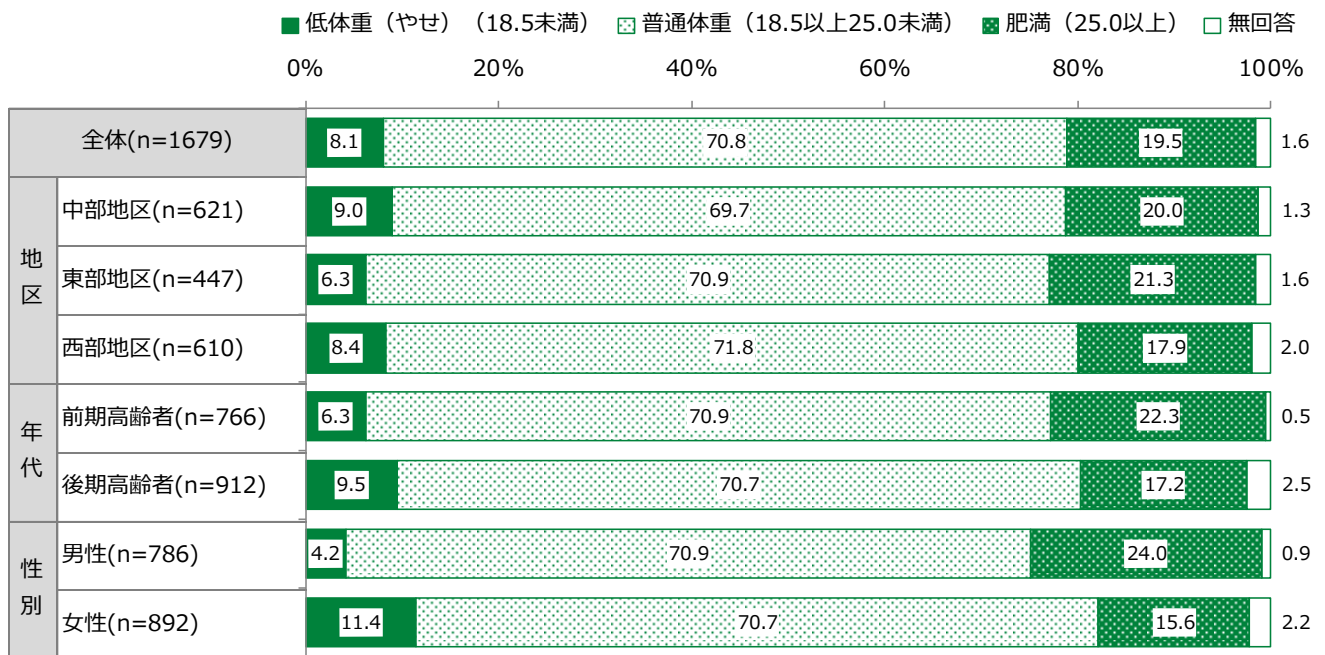
BMI については、「普通体重（18.5 以上 25.0 未満）」が 70.8%と最も高く、次いで「肥満（25.0 以上）」（19.5%）、「低体重（やせ）（18.5 未満）」（8.1%）となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「肥満」が 5.1 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「肥満」が 8.4 ポイント、女性で「低体重（やせ）」が 7.2 ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 26 BMI



¹ 成人の肥満度を表す体格指数。体重（kg）÷（身長（m）×身長（m））で算出される。

2. 人と食事をとにもする機会の有無

問 19 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

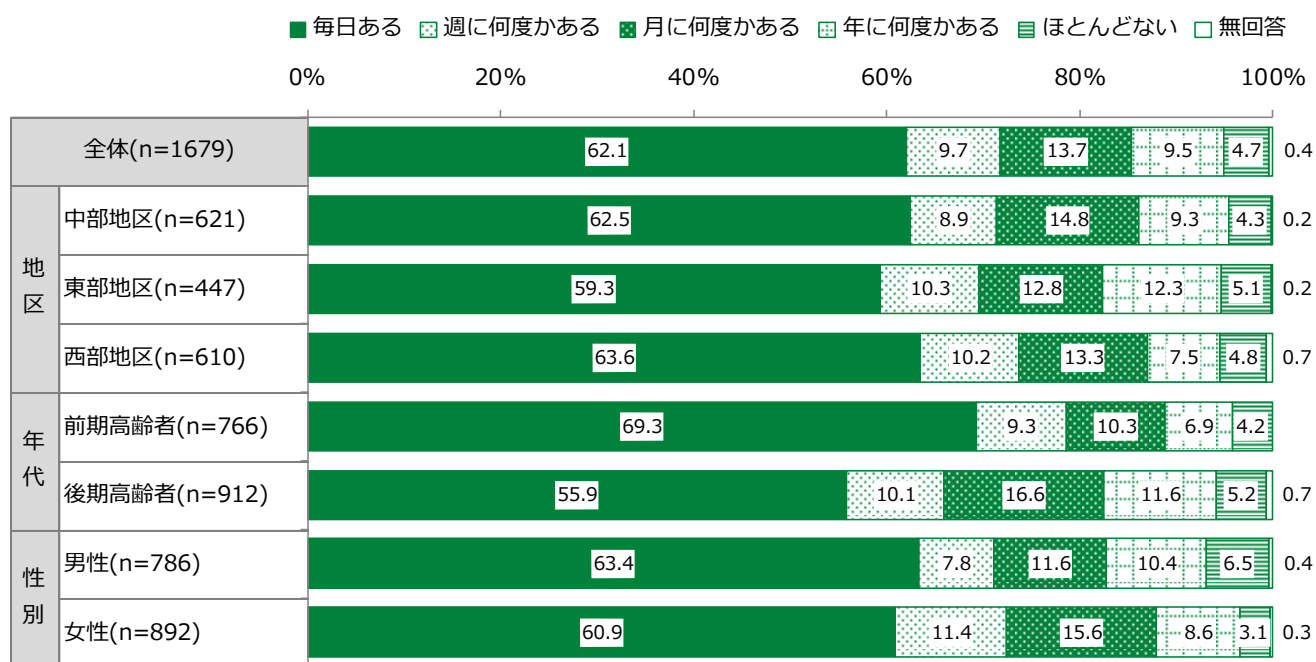
☑ 「毎日ある」が62.1%

人と食事をとにもする機会があるかについては、「毎日ある」が62.1%と最も高く、次いで「月に何度かある」(13.7%)、「週に何度かある」(9.7%)となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「毎日ある」が13.4ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 27 人と食事をとにもする機会の有無



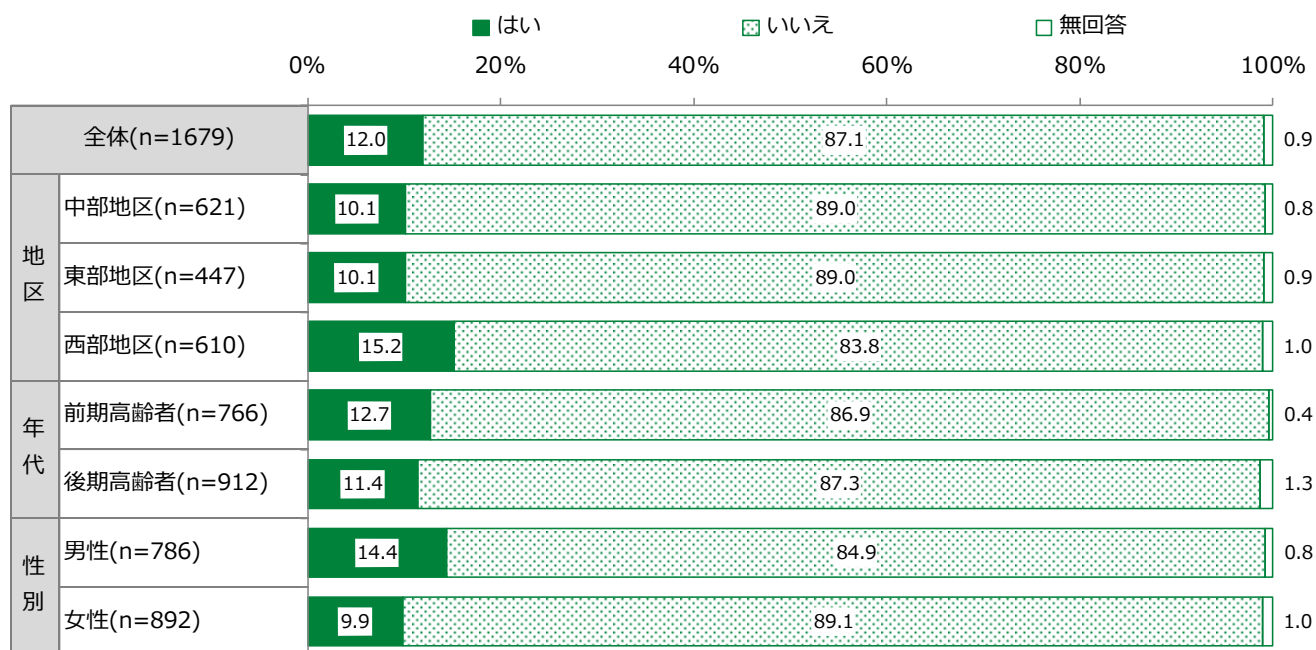
3. 急な体重減少の有無

問 20① 6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか。(○は 1 つ)

☑ 「はい」 が 12.0%

急な体重減少の有無については、「いいえ」が 87.1%、「はい」が 12.0%となっています。
地区別でみると、西部地区で「はい」が 5.1 ポイント、他の地区より高くなっています。
年代別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

図表 28 急な体重減少の有無



4. 固いものが食べにくくなったか

問 20② 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

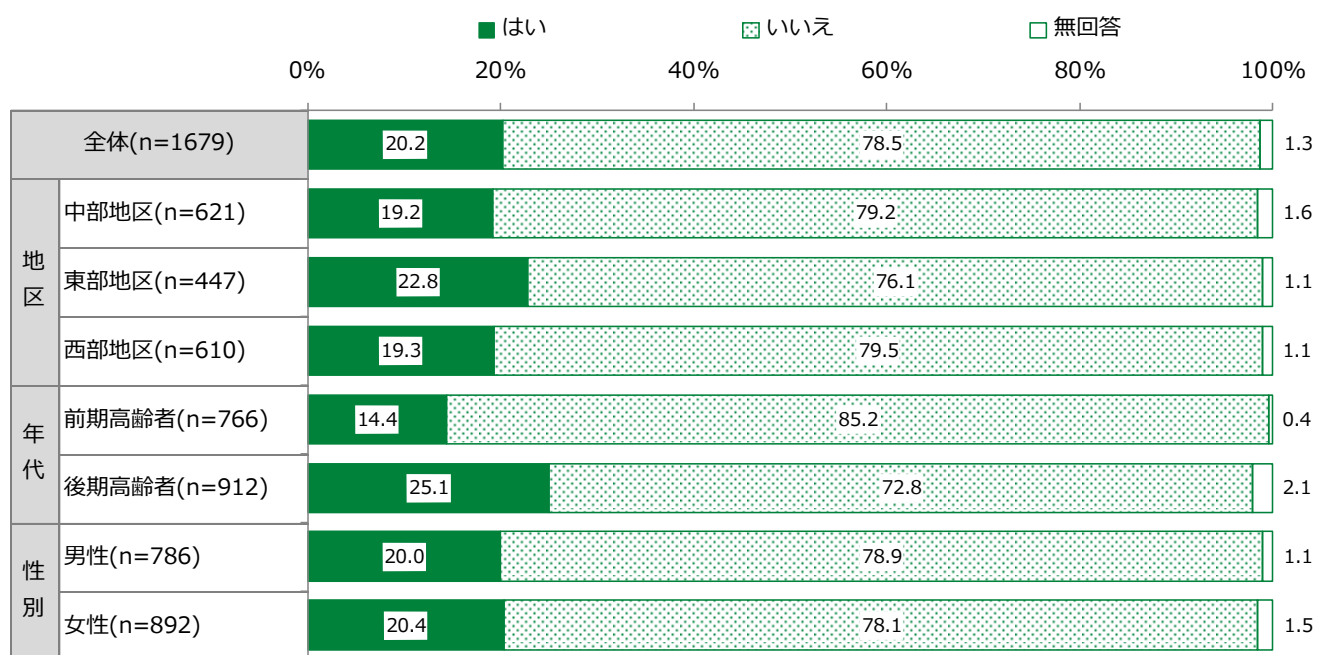
☒ 「はい」が20.2%

固いものが食べにくくなったかについては、「いいえ」が78.5%、「はい」が20.2%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で「はい」が10.7ポイント、前期高齢者より高くなっています。

図表 29 固いものが食べにくくなったか



5. お茶や汁物等でむせることがあるか

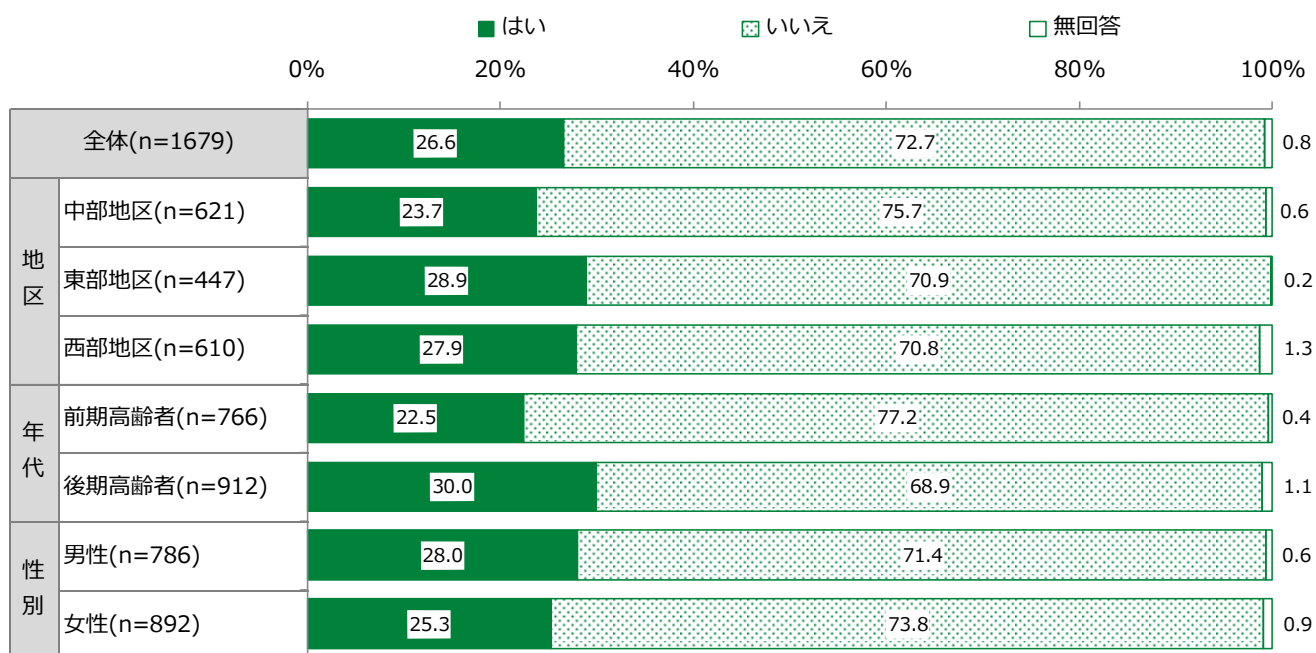
問 20③ お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

☒ 「はい」が26.6%

お茶や汁物等でむせることについては、「いいえ」が72.7%、「はい」が26.6%となっています。
地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で「はい」が7.5ポイント、前期高齢者より高くなっています。

図表 30 お茶や汁物等でむせることがあるか



6. 口の渇きが気になるか

問 20④ 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

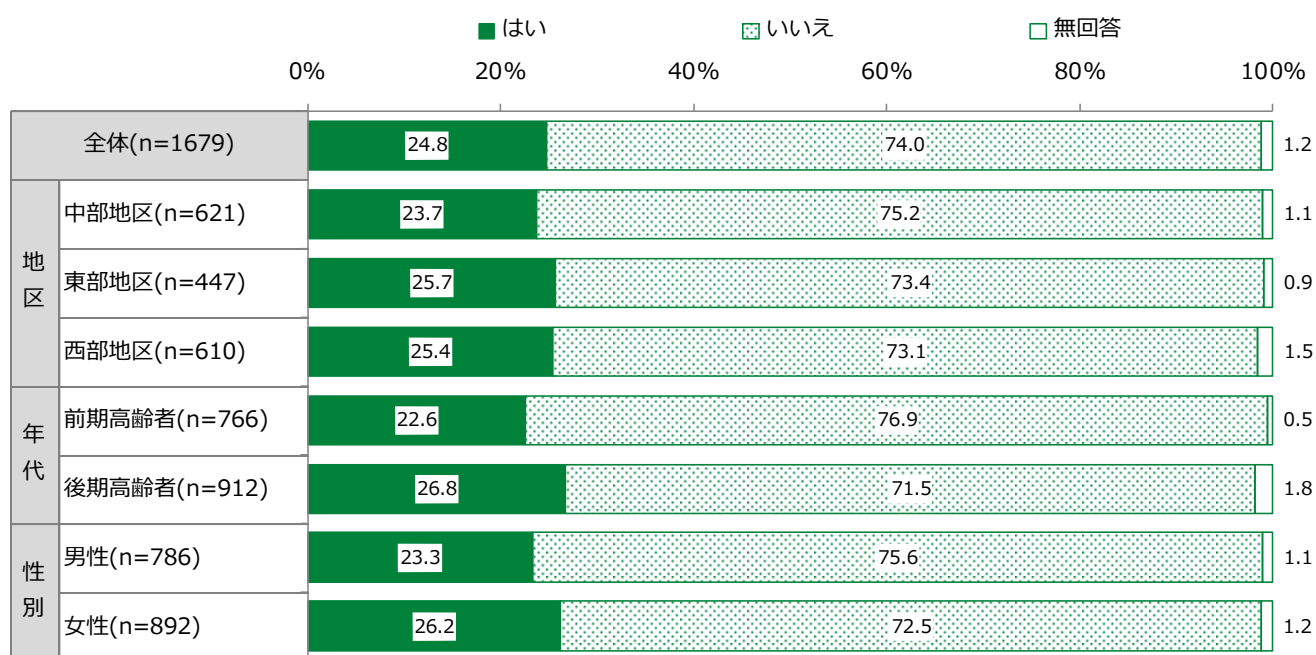
☑ 「はい」が24.8%

口の渇きが気になるかについては、「いいえ」が74.0%、「はい」が24.8%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が5.4ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 31 口の渇きが気になるか



7. 歯磨きの毎日の実施

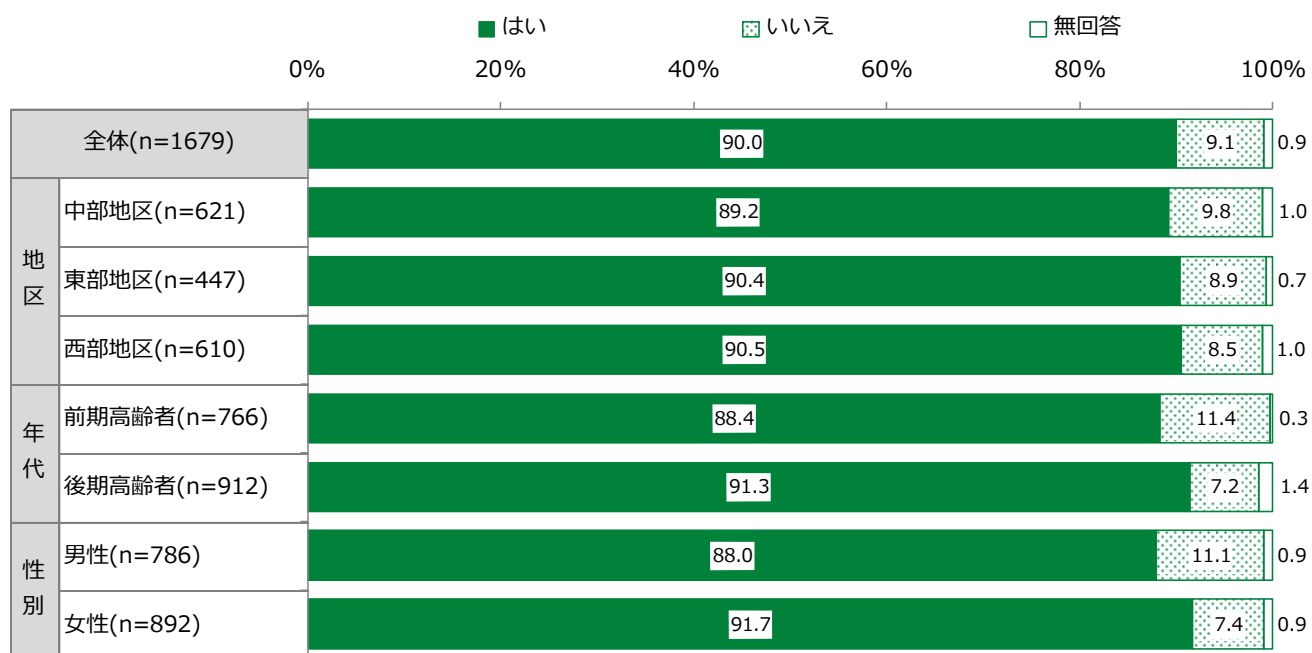
問 20⑤ 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○は1つ）

☑ 「はい」が90.0%

歯磨きの毎日の実施については、「はい」が90.0%、「いいえ」が9.1%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 32 歯磨きの毎日の実施



8. 歯の本数と入れ歯の利用状況

問 21 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

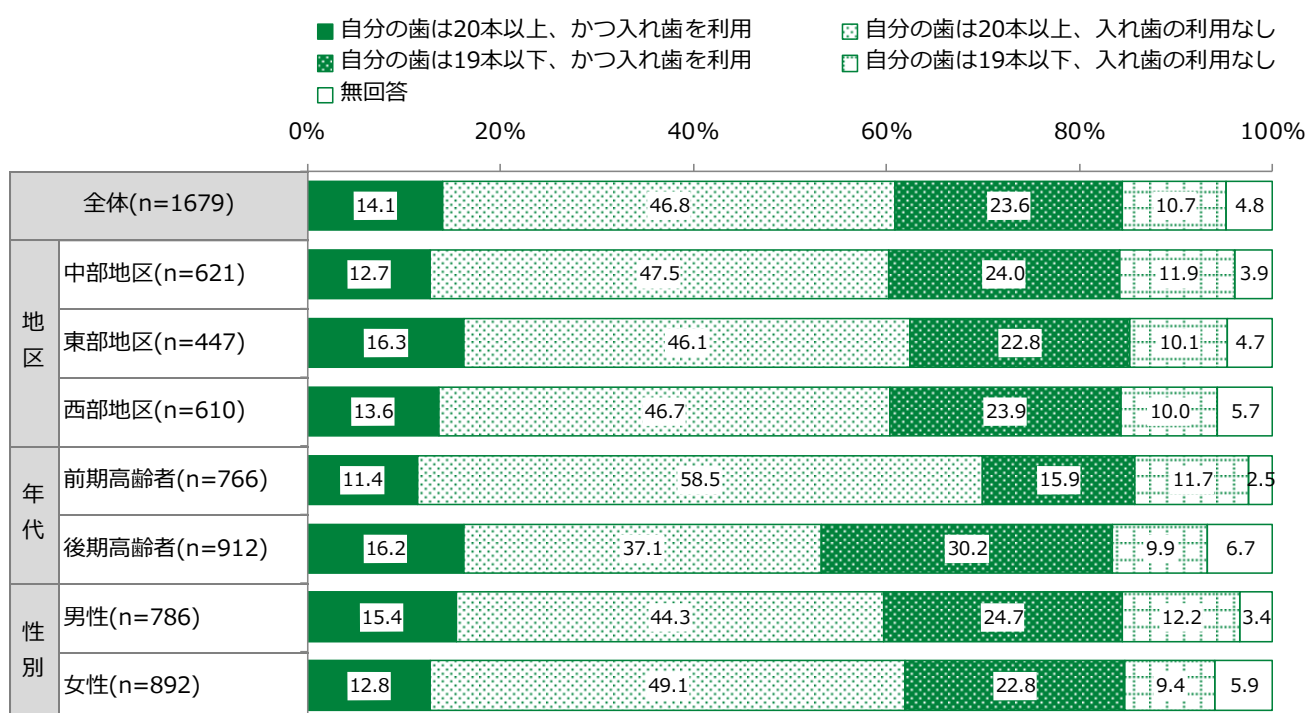
☑ 「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 46.8%

歯の本数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 46.8%と最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」(23.6%)、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」(14.1%)となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 21.4 ポイント、後期高齢者で「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 14.3 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

図表 33 歯の本数と入れ歯の利用状況



9. 入れ歯の手入れ

※問 21 で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」または「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」とお答えの方

問 21－1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は 1 つ)

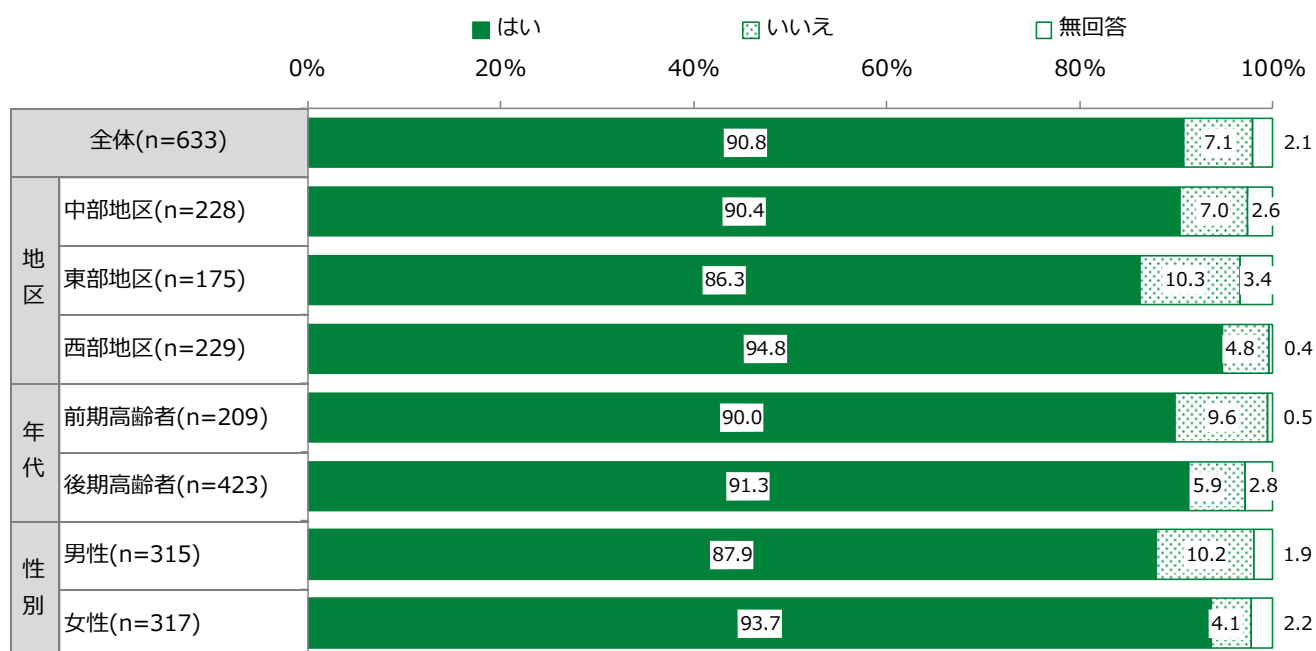
☑ 「はい」が 90.8%

毎日入れ歯の手入れを行っているかについては、「はい」が 90.8%、「いいえ」が 7.1%となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると、男性で「いいえ」が 6.1 ポイント、女性より高くなっています。

図表 34 入れ歯の手入れ



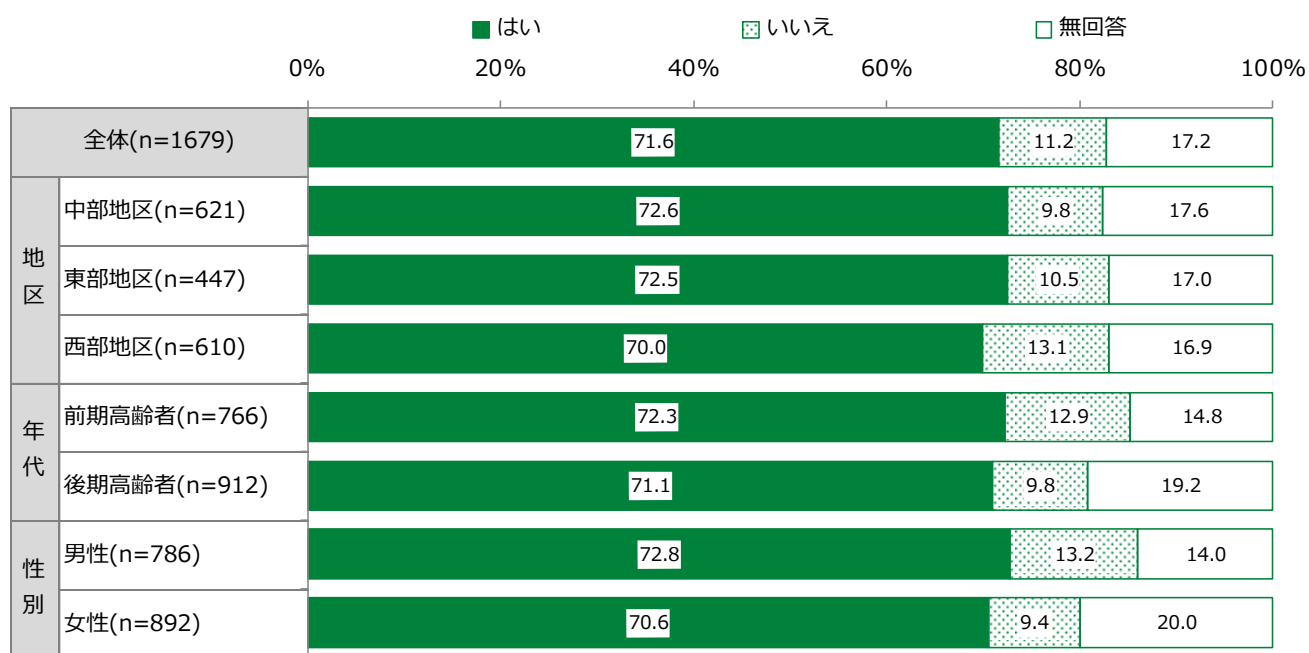
10. 歯の噛み合わせ

問 22 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

☑ 「はい」が71.6%

歯の噛み合わせがよいかについては、「はい」が71.6%、「いいえ」が11.2%となっています。
地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 35 歯の噛み合わせ



5. 健康状態・毎日の生活について

1. 現在の健康状態

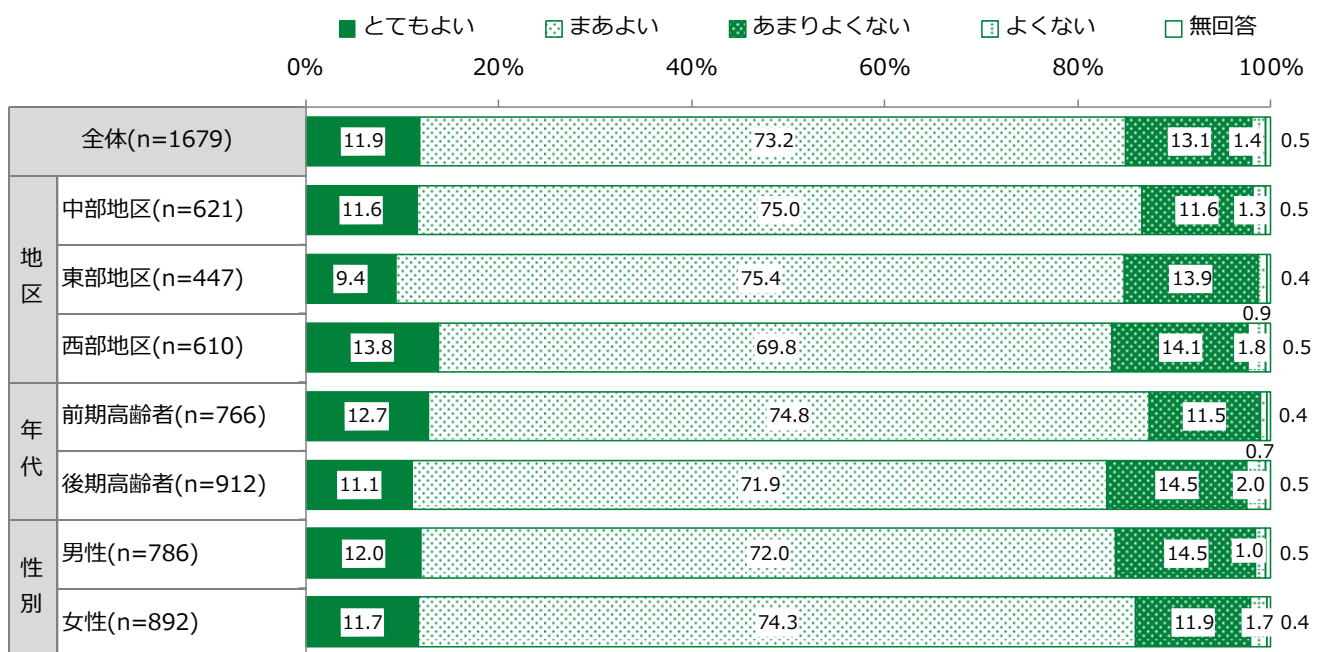
問 23 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

☑ 「まあよい」が73.2%

現在の健康状態については、「まあよい」が73.2%と最も高くなっています。また、“健康状態がよい”（「とてもよい」＋「まあよい」）が85.1%、“健康状態がよくない”（「あまりよくない」＋「よくない」）が14.5%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 36 現在の健康状態



2. 現在治療中、または後遺症のある病気

問 24 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

☑ 「高血圧」が42.9%

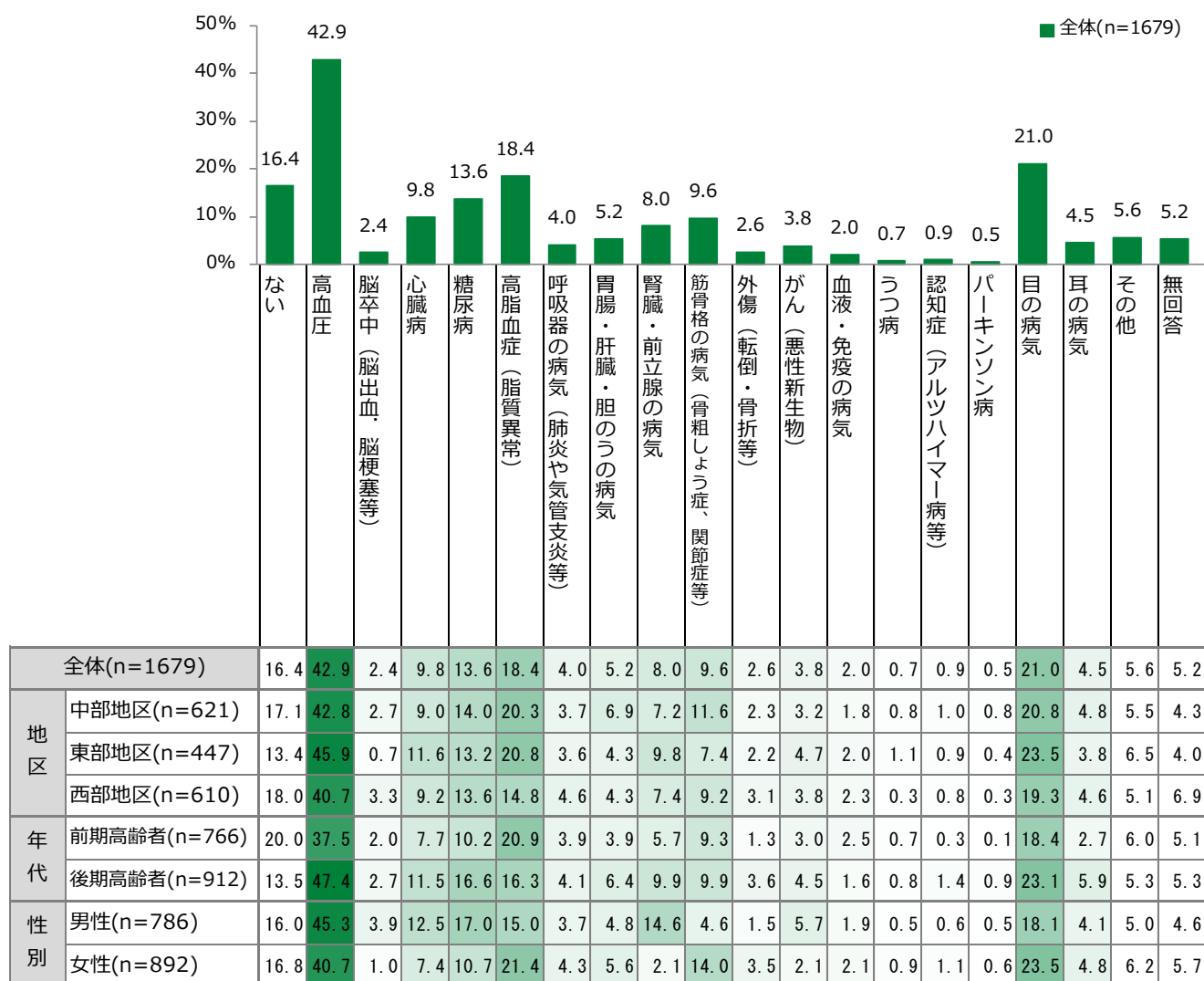
現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が42.9%と最も高く、次いで「目の病気」(21.0%)、「高脂血症(脂質異常)」(18.4%)となっています。また、「ない」が16.4%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「ない」が6.5ポイント、後期高齢者で「高血圧」が9.9ポイント、「糖尿病」が6.4ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、男性で「腎臓・前立腺の病気」が12.5ポイント、「糖尿病」が6.3ポイント、「心臓病」が5.1ポイント、女性で「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が9.4ポイント、「高脂血症(脂質異常)」が6.4ポイント、「目の病気」が5.4ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 37 現在治療中、または後遺症のある病気



3. 飲酒習慣

問 25 お酒は飲みますか。(○は1つ)

☑ 「もともと飲まない」が32.5%

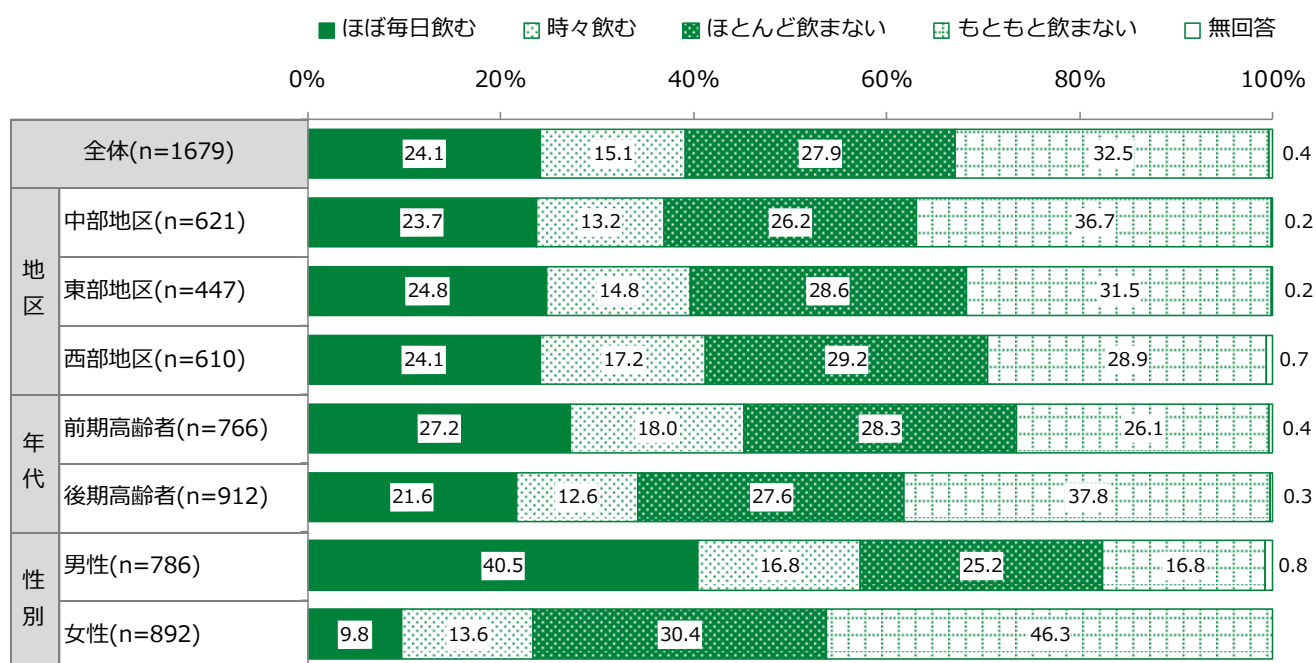
飲酒習慣については、「もともと飲まない」が32.5%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」(27.9%)、「ほぼ毎日飲む」(24.1%)となっています。

地区別でみると、西部地区では「ほとんど飲まない」が最も高く、中部地区で「もともと飲まない」が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者では「ほとんど飲まない」が最も高くなっています。

性別でみると、男性では「ほぼ毎日飲む」が最も高くなっています。

図表 38 飲酒習慣



4. 喫煙習慣

問 26 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

☑ 「もともと吸っていない」が58.9%

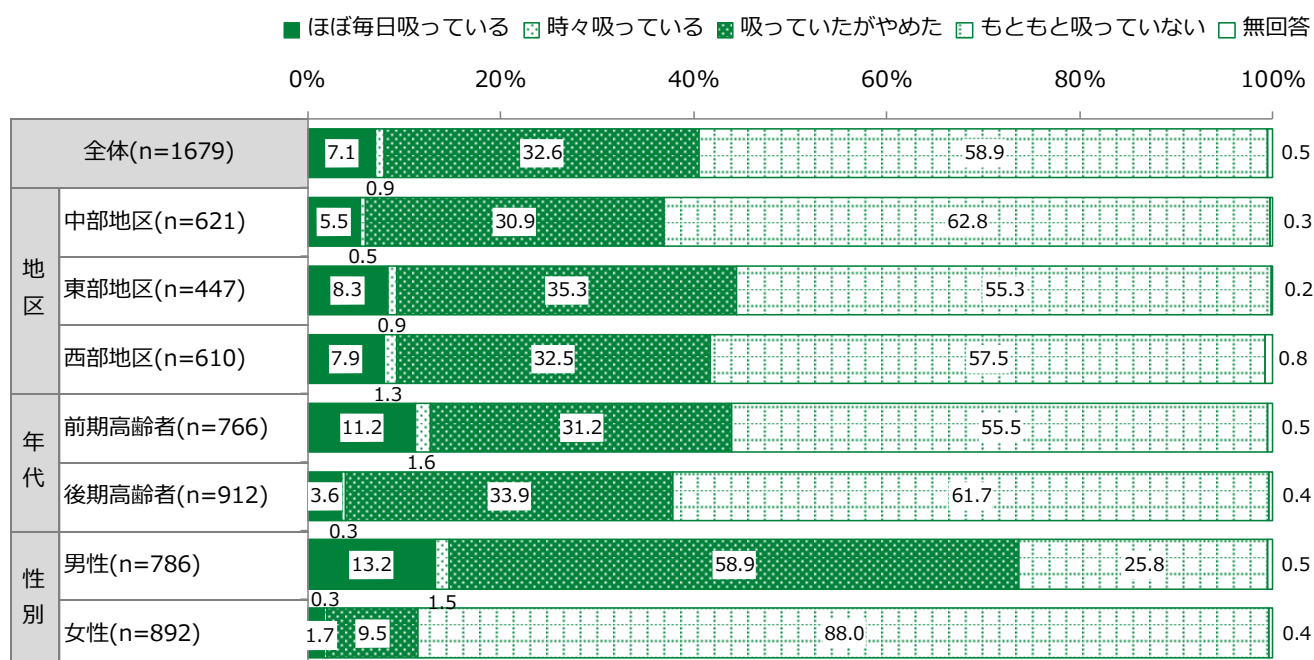
喫煙習慣については、「もともと吸っていない」が58.9%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」(32.6%)となっています。

地区別でみると、中部地区で「もともと吸っていない」が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「ほぼ毎日吸っている」が7.6ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性では「吸っていたがやめた」が最も高く、「ほぼ毎日吸っている」が11.5ポイント、女性より高くなっています。

図表 39 喫煙習慣



5. バスや電車を使って一人で外出すること

問 27 バスや電車を使って一人で外出していますか。（自家用車でも可）（○は1つ）

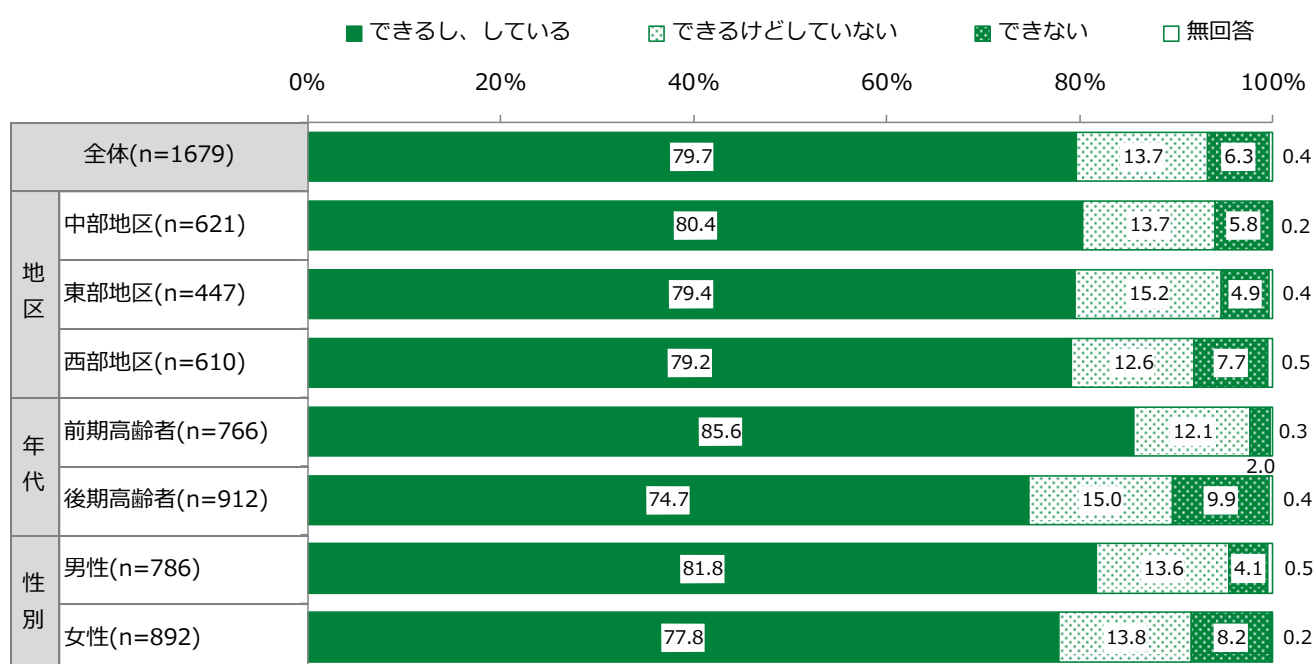
☑ 「できるし、している」が 79.7%

バスや電車を使って一人で外出しているかについては、「できるし、している」が 79.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」（13.7%）、「できない」（6.3%）となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が 10.9 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 40 バスや電車を使って一人で外出すること



6. 食品・日用品の買物

問 28 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(〇は1つ)

☑ 「できるし、している」が 83.6%

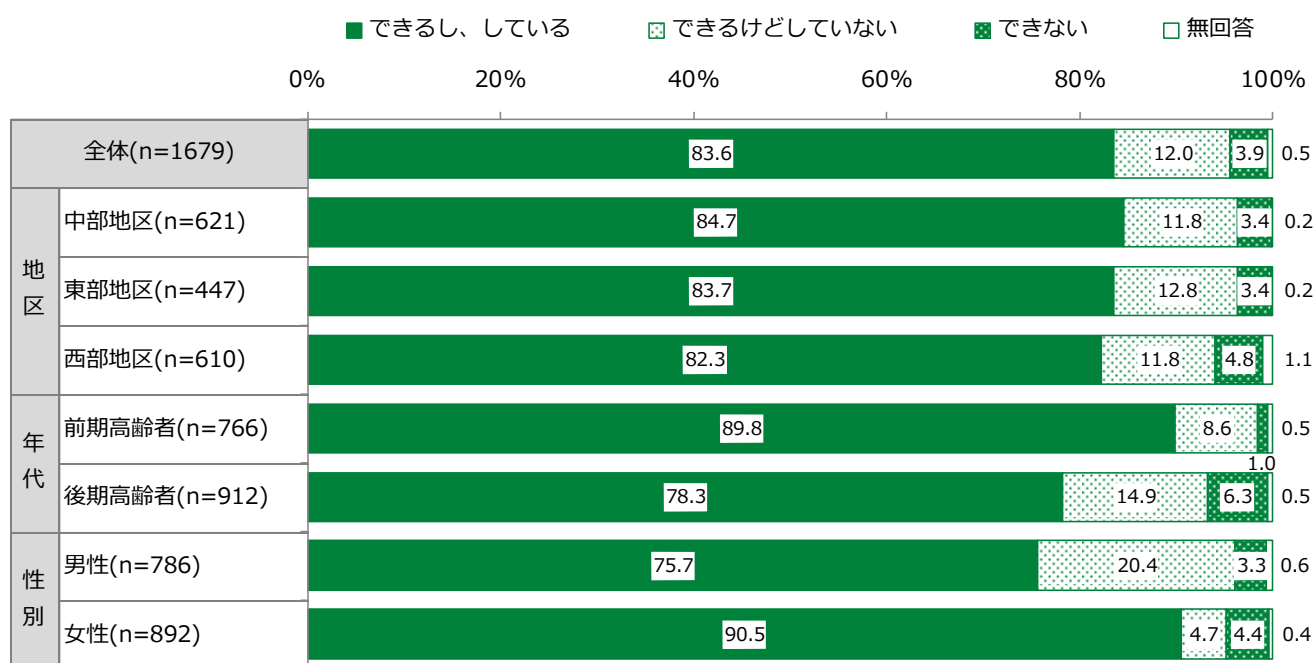
食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が 83.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(12.0%)、「できない」(3.9%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が 11.5 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「できるけどしていない」が 15.7 ポイント、女性より高くなっています。

図表 41 食品・日用品の買物



7. 食事の用意

問 29 自分で食事の用意をしていますか。(〇は1つ)

☑ 「できるし、している」が72.0%

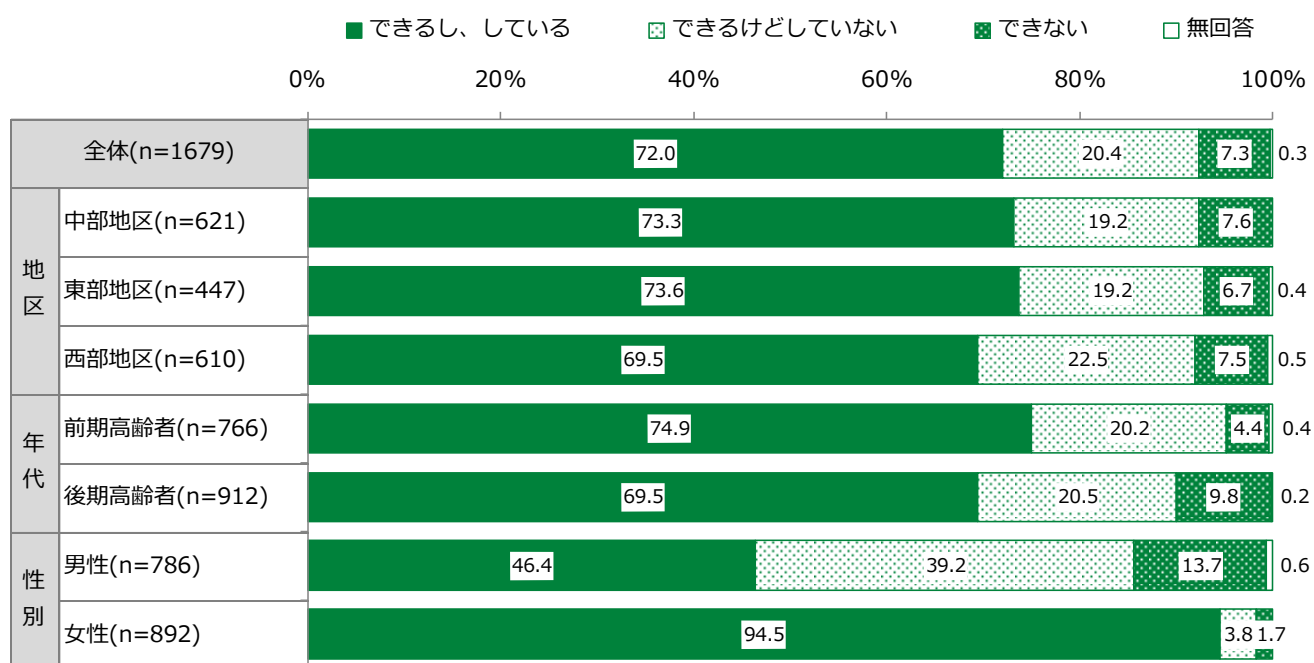
食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が72.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(20.4%)、「できない」(7.3%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が5.4ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「できるし、している」が48.1ポイント、男性より高くなっています。

図表 42 食事の用意



8. 請求書の支払い

問 30 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

☑ 「できるし、している」が83.7%

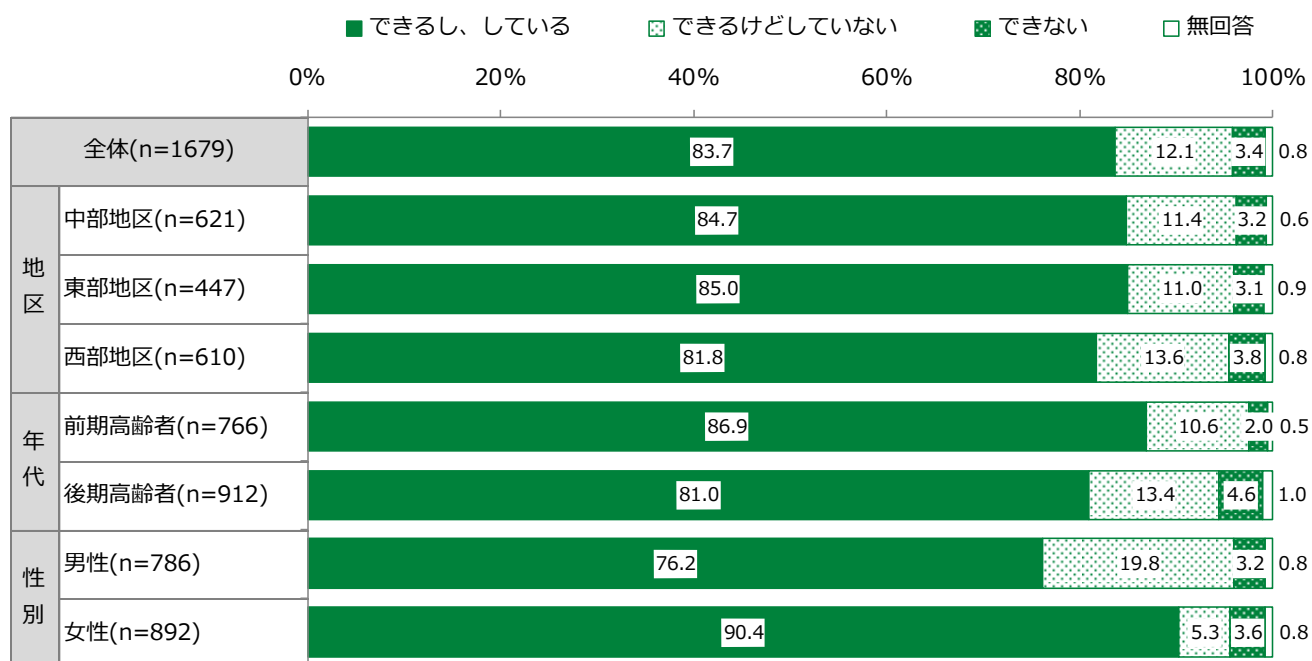
自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が83.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(12.1%)、「できない」(3.4%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が5.9ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「できるし、している」が14.2ポイント、男性より高くなっています。

図表 43 請求書の支払い



9. 預貯金の出し入れ

問 31 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

☑ 「できるし、している」が86.2%

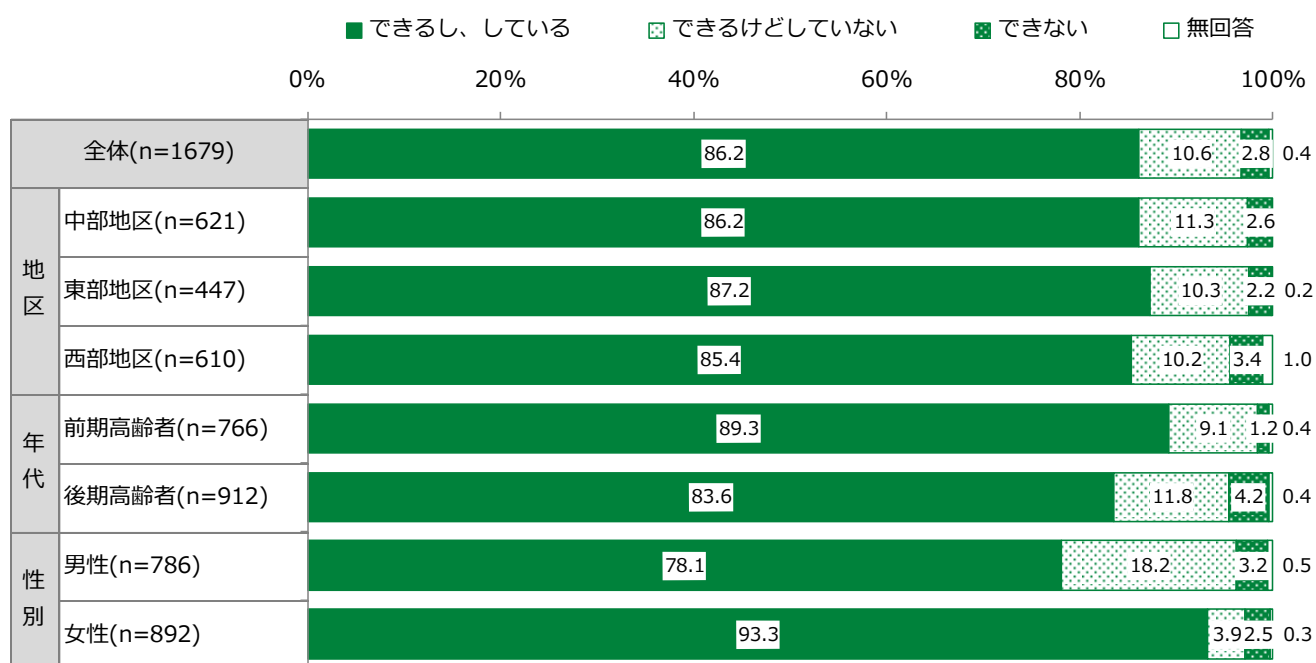
自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が86.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(10.6%)、「できない」(2.8%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が5.7ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「できるし、している」が15.2ポイント、男性より高くなっています。

図表 44 預貯金の出し入れ



10.新聞を読むこと

問 32① 新聞を読んでいますか。(○は1つ)

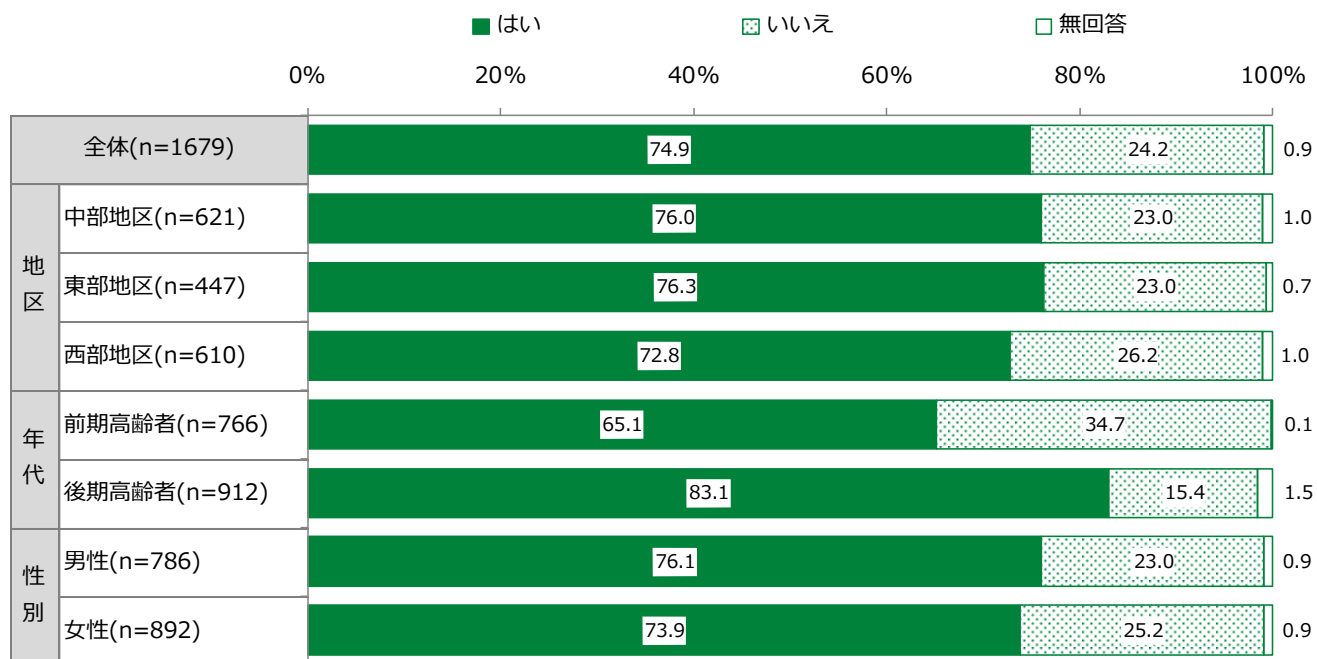
☑ 「はい」が74.9%

新聞を読んでいるかについては、「はい」が74.9%、「いいえ」が24.2%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が19.3ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 45 新聞を読むこと



11.健康についての記事や番組への関心

問 32② 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

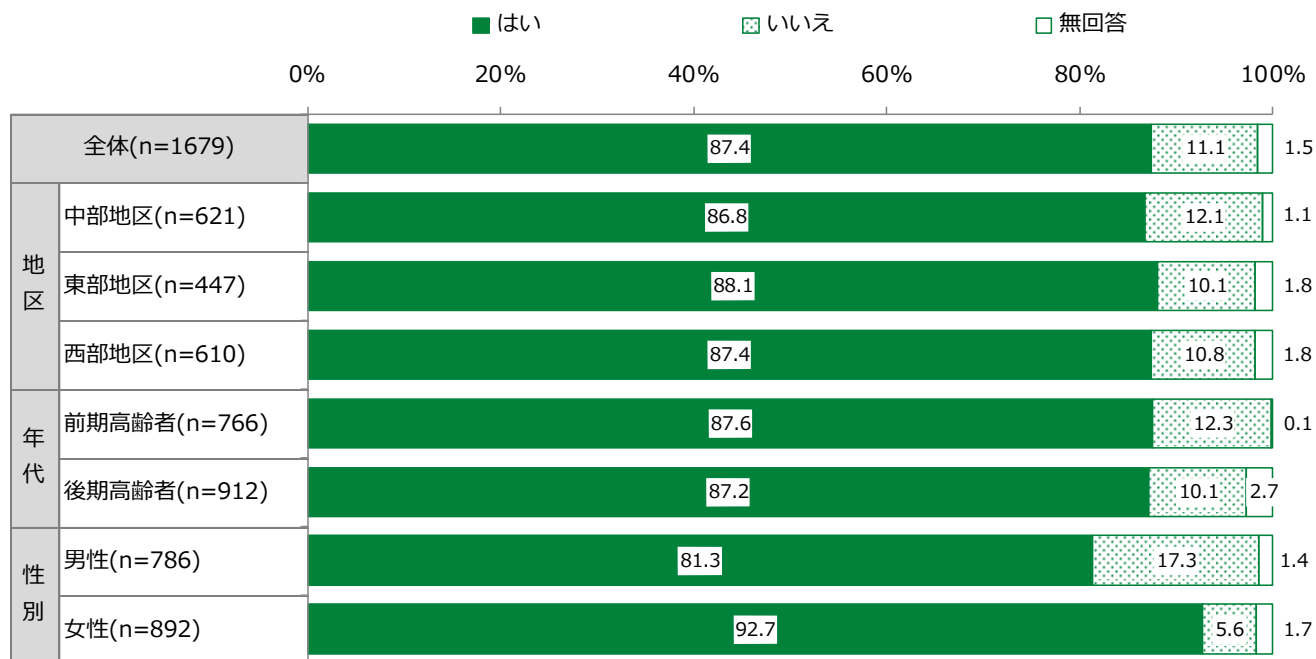
☑ 「はい」が87.4%

健康についての記事や番組に関心があるかについては、「はい」が87.4%、「いいえ」が11.1%となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると、男性で「いいえ」が11.7ポイント、女性より高くなっています。

図表 46 健康についての記事や番組への関心



12.友人の家を訪ねること

問 32③ 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

☑ 「はい」 が 39.8%

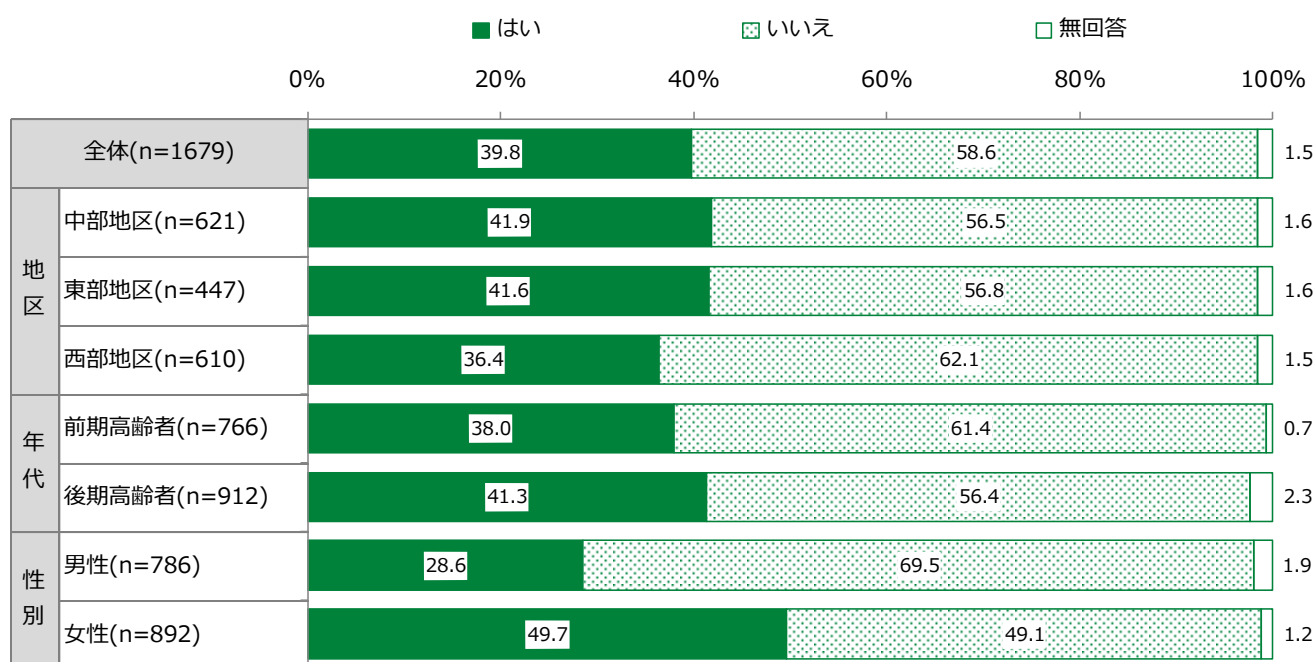
友人の家を訪ねているかについては、「いいえ」が58.6%、「はい」が39.8%となっています。

地区別でみると、西部地区では「いいえ」が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が5.0ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「はい」が21.1ポイント、男性より高くなっています。

図表 47 友人の家を訪ねること



13. 家族や友人の相談にのること

問 32④ 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

☑ 「はい」が77.1%

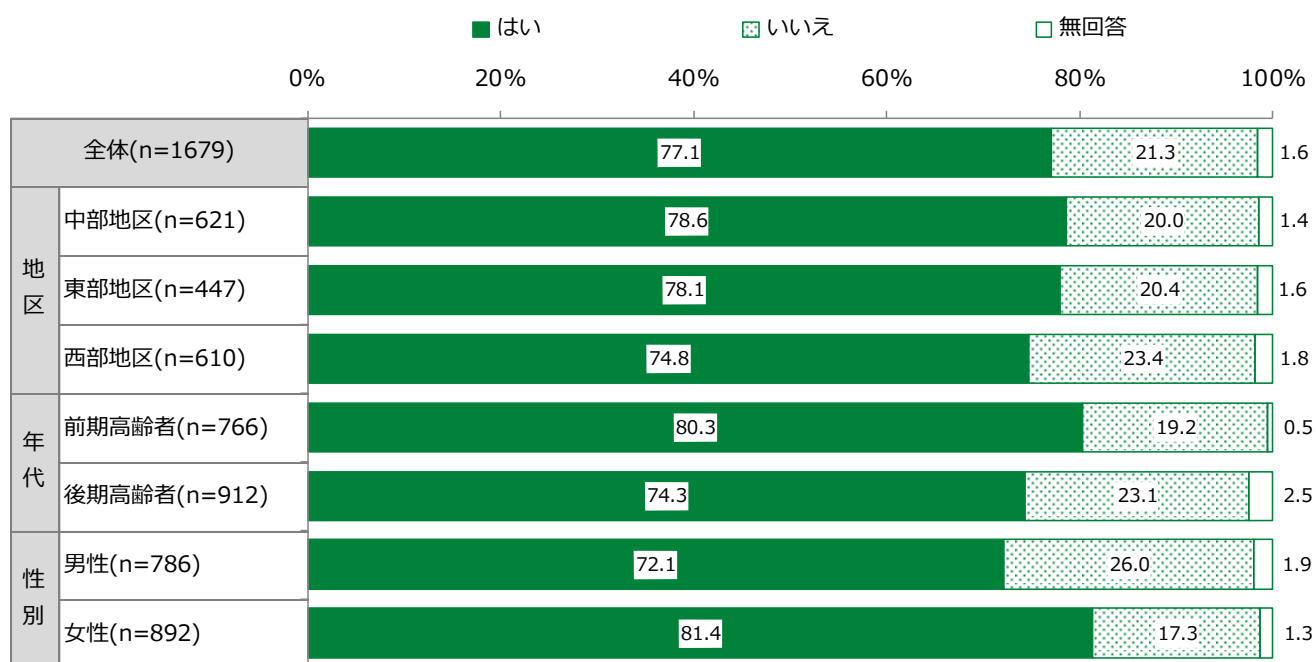
家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が77.1%、「いいえ」が21.3%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「はい」が6.0ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「はい」が9.3ポイント、男性より高くなっています。

図表 48 家族や友人の相談にのること



14. 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすること

問 32⑤ この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(○は1つ)

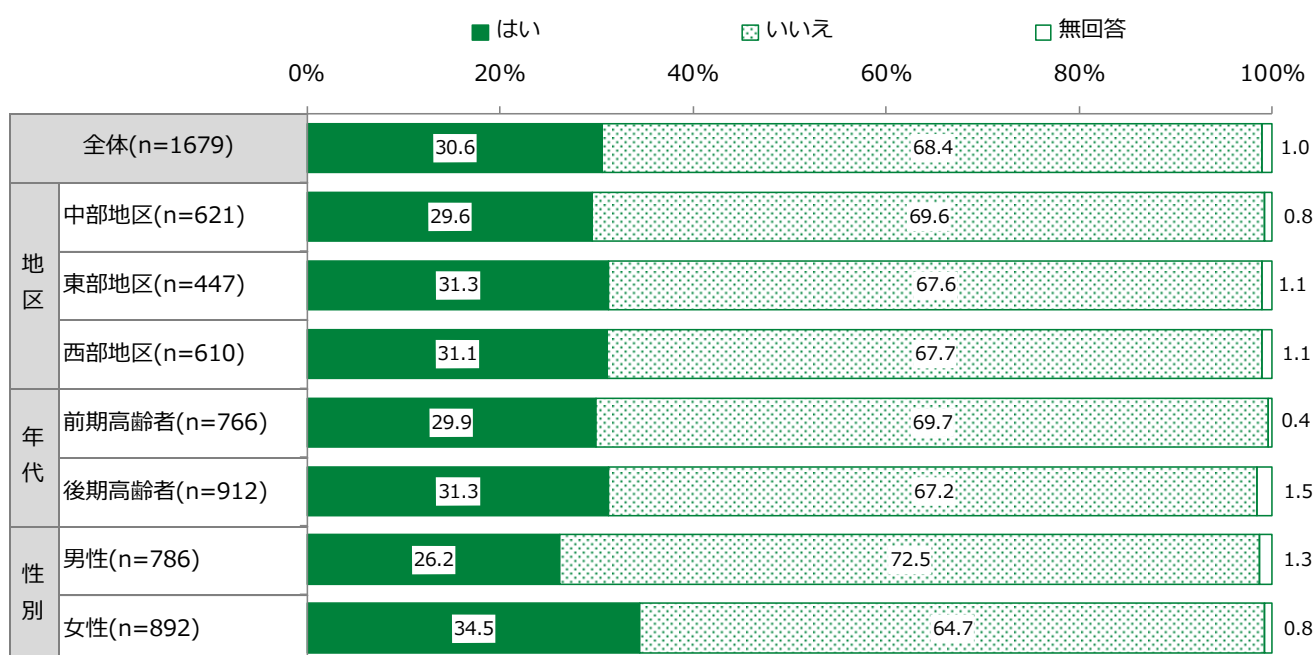
☑ 「いいえ」が68.4%

気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「いいえ」が68.4%、「はい」が30.6%となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると、女性で「はい」が8.3ポイント、男性より高くなっています。

図表 49 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすること



15.物忘れの状況

問 32⑥ 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

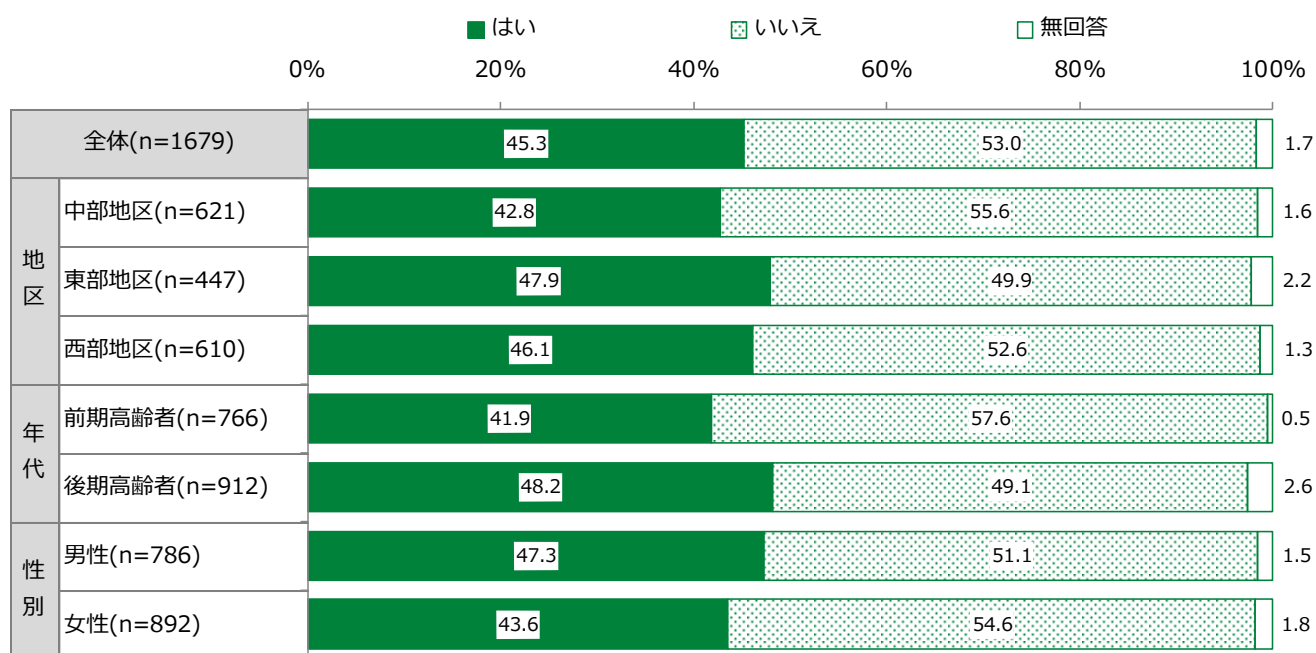
☑ 「はい」が45.3%

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が45.3%、「いいえ」が53.0%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が8.5ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 50 物忘れの状況



16.電話番号を調べてかけること

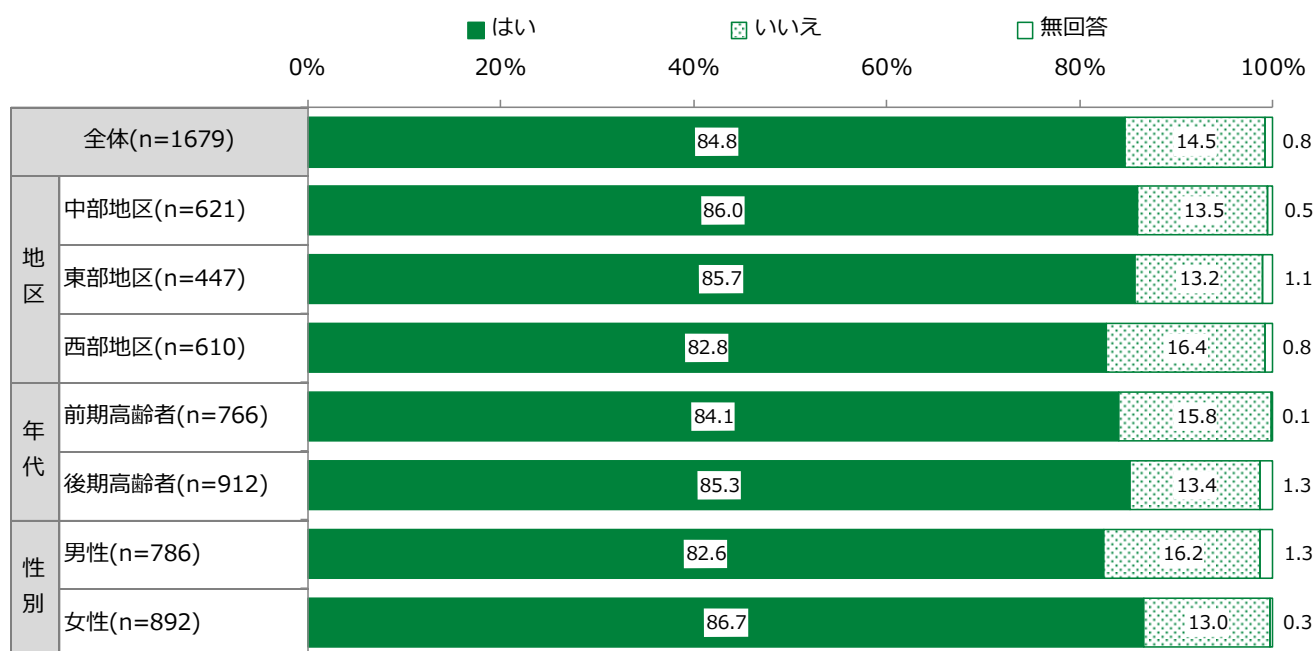
問 32⑦ 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

☒ 「はい」が84.8%

電話番号を調べてかけることをしているかについては、「はい」が84.8%、「いいえ」が14.5%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 51 電話番号を調べてかけること



17. 今日の日付がわからないこと

問 32⑧ 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

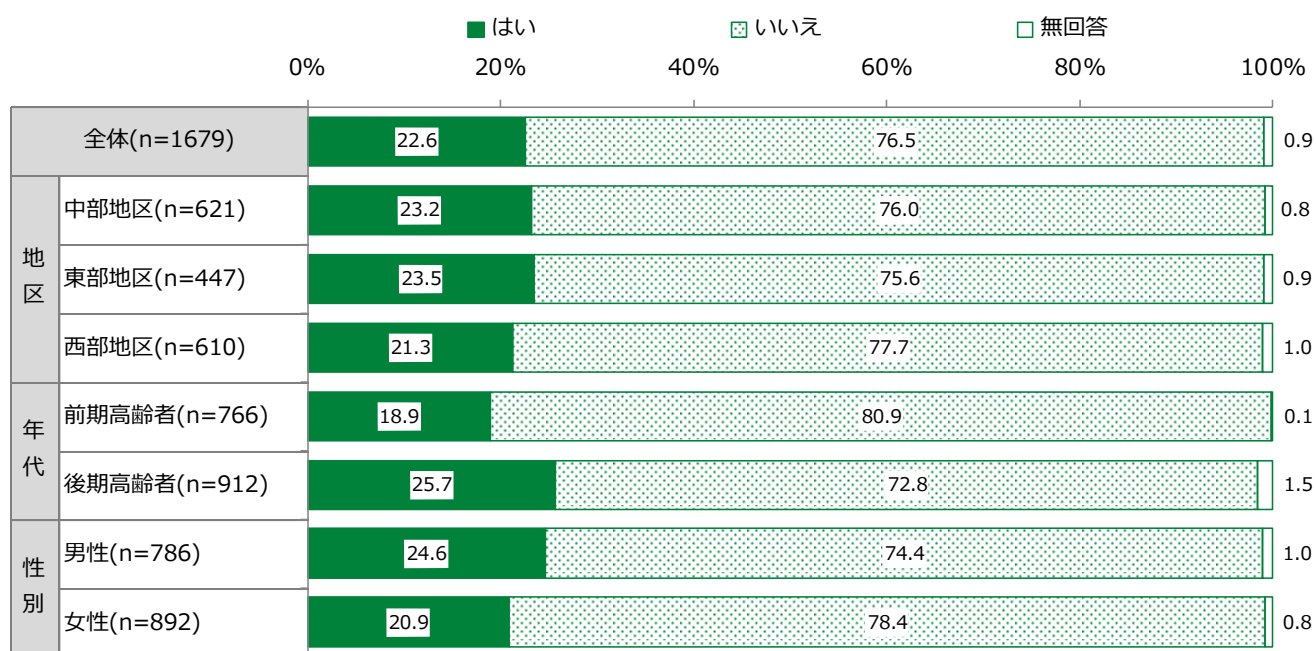
☒ 「はい」が22.6%

今日の日付がわからない時があるかについては、「いいえ」が76.5%、「はい」が22.6%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が8.1ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 52 今日の日付がわからないこと



18.物事に対して興味がわかない、心から楽しめないこと

問 32⑨ この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇は1つ)

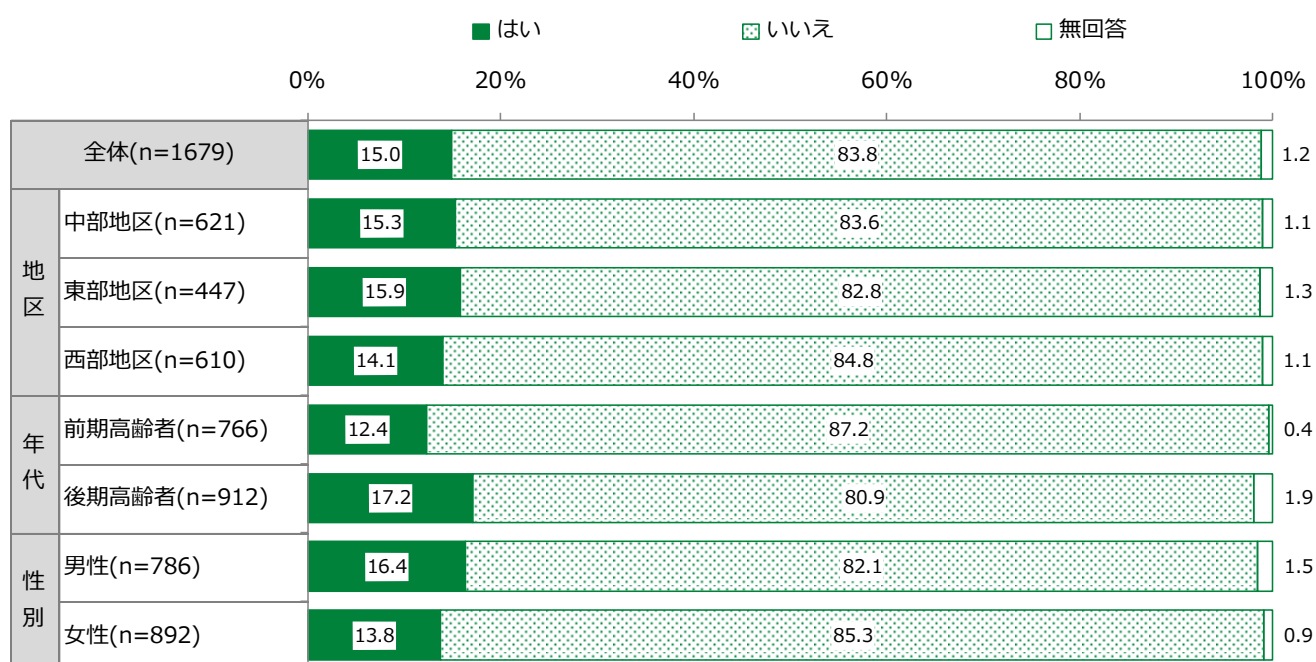
☑ 「はい」が15.0%

物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかについては、「いいえ」が83.8%、「はい」が15.0%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が6.3ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 53 物事に対して興味がわかない、心から楽しめないこと



19.生活の充実感

問 32⑩ （ここ 2 週間）毎日の生活に充実感がない。（○は 1 つ）

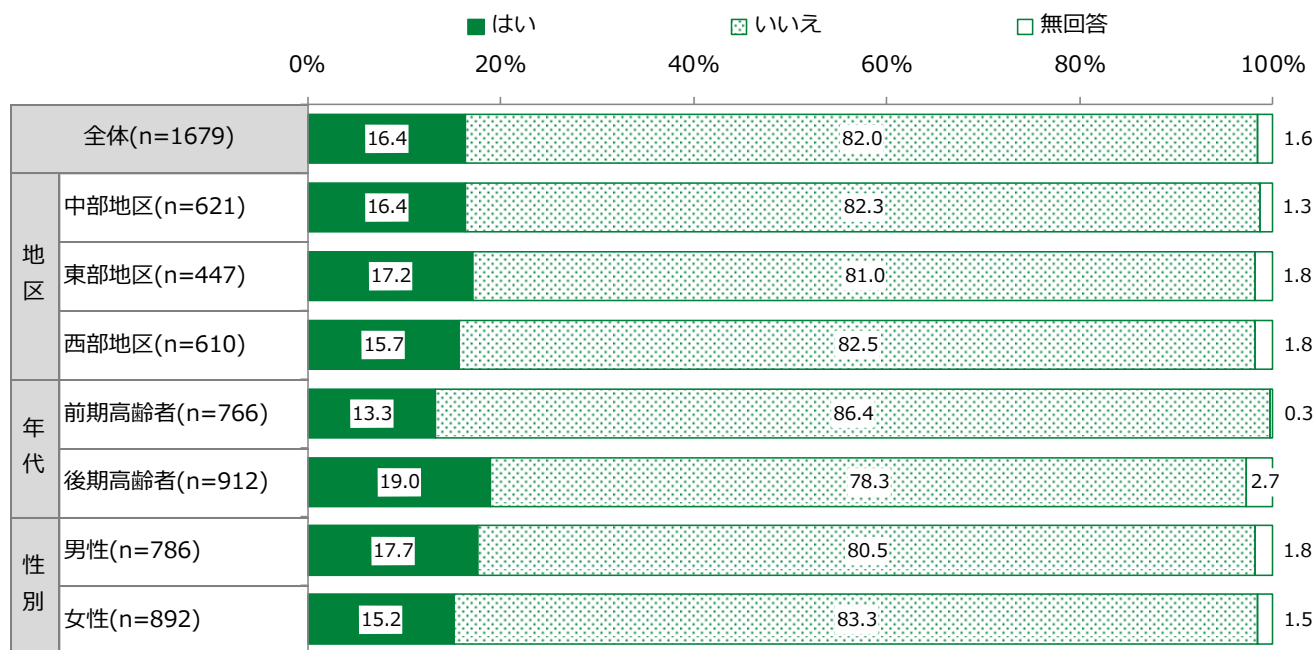
☑ 「はい」（充実感がない）が 16.4%

毎日の生活に充実感がないかについては、「いいえ」（充実感がある）が 82.0%、「はい」（充実感がない）が 16.4%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が 8.1 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 54 生活の充実感



20.物事を楽しめなくなったこと

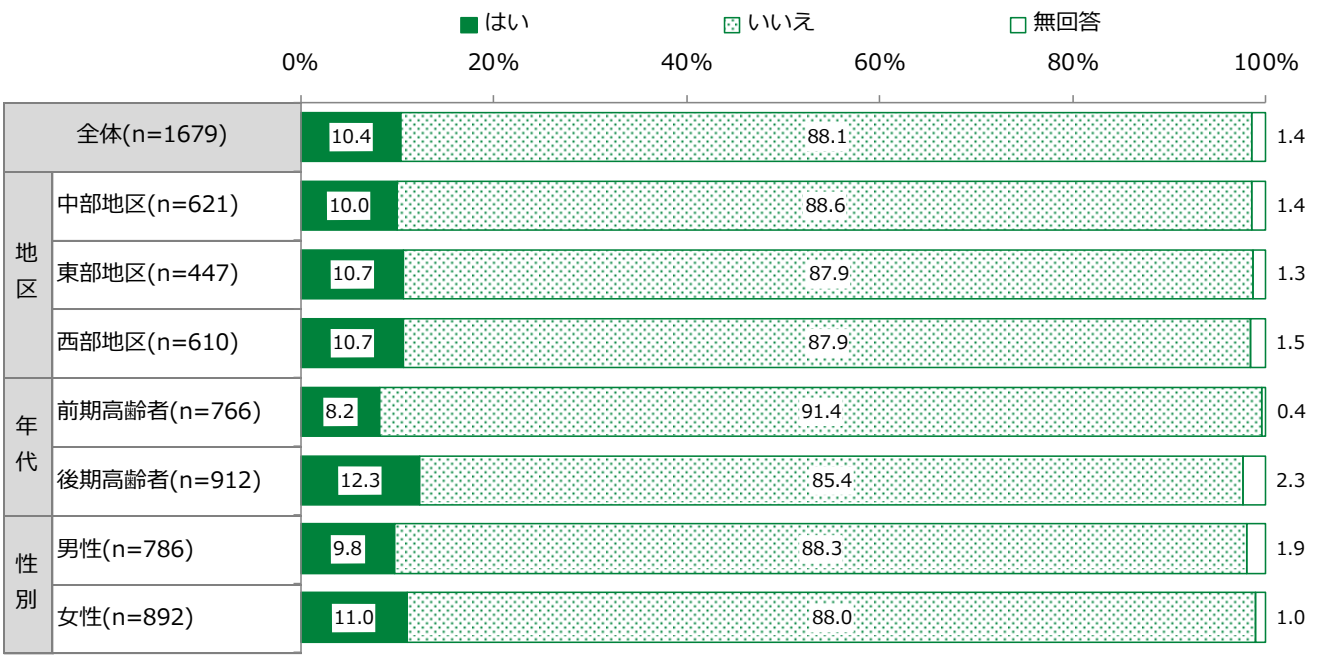
問 32⑪ （ここ 2 週間）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった。（○は 1 つ）

☑ 「はい」 が 10.4%

これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったかについては、「いいえ」が 88.1%、「はい」が 10.4%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。
年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が 6.0 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 55 物事を楽しめなくなったこと



21.物事がおっくうに感じられること

問 32⑫ （ここ 2 週間）以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる。（○は 1 つ）

☒ 「はい」 が 22.8%

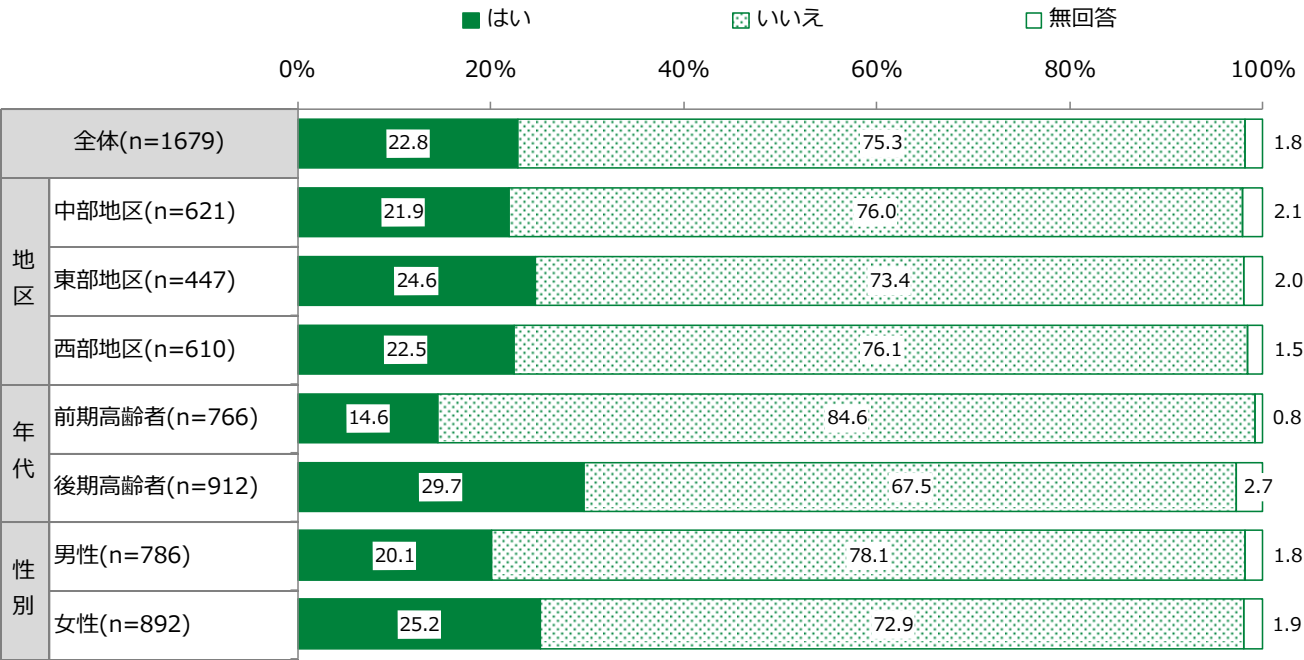
以前は楽にできていたことがおっくうに感じられるかについては、「いいえ」が 75.3%、「はい」が 22.8%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が 17.1 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「いいえ」が 5.2 ポイント、女性より高くなっています。

図表 56 物事がおっくうに感じられること



22.自分が役に立つ人間だと思えないこと

問 32⑬ （ここ 2 週間）自分が役に立つ人間だと思えない。（○は 1 つ）

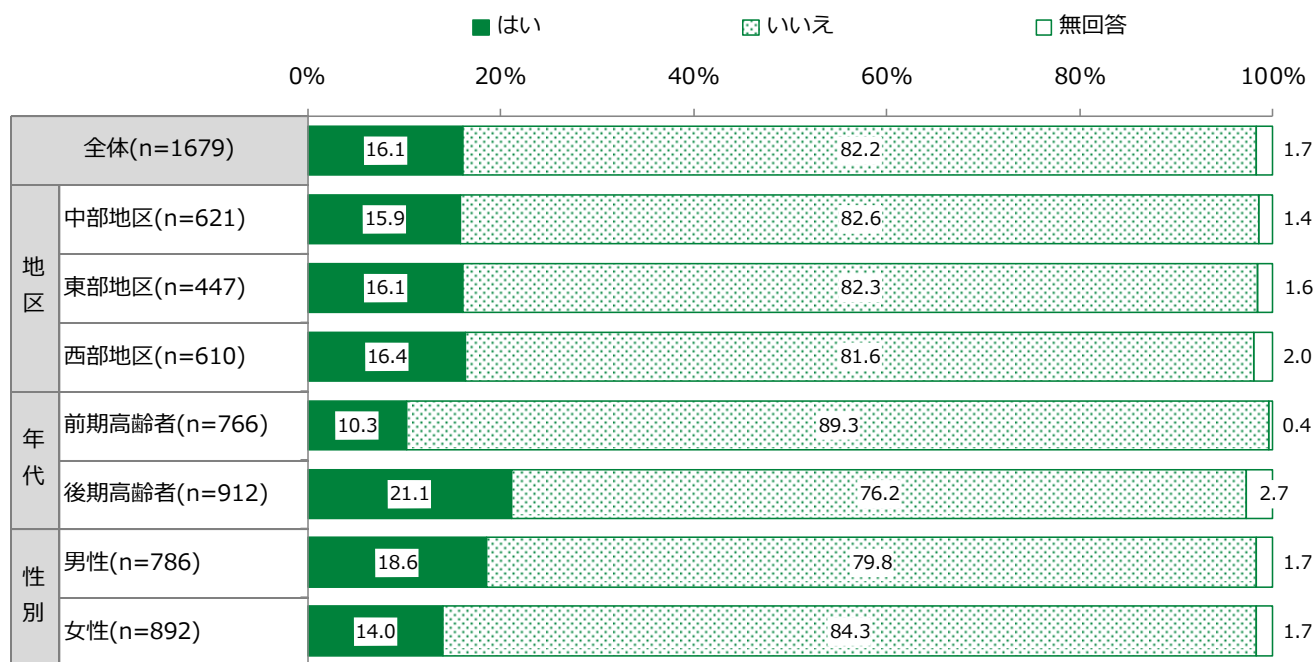
☑ 「はい」（役に立つ人間だと思えない）が 16.1%

自分が役に立つ人間だと思えないかについては、「いいえ」（役に立つ人間だと思う）が 82.2%、「はい」（役に立つ人間だと思えない）が 16.1%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が 13.1 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 57 自分が役に立つ人間だと思えないこと



23.わけもなく疲れたように感じること

問 32⑭ （ここ 2 週間）わけもなく疲れたような感じがする。（○は 1 つ）

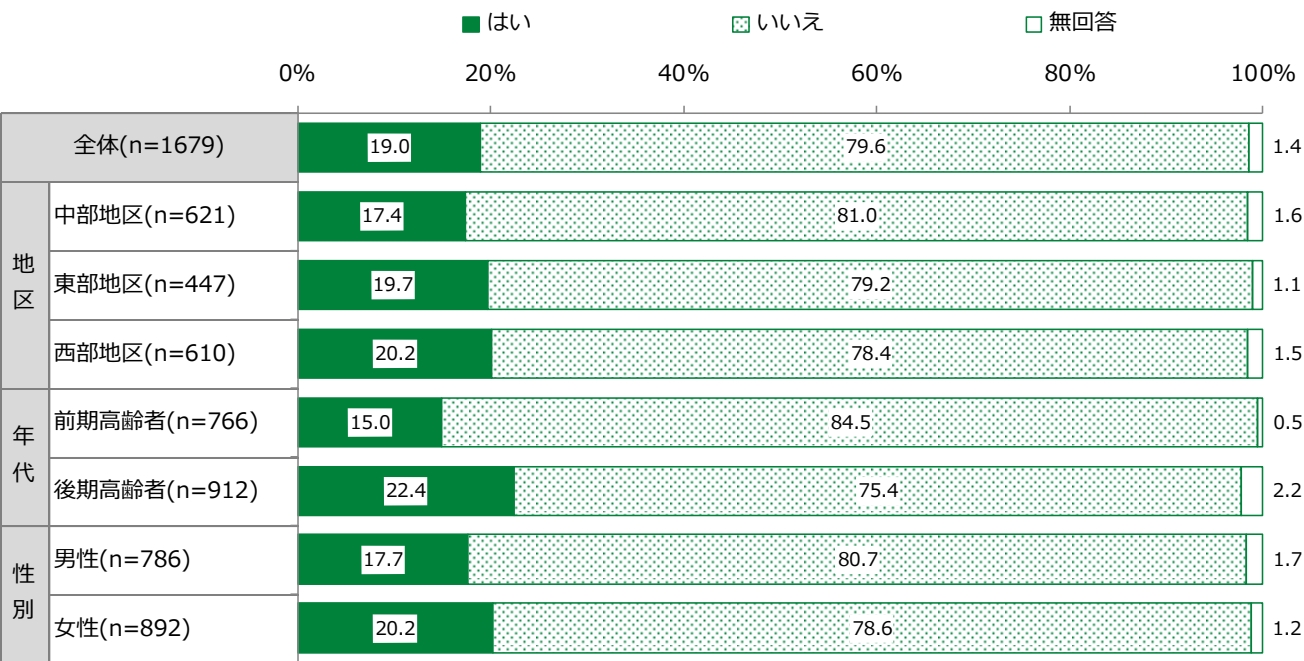
☒ 「はい」 が 19.0%

わけもなく疲れたような感じがするかについては、「いいえ」が 79.6%、「はい」が 19.0%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が 9.1 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 58 わけもなく疲れたように感じること



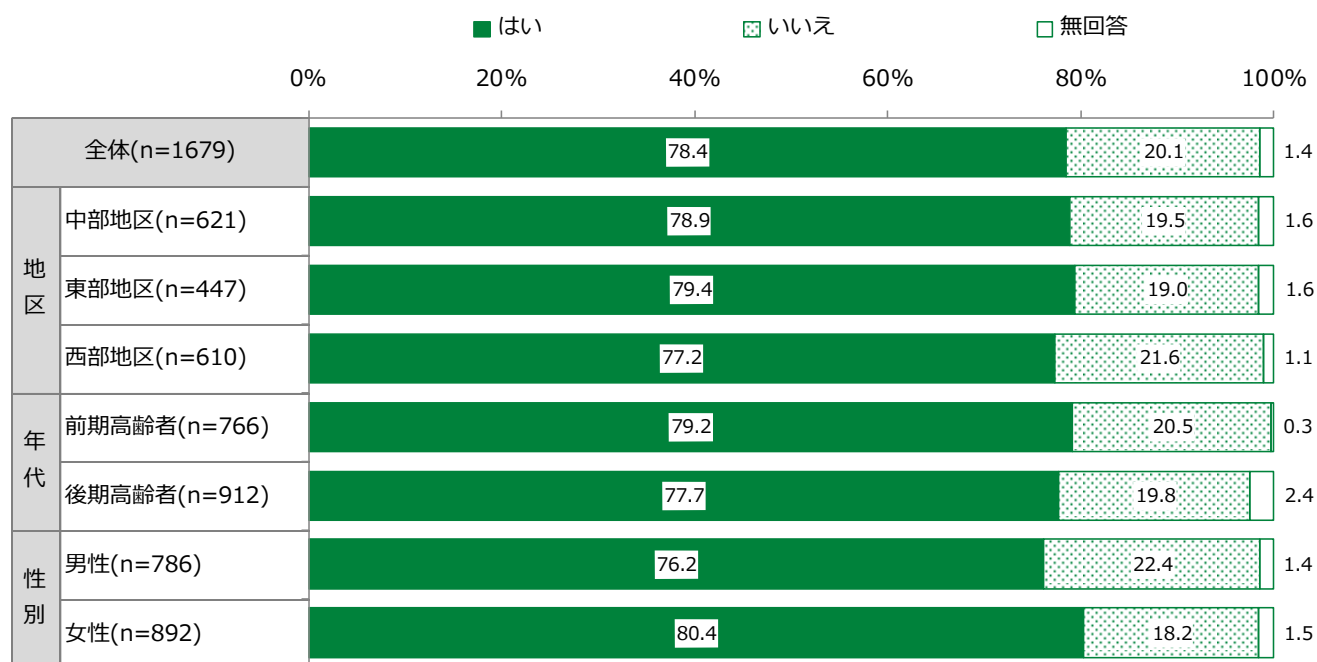
24.生活への満足感

問 32⑮ 今の生活に満足していますか。(○は1つ)

☑ 「はい」が78.4%

今の生活に満足しているかについては、「はい」が78.4%、「いいえ」が20.1%となっています。
地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 59 生活への満足感



25.生きていても仕方がないと思うこと

問 32⑯ 生きていても仕方がないという気持ちになることがありますか。(○は1つ)

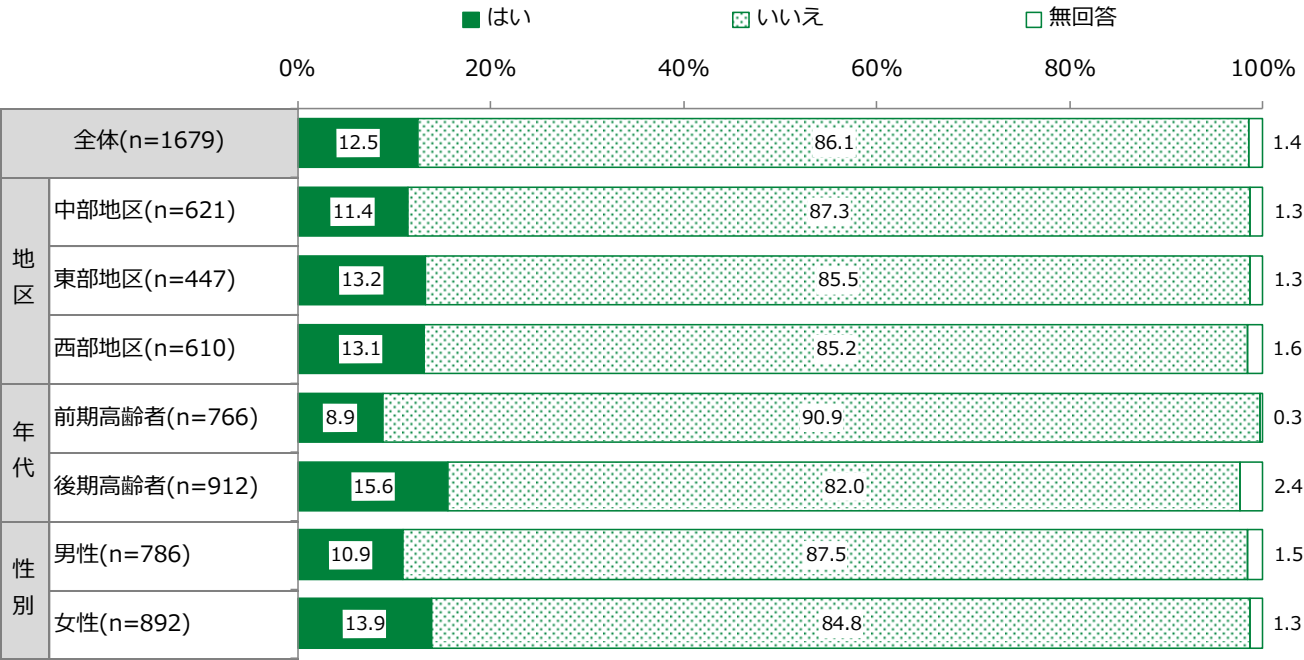
☑ 「はい」が12.5%

生きていても仕方がないと思うかについては、「いいえ」が86.1%、「はい」が12.5%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が8.9ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 60 生きていても仕方がないと思うこと



26.毎日の活動力や世間への関心

問 32⑰ 毎日の活動力や世間に対する関心がなくなってきたように思いますか。(○は1つ)

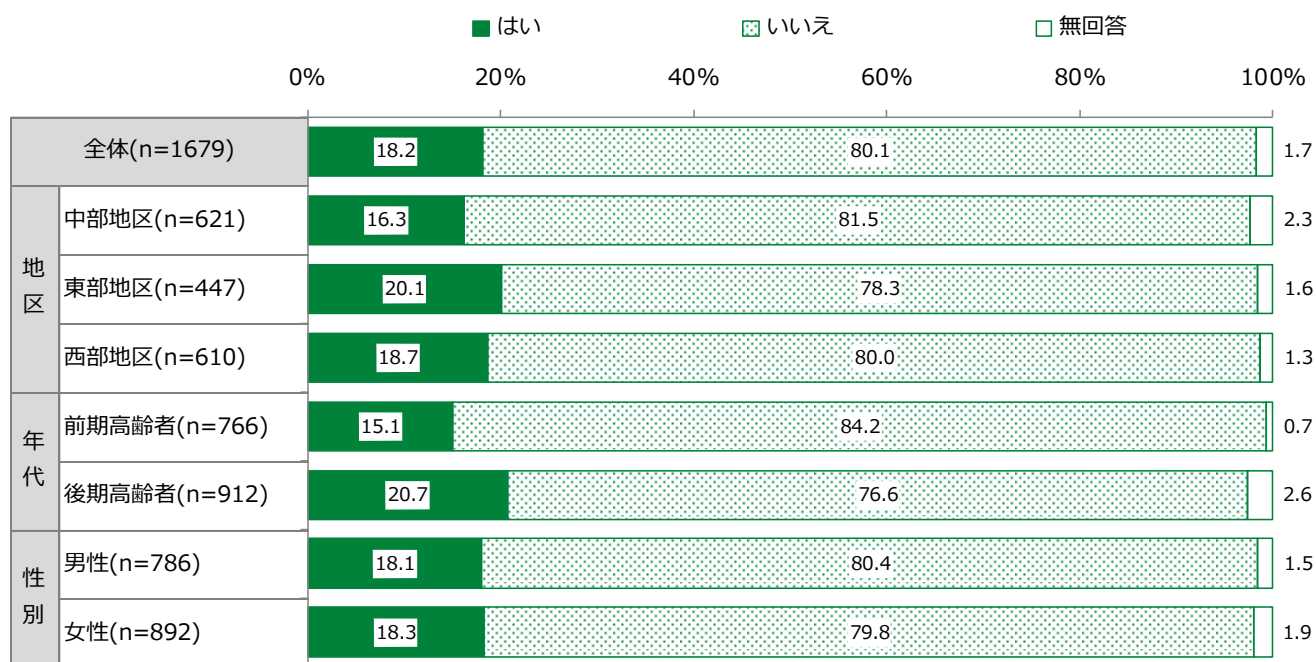
☒ 「はい」が18.2%

毎日の活動力や世間に対する関心がなくなってきたように思うかについては、「いいえ」が80.1%、「はい」が18.2%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が7.6ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 61 毎日の活動力や世間への関心



27.生きているのがむなしいと感じること

問 32⑱ 生きているのがむなしいように感じますか。(○は1つ)

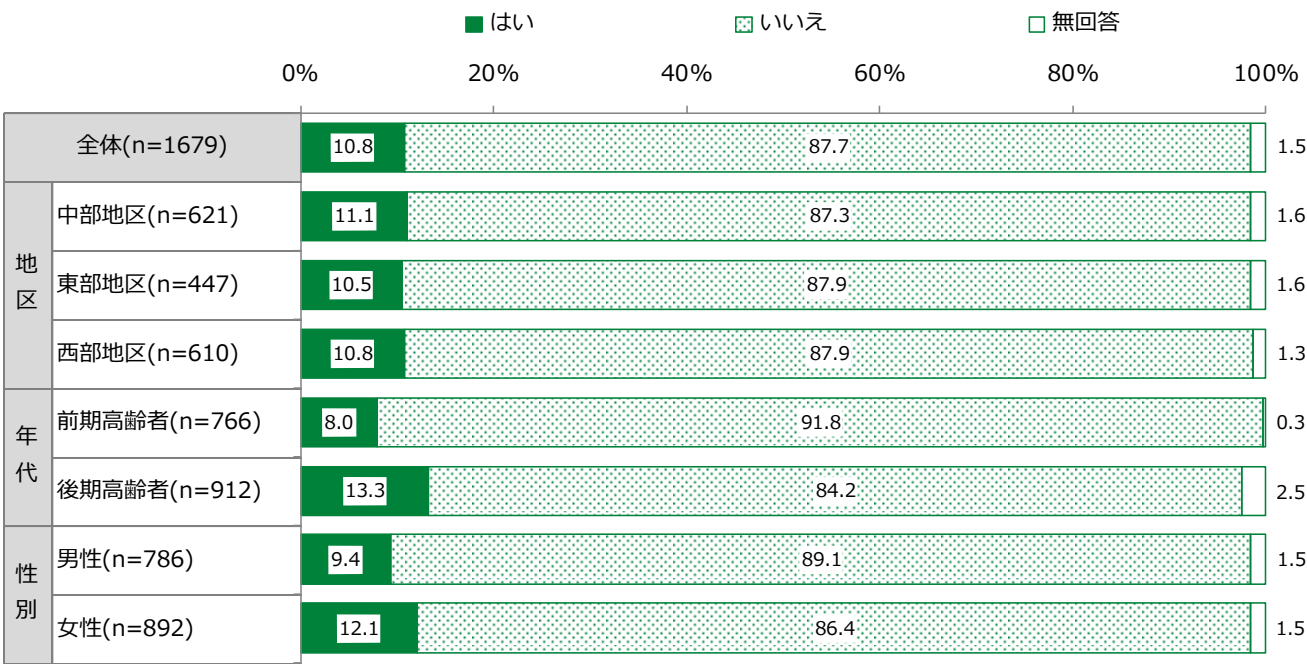
☑ 「はい」が10.8%

生きているのがむなしいように感じるかについては、「いいえ」が87.7%、「はい」が10.8%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が7.6ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 62 生きているのがむなしいと感じること



28.退屈に思うこと

問 32⑱ 退屈に思うことがよくありますか。(○は1つ)

☑ 「はい」が20.7%

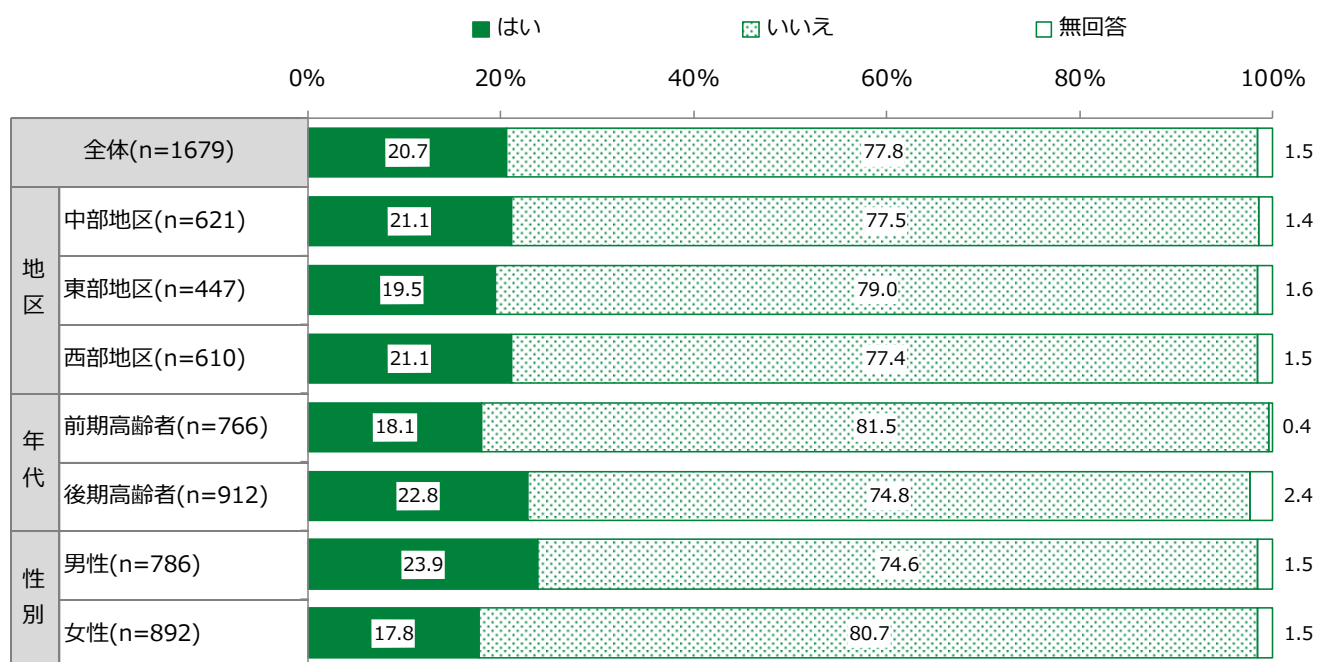
退屈に思うことがよくあるかについては、「いいえ」が77.8%、「はい」が20.7%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が6.7ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「はい」が6.1ポイント、女性より高くなっています。

図表 63 退屈に思うこと



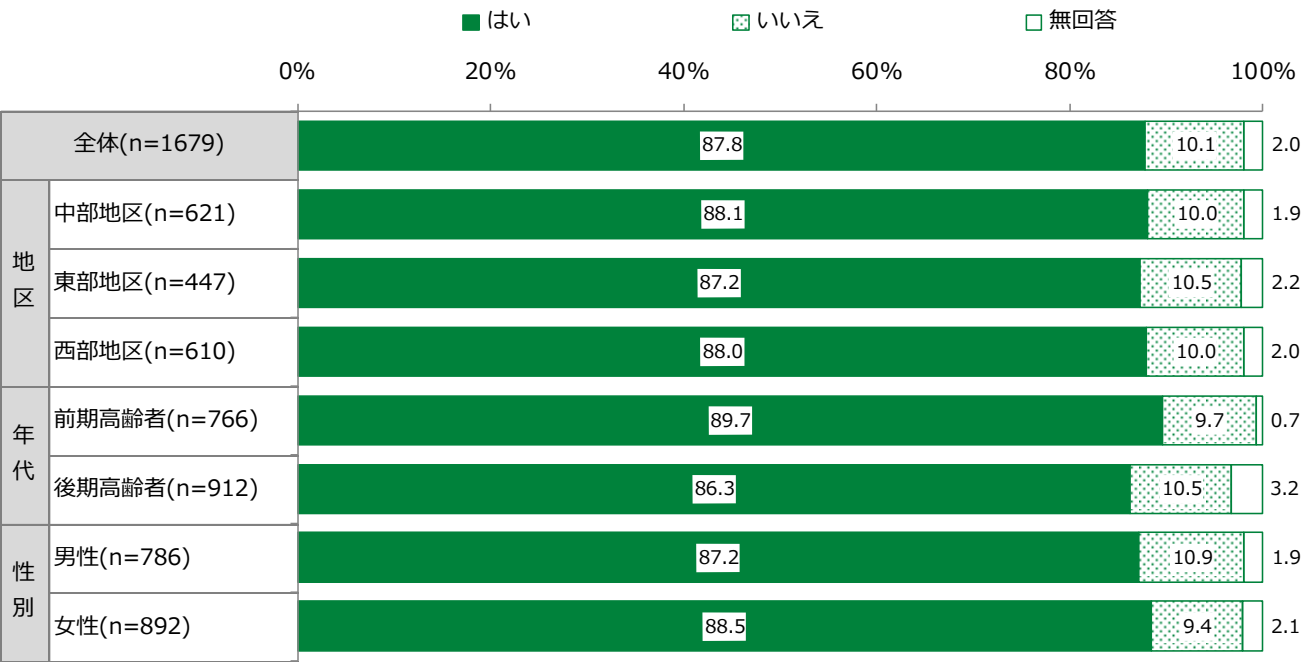
29. 普段の気分のよさ

問 32⑳ 普段は気分がよいですか。(○は1つ)

☒ 「いいえ」が10.1%

普段は気分がよいかについては、「はい」が87.8%、「いいえ」が10.1%となっています。
地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 64 普段の気分のよさ



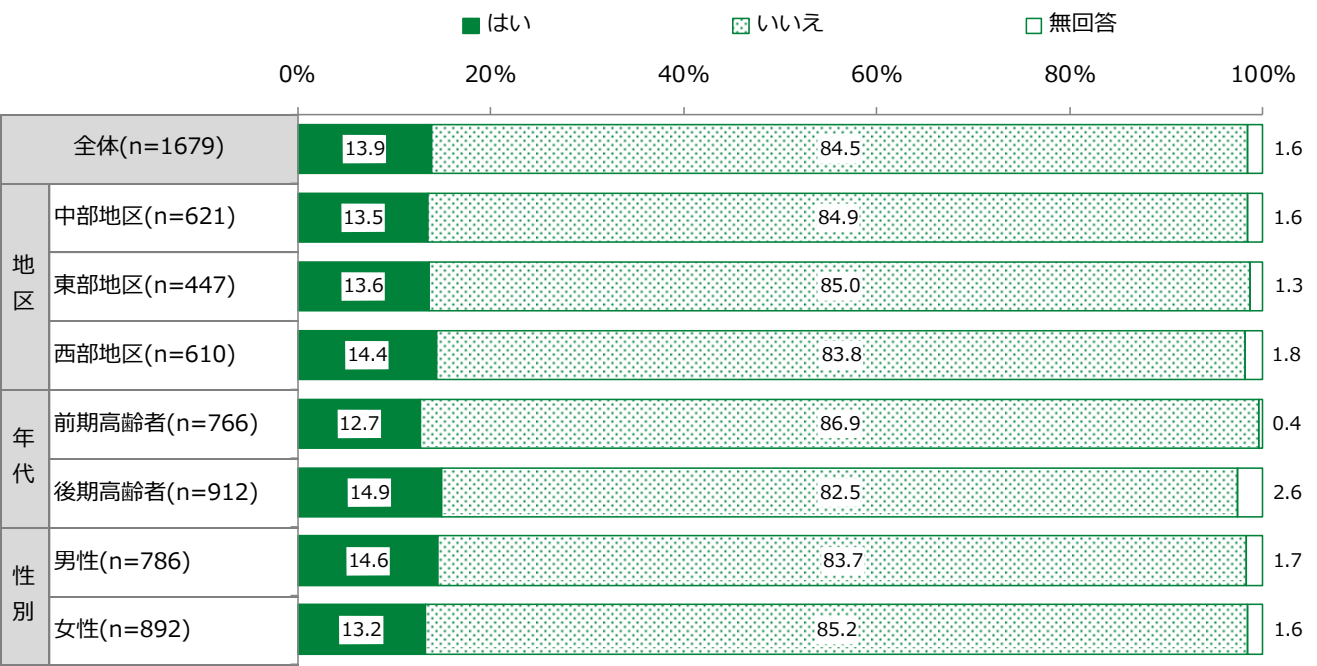
30.悪いことがおこりそうな気がする

問 32② なにか悪いことがおこりそうな気がしますか。(○は1つ)

☑ 「はい」が13.9%

なにか悪いことがおこりそうな気がするかについては、「いいえ」が84.5%、「はい」が13.9%となっています。
地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 65 悪いことがおこりそうな気がする



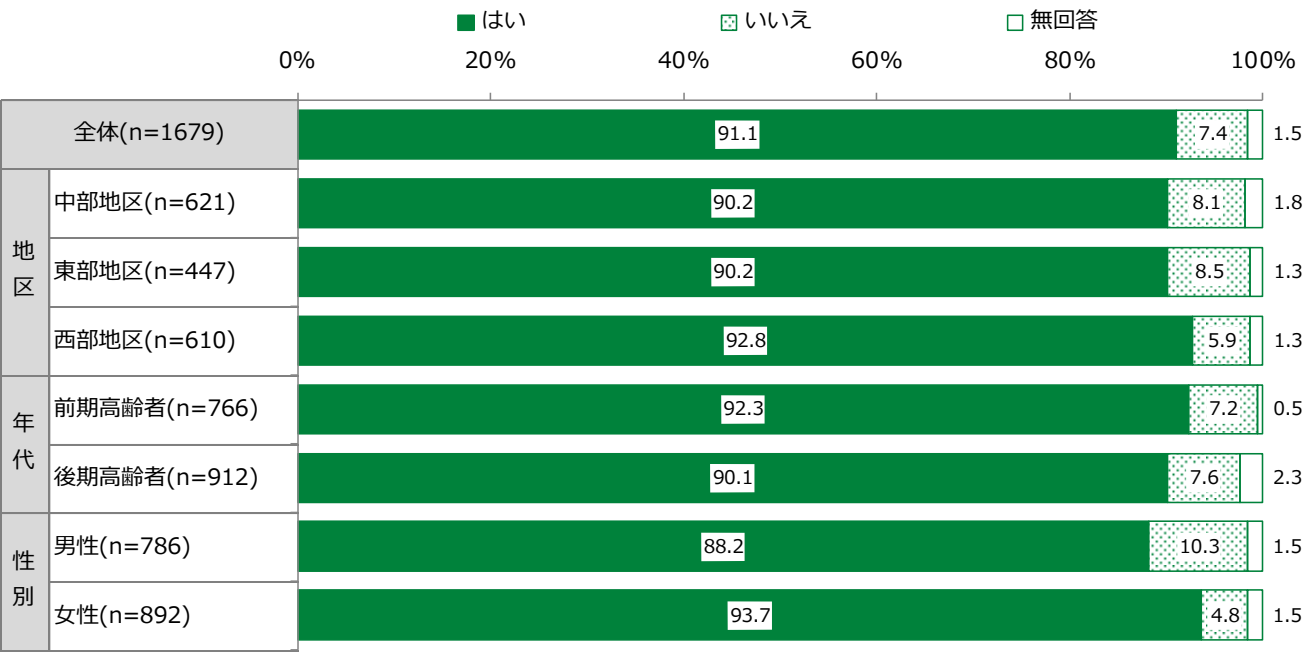
31.自分は幸せなほうだと思うこと

問 32②② 自分は幸せなほうだと思いますか。(○は1つ)

☒ 「いいえ」が7.4%

自分は幸せなほうだと思うかについては、「はい」が91.1%、「いいえ」が7.4%となっています。
 地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。
 性別でみると、男性で「いいえ」が5.5ポイント、女性より高くなっています。

図表 66 自分は幸せなほうだと思うこと



32.どうしようもないと思うこと

問 32㉓ どうしようもないと思うことがよくありますか。(○は1つ)

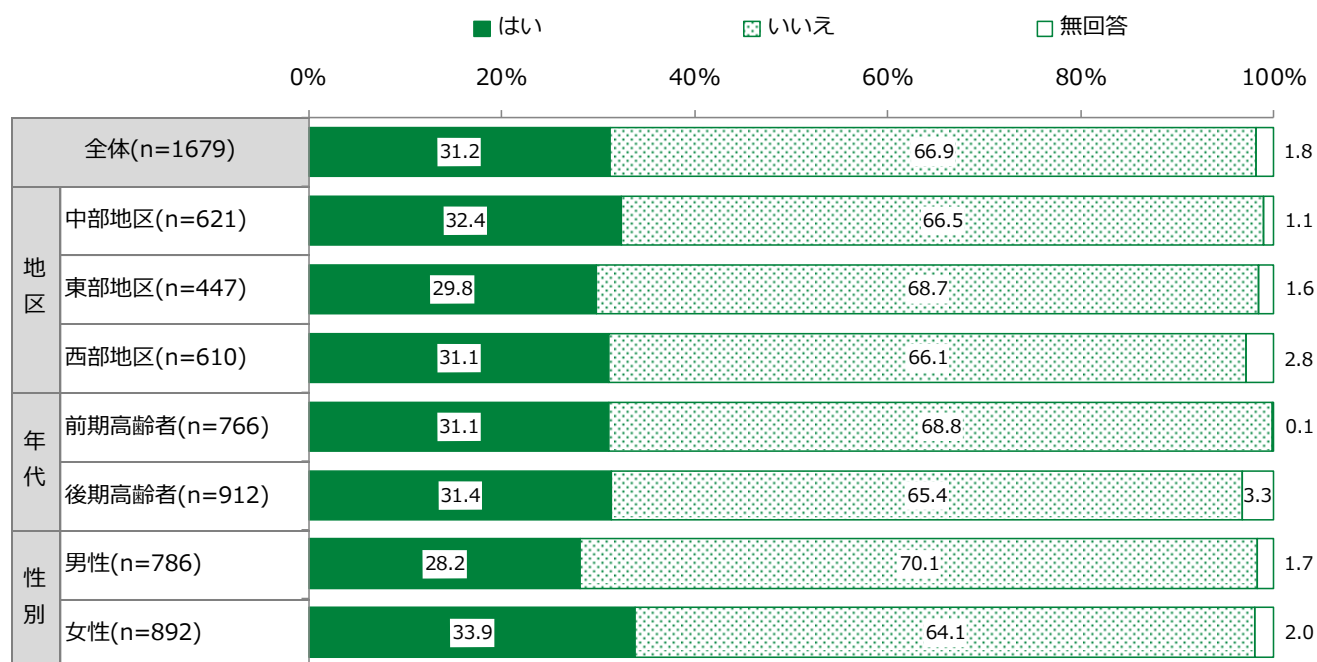
☑ 「はい」が31.2%

どうしようもないと思うことがよくあるかについては、「いいえ」が66.9%、「はい」が31.2%となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると。男性で「いいえ」が6.0ポイント、女性より高くなっています。

図表 67 どうしようもないと思うこと



33.外出よりも家にいることが好きか

問 32④ 外に出かけるよりも家にいることのほうが好きですか。(○は1つ)

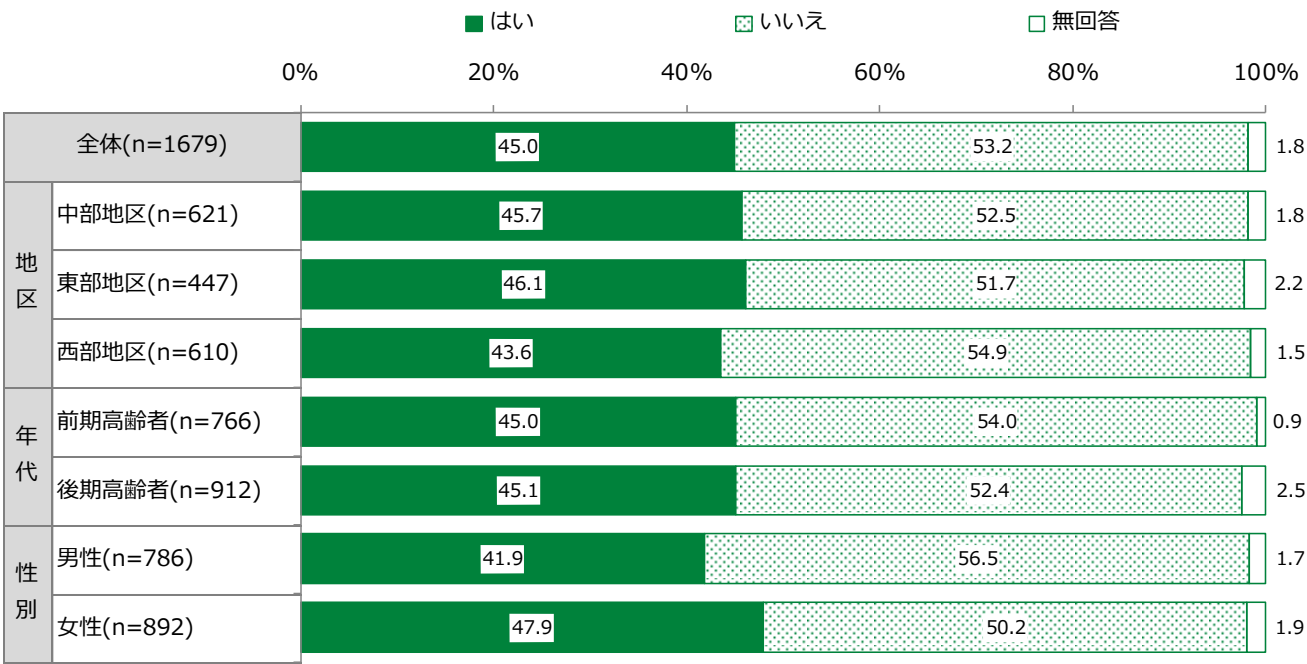
☑ 「はい」が45.0%

外に出かけるよりも家にいることが好きかについては、「いいえ」が53.2%、「はい」が45.0%となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると、男性で「いいえ」が6.3ポイント、女性より高くなっています。

図表 68 外出よりも家にいることが好きか



34.ほかの人より物忘れが多いこと

問 32⑤ ほかの人より物忘れが多いと思いますか。(○は1つ)

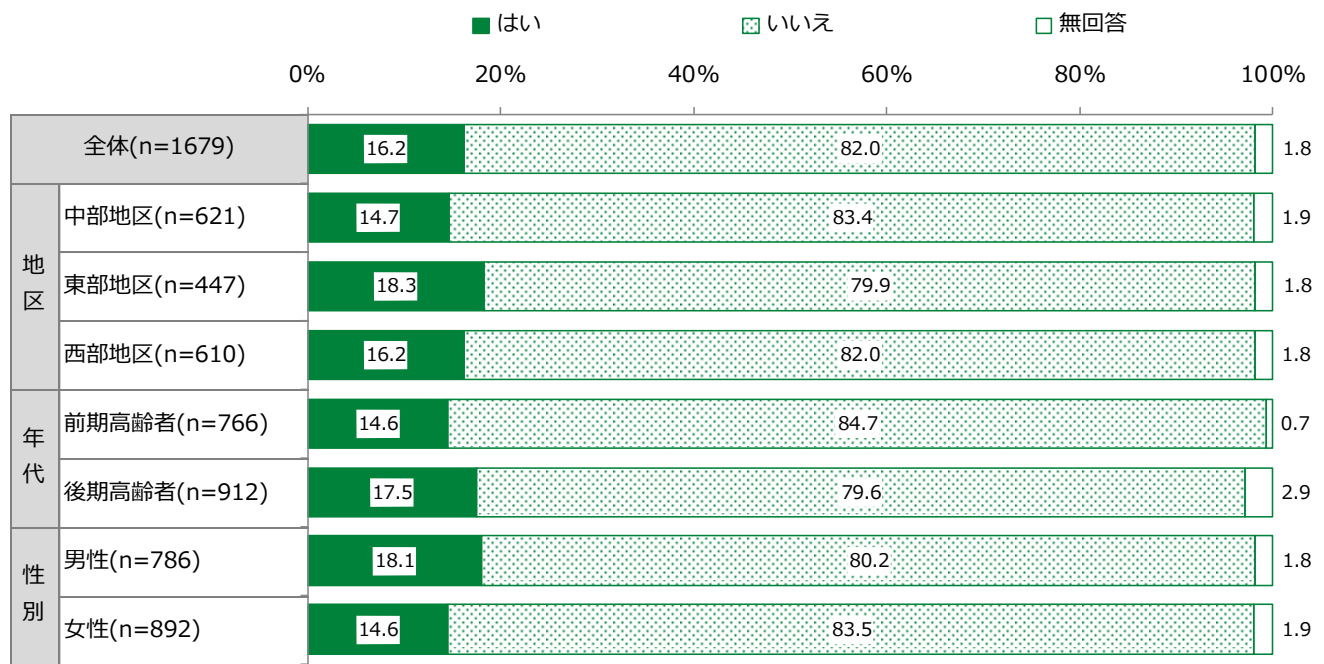
☑ 「はい」が16.2%

ほかの人より物忘れが多いと思うかについては、「いいえ」が82.0%、「はい」が16.2%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が5.1ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 69 ほかの人より物忘れが多いこと



35.周りの人から物忘れがあるとと言われること

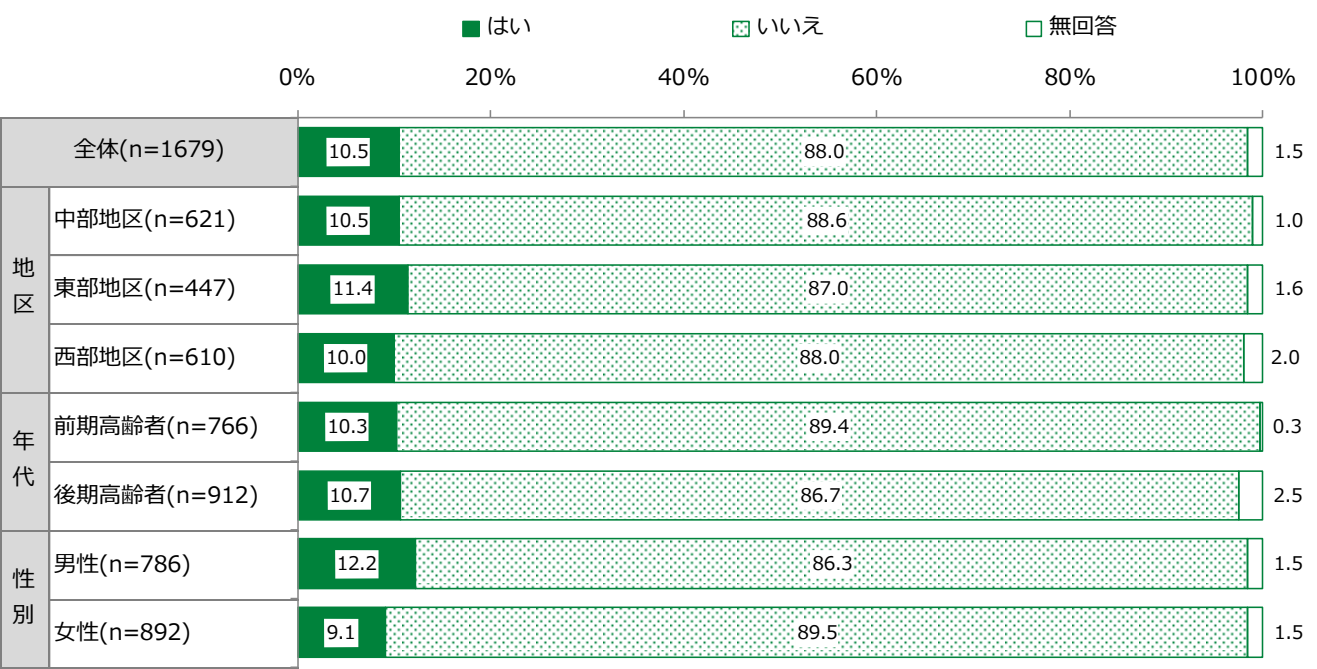
問 32② 周りの人から「いつも同じ事を聞く」など物忘れがあるといわれますか。(○は1つ)

☒ 「はい」が 10.5%

周りの人から物忘れがあるとと言われるかについては、「いいえ」が 88.0%、「はい」が 10.5%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 70 周りの人から物忘れがあるとと言われること



36.生きていることは素晴らしいと思うこと

問 32⑦ こうして生きていることは素晴らしいと思いますか。(○は1つ)

☑ 「いいえ」が18.2%

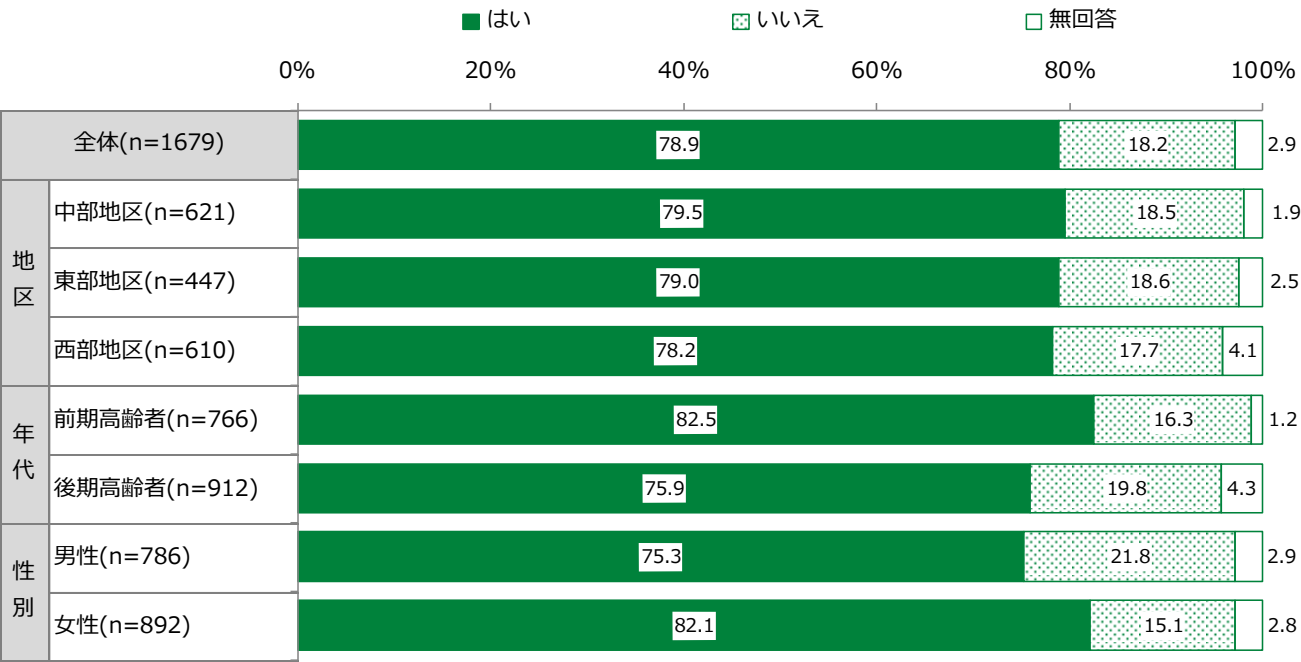
いま生きていることは素晴らしいと思うかについては、「はい」が78.9%、「いいえ」が18.2%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「はい」が6.6ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「はい」が6.8ポイント、男性より高くなっています。

図表 71 生きていることは素晴らしいと思うこと



37.自分は活力が満ちていると感じること

問 32⑳ 自分は活力が満ちていると感じますか。(○は1つ)

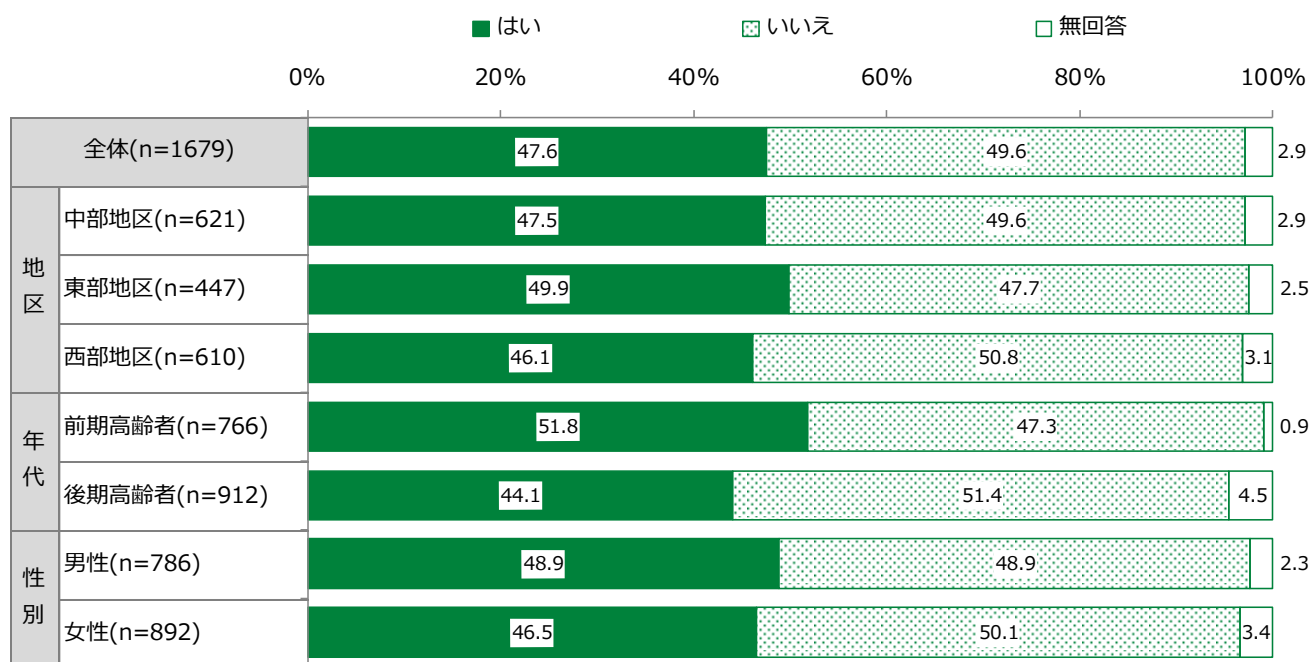
☑ 「いいえ」が49.6%

自分は活力が満ちていると感じるかについては、「いいえ」が49.6%、「はい」が47.6%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「はい」が7.7ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 72 自分は活力が満ちていると感じること



38.暮らしに希望がないと思うこと

問 32㉨ こんな暮らしでは希望がないと思いますか。(○は1つ)

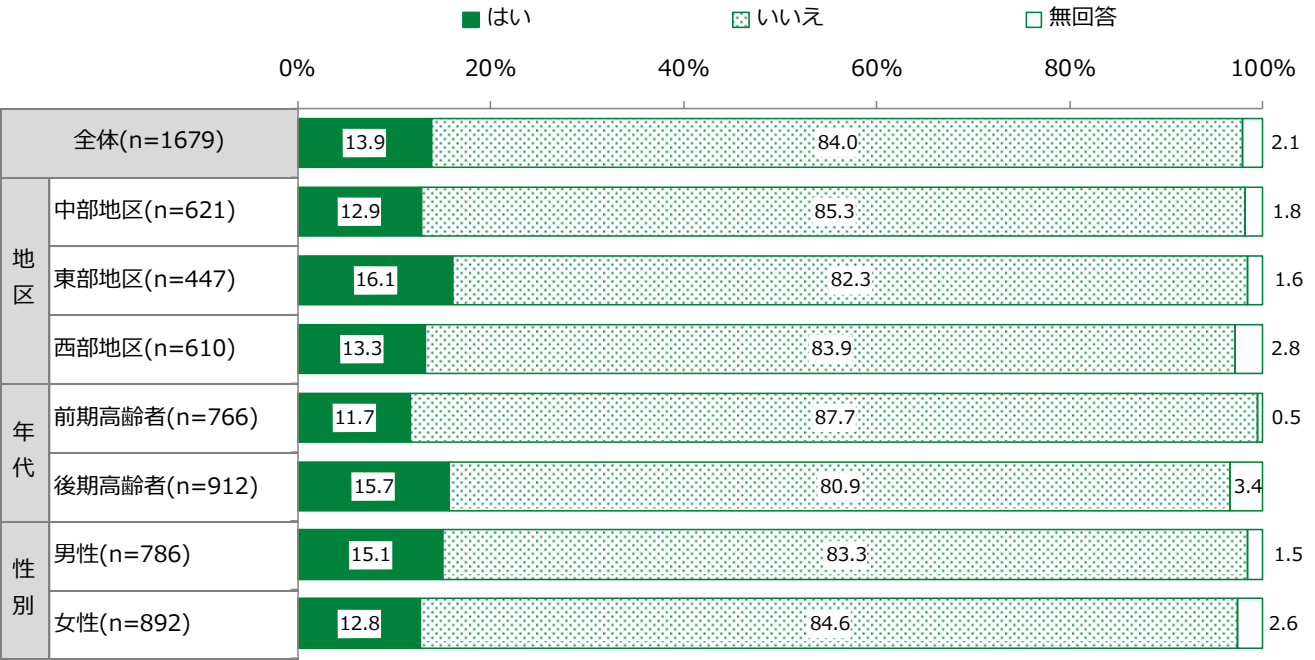
☑ 「はい」が13.9%

いまの暮らしでは希望がないと思うかについては、「いいえ」が84.0%、「はい」が13.9%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が6.8ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 73 暮らしに希望がないと思うこと



39.ほかの人は自分より裕福だと思うこと

問 32③④ ほかの人は、自分より裕福だと思いますか。(○は1つ)

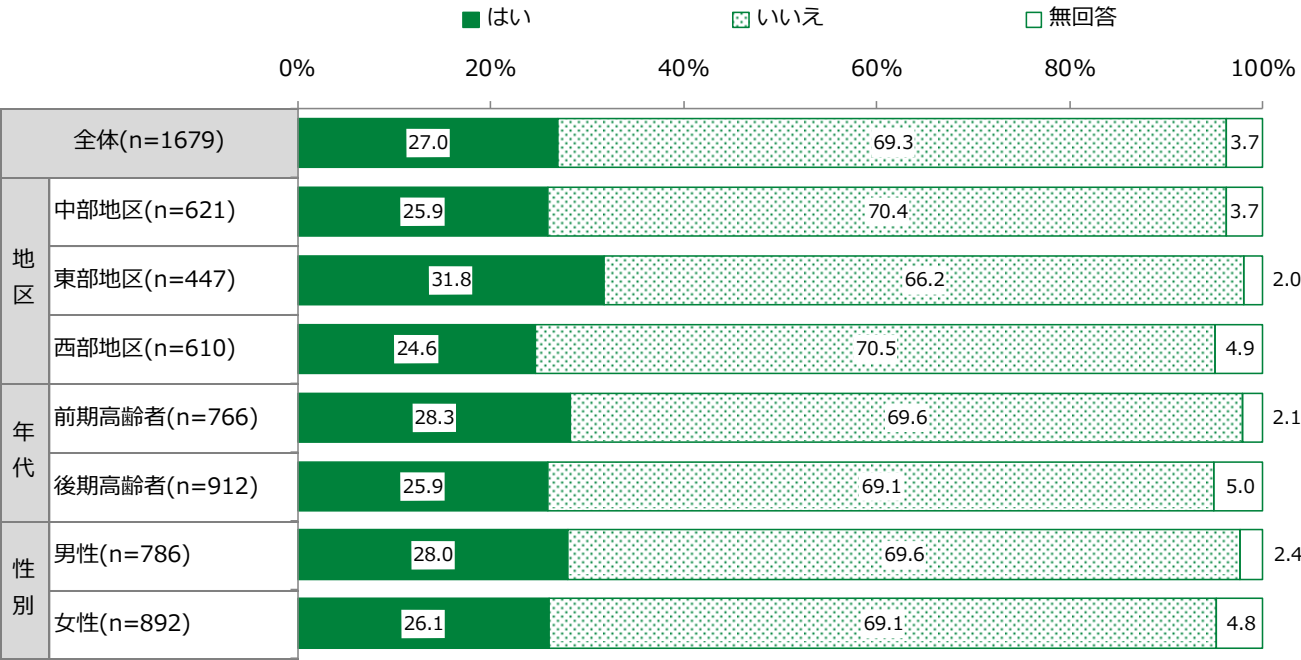
☒ 「はい」が27.0%

ほかの人は自分より裕福だと思うかについては、「いいえ」が69.3%、「はい」が27.0%となっています。

地区別でみると、東部地区で「はい」が他の地区より高くなっています。

年代別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

図表 74 ほかの人は自分より裕福だと思うこと



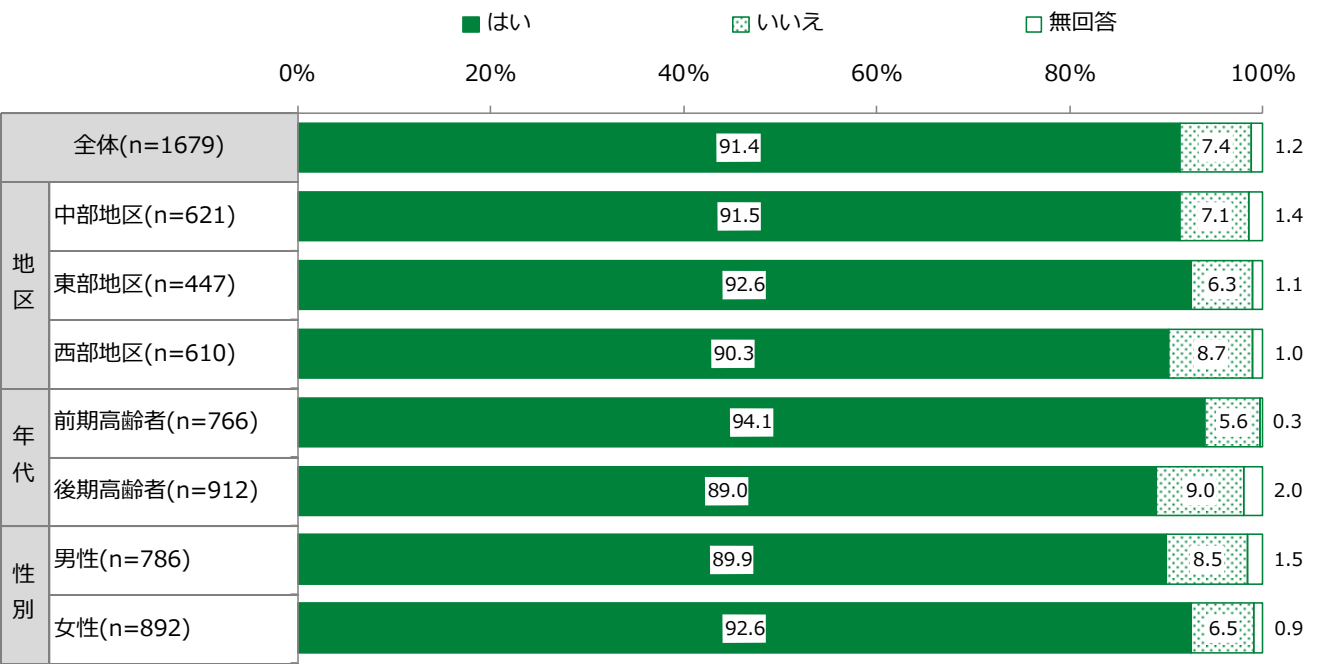
40.年金などの書類を書くこと

問 32③ 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（○は1つ）

☑ 「いいえ」が7.4%

年金などの書類が書けるかについては、「はい」が91.4%、「いいえ」が7.4%となっています。
地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。
年代別でみると、前期高齢者で「はい」が5.1ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 75 年金などの書類を書くこと



41.病人を見舞うこと

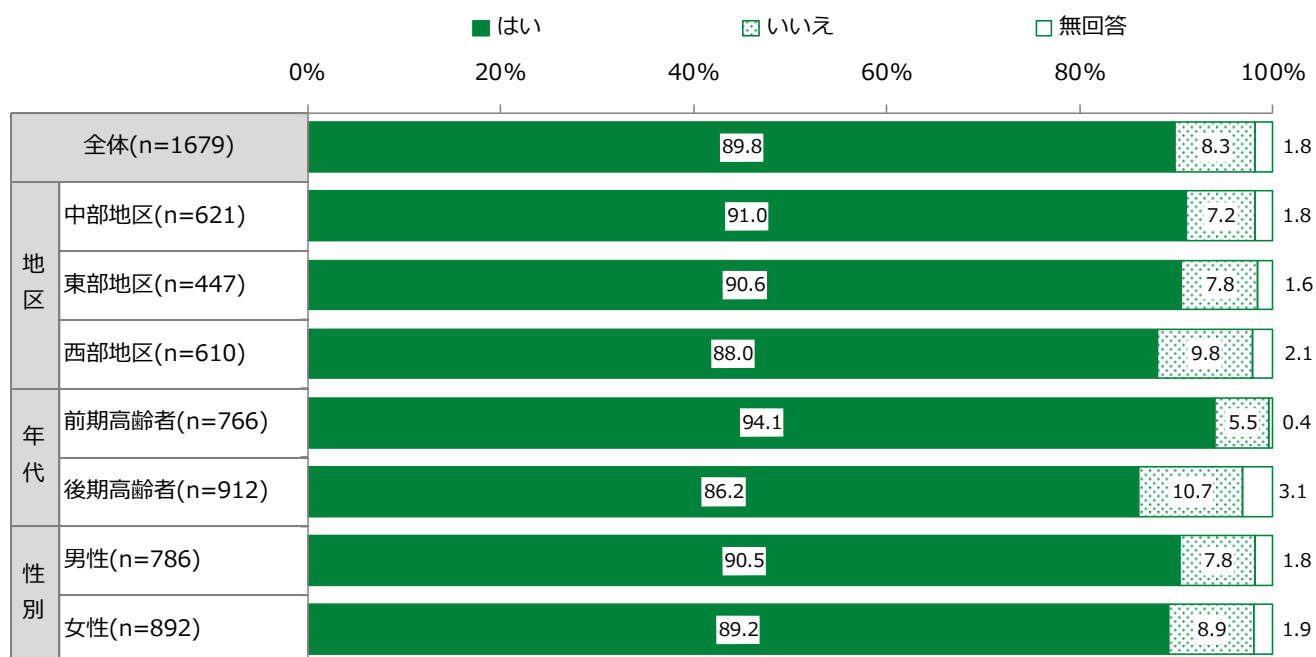
問 32㉔ 病人を見舞うことができますか。(○は1つ)

☑ 「いいえ」が8.3%

病人を見舞うことができるかについては、「はい」が89.8%、「いいえ」が8.3%となっています。
地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「はい」が7.9ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 76 病人を見舞うこと



42.趣味の有無

問 33 趣味はありますか。(○は1つ)

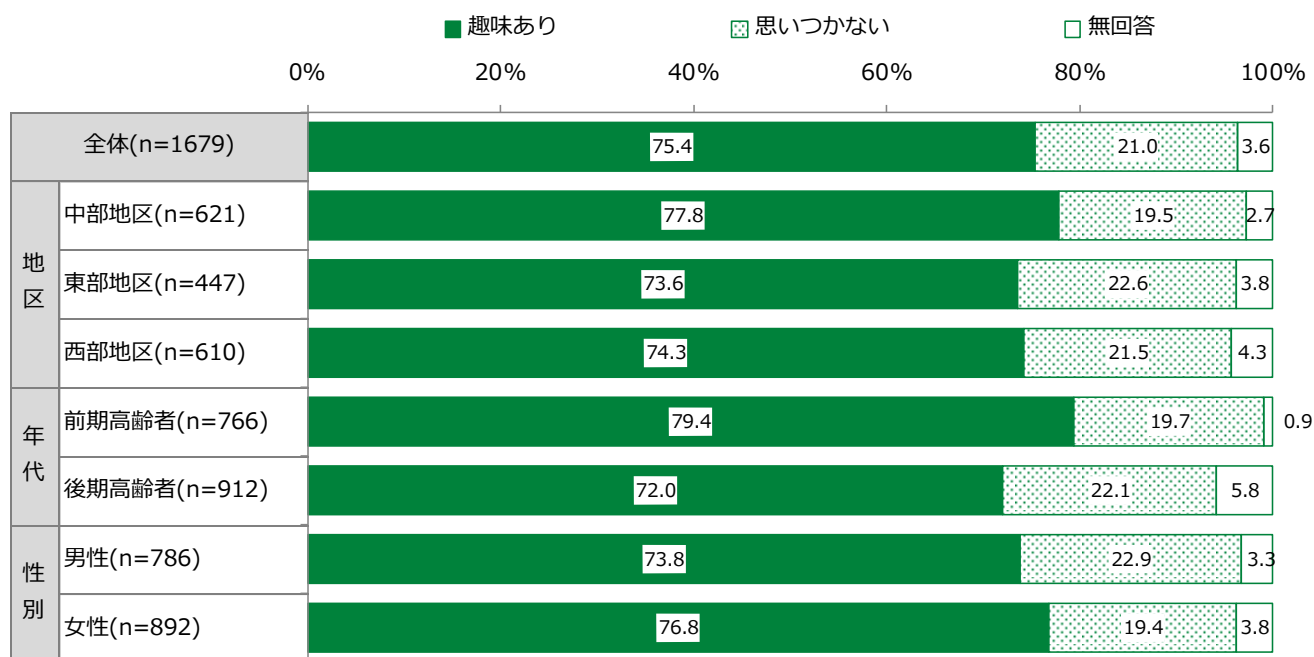
☑ 「趣味あり」が 75.4%

趣味があるかについては、「趣味あり」が 75.4%、「思いつかない」が 21.0%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「趣味あり」が 7.4 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 77 趣味の有無



図表 78 趣味の内容（自由記述）

カテゴリ名	件数	カテゴリ名	件数
スポーツ	380	自転車、サイクリング、ツーリング、ドライブ	29
ガーデニング、生け花、家庭菜園等	273	料理	28
音楽（音楽鑑賞、カラオケ、楽器等）	196	ダンス、舞踊（社交ダンス、フラダンス等）	27
読書（本、雑誌、新聞等）	146	カメラ、写真、映像制作等	26
手芸（編み物、和裁・洋裁、刺繍等）	146	パソコン、スマホ、インターネット等	25
旅行、温泉、観光	85	囲碁、将棋	21
絵手紙、絵、スケッチ等	67	テレビ、ビデオ、DVD鑑賞	20
俳句、川柳、短歌、詩、執筆、書道、華道、茶道等	61	スポーツ観戦	15
散歩・ウォーキング	57	語学学習（英会話等）	14
映画・観劇等	49	日曜大工、工作、DIY	13
陶芸、折り紙、クラフト、模型等	40	美術鑑賞等	12
ギャンブル	39	買い物	8
ゲーム、クイズ、パズル等	36	おしゃべり	3
釣り、アウトドア	35	その他	58
登山、トレッキング、ハイキング	29	なし、不明等	6
		合 計	1,944

43.生きがいの有無

問 34 生きがいがありますか。(○は1つ)

☑ 「生きがいあり」が 61.0%

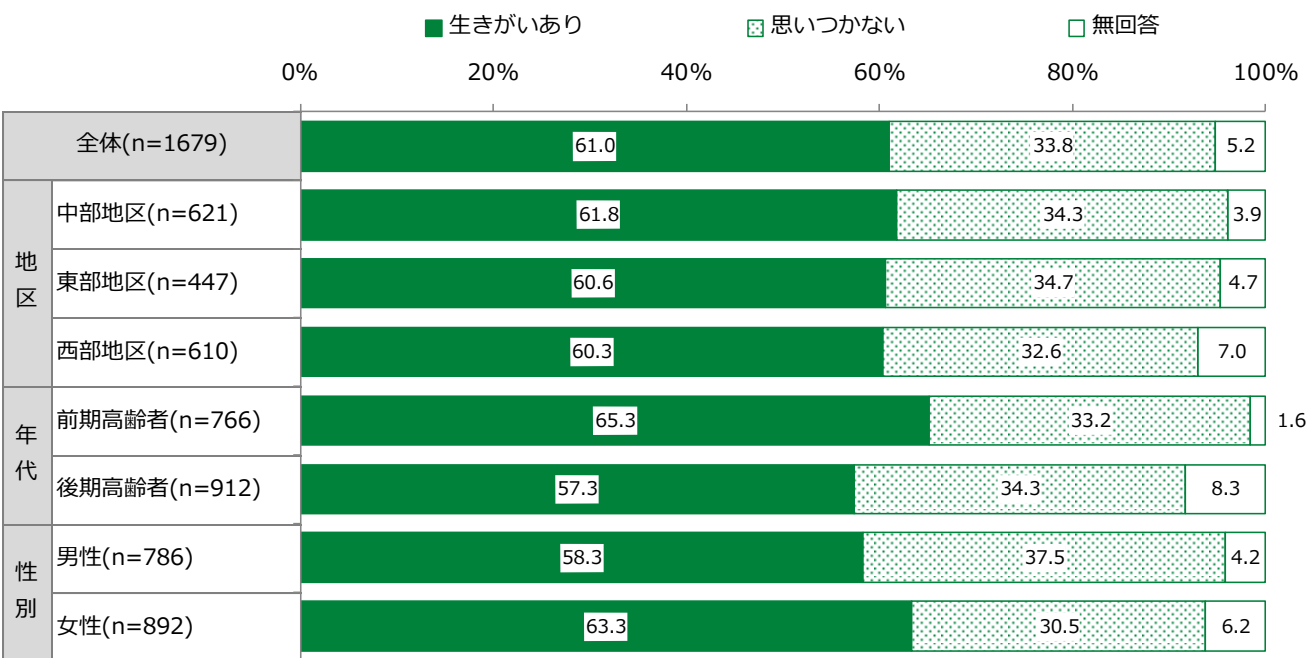
生きがいがあるかについては、「生きがいあり」が 61.0%、「思いつかない」が 33.8%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「生きがいあり」が 8.0 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「思いつかない」が 7.0 ポイント、女性より高くなっています。

図表 79 生きがいの有無



図表 80 生きがいの内容（自由記述）

カテゴリー名	件数
趣味	305
孫	196
運動・スポーツ	87
家族・親族	86
仕事	83
毎日の生活の充実、楽しさ	58
健康・元気・長生き	54
人との交流・関わり合い	49
世の中や誰かの為になること	39
ペット	20
その他	38
不明	12
合 計	1,027

44.現在の幸福度

問 35 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

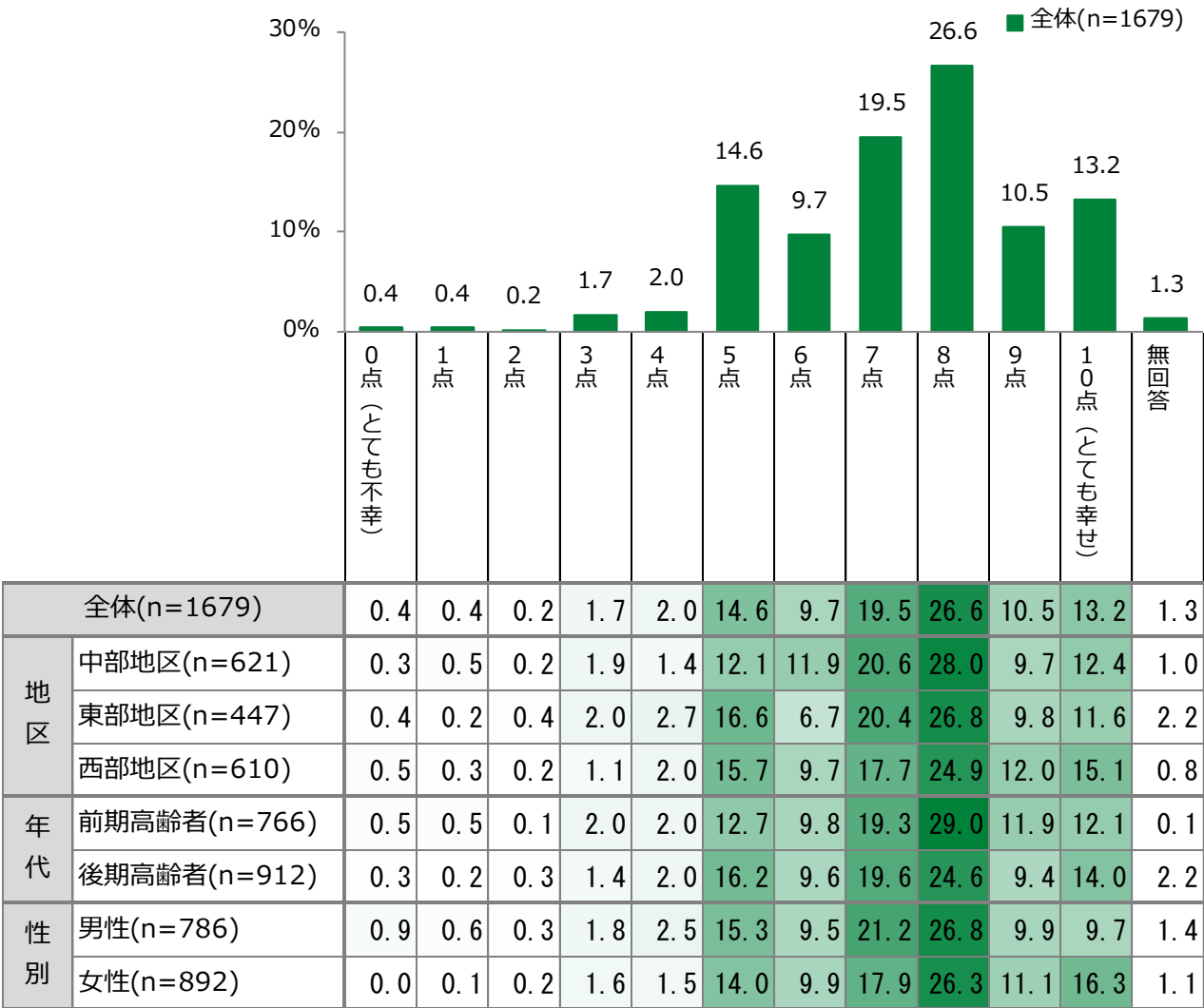
☑ 「8点」が26.6%

現在の幸福度については、「8点」が26.6%と最も高く、次いで「7点」(19.5%)、「5点」(14.6%)となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると、いずれの性別でも「8点」「7点」の順で高く、次いで男性では「5点」、女性では「10点(とても幸せ)」となっています。

図表 81 現在の幸福度



6. 地域での活動について

1. 地域活動への参加状況

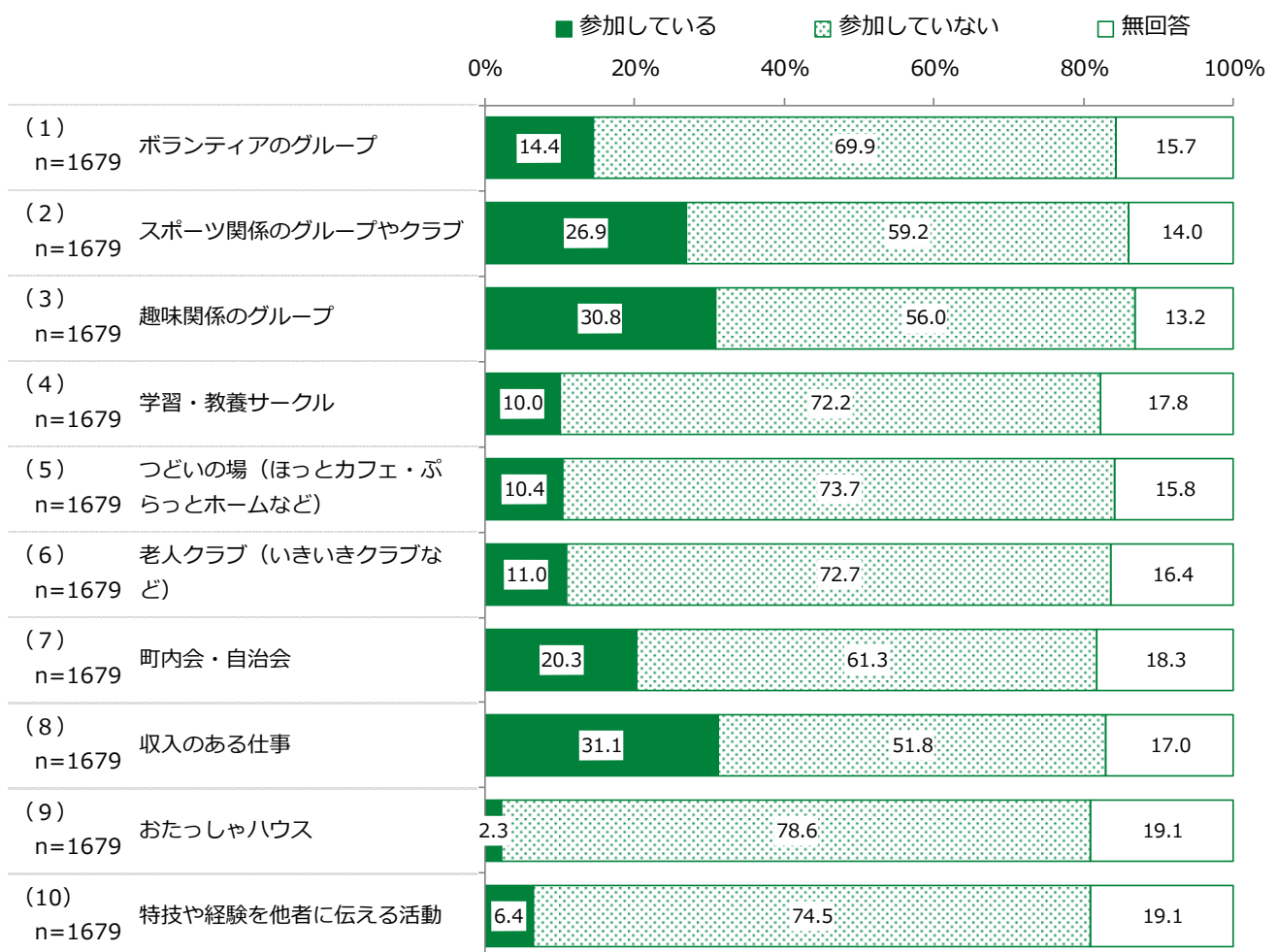
問 36 以下のような会・グループ等による活動にどのくらいの頻度で参加していますか。

※（１）～（１０）それぞれに回答してください。

☒ 収入のある仕事をしている人が 31.1%

地域活動への参加状況について、“参加している”¹は収入のある仕事（31.1%）と最も高く、次いで趣味関係のグループ（30.8%）、スポーツ関係のグループやクラブ（26.9%）、町内会・自治会（20.3%）となっています。

図表 82 地域活動への参加状況



¹ 「週４回以上」「週２～３回」「週１回」「月１～３回」「年に数回」を合わせたもの

(1) ボランティアのグループ

☑ 参加している人は 14.4%

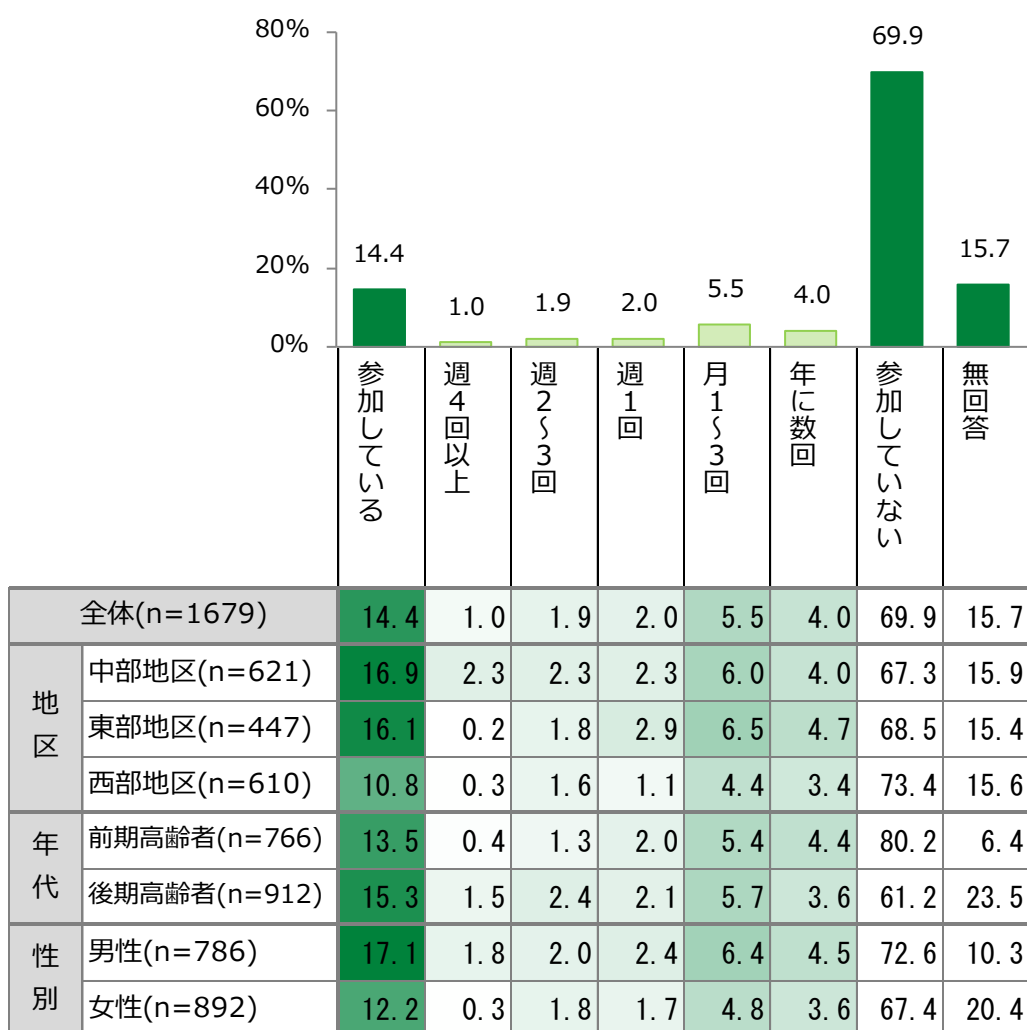
ボランティアのグループについて、“参加している”は14.4%となっています。参加頻度としては、「月1～3回」が5.5%と最も高く、次いで「年に数回」(4.0%)となっています。

地区別でみると、西部地区で“参加している”が他の地区より低くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が19.0ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、特に大きな差はみられません。

図表 83 (1) ボランティアのグループ



(2) スポーツ関係のグループやクラブ

☑ 参加している人は 26.9%

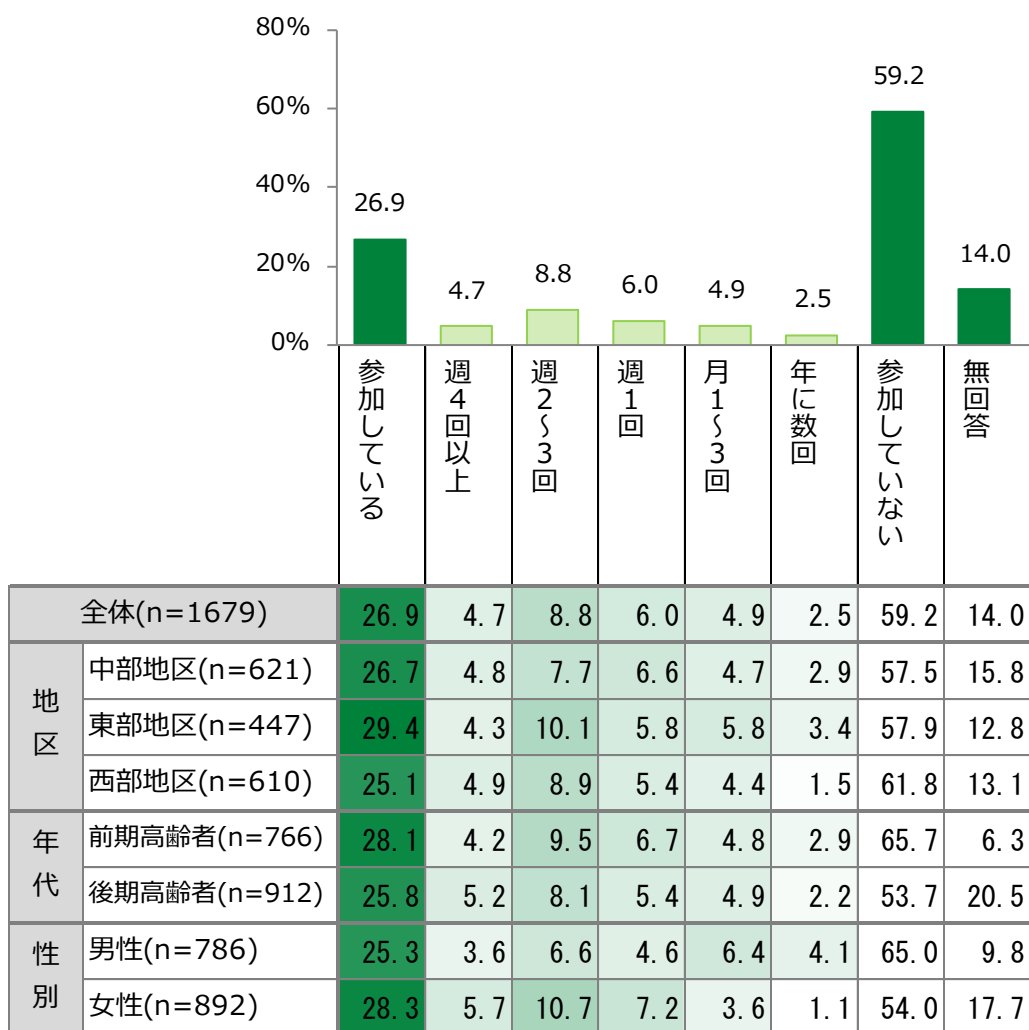
スポーツ関係のグループやクラブについて、“参加している”が26.9%となっています。参加頻度としては、「週2～3回」が8.8%と最も高く、次いで「週1回」(6.0%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が12.0ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が11.0ポイント、女性より高くなっています。

図表 84 (2) スポーツ関係のグループやクラブ



(3) 趣味関係のグループ

☑ 参加している人は 30.8%

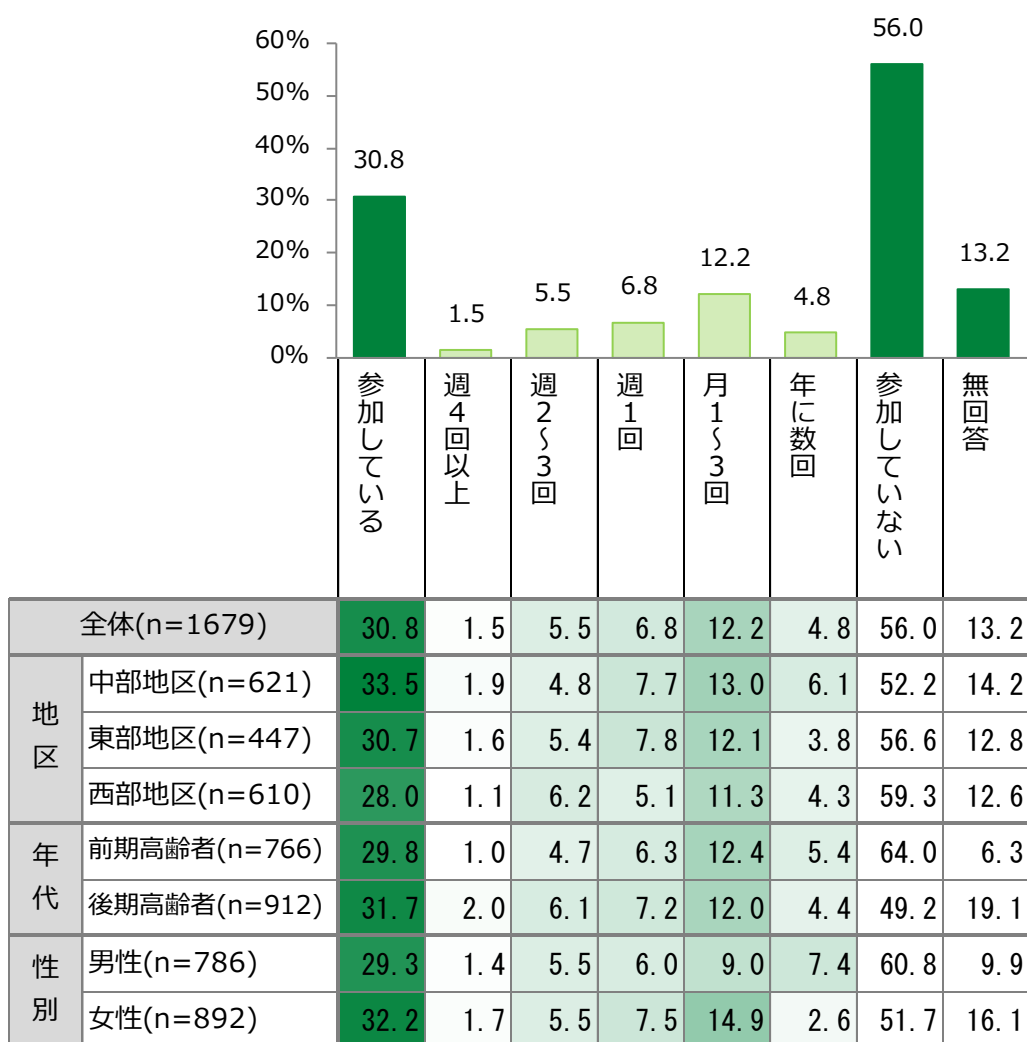
趣味関係のグループについて、“参加している”が30.8%となっています。参加頻度としては、「月1～3回」が12.2%と最も高く、次いで「週1回」(6.8%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が14.8ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が9.1ポイント、女性より高くなっています。

図表 85 (3) 趣味関係のグループ



(4) 学習・教養サークル

☑ 参加している人は 10.0%

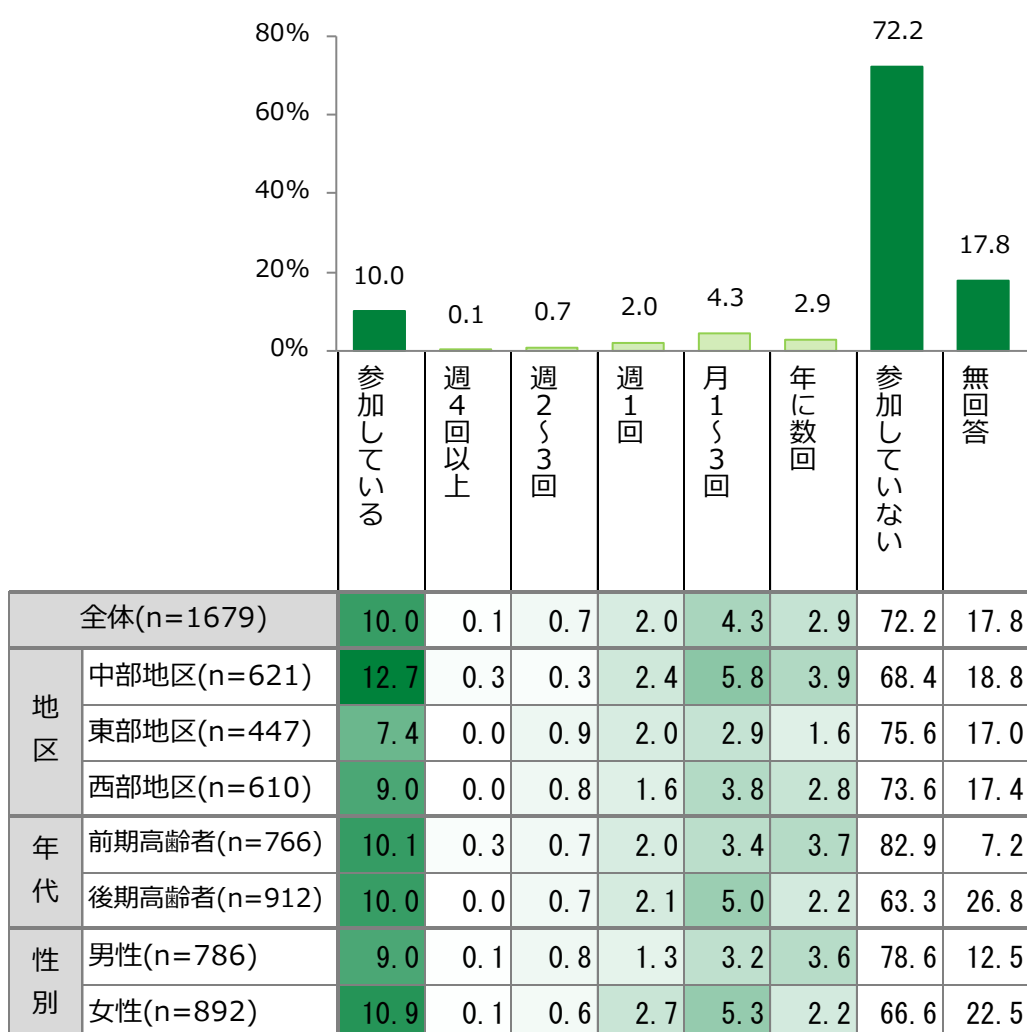
学習・教養サークルについて、“参加している”が10.0%となっています。参加頻度としては、「月1～3回」が4.3%と最も高く、次いで「年に数回」(2.9%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が19.6ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が12.0ポイント、女性より高くなっています。

図表 86 (4) 学習・教養サークル



(5) つどいの場（ほっとカフェ・ぷらっとホームなど）

☑ 参加している人は 10.4%

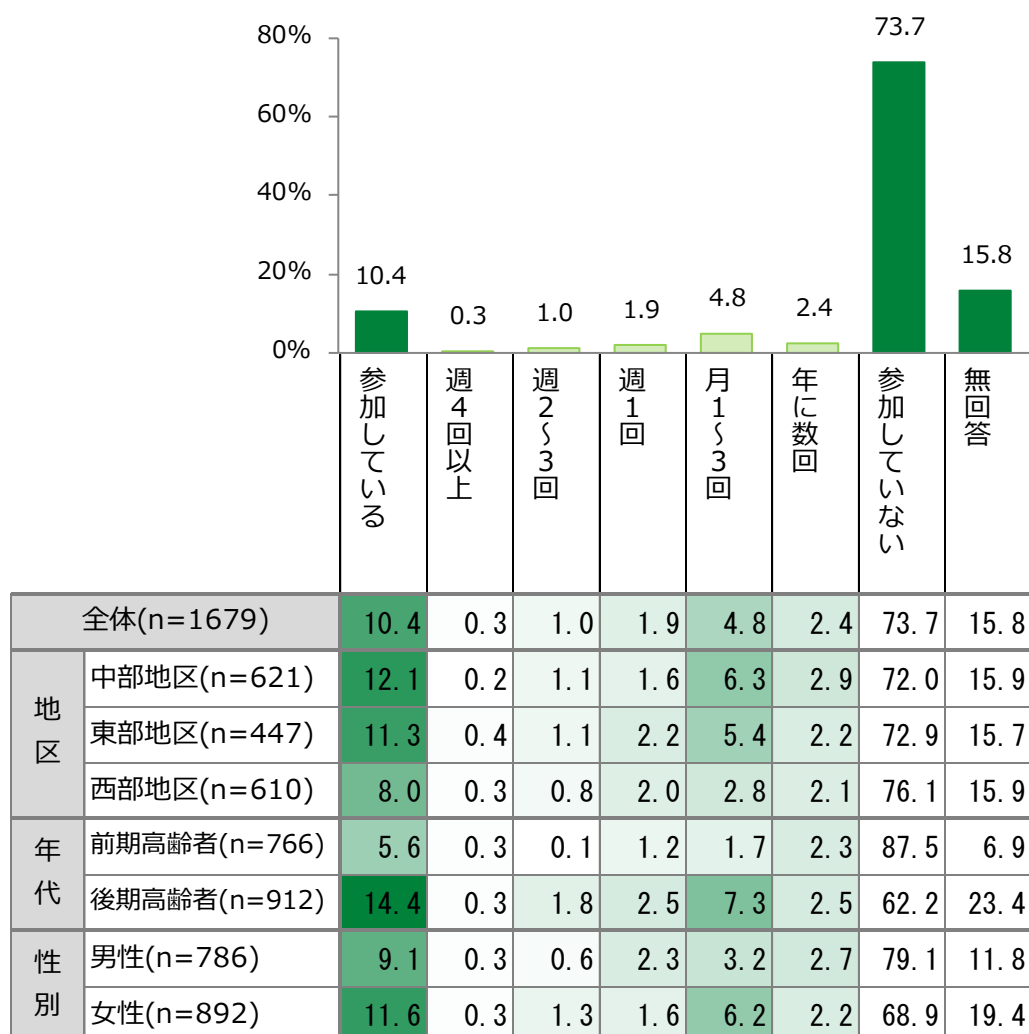
つどいの場について、“参加している”が10.4%となっています。参加頻度としては、「月1～3回」が4.8%と最も高く、次いで「年に数回」（2.4%）となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が25.3ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が10.2ポイント、女性より高くなっています。

図表 87 (5) つどいの場（ほっとカフェ・ぷらっとホームなど）



(6) 老人クラブ（いきいきクラブなど）

☑ 参加している人が 11.0%

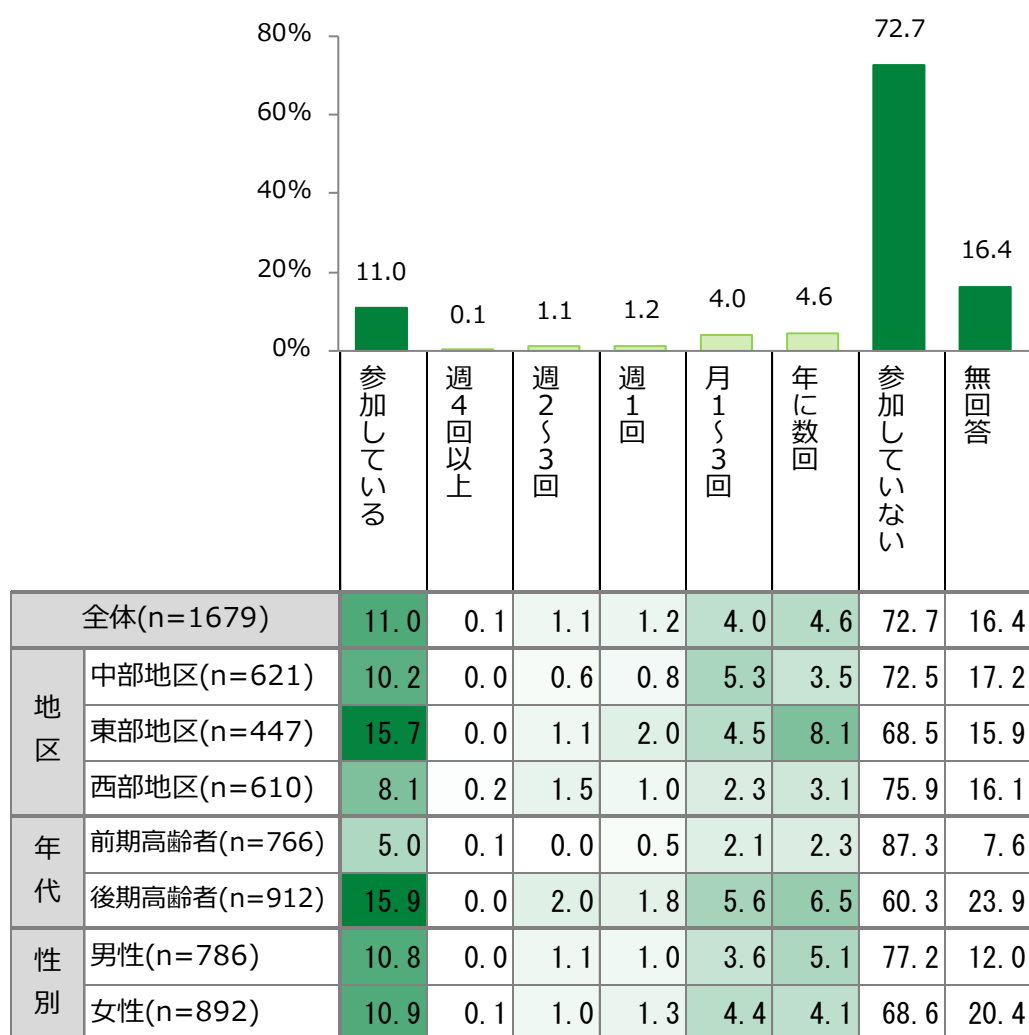
老人クラブについては、“参加している”が 11.0%となっています。参加頻度としては、「年に数回」が 4.6%と最も高く、次いで「月 1～3 回」（4.0%）となっています。

地区別でみると、東部地区で“参加している”が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、後期高齢者で“参加している”が 10.7 ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が 8.6 ポイント、女性より高くなっています。

図表 88 (6) 老人クラブ（いきいきクラブなど）



(7) 町内会・自治会

☑ 参加している人は 20.3%

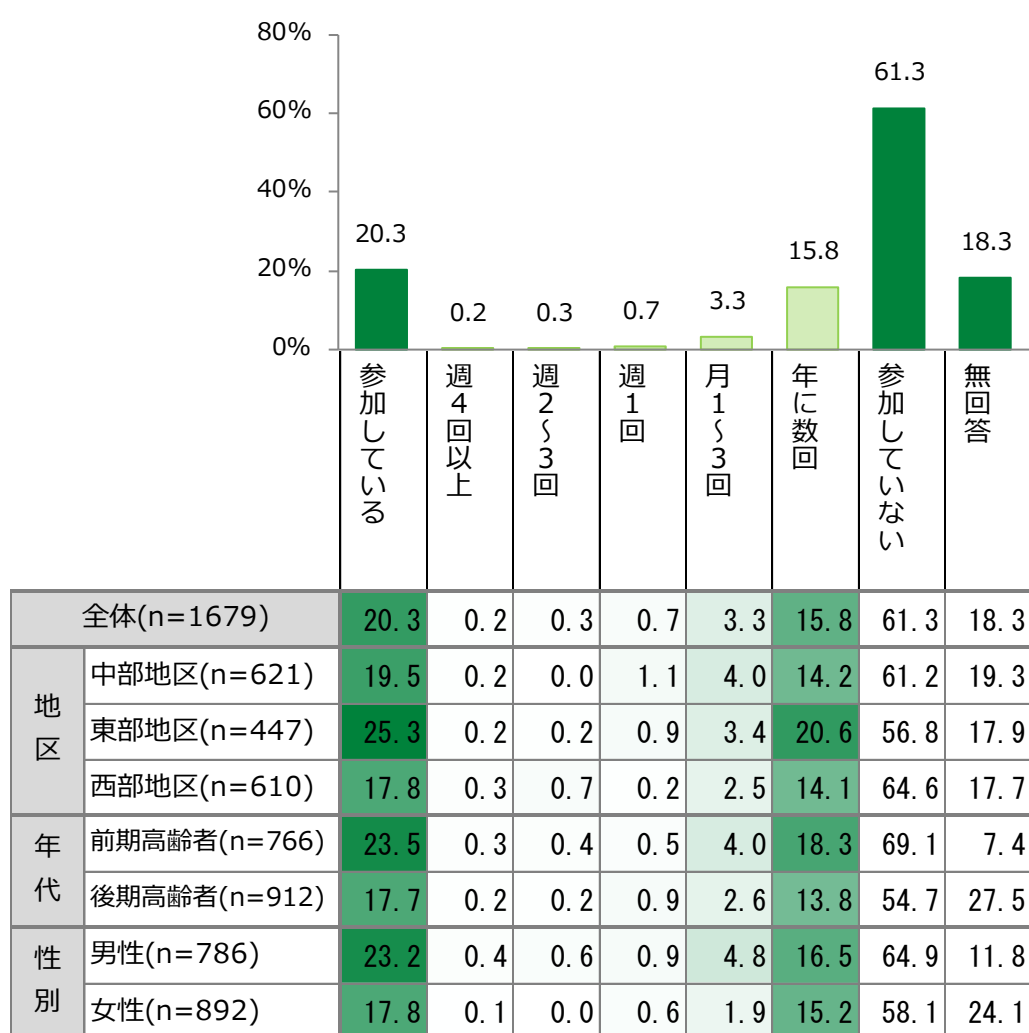
町内会・自治会については、“参加している”が20.3%となっています。参加頻度としては、「年に数回」が15.8%と最も高く、次いで「月1～3回」(3.3%)となっています。

地区別でみると、東部地区で“参加している”が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で“参加している”が5.7ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で“参加している”が5.5ポイント、女性より高くなっています。

図表 89 (7) 町内会・自治会



(8) 収入のある仕事

☑ 収入のある仕事をしている人は 31.1%

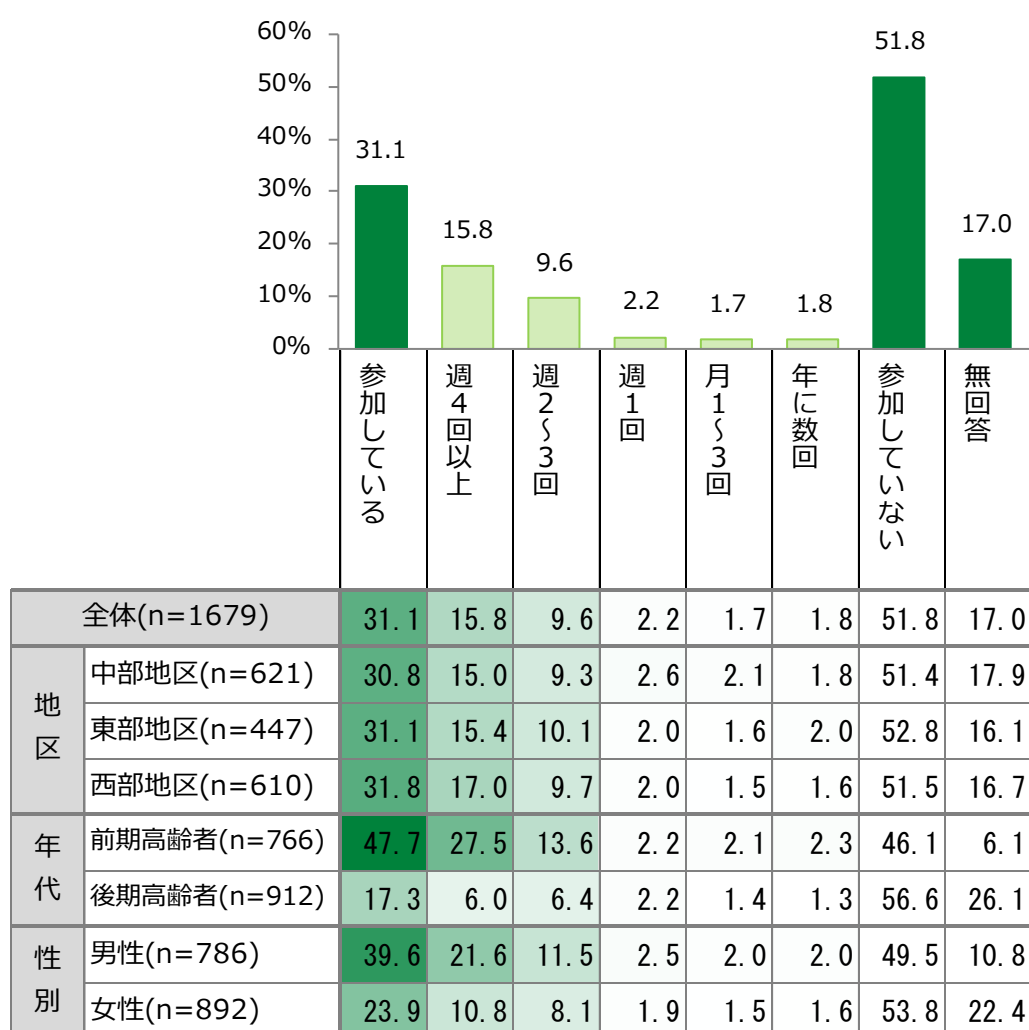
収入のある仕事については、“参加している”が31.1%となっています。参加頻度としては、「週4回以上」が15.8%と最も高く、次いで「週2～3回」(9.6%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で“参加している”が30.5ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で“参加している”が15.9ポイント、女性より高くなっています。

図表 90 (8) 収入のある仕事



(9) おたっしゃハウス

☑ 参加している人は2.3%

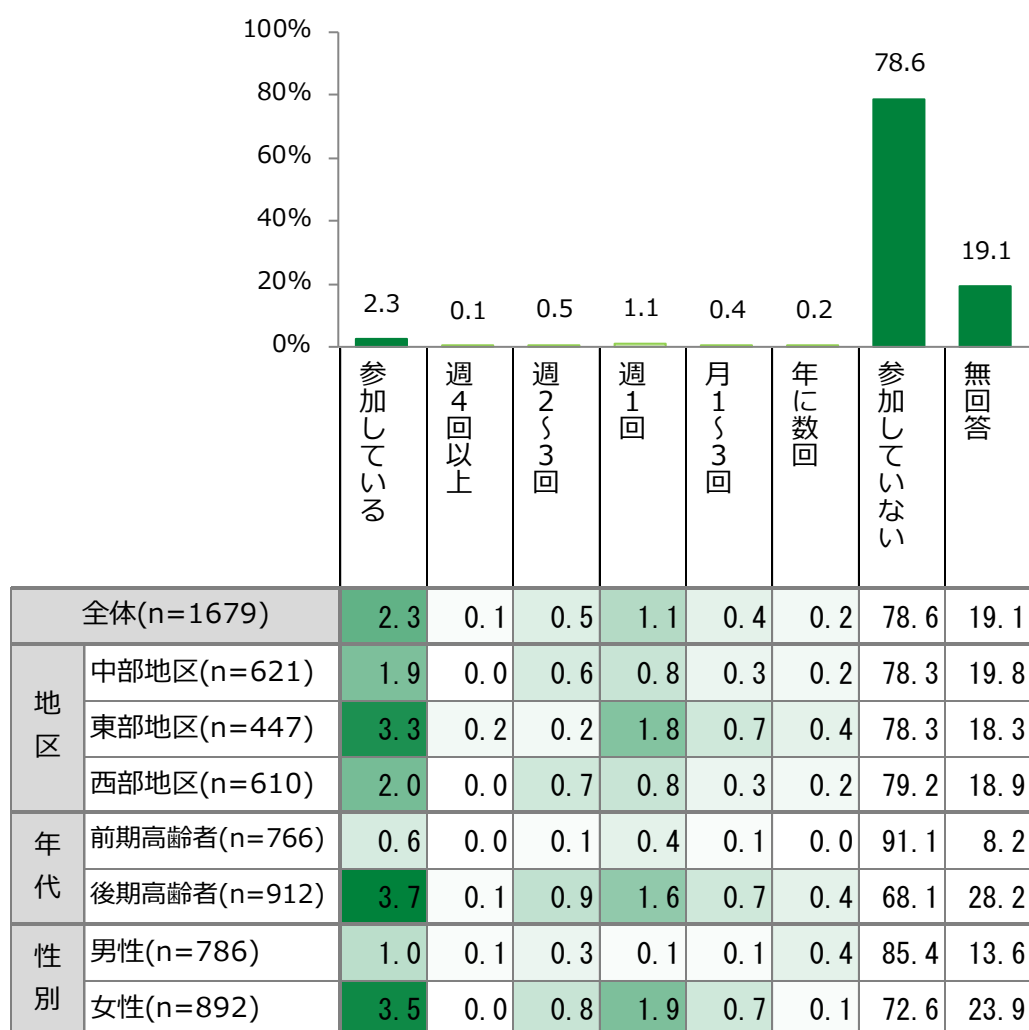
おたっしゃハウスについては、“参加している”が2.3%となっています。参加頻度としては、「週1回」が1.1%と最も高く、次いで「週2～3回」(0.5%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が23.0ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が12.8ポイント、女性より高くなっています。

図表 91 (9) おたっしゃハウス



(10) 特技や経験を他者に伝える活動

☑ 特技や経験を他者に伝える活動をしている人は 6.4%

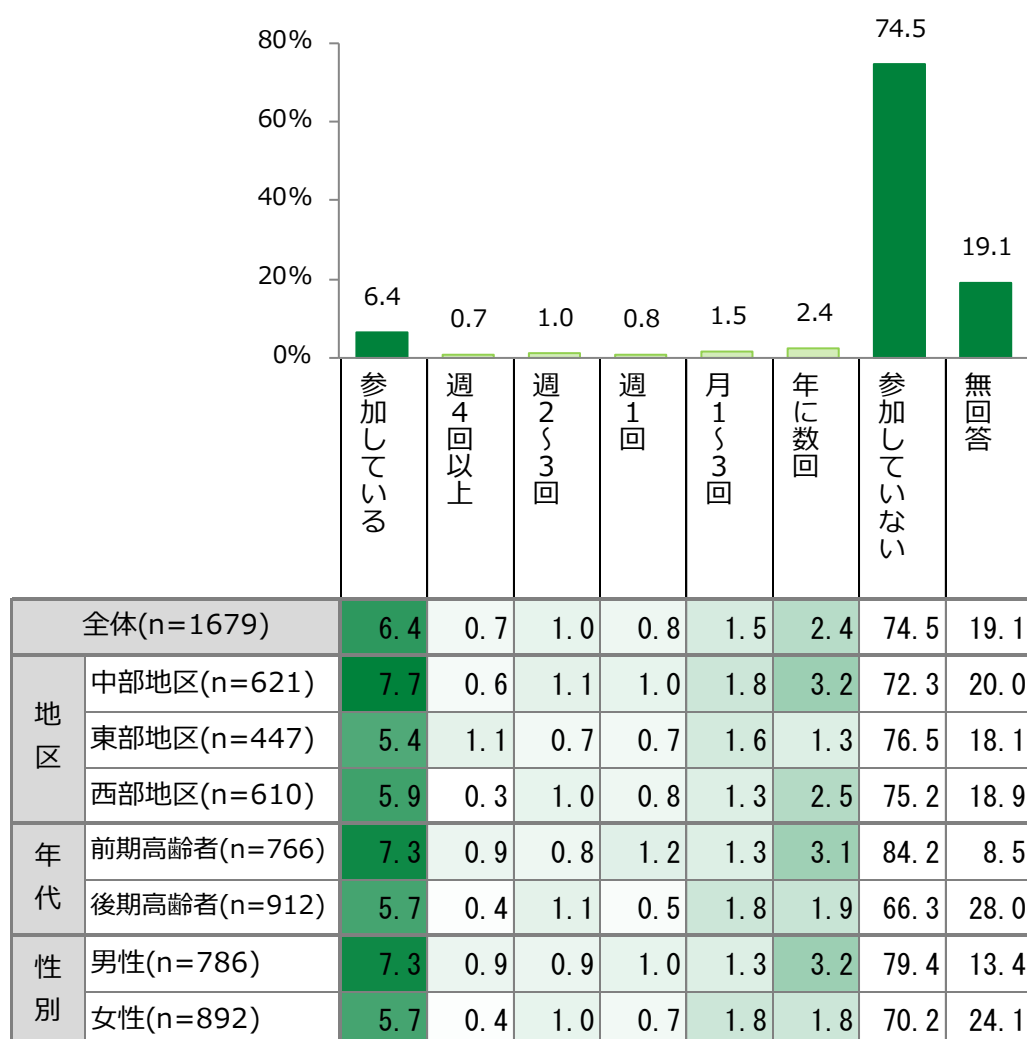
特技や経験を他者に伝える活動については、“参加している”が6.4%となっています。参加頻度としては、「年に数回」が2.4%と最も高く、次いで「月1～3回」(1.5%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が17.9ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が9.2ポイント、女性より高くなっています。

図表 92 (10) 特技や経験を他者に伝える活動



2. つどいの場への参加期間

※問 36（5） つどいの場（ほっとカフェ・ぷらっとホームなど）で「年に数回～週 4 回以上」とお答えの方

問 36－1 いつから参加されているか参加期間はどれくらいですか。（○は 1 つ）

☑ 「参加 4 年以上」が 34.9%

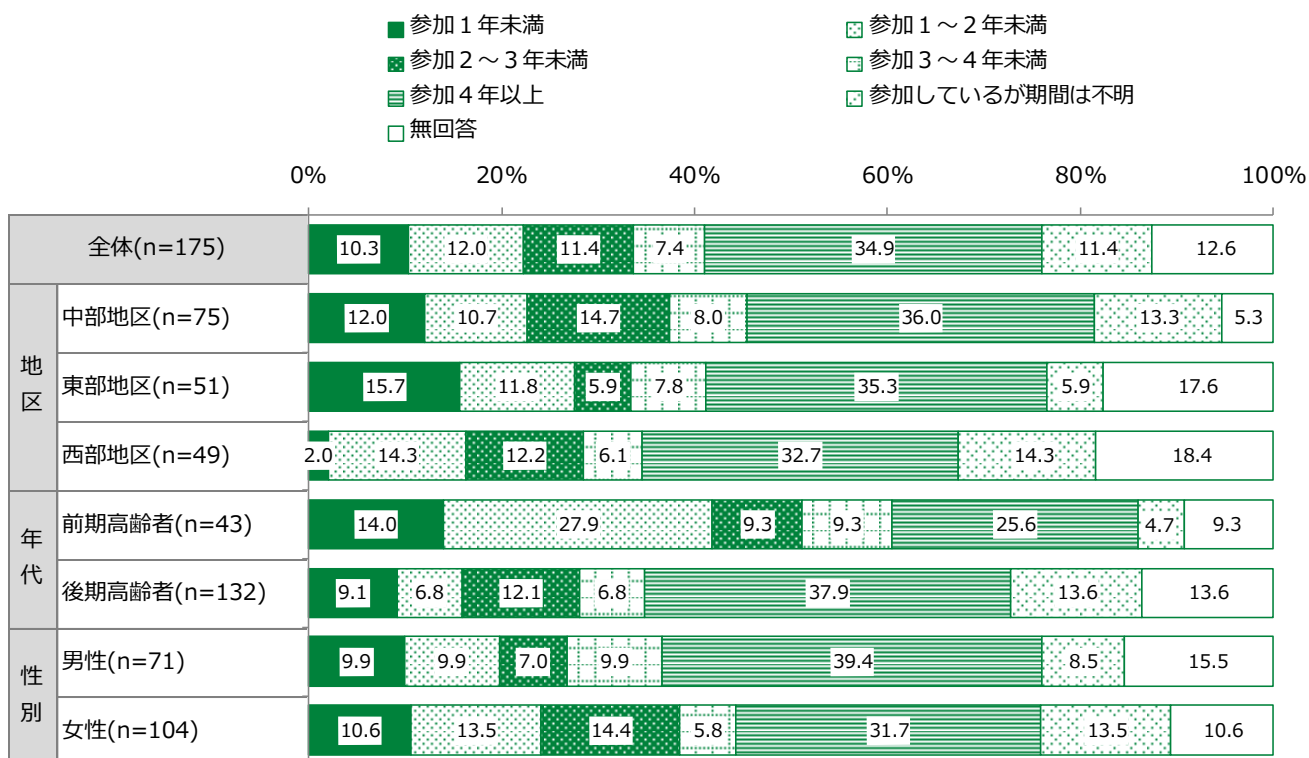
つどいの場への参加期間については、「参加 4 年以上」が 34.9%と最も高く、次いで「参加 1～2 年未満」(12.0%)、「参加 2～3 年未満」「参加しているが期間は不明」(ともに 11.4%)となっています。

地区別でみると、西部地区で“参加 4 年未満”（「参加 1 年未満」～「参加 3～4 年未満」の計）が他の地区より低くなっています。

年代別でみると、後期高齢者で「参加 4 年以上」が 12.3 ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加 4 年以上」が 7.7 ポイント、女性より高くなっています。

図表 93 つどいの場への参加期間



3. おたっしゃハウスへの参加期間

※問 36（9）おたっしゃハウスで「年に数回～週 4 回以上」とお答えの方

問 36－2 いつから参加されているか参加期間はどれくらいですか。（○は 1 つ）

☑ 「参加 4 年以上」が 30.8%

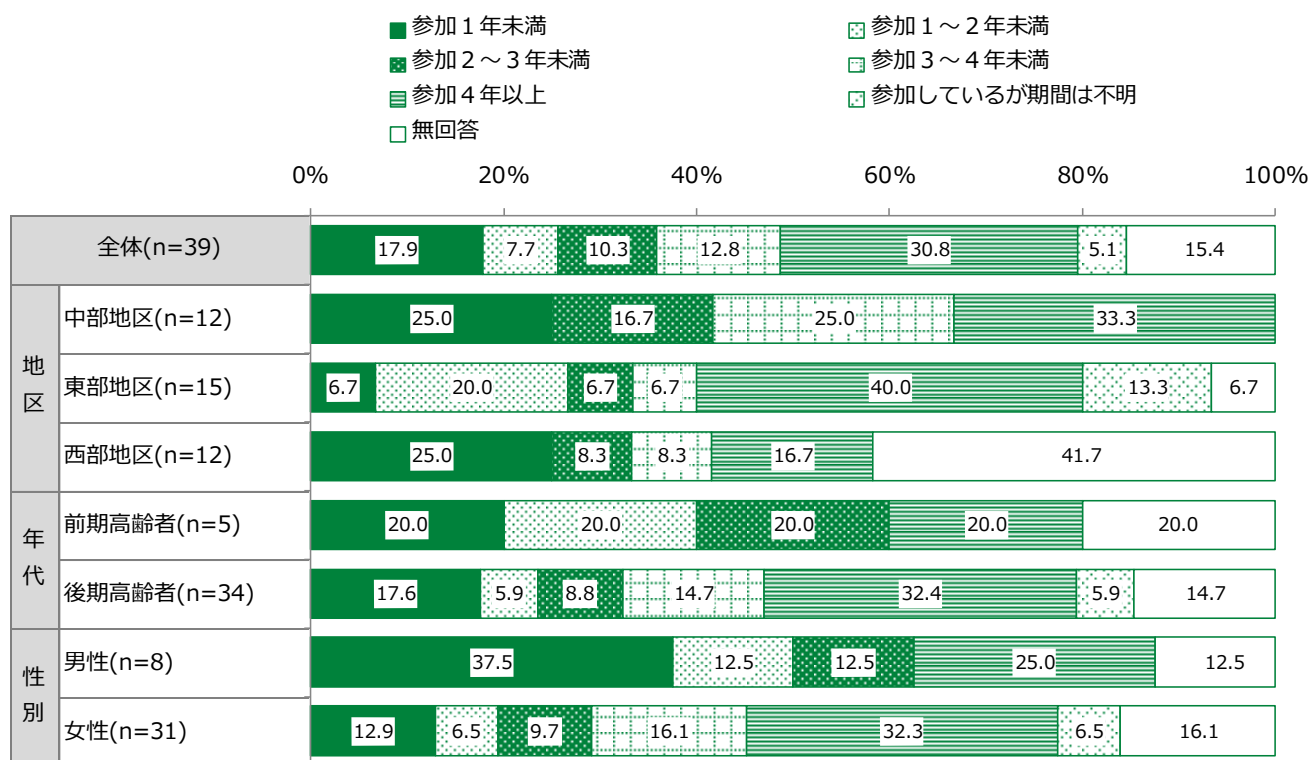
おたっしゃハウスへの参加期間については、「参加 4 年以上」が 30.8%と最も高く、次いで「参加 1 年未満」(17.9%)、「参加 3～4 年未満」(12.8%)となっています。

地区別でみると、中部地区で“参加 4 年未満”（「参加 1 年未満」～「参加 3～4 年未満」の計）が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、後期高齢者で「参加 4 年以上」が 12.4 ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「参加 4 年以上」が 7.3 ポイント、男性より高くなっています。

図表 94 おたっしゃハウスへの参加期間



4. 地域づくり活動への参加意向【参加者として】

問 37 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。
(○は1つ)

☑ 「参加してもよい」が44.7%

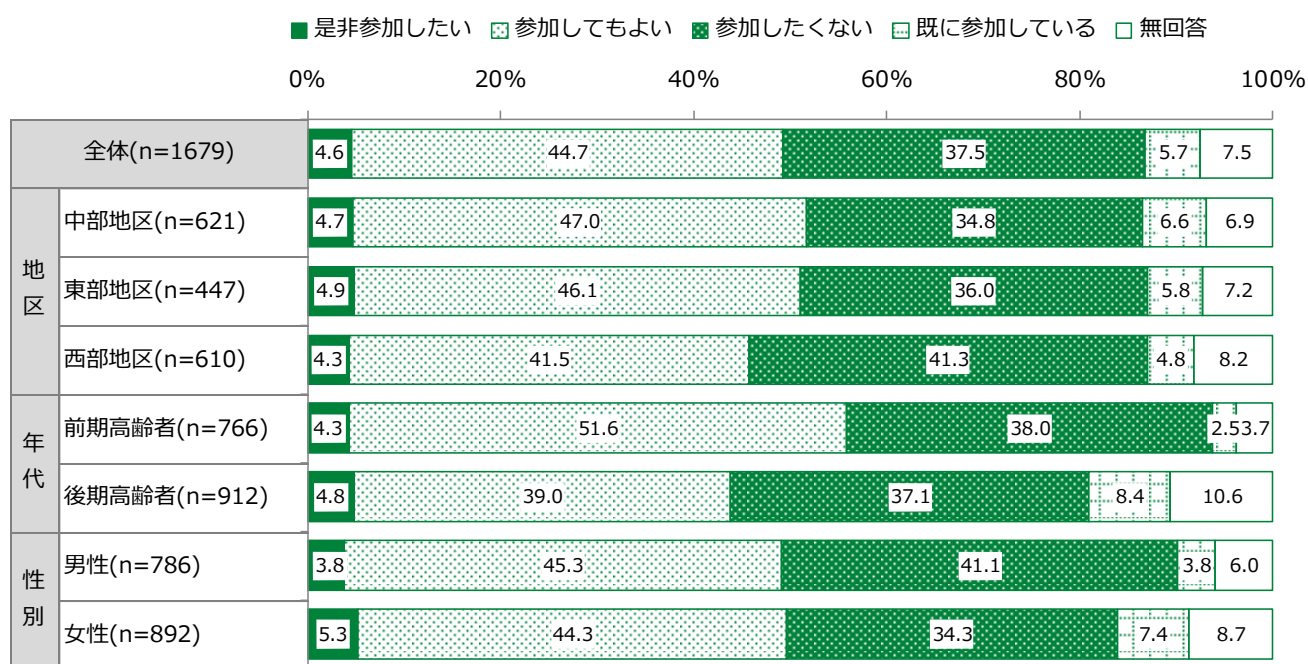
参加者としての地域づくり活動への参加意向は、「参加してもよい」が44.7%と最も高く、次いで「参加したくない」(37.5%)、「既に参加している」(5.7%)となっています。

地区別でみると、西部地区で「参加したくない」が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「参加してもよい」が12.6ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加したくない」が6.8ポイント、女性より高くなっています。

図表 95 地域づくり活動への参加意向【参加者として】



5. 地域づくり活動への参加意向【企画・運営(お世話役)として】

問 38 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

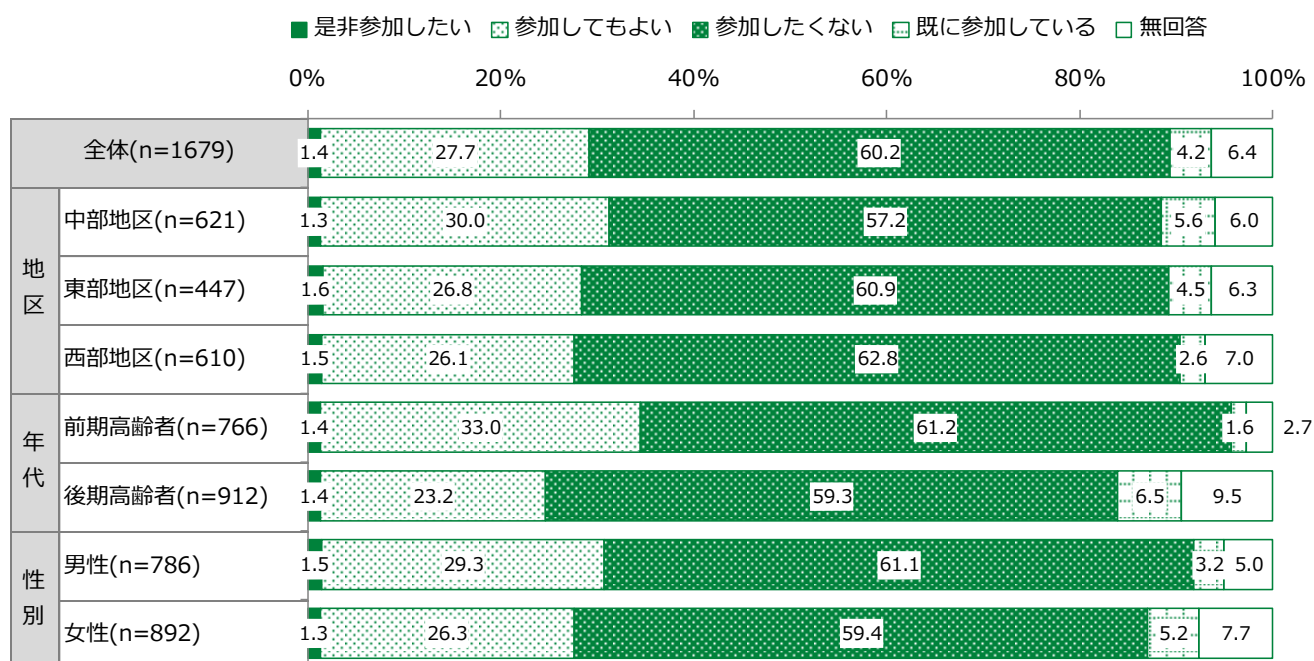
☑ 「参加してもよい」が27.7%

企画・運営としての地域づくり活動への参加意向は、「参加したくない」が60.2%と最も高く、次いで「参加してもよい」(27.7%)、「既に参加している」(4.2%)となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加してもよい」が9.8ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 96 地域づくり活動への参加意向【企画・運営（お世話役）として】



7. 就労について

1. 現在の就労状態

問 39 現在のあなたの就労状態はどれですか。(〇はいくつでも)

☒ 「引退した」が 44.8%

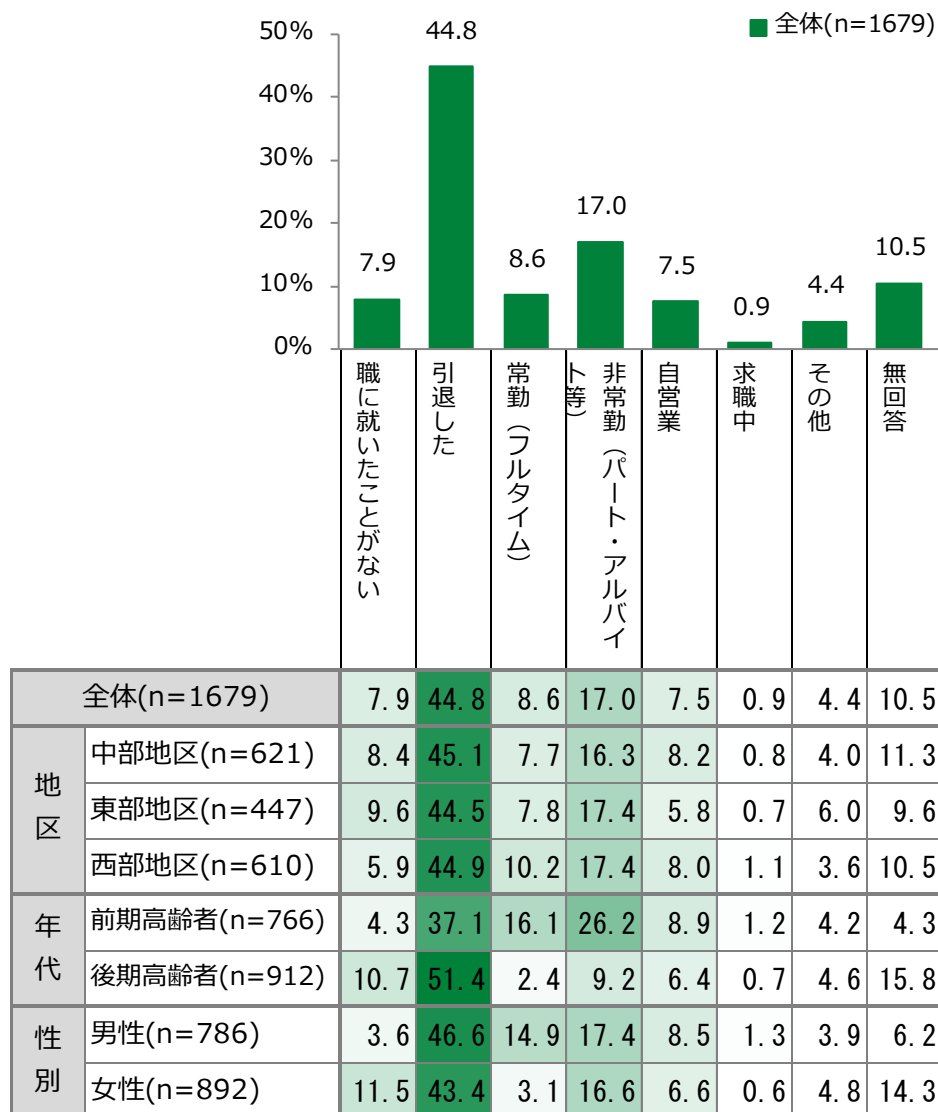
現在の就労状態については、「引退した」が 44.8%と最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」（17.0%）、「常勤（フルタイム）」（8.6%）となっています。

地区別でみると、特に大きな差はありません。

年代別でみると、後期高齢者で「引退した」が 14.3 ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性では「常勤」、女性では「職に就いたことがない」が、それぞれ異性より高くなっています。

図表 97 現在の就労状態



2. 今後の就労希望

※問 39 で「1. 職に就いたことがない」「2. 引退した」とお答えの方

問 39－1 今後就労したいと思いますか。(○は1つ)

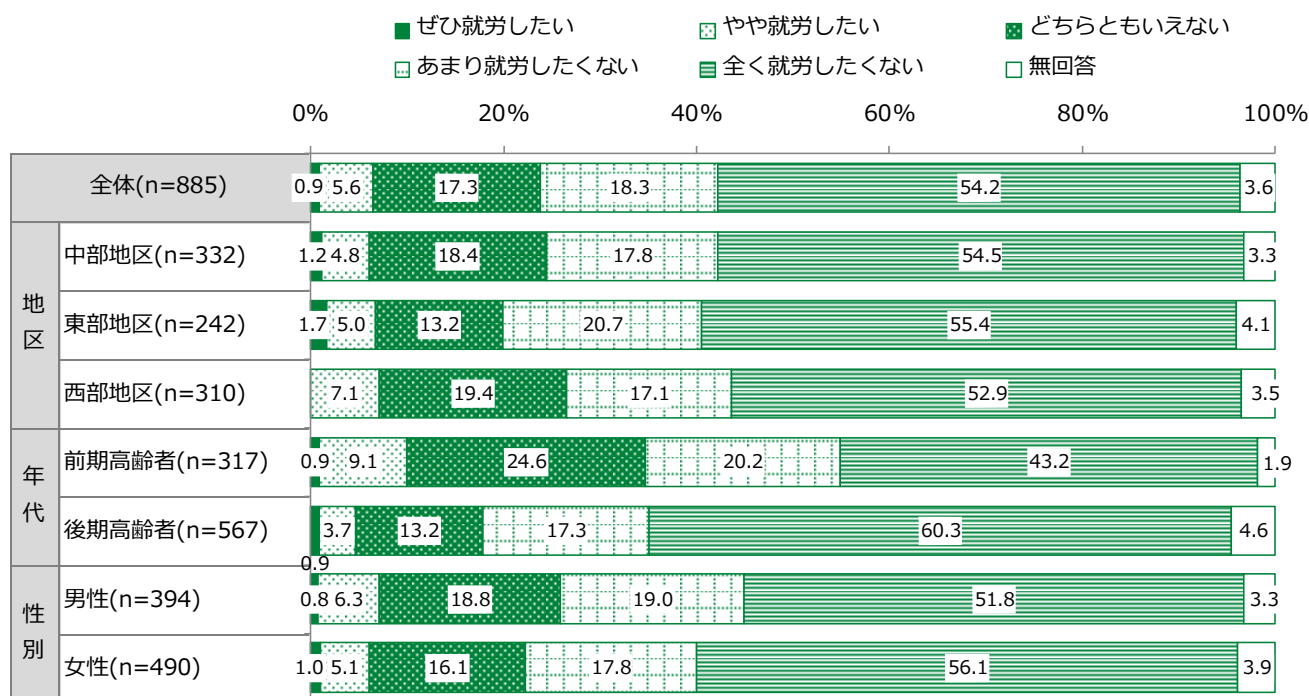
☑ “就労したい”¹が 6.5%

今後の就労希望については、「全く就労したくない」が 54.2%と最も高く、次いで「あまり就労したくない」(18.3%)となっています。“就労したい”は 6.5%、“就労したくない”²は 72.5%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で“就労したい”が 5.4 ポイント、後期高齢者で“就労したくない”が 14.2 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

図表 98 今後の就労希望



¹ 「ぜひ就労したい」「やや就労したい」の計

² 「あまり就労したくない」「全く就労したくない」の計

3. 今後の就労継続希望

※問 39 で「3. 常勤（フルタイム）」～「6. 求職中」とお答えの方

問 39－2 あなたは何歳ぐらいまで就労したいと思いますか。（○は1つ）

☑ 「70～74 歳」が 27.8%

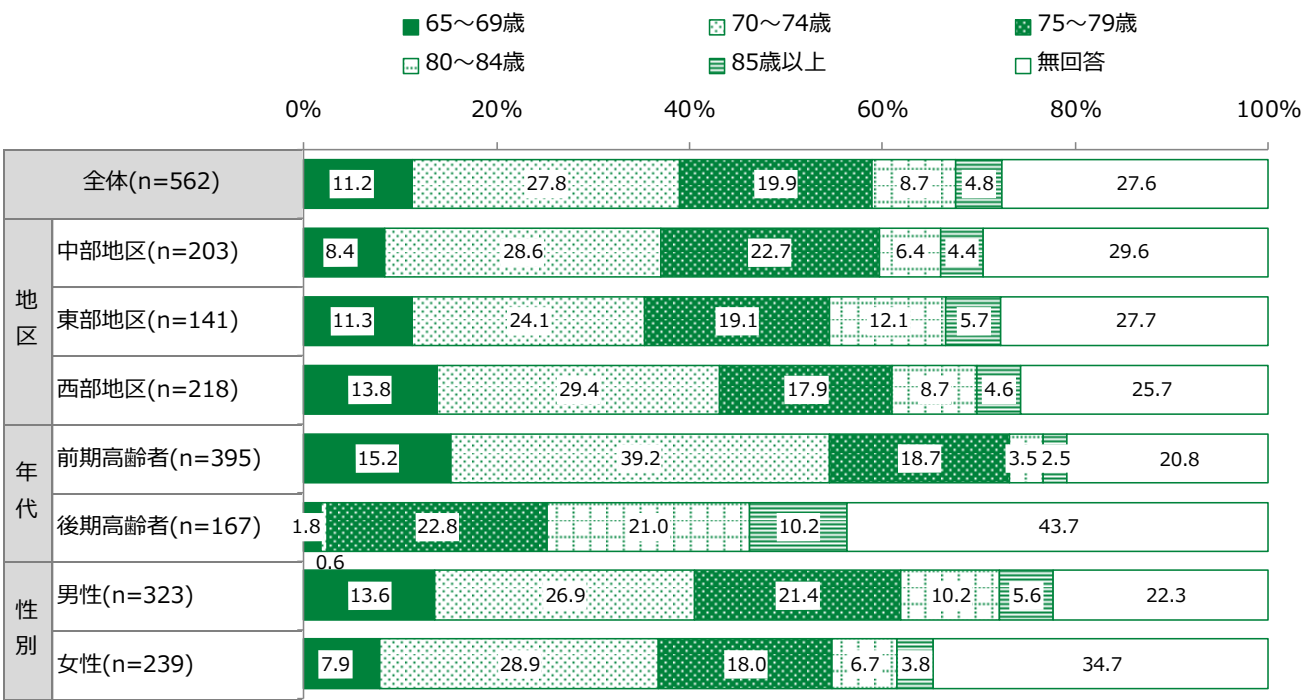
今後の就労継続希望については、「70～74 歳」が 27.8%と最も高く、次いで「75～79 歳」（19.9%）、「65～69 歳」（11.2%）となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者では「75～79 歳」が最も高くなっています。

性別でみると、男性では「70～74 歳」を除いたすべての年齢が女性より高くなっています。

図表 99 今後の就労継続希望



8. まわりの人との関係について

1. たすけあいの状況について

問 40 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

あてはまる人すべてに○をつけてください。

あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。

(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人 (○はいくつでも)

☑ 「配偶者」が 60.9%

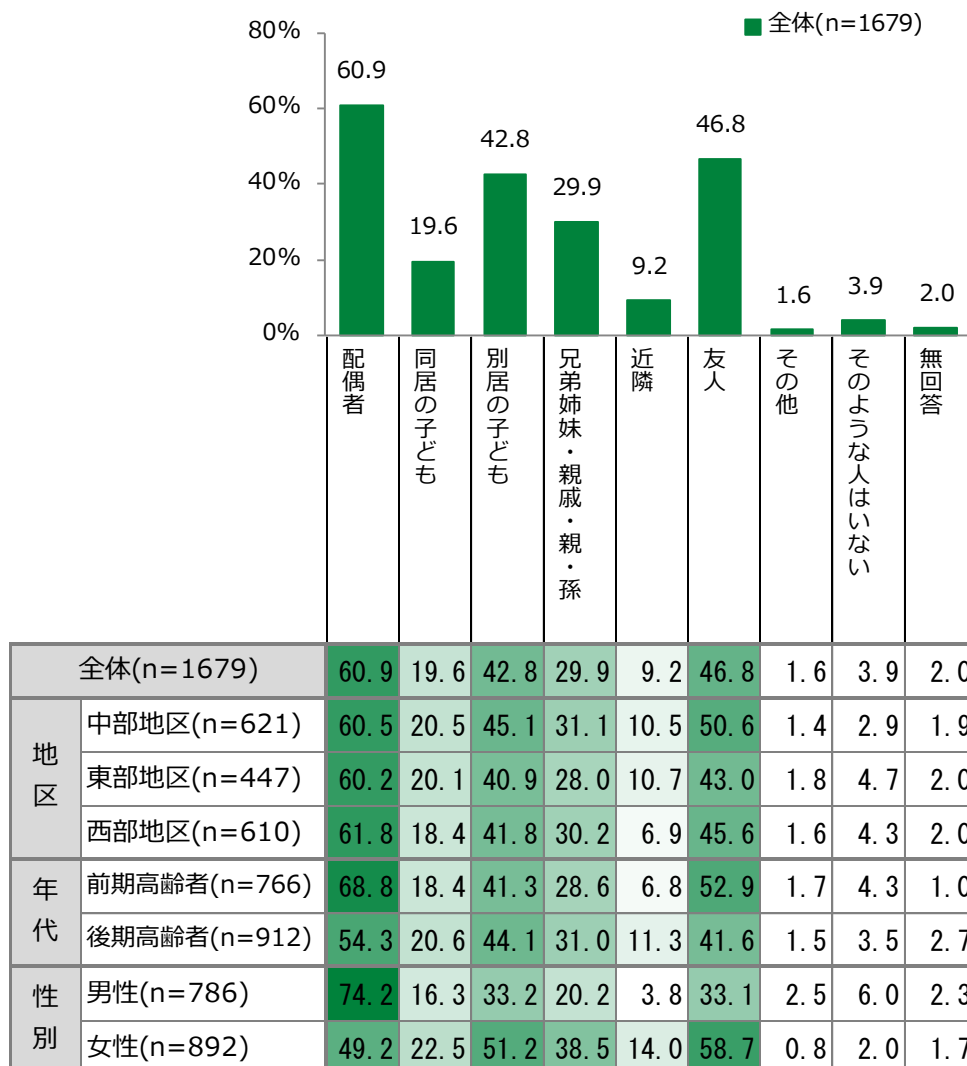
心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が 60.9%と最も高く、次いで「友人」(46.8%)、「別居の子ども」(42.8%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はありません。

年代別でみると、後期高齢者では「配偶者」に次いで「別居の子ども」が高くなっています。

性別でみると、女性では「友人」が最も高く、次いで「別居の子ども」が高くなっています。

図表 100 心配事や愚痴を聞いてくれる人



(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (〇はいくつでも)

☑ 「配偶者」が 58.6%

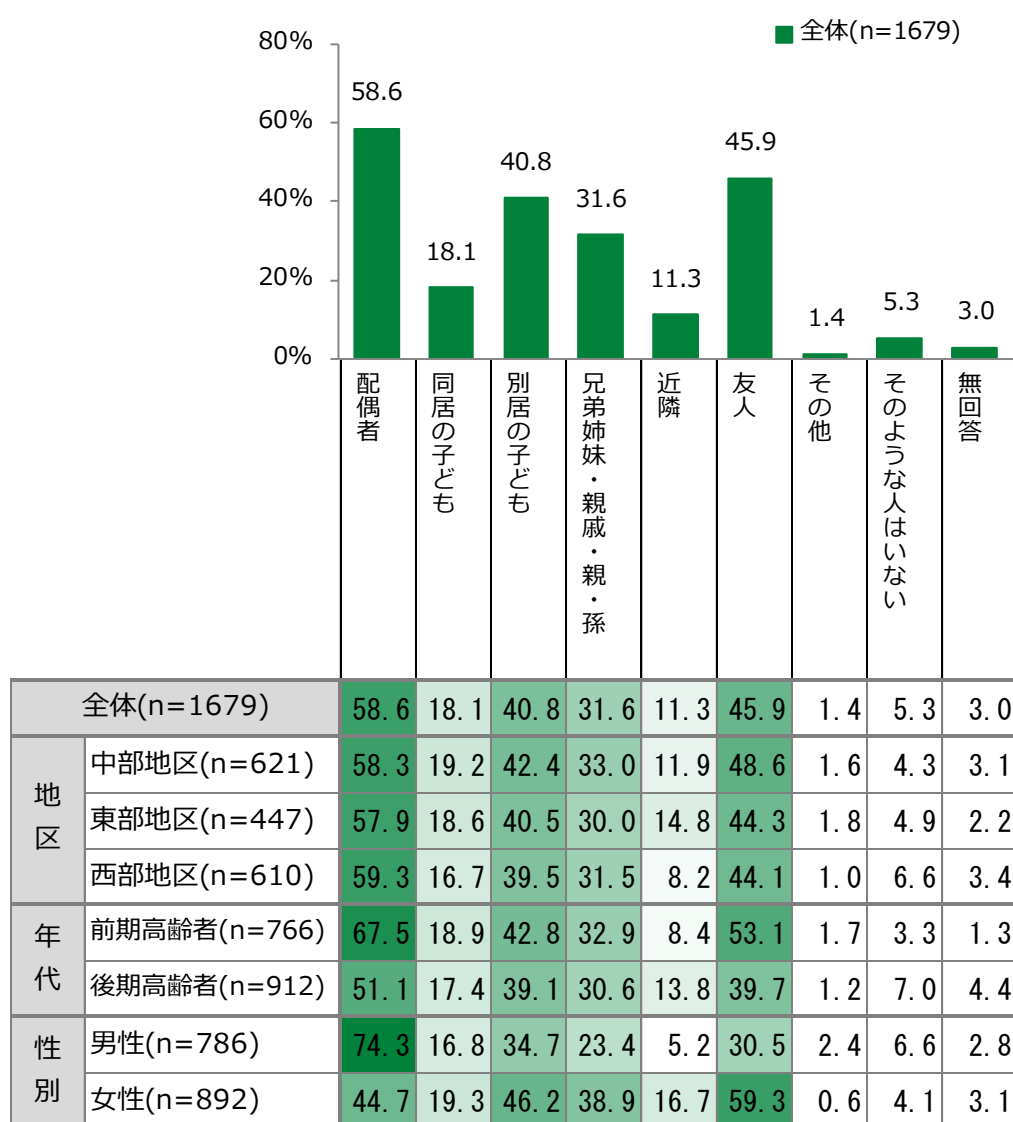
心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が 58.6%と最も高く、次いで「友人」(45.9%)、「別居の子ども」(40.8%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「配偶者」が 16.4 ポイント、「友人」が 13.4 ポイント、後期高齢者で「近隣」が 5.4 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、女性では「友人」が最も高く、次いで「別居の子ども」が高くなっています。

図表 101 心配事や愚痴を聞いてあげる人



(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（〇はいくつでも）

☑ 「配偶者」が 66.0%

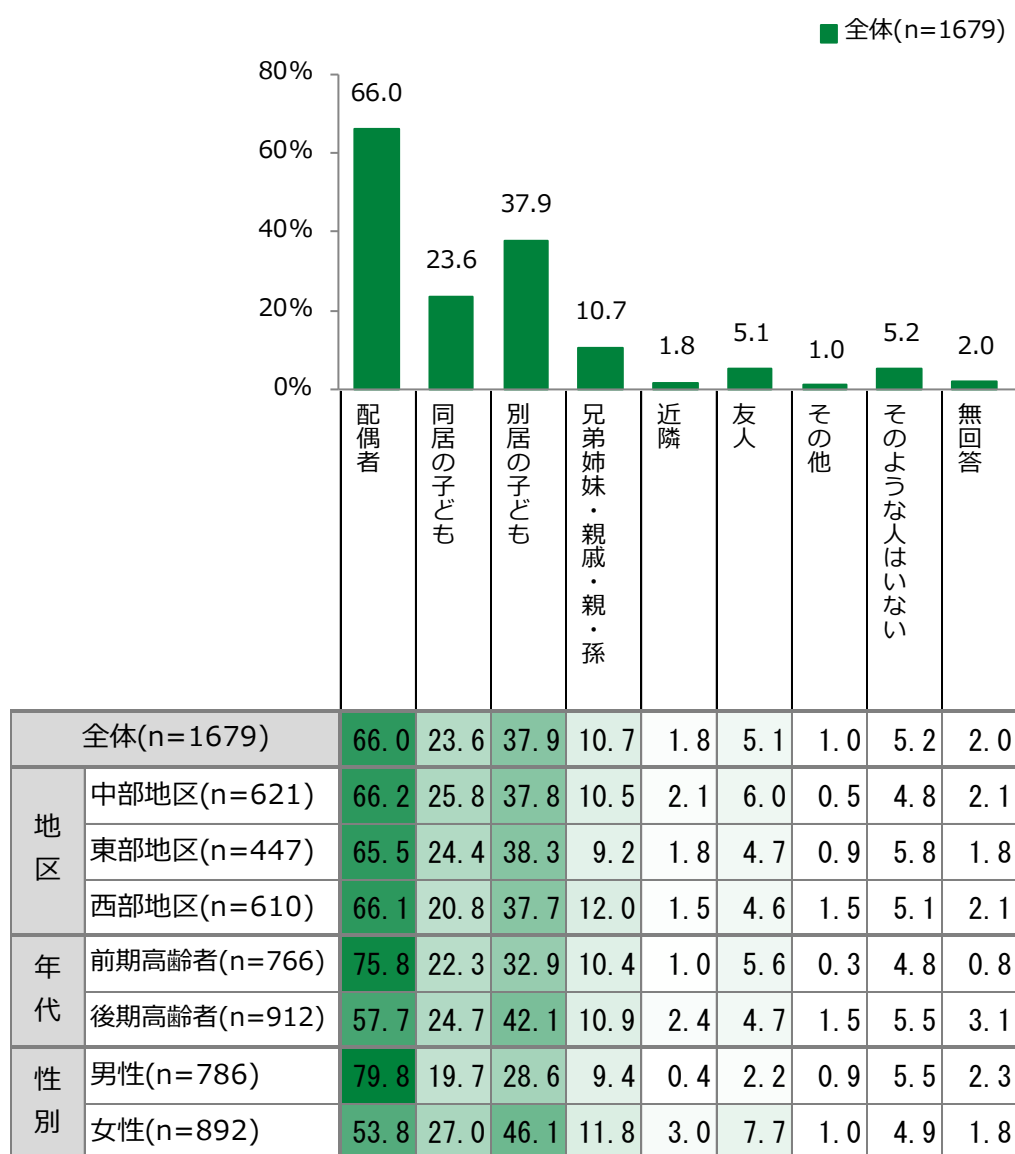
看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が 66.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」(37.9%)、「同居の子ども」(23.6%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「配偶者」が 18.1 ポイント、後期高齢者で「別居の子ども」が 9.2 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、男性で「配偶者」が 26.0 ポイント、女性で「別居の子ども」が 17.5 ポイント、「同居の子ども」が 7.3 ポイント、「友人」が 5.5 ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 102 看病や世話をしてくれる人



(4) 反対に、看病や世話をしあける人(○はいくつでも)

☑ 「配偶者」が 65.5%

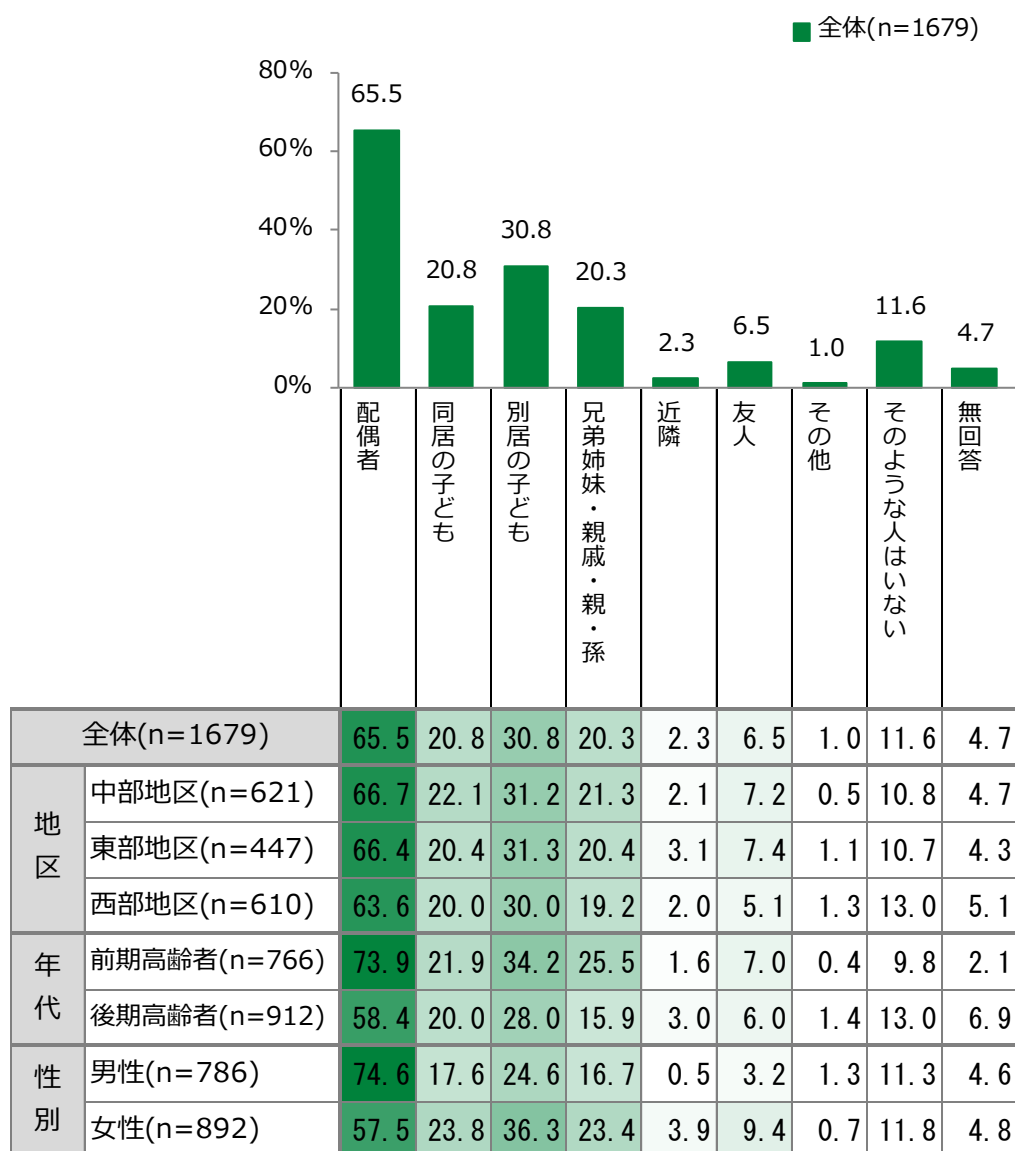
看病や世話をしあける人については、「配偶者」が 65.5%と最も高く、次いで「別居の子ども」(30.8%)、「同居の子ども」(20.8%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「配偶者」が 15.5 ポイント、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 9.6 ポイント、「別居の子ども」が 6.2 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「配偶者」が 17.1 ポイント、女性で「別居の子ども」が 11.7 ポイント、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 6.7 ポイント、「同居の子ども」「友人」がともに 6.2 ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 103 看病や世話をしあける人



2. 家族や友人・知人以外の相談相手

問 41 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(〇はいくつでも)

☑ 「医師・歯科医師・看護師」が 27.5%

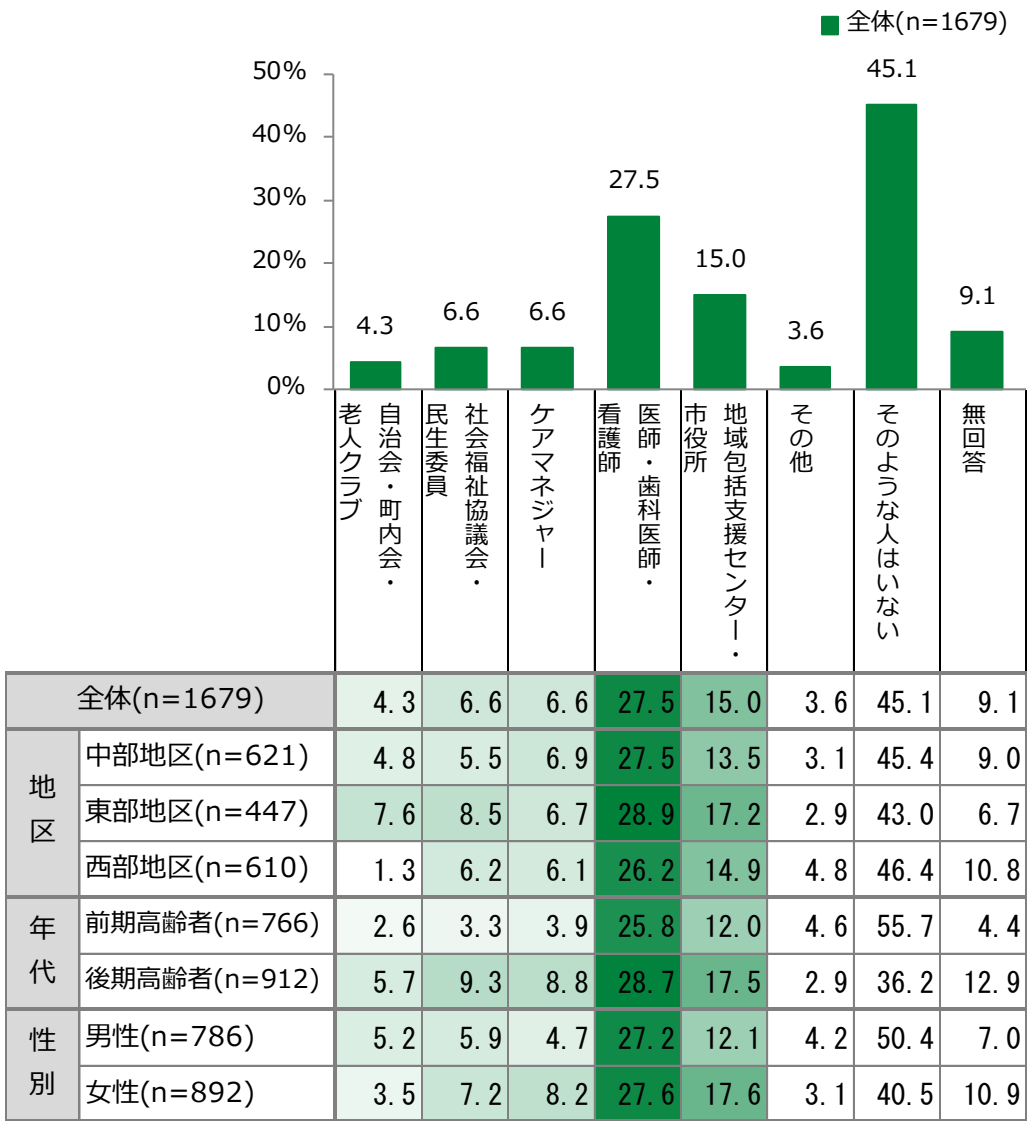
家族や友人・知人以外の相談相手については、「そのような人はいない」が 45.1%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」(27.5%)、「地域包括支援センター・市役所」(15.0%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「そのような人はいない」が 19.5 ポイント、後期高齢者で「社会福祉協議会・民生委員」が 6.0 ポイント、「地域包括支援センター・市役所」が 5.5 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、男性で「そのような人はいない」が 9.9 ポイント、女性で「地域包括支援センター・市役所」が 5.5 ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 104 家族や友人・知人以外の相談相手



3. 友人・知人と会う頻度

問 42 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

☑ 「月に何度かある」が29.3%

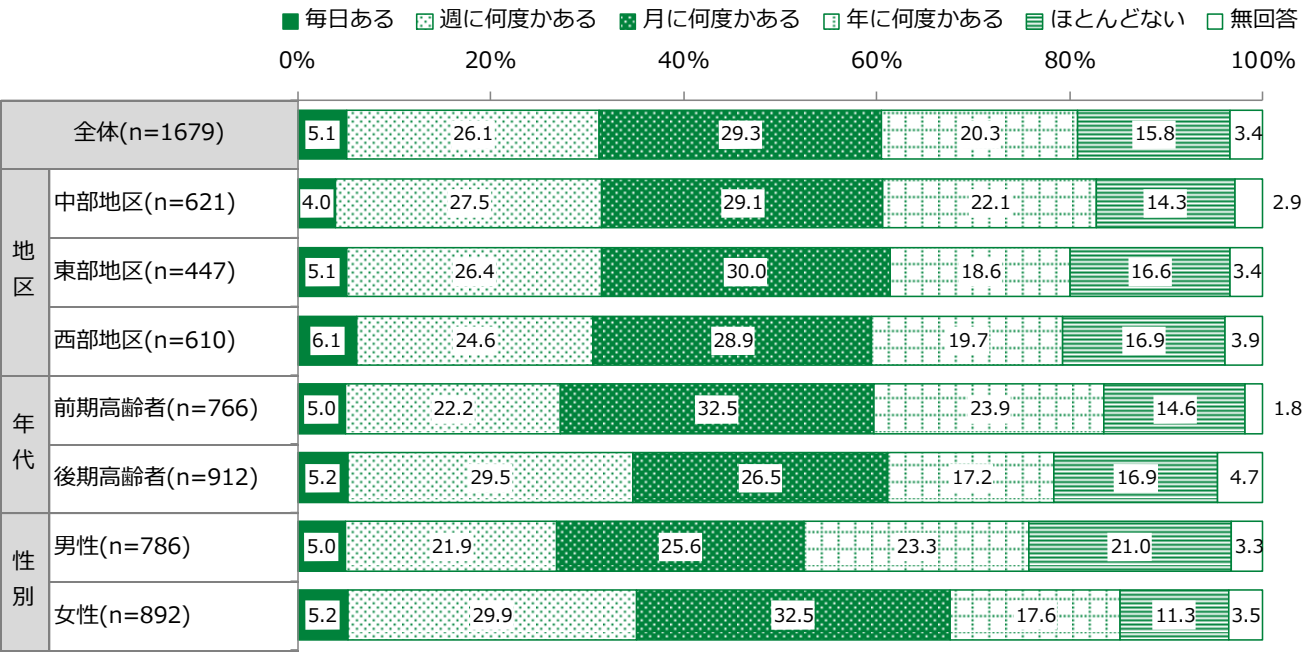
友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が29.3%と最も高く、次いで「週に何度かある」(26.1%)、「年に何度かある」(20.3%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者では「週に何度かある」が最も高くなっています。

性別でみると、女性で「週に何度かある」が8.0ポイント、男性で「ほとんどない」が9.7ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 105 友人・知人と会う頻度



4. 会った友人・知人の人数

問 43 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(○は1つ)
(同じ人には何度会っても1人と数えることとします)

☑ 「3～5人」が23.9%

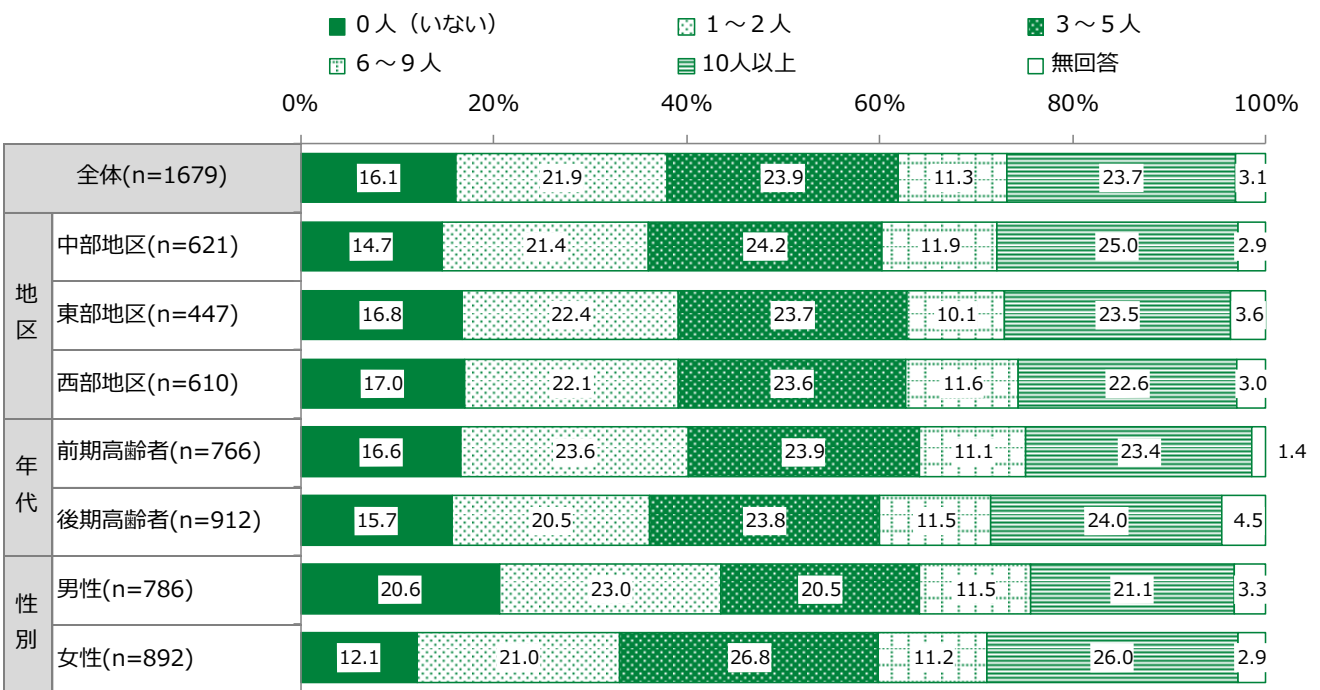
会った友人・知人の人数については、「3～5人」が23.9%と最も高く、次いで「10人以上」(23.7%)、「1～2人」(21.9%)となっています。また、「0人(いない)」が16.1%となっています。

地区別でみると、中部地区では「10人以上」が最も高くなっています。

年代別でみると、後期高齢者では「10人以上」が最も高くなっています。

性別でみると、男性では「1～2人」が最も高く、「0人(いない)」が8.5ポイント、女性より高くなっています。

図表 106 会った友人・知人の人数



5. 地域の人々は信用できるか

問 44（１） あなたの地域の人々は、一般的に信用できると思いますか。（○は１つ）

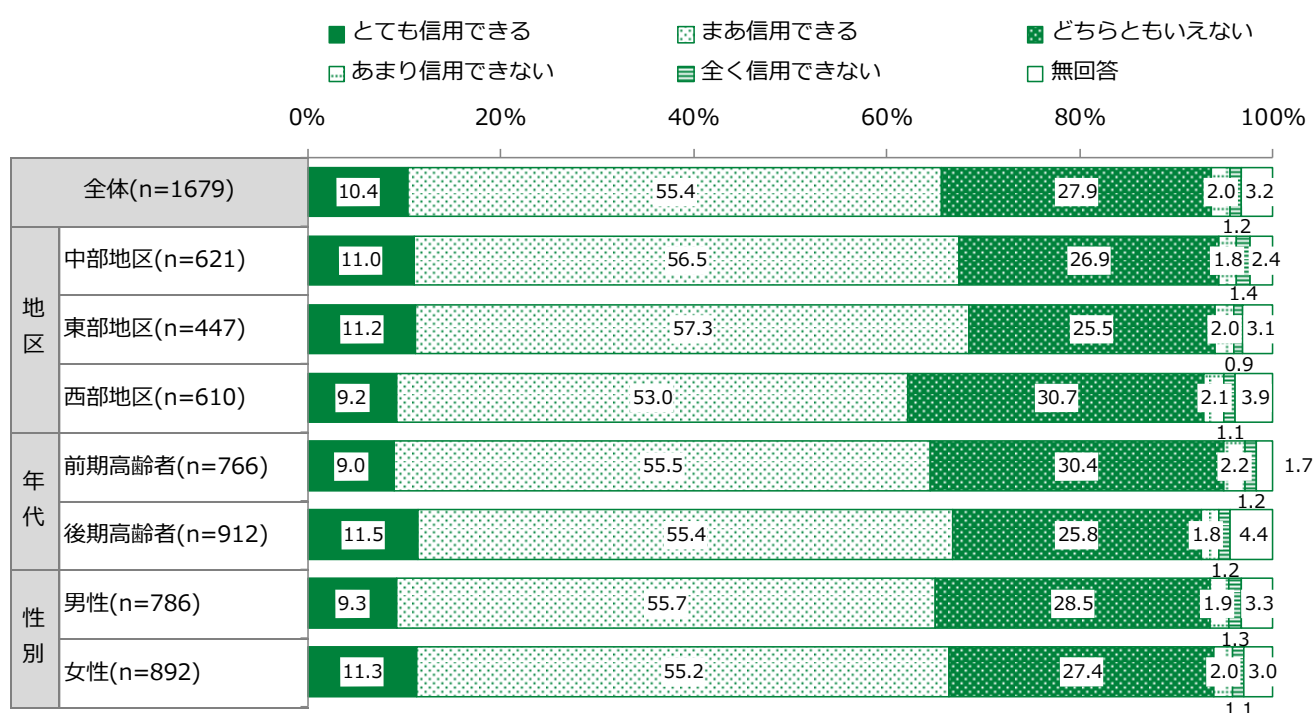
☑ 「まあ信用できる」が 55.4%

地域の人々が信用できるかについては、「まあ信用できる」が 55.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」(27.9%)、「とても信用できる」(10.4%)となっています。“信用できる”¹は 65.8%、“信用できない”²は 3.2%となっています。

地区別でみると、西部地区で“信用できる”が他の地区より低くなっています。

年代別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

図表 107 地域の人々は信用できるか



¹ 「とても信用できる」「まあ信用できる」の計

² 「あまり信用できない」「全く信用できない」の計

6. 地域の人々は他の人の役に立とうとするか

問 44（２） あなたの地域の人々は、多くの場合、他の人の役に立とうとするとおもうか。
（○は１つ）

☑ 「どちらともいえない」が41.0%

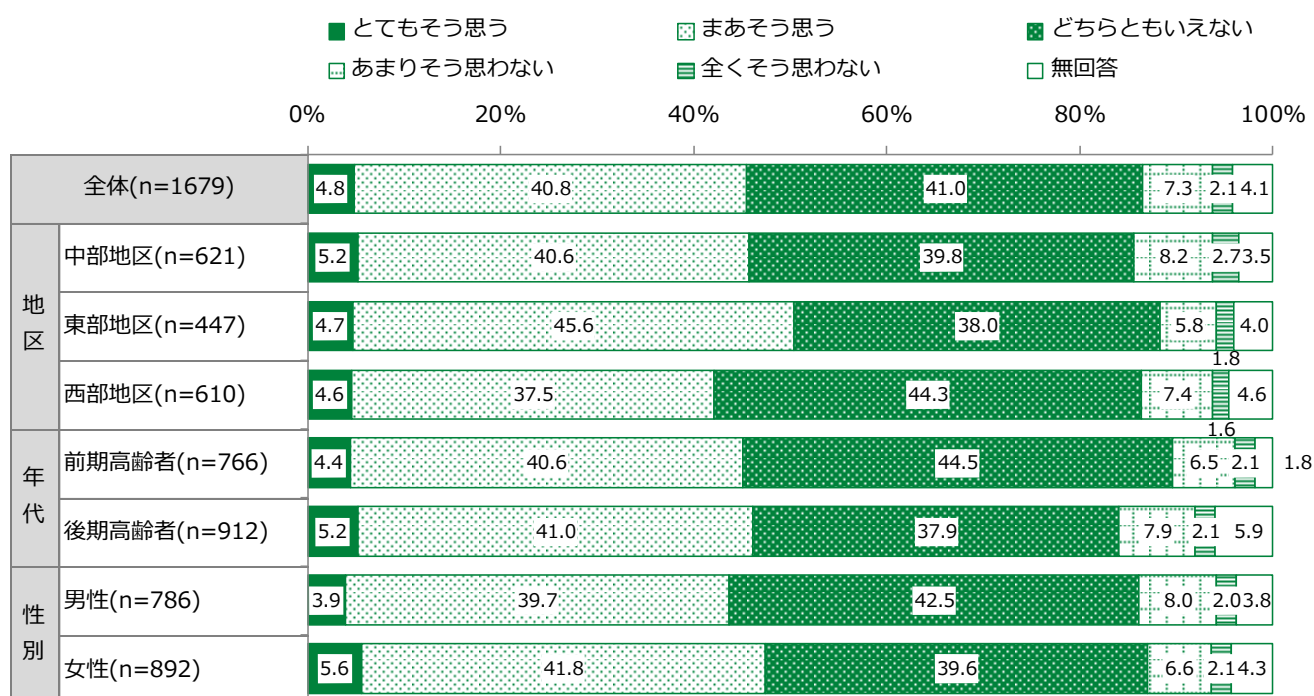
地域の人々は他の人の役に立とうとするかについては、「どちらともいえない」が41.0%と最も高く、次いで「まあそう思う」（40.8%）、「あまりそう思わない」（7.3%）となっています。“そう思う”¹は45.6%、“そう思わない”²は9.4%となっています。

地区別でみると、中部地区・東部地区では「まあそう思う」が最も高くなっています。

年代別でみると、後期高齢者では「まあそう思う」が最も高くなっています。

性別でみると、女性では「まあそう思う」が最も高くなっています。

図表 108 地域の人々は他の人の役に立とうとするか



¹ 「とてもそう思う」「まあそう思う」の計

² 「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の計

7. 地域への愛着

問 44（3） あなたは、現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。（○は1つ）

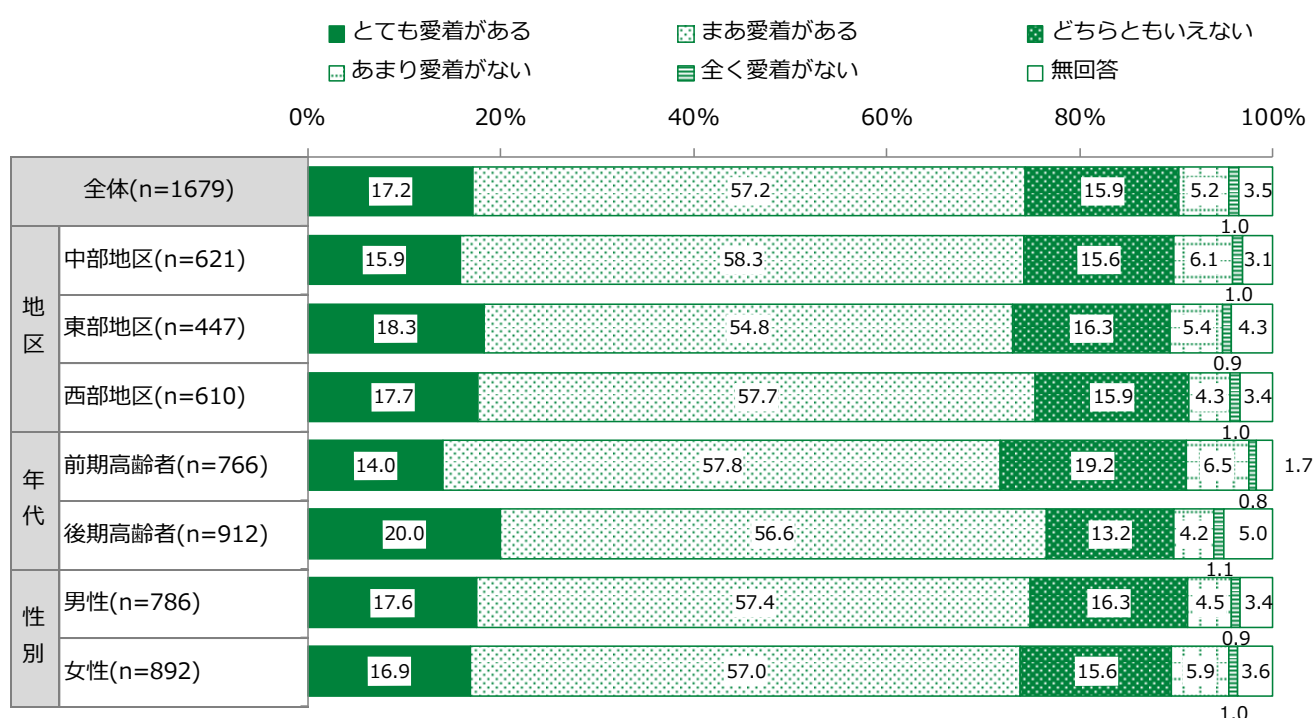
☑ 「まあ愛着がある」が57.2%

地域への愛着については、「まあ愛着がある」が57.2%と最も高く、次いで「とても愛着がある」（17.2%）、「どちらともいえない」（15.9%）となっています。“愛着がある”¹は74.4%、“愛着がない”²は6.2%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で「とても愛着がある」が6.0ポイント、前期高齢者より高くなっています。

図表 109 地域への愛着



¹ 「とても愛着がある」「まあ愛着がある」の計

² 「あまり愛着がない」「全く愛着がない」の計

9. 認知症について

1. 認知症の症状の有無

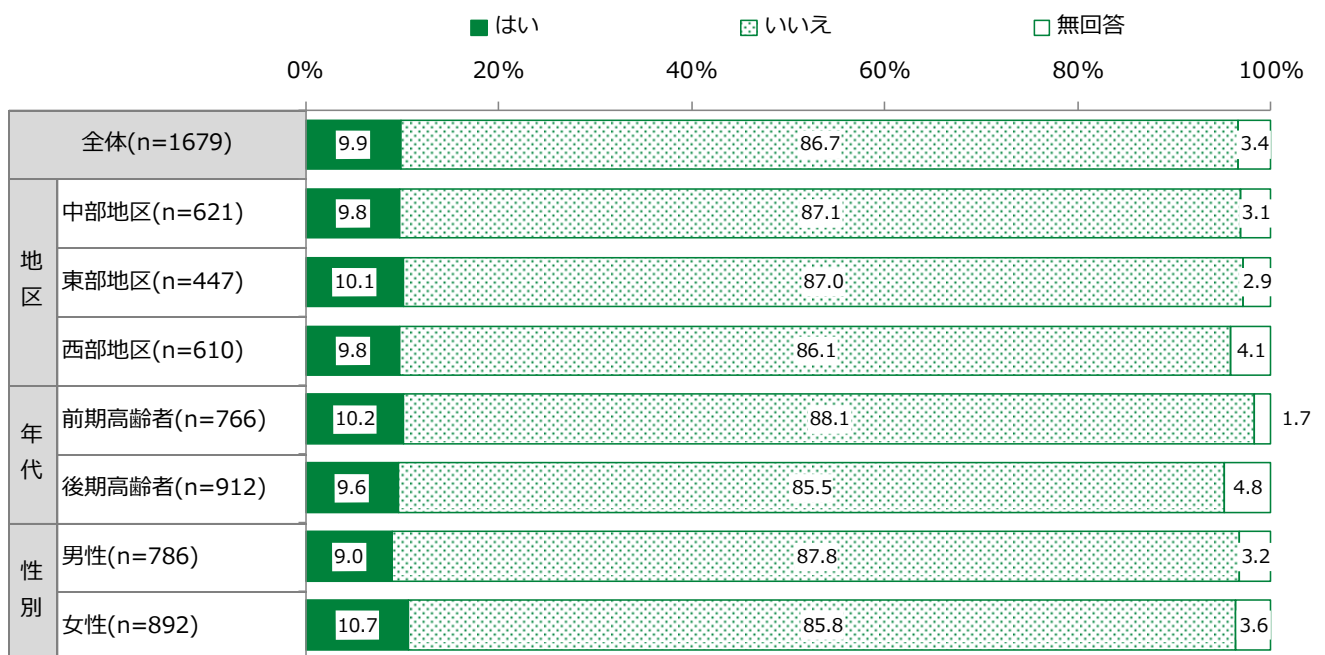
問 45 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

☑ 「はい」が9.9%

自分または家族に認知症の症状があるかについては、「いいえ」が86.7%、「はい」が9.9%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 110 認知症の症状の有無



2. 認知症相談窓口の認知度

問 46 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

☑ 「はい」 が 32.5%

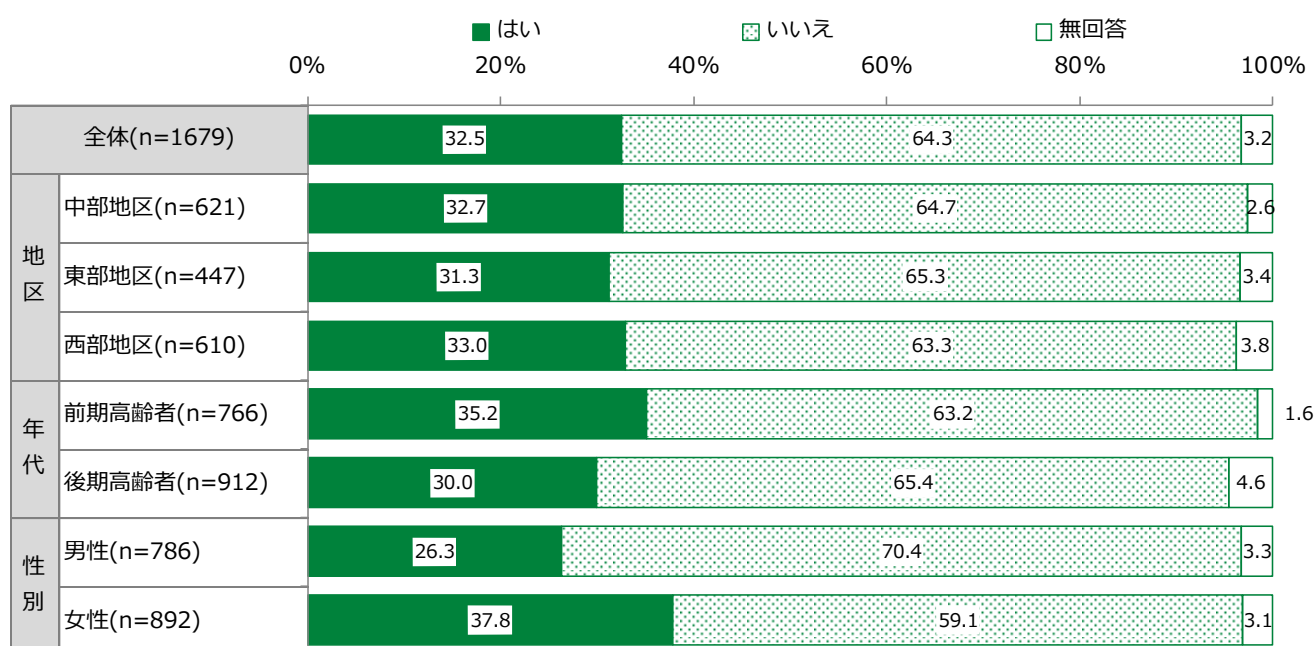
認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「いいえ」が64.3%、「はい」が32.5%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「はい」が5.2ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「はい」が11.5ポイント、男性より高くなっています。

図表 111 認知症相談窓口の認知度



3. 「新しい認知症観」の認知度

問 47 「新しい認知症観」（本人や家族がその人らしい生活を地域で送ることを大切にする考え方）について知っていますか。（○は1つ）

☑ 「知っている」が9.8%

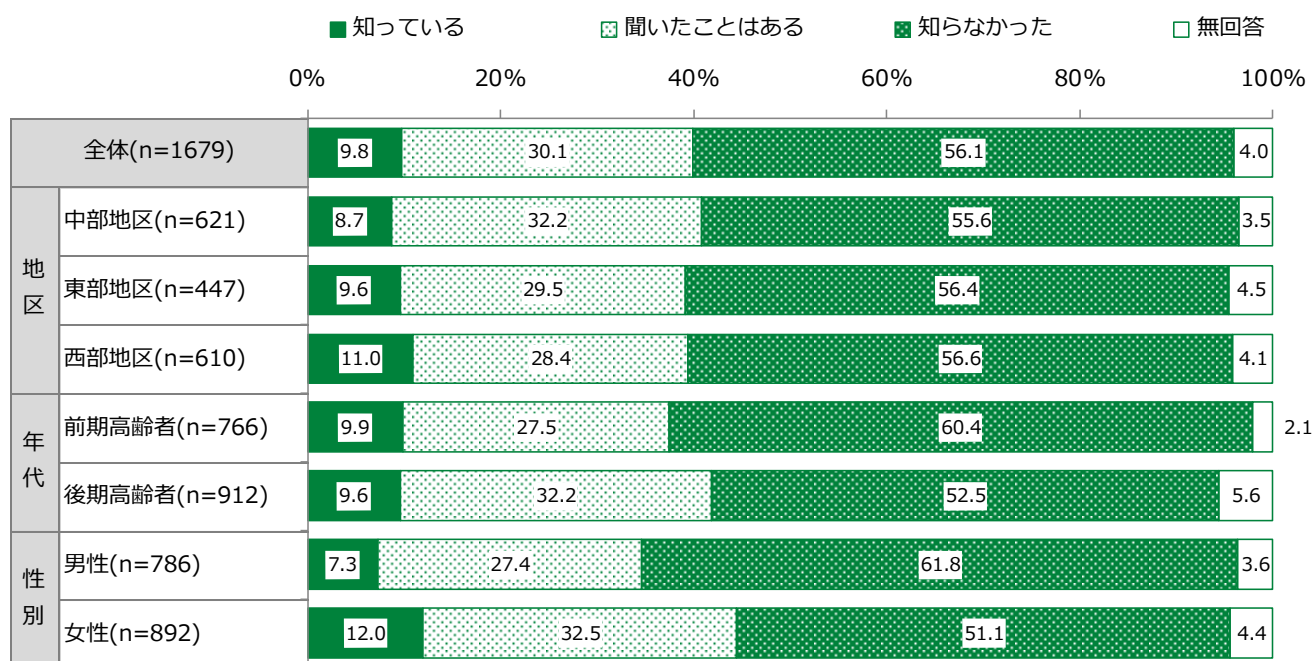
「新しい認知症観」を知っているかについては、「知らなかった」が56.1%と最も高く、次いで「聞いたことはある」（30.1%）、「知っている」（9.8%）となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「知らなかった」が7.9ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「知らなかった」が10.7ポイント、女性より高くなっています。

図表 112 「新しい認知症観」の認知度



4. 地域で支え合える社会が大切だと思うか

問 48 地域で認知症の人やご家族も含めて「お互い様」の気持ちで支え合える社会が大切だと思いますか。(〇は1つ)

☑ 「ある程度大切だと思う」が 48.3%

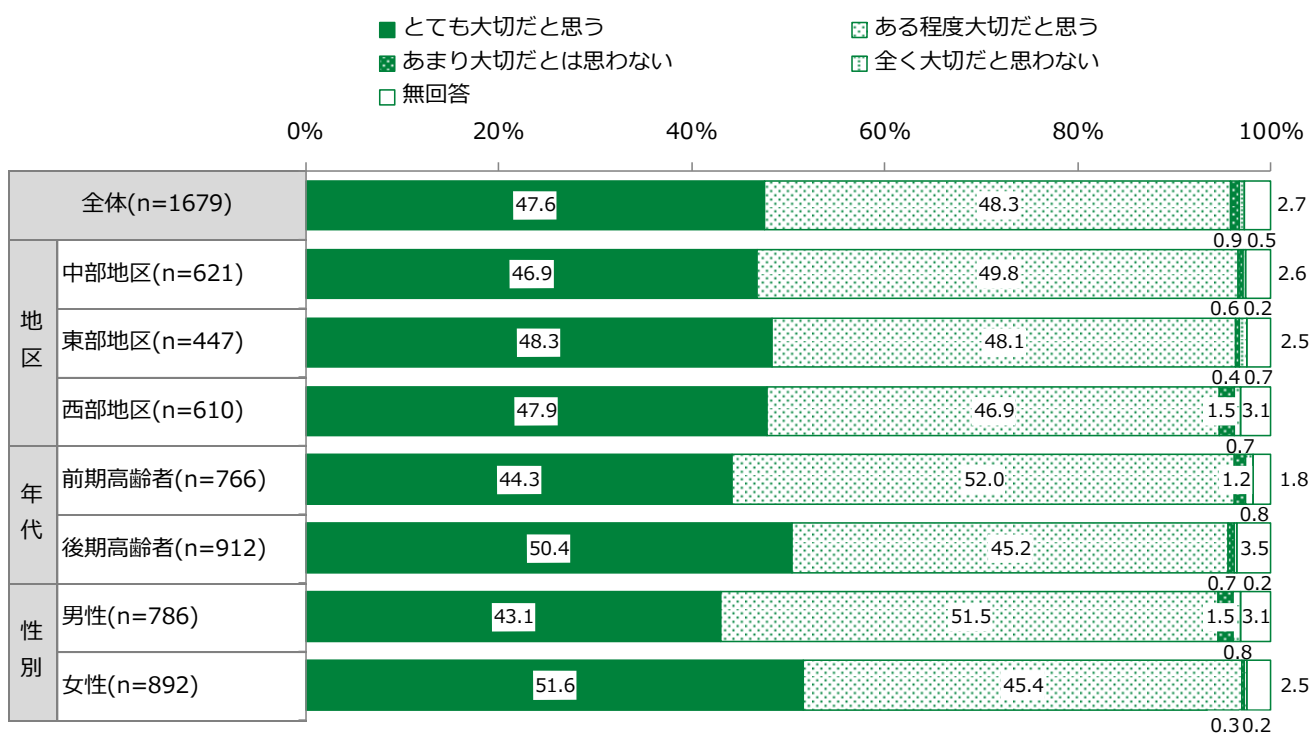
地域で支え合える社会が大切だと思うかについては、「ある程度大切だと思う」が 48.3%と最も高く、次いで「とても大切だと思う」(47.6%)となっています。“大切だと思う”¹は 95.9%、“大切だと思わない”²は 1.4%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で「とても大切だと思う」が 6.1 ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「とても大切だと思う」が 8.5 ポイント、男性より高くなっています。

図表 113 地域で支え合える社会が大切だと思うか



¹ 「とても大切だと思う」「ある程度大切だと思う」の計

² 「あまり大切だとは思わない」「全く大切だと思わない」の計

10. 介護保険制度および高齢者福祉施策について

1. 介護保険制度や高齢者サービスなどに関する情報の入手先

問 49 介護保険制度や市が行う高齢者に対するサービスなどの情報をどこから得ていますか。
(〇はいくつでも)

☑ 「市の広報（広報にっしん、チラシなど）」が 57.4%

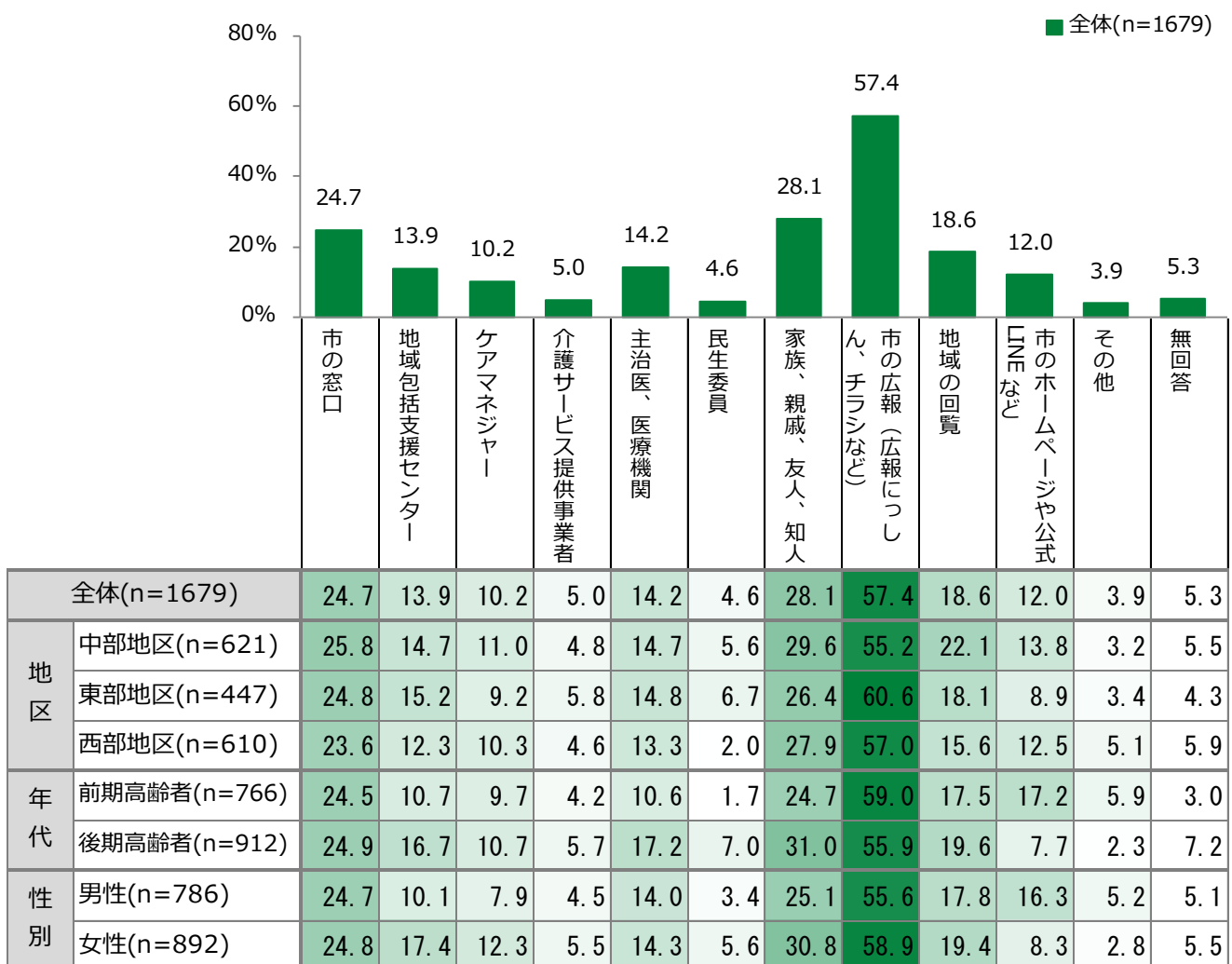
介護保険制度や高齢者サービスなどに関する情報の入手先については、「市の広報（広報にっしん、チラシなど）」が 57.4%と最も高く、次いで「家族、親戚、友人、知人」(28.1%)、「市の窓口」(24.7%)、「地域の回覧」(18.6%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「市のホームページや公式 LINE など」が 9.5 ポイント、後期高齢者で「主治医、医療機関」が 6.6 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、男性で「市のホームページや公式 LINE など」が 8.0 ポイント、女性で「地域包括支援センター」が 7.3 ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 114 介護保険制度や高齢者サービスなどに関する情報の入手先



2. 「人生会議」の認知度

問 50 「人生会議」または「ACP¹」について、知っていますか。(○は1つ)

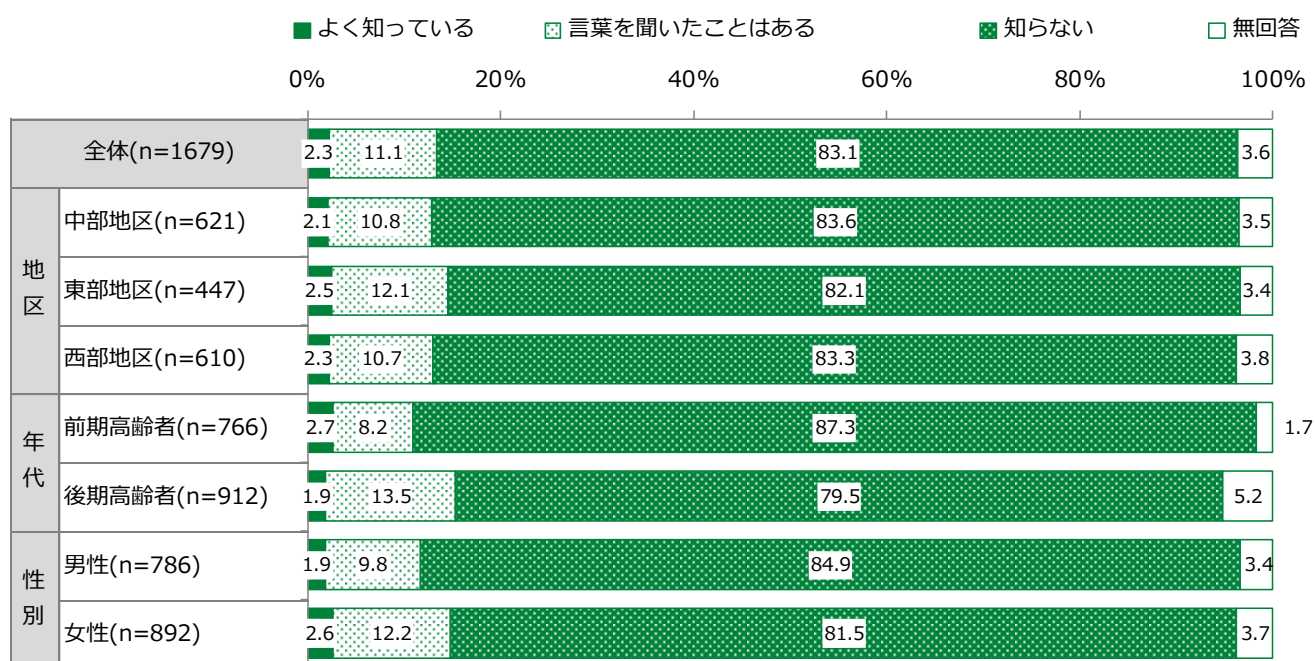
☑ 「よく知っている」が2.3%

「人生会議（ACP）」を知っているかについては、「知らない」が83.1%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことはある」(11.1%)、「よく知っている」(2.3%)となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「知らない」が7.8ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 115 「人生会議」の認知度



¹アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）の略。もしものときのために、自分自身が望む医療やケアについて前もって考え、信頼できる人や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと。

3. 高齢者の福祉・介護・医療に関する意見・要望

問 51 高齢者の福祉・介護・医療について、ご意見・要望がありましたらご自由にお書きください。

図表 116 高齢者の福祉・介護・医療に関する意見・要望

内容	件数
交通・移動手段について	35
在宅サービスについて	4
施設サービスについて	6
経済的負担・支援について	29
情報について	25
相談・窓口について	5
社会参加について	1
集いの場・交流の場について	6
教室・講座等について	2
介護予防・セルフケアについて	9
地域での支援について	9
医療について	7
インフラ（病院等）について	7
介護保険・認定制度について	16
市の施策について	22
将来等に対する不安	13
アンケートについて	8
現在の生活について	34
その他	27
なし、わからない	3
合 計	268

調査結果

在宅介護実態調査

Ⅲ. 調査結果 在宅介護実態調査

1. 調査票対象者について

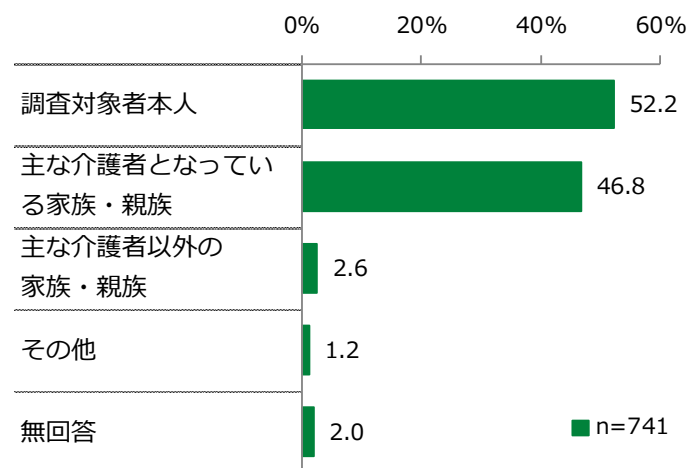
1. 調査票の回答者

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(〇はいくつでも)

☑ 「調査対象者本人」が52.2%

調査票の回答者については、「調査対象者本人」が52.2%、「主な介護者となっている家族・親族」が46.8%、「主な介護者以外の家族・親族」が2.6%となっています。

図表 117 調査票の回答者

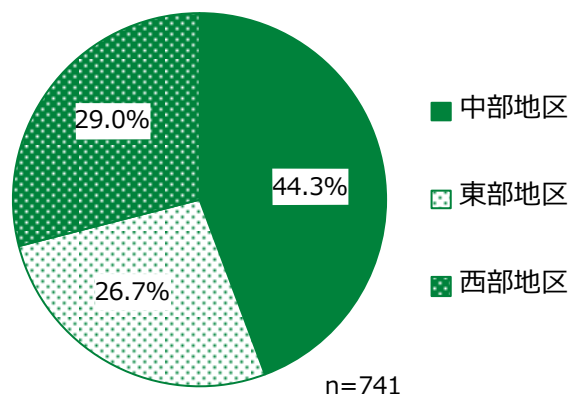


2. 居住地域(認定データより)

☑ 「中部地区」が44.3%

居住地域については、「中部地区」が44.3%、「西部地区」(29.0%)、「東部地区」(26.7%)となっています。

図表 118 居住地域



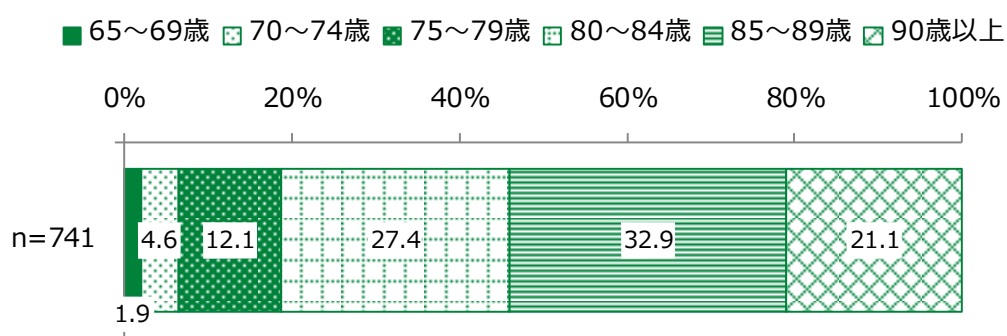
中部地区 (蟹甲・折戸・栄 (1～2丁目)・本郷・岩崎・岩藤・南ヶ丘・東山・藤塚・竹の山)
東部地区 (藤枝・米野木・米野木台・三本木・藤島・北新・五色園・栄 (3～5丁目))
西部地区 (赤池・赤池南・浅田・浅田平子・梅森・梅森台・野方・香久山・岩崎台)

3. 年齢(認定データより)

☑ 「85～89 歳」が 32.9%

対象者の年齢については、「65～69 歳」が 1.9%、「70 歳代」が 16.7%、「80 歳代」が 60.3%、「90 歳以上」が 21.1%となっています。前期高齢者（65～74 歳）は 6.5%、後期高齢者（75 歳以上）は 93.5%となっています。

図表 119 年齢

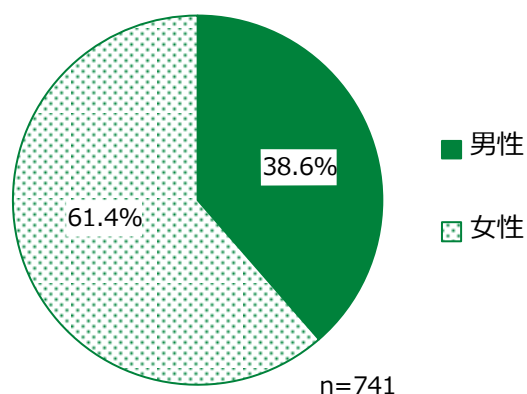


4. 性別(認定データより)

☑ 「女性」が 61.4%

対象者の性別については、「女性」が 61.4%、「男性」が 38.6%となっています。

図表 120 性別

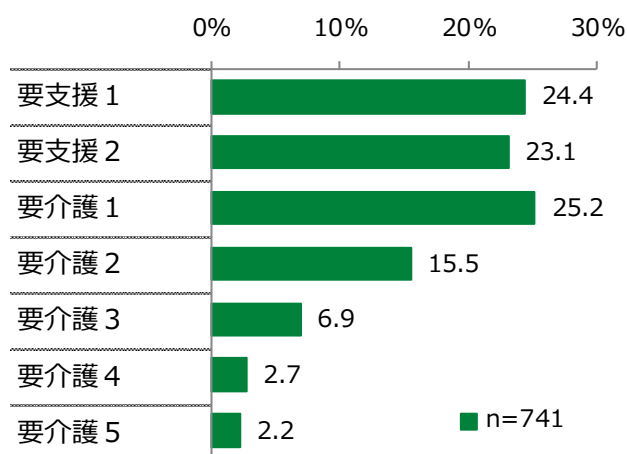


5. 要介護状態(認定データより)

☑ 「要介護1」が25.2%

要介護状態については、「要支援1・2」が47.5%、「要介護1・2」が40.7%、「要介護3以上」が11.8%となっています。

図表 121 要介護状態



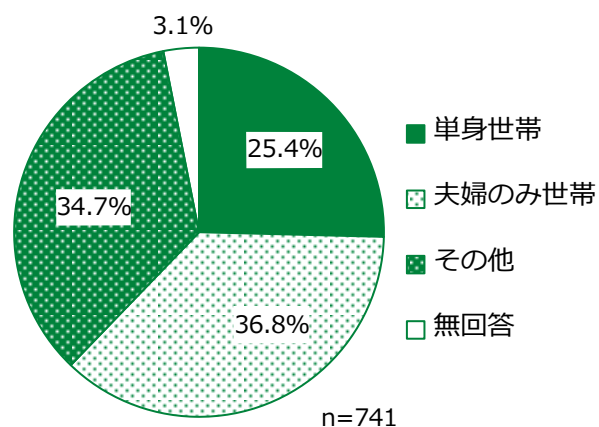
6. 世帯類型

問2 世帯類型について、ご回答ください。(○は1つ)

☑ 「夫婦のみ世帯」が36.8%

世帯類型については、「夫婦のみ世帯」が36.8%と最も高く、次いで「その他」(34.7%)、「単身世帯」(25.4%)となっています。

図表 122 世帯類型



7. 施設等への入所・入居の検討状況

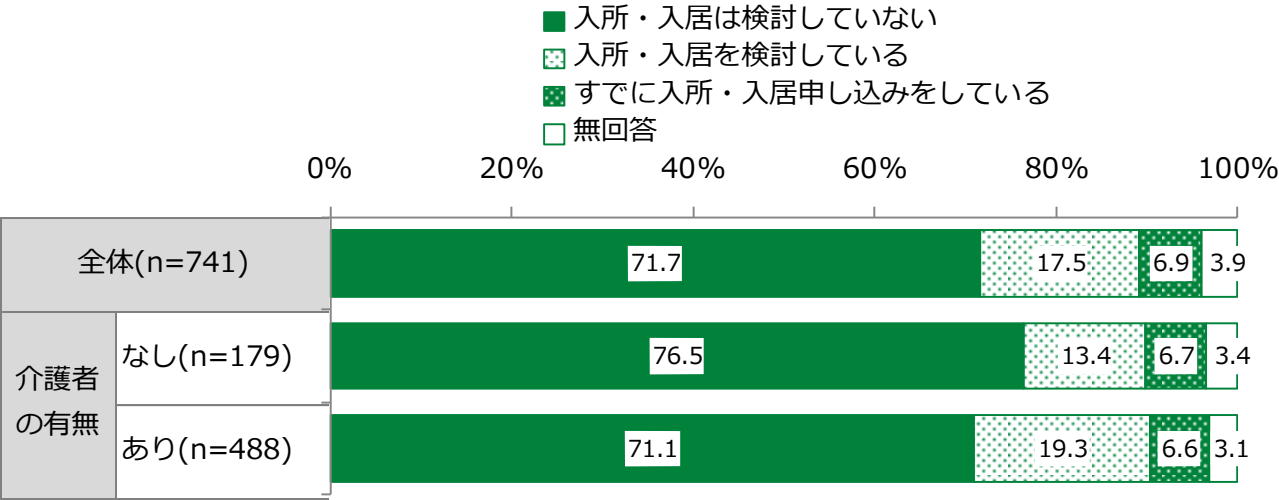
問3 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（○は1つ）

☒ 「入所・入居は検討していない」が71.7%

施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が71.7%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」(17.5%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(6.9%)となっています。

介護者の有無別でみると、介護者ありで「入所・入居を検討している」が5.9ポイント、介護者なしより高くなっています。

図表 123 施設等への入所・入居の検討状況



8. 介護・介助が必要になった主な原因

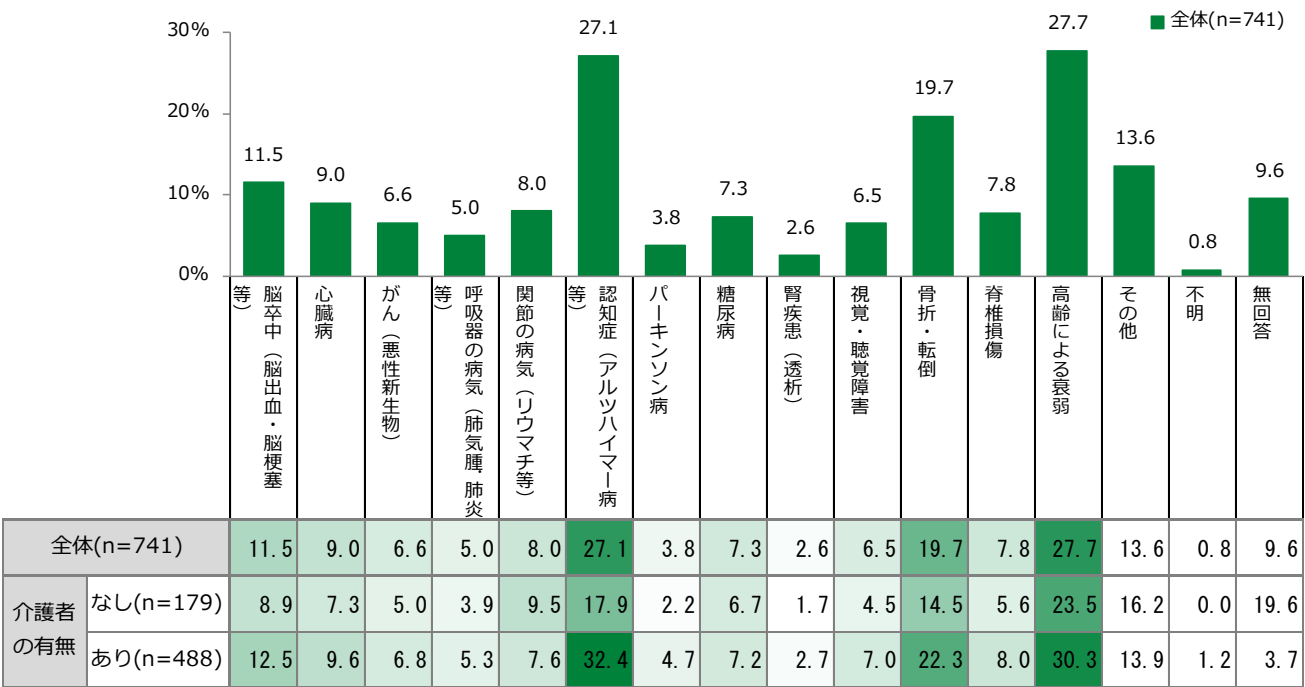
問 4 ご本人（調査対象者）に、介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（〇はいくつでも）

☑ 「高齢による衰弱」が 27.7%

介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」が 27.7%と最も高く、次いで「認知症（アルツハイマー病等）」（27.1%）、「骨折・転倒」（19.7%）、「その他」（13.6%）、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」（11.5%）となっています。

介護者の有無別でみると、介護者ありで「認知症」が 14.5 ポイント、「骨折・転倒」が 7.8 ポイント、「高齢による衰弱」が 6.8 ポイント、介護者なしより高くなっています。

図表 124 介護・介助が必要になった主な原因



9. 現在抱えている傷病

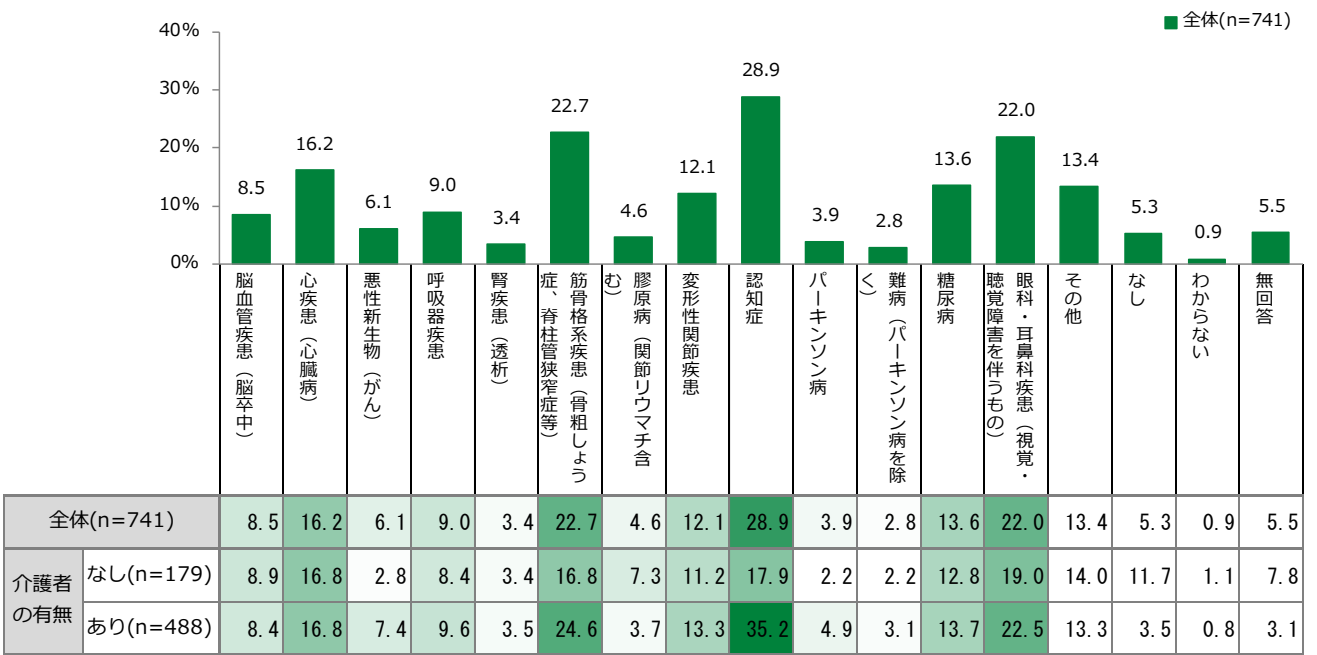
問5 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（○はいくつでも）

☑ 「認知症」が28.9%

現在抱えている傷病については、「認知症」が28.9%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（22.7%）、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（22.0%）となっています。

介護者の有無別でみると、介護者ありで「認知症」が17.3ポイント、「筋骨格系疾患」が7.8ポイント、介護者なしより高くなっています。

図表 125 現在抱えている傷病



10.介護保険サービスの利用の有無

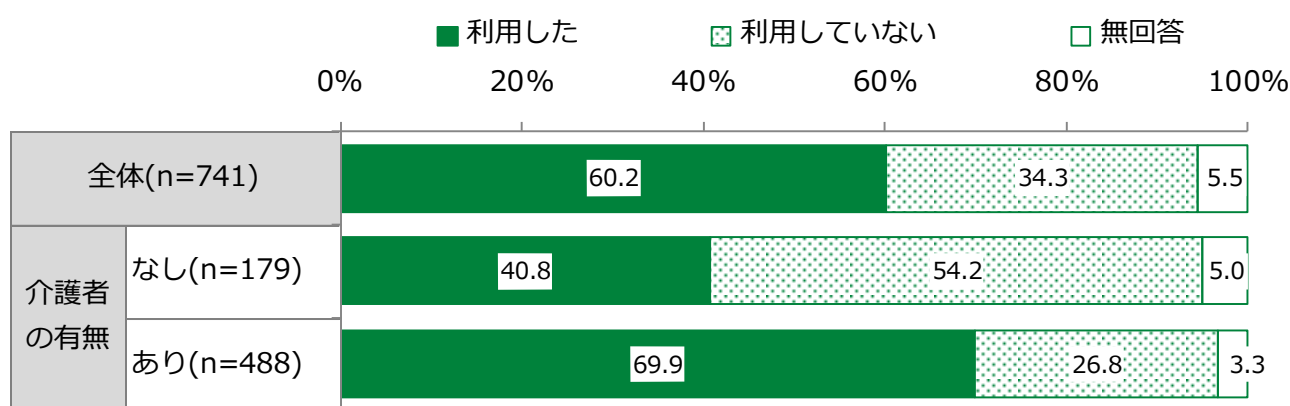
問6 令和7年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

☑ 「利用した」が60.2%

最近1か月の間に介護保険サービスを利用したかについては、「利用した」が60.2%、「利用していない」が34.3%となっています。

介護者の有無別でみると、介護者ありで「利用した」が29.1ポイント、介護者なしより高くなっています。

図表 126 介護保険サービスの利用の有無



11.介護保険サービスを利用していない理由

※問6で「2. 利用していない」とお答えの方

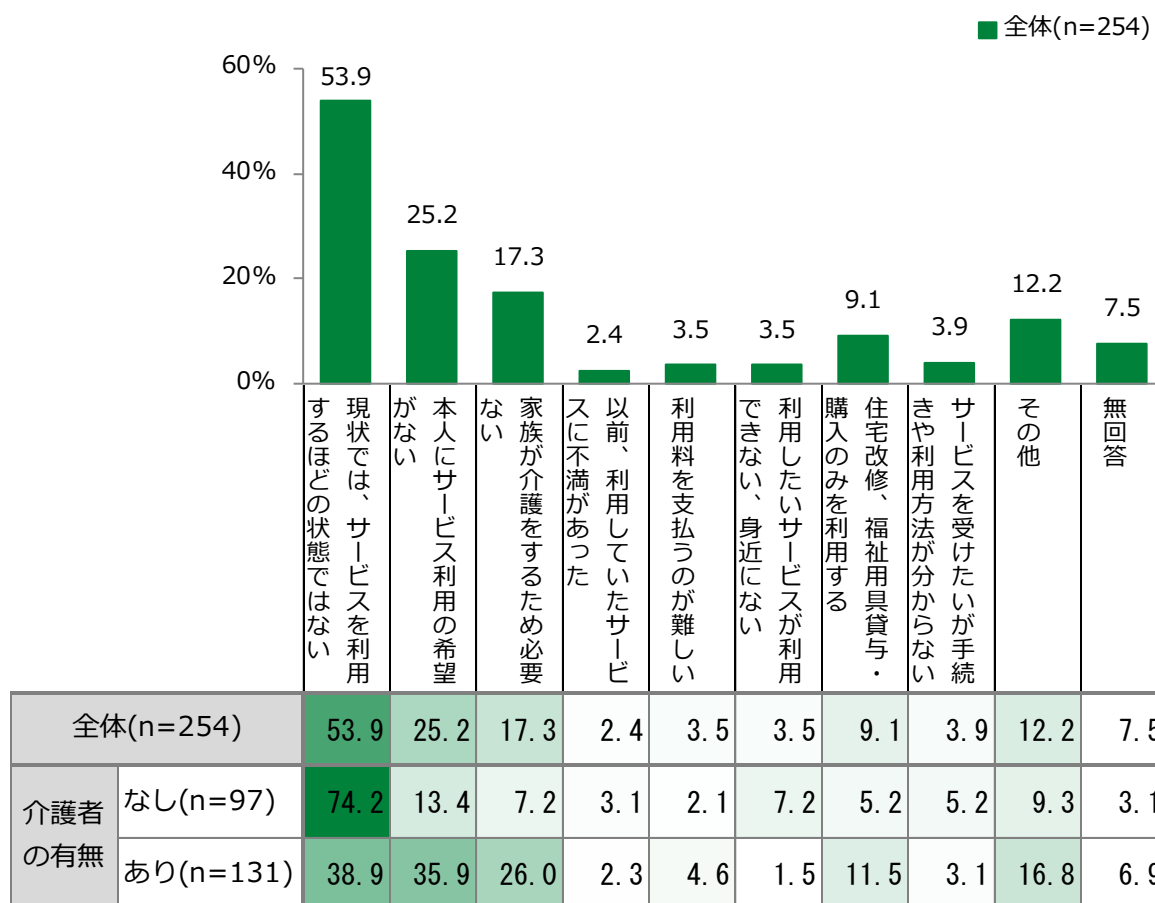
問6-1 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

☒ 「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が53.9%

介護保険サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が53.9%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」(25.2%)、「家族が介護をするため必要ない」(17.3%)、「その他」(12.2%)となっています。

介護者の有無別でみると、介護者なしで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が35.3ポイント、介護者ありで「本人にサービス利用の希望がない」が22.5ポイント、「家族が介護をするため必要ない」が18.8ポイント、それぞれもう一方より高くなっています。

図表 127 介護保険サービスを利用していない理由



12.利用中の「介護保険サービス以外」の支援・サービス

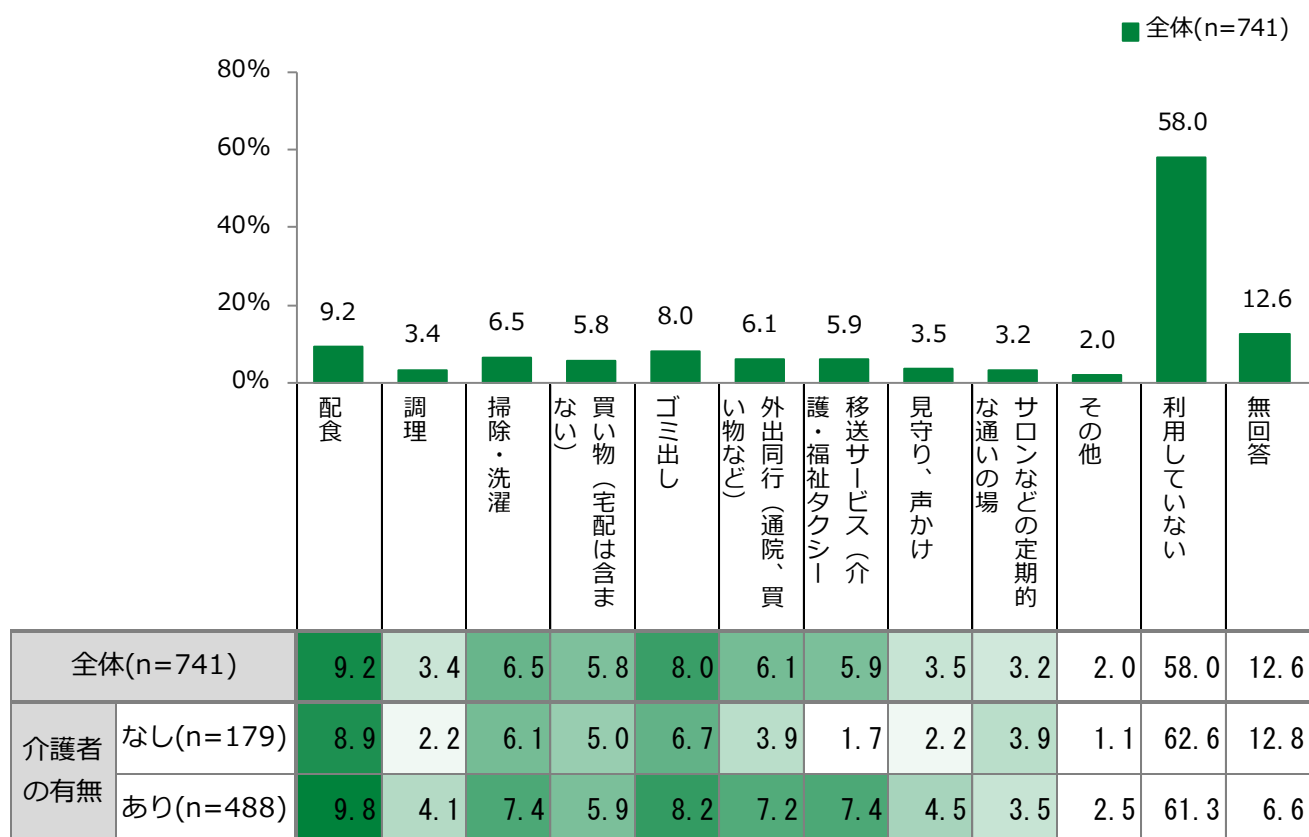
問7 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。
(〇はいくつでも)

☑ 「配食」が9.2%

現在利用中の介護保険サービス以外の支援・サービスについては、「配食」が9.2%、次いで「ゴミ出し」(8.0%)、「掃除・洗濯」(6.5%)となっています。また、「利用していない」が58.0%と最も高くなっています。

介護者の有無別でみると、介護者ありで「移送サービス」が5.7ポイント、介護者なしより高くなっています。

図表 128 利用中の「介護保険サービス以外」の支援・サービス



13.在宅生活の継続に必要な支援・サービス

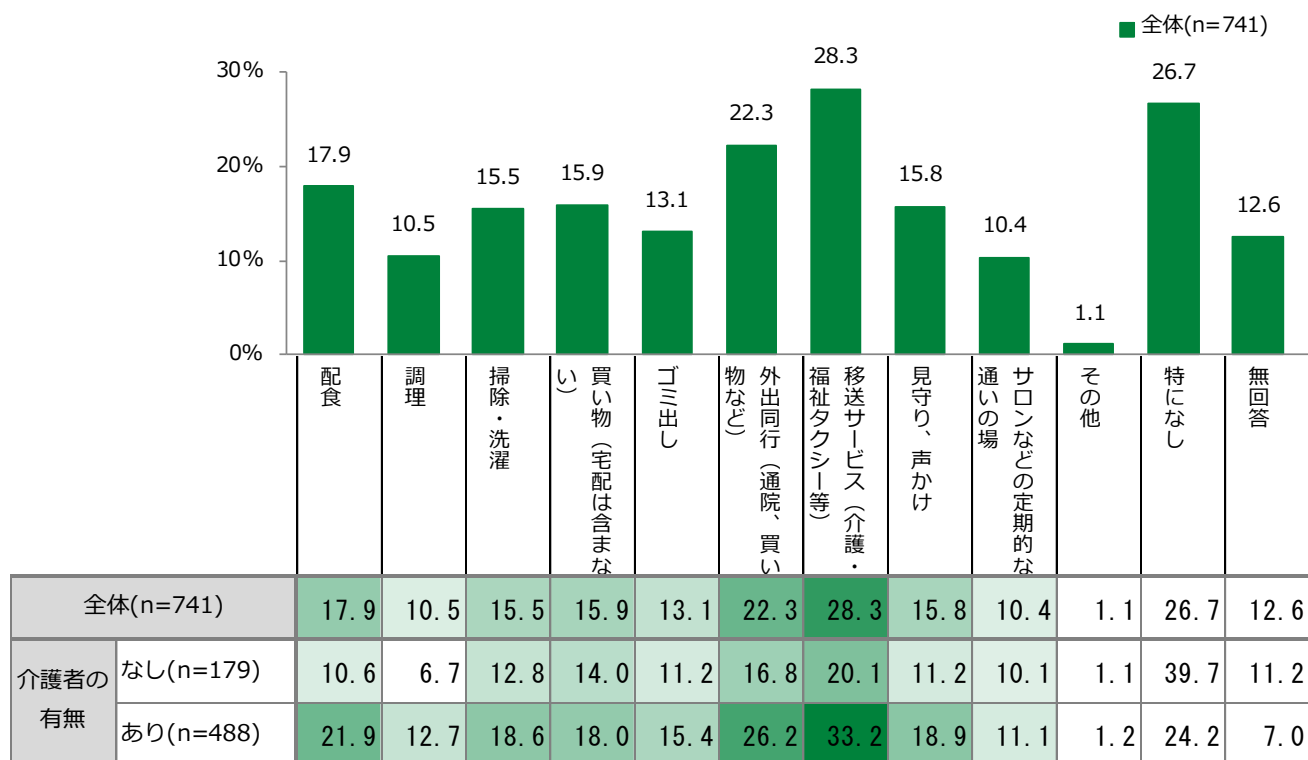
問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

☑ 「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.3%

在宅生活の継続に必要な支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.3%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（22.3%）、「配食」（17.9%）となっています。また、「特になし」は26.7%となっています。

介護者の有無別でみると、介護者なしで「特になし」が15.5ポイント、介護者ありで「移送サービス」が13.1ポイント、「配食」が11.3ポイント、「外出同行」が9.4ポイント、それぞれもう一方より高くなっています。

図表 129 在宅生活の継続に必要な支援・サービス



14.訪問診療の利用の有無

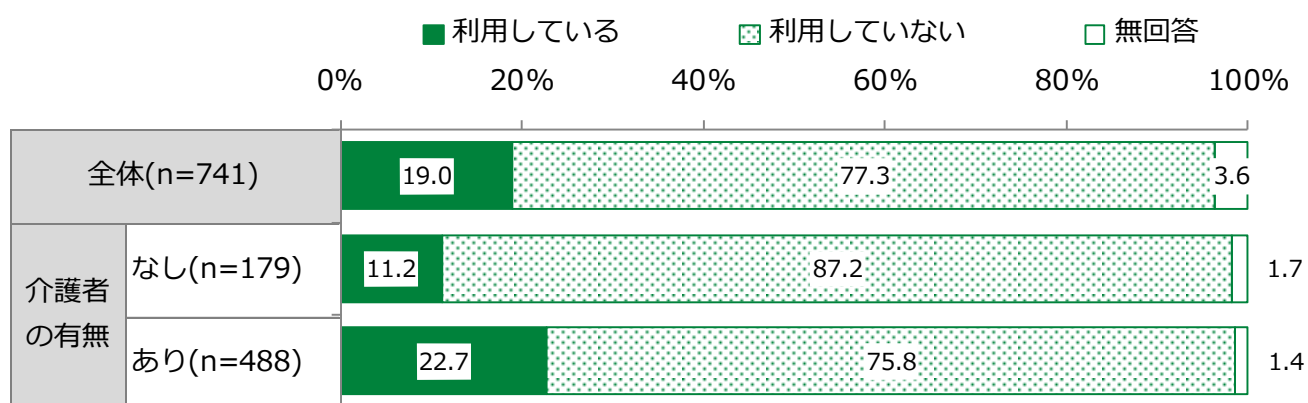
問9 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（○は1つ）

☒ 「利用している」が19.0%

訪問診療を利用しているかについては、「利用していない」が77.3%、「利用している」が19.0%となっています。

介護者の有無別でみると、介護者ありで「あり」が11.5ポイント、介護者なしより高くなっています。

図表 130 訪問診療の利用の有無



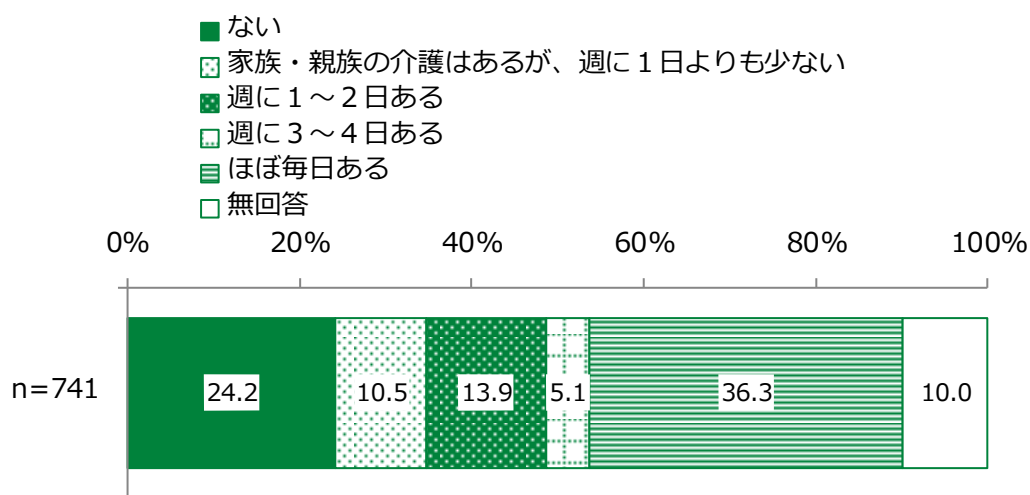
15. 家族・親族からの介護の頻度

問 10 家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(○は1つ)
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)

☑ 「ほぼ毎日ある」が 36.3%

家族・親族からの介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が 36.3%と最も高く、次いで「ない」(24.2%)、「週に1～2日ある」(13.9%)となっています。

図表 131 家族・親族からの介護の頻度



2. 主な介護者について

※問 10 で「2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」～「5. ほぼ毎日ある」を選択された方

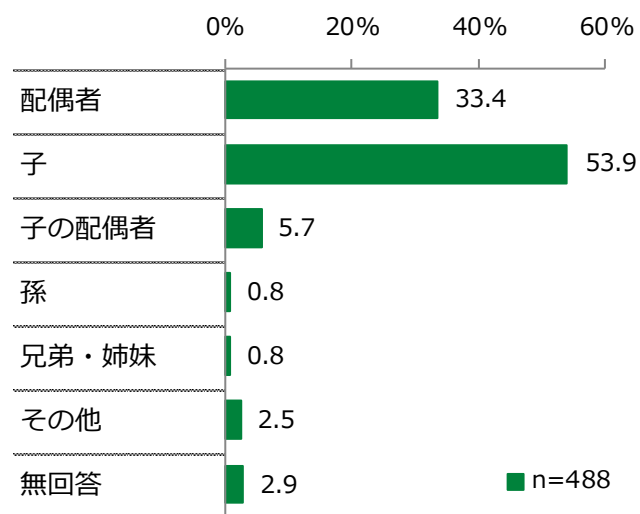
1. 主な介護者

問 11 主な介護者の方は、どなたですか。(○は1つ)

☒ 「子」が 53.9%

主な介護者については、「子」が 53.9%と最も高く、次いで「配偶者」(33.4%)、「子の配偶者」(5.7%) となっています。

図表 132 主な介護者



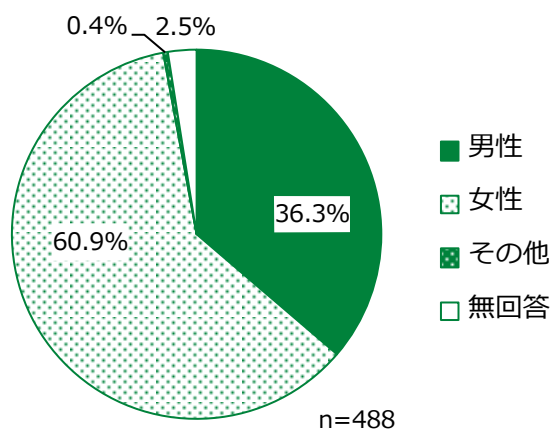
2. 主な介護者の性別

問 12 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

☒ 「女性」が 60.9%

主な介護者の性別については、「女性」が 60.9%、「男性」が 36.3%となっています。

図表 133 主な介護者の性別



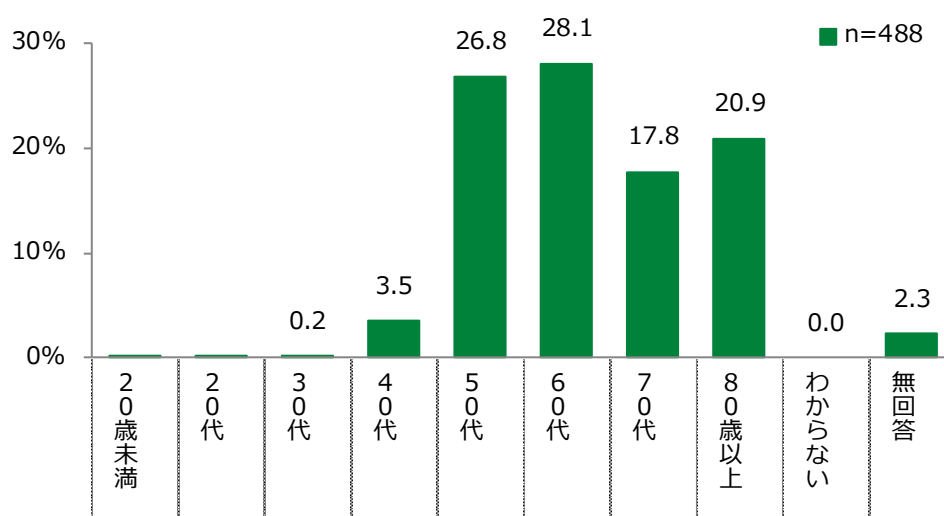
3. 主な介護者の年齢

問 13 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

☒ 「60代」が28.1%

主な介護者の年齢については、「60代」が28.1%と最も高く、次いで「50代」(26.8%)、「80歳以上」(20.9%)、「70代」(17.8%)となっています。

図表 134 主な介護者の年齢



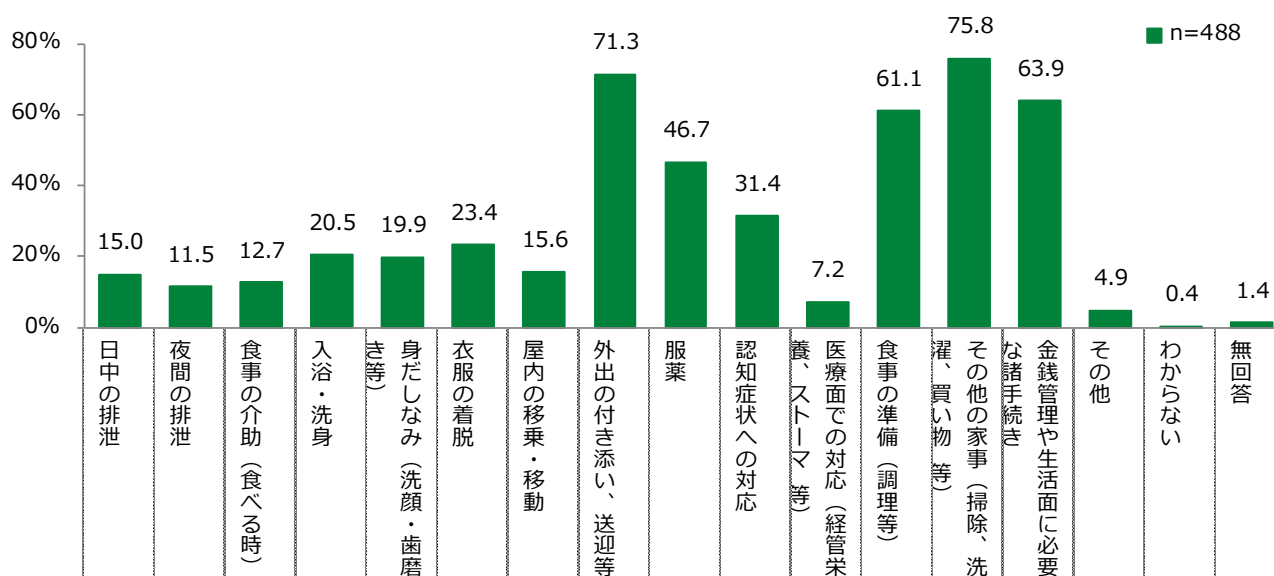
4. 主な介護者が行っている介護等

問 14 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（○はいくつでも）

☒ 「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 75.8%

主な介護者が行っている介護等については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 75.8%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」（71.3%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（63.9%）、「食事の準備（調理等）」（61.1%）となっています。

図表 135 主な介護者が行っている介護等



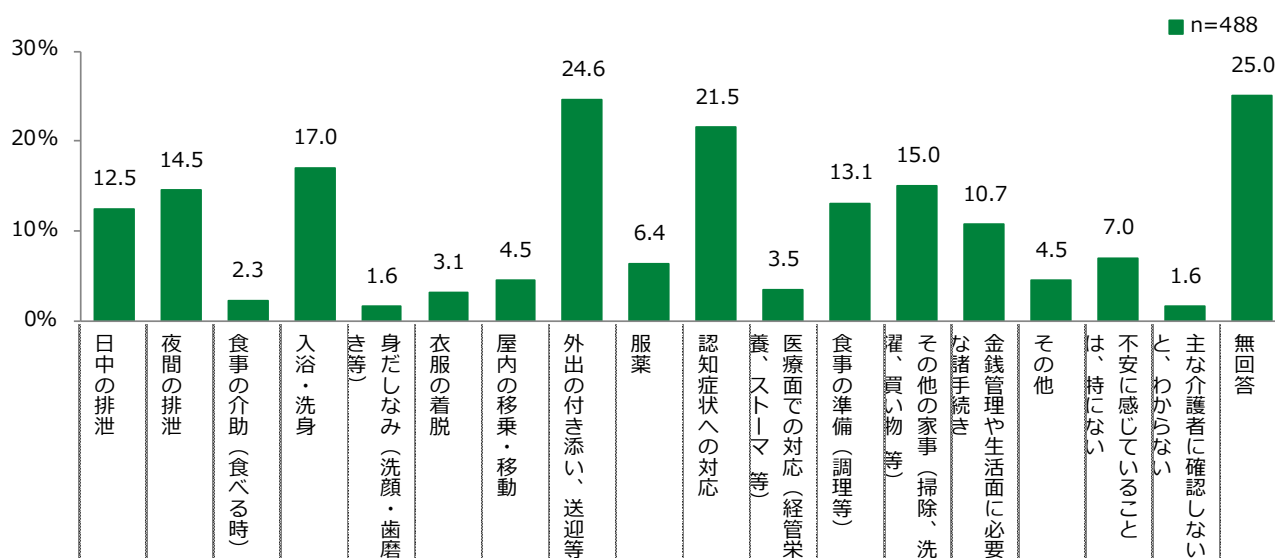
5. 主な介護者が不安に感じる介護等

問 15 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（〇は3つまで）

☑ 「外出の付き添い、送迎等」が 24.6%

主な介護者が不安に感じる介護等については、「外出の付き添い、送迎等」が 24.6%と最も高く、次いで「認知症状への対応」（21.5%）、「入浴・洗身」（17.0%）となっています。

図表 136 主な介護者が不安に感じる介護等



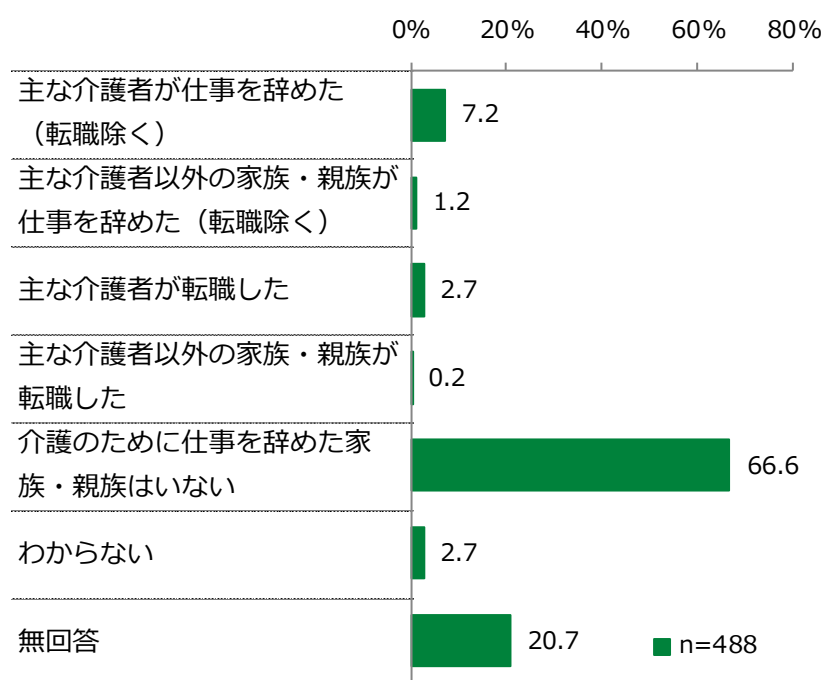
6. 介護を理由とした家族等の離職の有無

問 16 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（〇はいくつでも）

☑ 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 66.6%

介護を理由とした家族等の離職の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 66.6%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（7.2%）となっています。

図表 137 介護を理由とした家族等の離職の有無



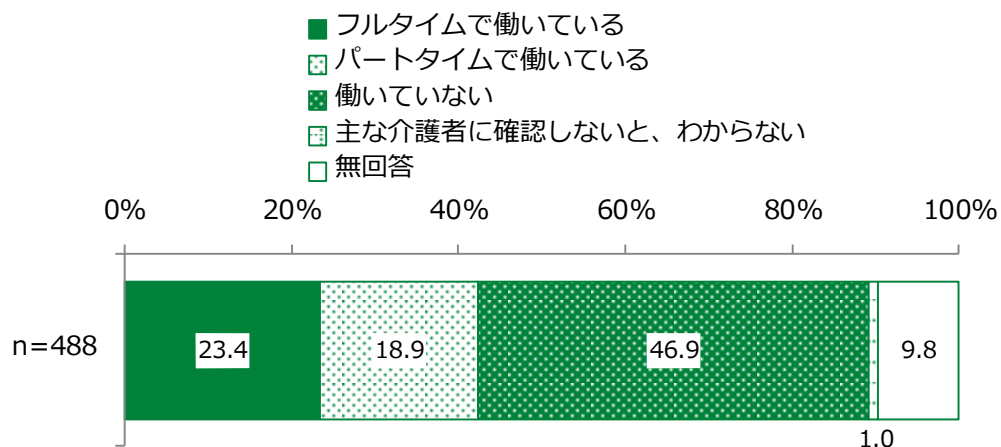
7. 主な介護者の勤務形態

問 17 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)

☒ 「働いていない」が46.9%

主な介護者の現在の勤務形態については、「働いていない」が46.9%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」(23.4%)、「パートタイムで働いている」(18.9%)となっています。

図表 138 主な介護者の勤務形態



8. 介護のための働き方の調整等

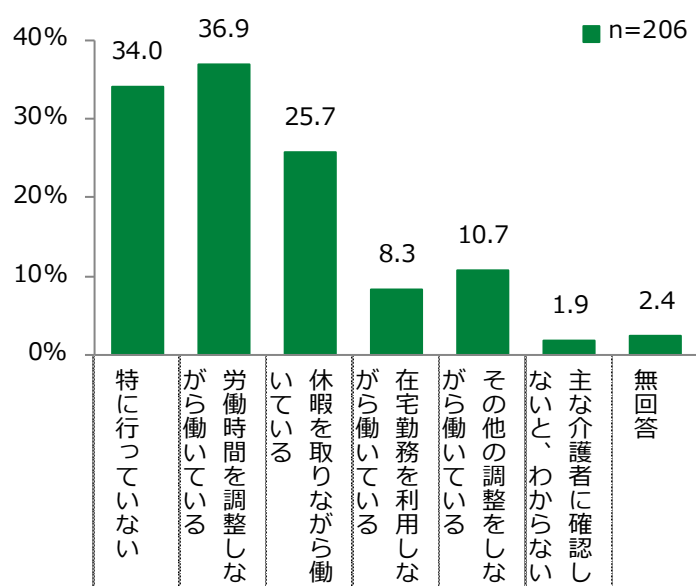
※問 17 で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答された方

問 18 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。
(○はいくつでも)

☒ 「労働時間を調整しながら働いている」が 36.9%

主な介護者が介護をするにあたって働き方の調整等を行っているかについては、「労働時間を調整しながら働いている」が 36.9%と最も高く、次いで「特に行っていない」(34.0%)、「休暇を取りながら働いている」(25.7%)、「在宅勤務を利用しながら働いている」(8.3%)、「その他の調整をしながら働いている」(10.7%)、「主な介護者に確認しないと、わからない」(1.9%)、「無回答」(2.4%)となっています。

図表 139 介護のための働き方の調整等



9. 仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援

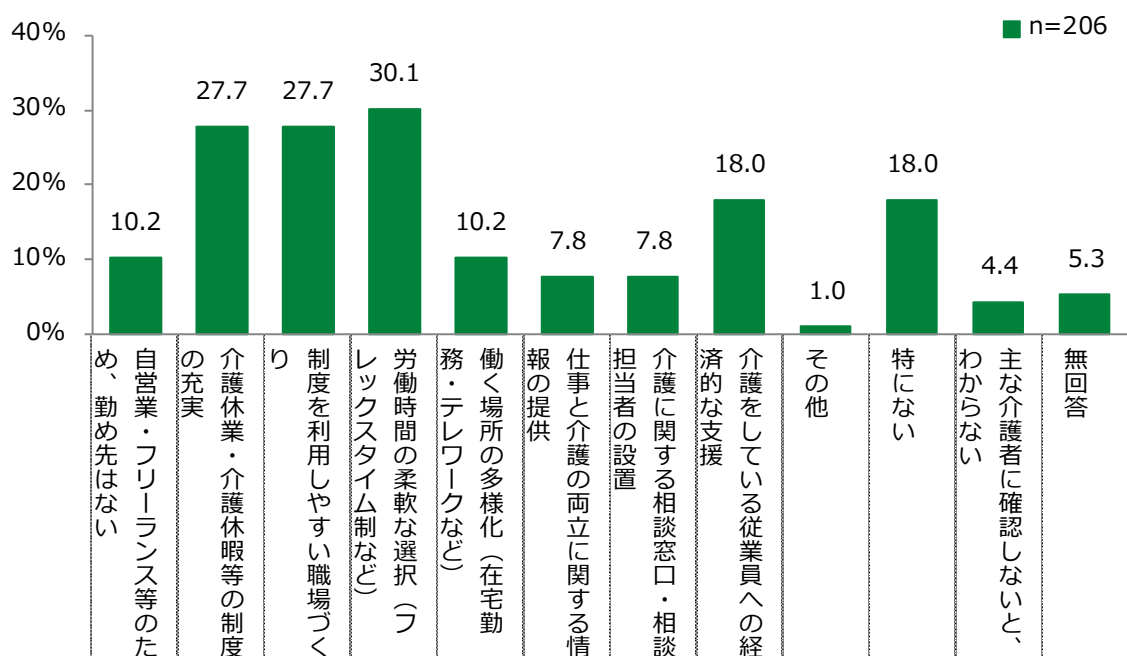
※問 17 で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答された方

問 19 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（〇は3つまで）

☒ 「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 30.1%

仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援については、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 30.1%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」(27.7%)、「介護をしている従業員への経済的な支援」(18.0%)となっています。また、「特にない」は 18.0%となっています。

図表 140 仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援



10.主な介護者の就労継続の可否に係る意識

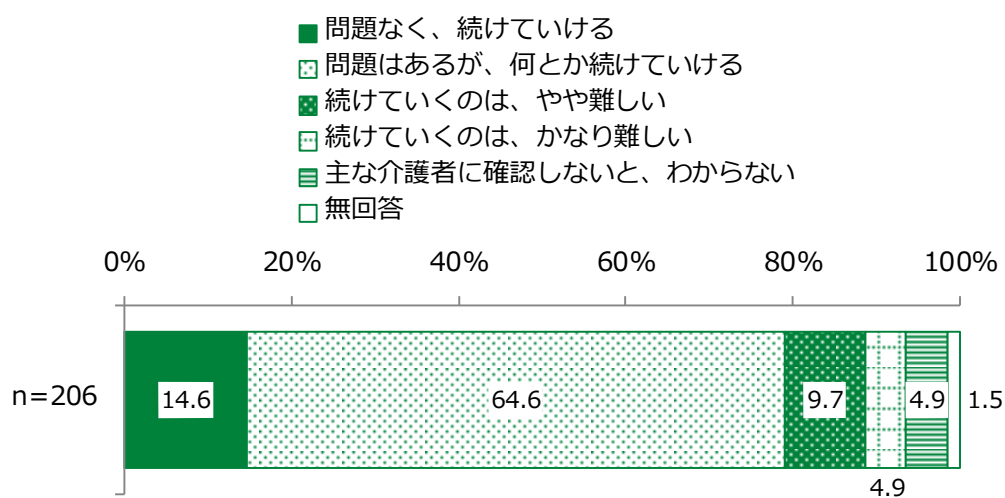
※問 17 で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答された方

問 20 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

☑ 「問題はあるが、何とか続けていける」が 64.6%

今後も働きながら介護を続けていけそうかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が 64.6%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」(14.6%)となっています。

図表 141 主な介護者の就労継続の可否に係る意識



3. 介護保険制度および高齢者福祉施策について

1. 介護保険制度や高齢者サービスなどに関する情報の入手先

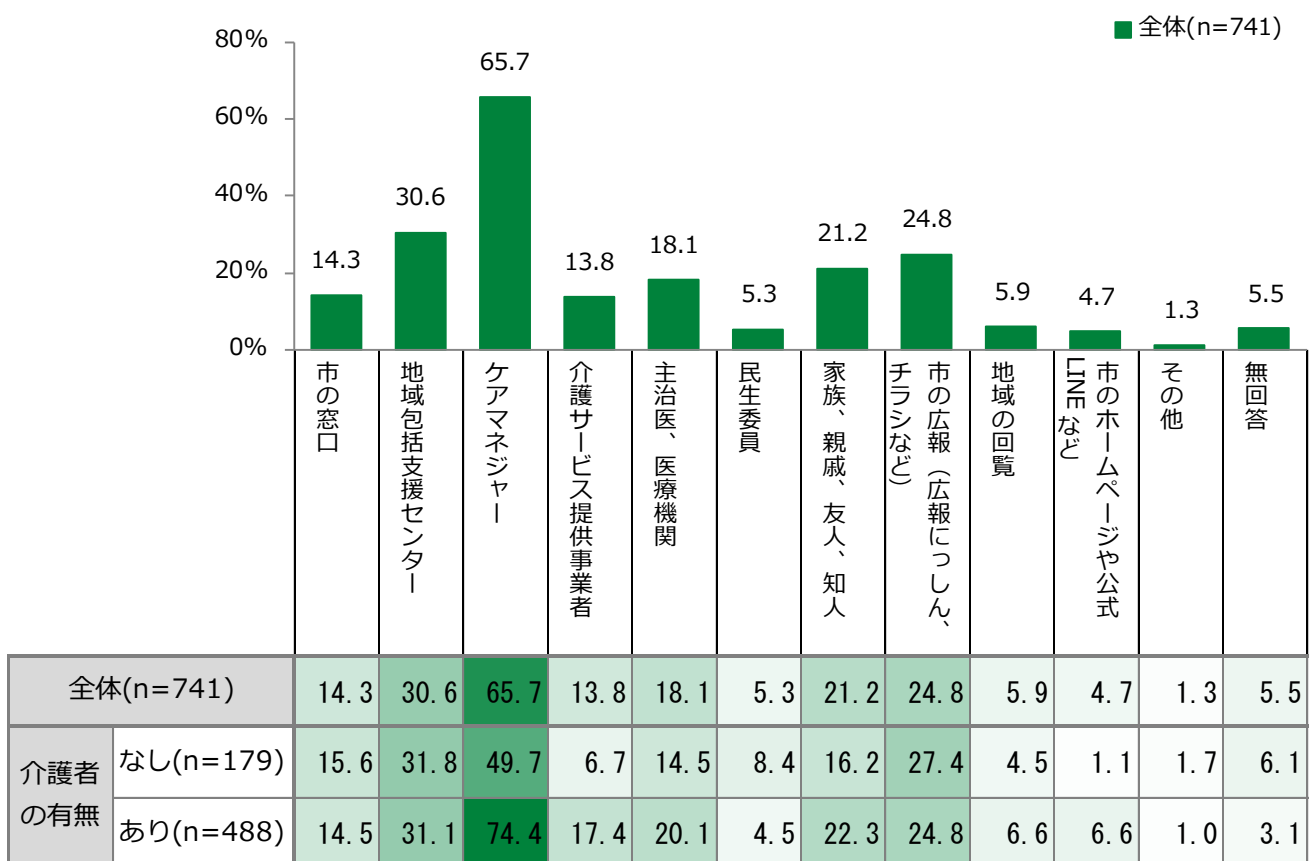
問 21 介護保険制度や市が行う高齢者に対するサービスなどの情報をどこから得ていますか。
(〇はいくつでも)

☑ 「ケアマネジャー」が 65.7%

介護保険制度や高齢者サービスなどに関する情報の入手先については、「ケアマネジャー」が 65.7%と最も高く、次いで、「地域包括支援センター」(30.6%)、「市の広報(広報にっしん、チラシなど)」(24.8%)、「家族、親戚、友人、知人」(21.2%)となっています。

介護者の有無別でみると、介護者ありで「ケアマネジャー」が 24.7 ポイント、「介護サービス提供者」が 10.7 ポイント、「家族、親戚、友人、知人」が 6.1 ポイント、介護者なしより高くなっています。

図表 142 介護保険制度や高齢者サービスなどに関する情報の入手先



2. 「人生会議」の認知度

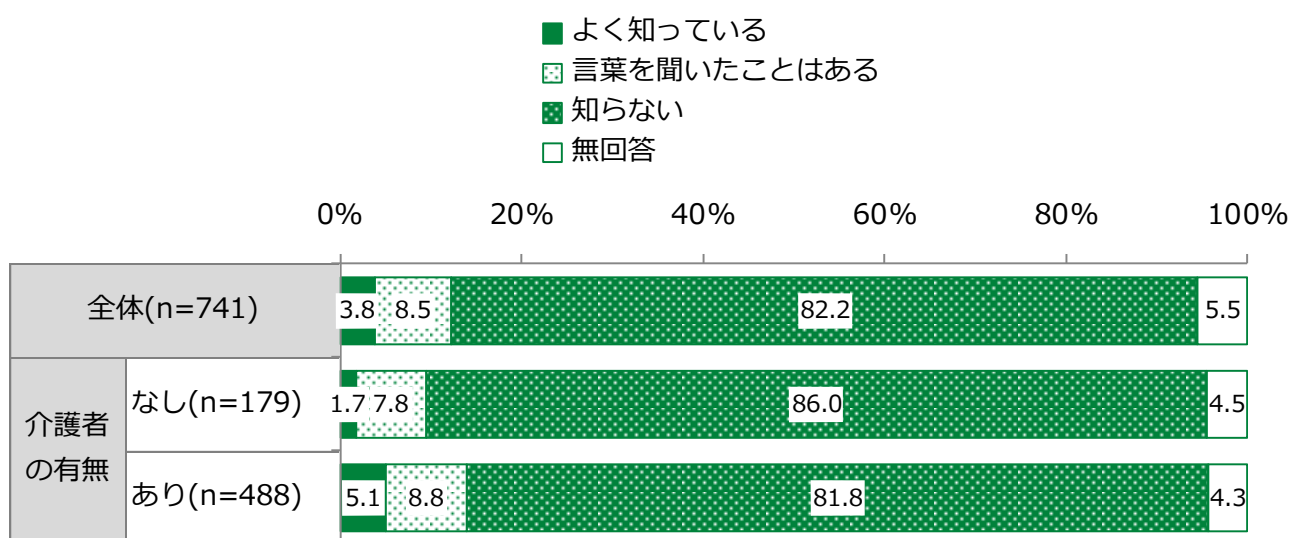
問 22 「人生会議」または「ACP¹⁴」について、知っていますか。(○は1つ)

☑ 「知らない」が82.2%

「人生会議」の認知度については、「知らない」が82.2%、「言葉を聞いたことはある」が8.5%となっています。

介護者の有無別でみると、介護者ありで「よく知っている」が3.4ポイント、介護者なしより高くなっています。

図表 143 「人生会議」の認知度



¹⁴アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）の略。もしものときのために、自分自身が望む医療やケアについて前もって考え、信頼できる人や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと。

3. 高齢者の福祉・介護・医療に関する意見・要望

問 23 高齢者の福祉・介護・医療について、ご意見・要望がありましたらご自由にお書きください。

図表 144 高齢者の福祉・介護・医療に関する意見・要望

内容	件数
交通・移動手段について	33
在宅サービスについて	21
施設サービスについて	7
介護についての不安・負担	14
介護者支援・家族介護について	8
経済的負担・支援について	7
情報について	8
相談・窓口について	6
社会参加について	2
集いの場・交流の場について	1
教室・講座等について	3
介護予防・セルフケアについて	1
地域での支援について	4
医療について	1
インフラ（病院等）について	3
介護保険・認定制度について	10
市の施策について	2
将来等に対する不安	7
アンケートについて	5
現在の生活について	20
その他	12
なし、わからない	1
合 計	176

調査結果

フレイル予防に関する調査

Ⅳ. 調査結果 フレイル予防に関する調査

1. 調査票対象者について

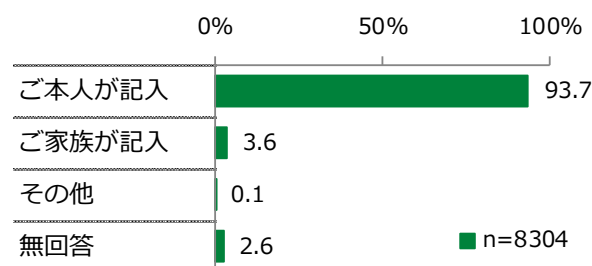
1. 調査票の回答者

問1 調査票をご記入いただくのはどなたですか。(○は1つ)

☑ 「本人が記入」が93.7%

調査票の回答者については、「本人が記入」が93.7%、「家族が記入」が3.6%となっています。

図表 145 調査票の回答者

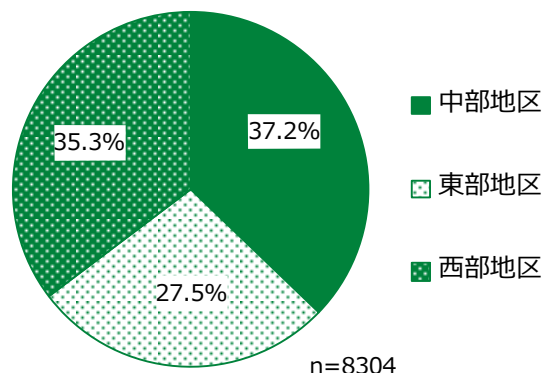


2. 居住地域(認定データより)

☑ 「中部地区」が37.2%

居住地域については、「中部地区」が37.2%、「西部地区」(35.3%)、「東部地区」(27.5%)となっています。

図表 146 居住地域



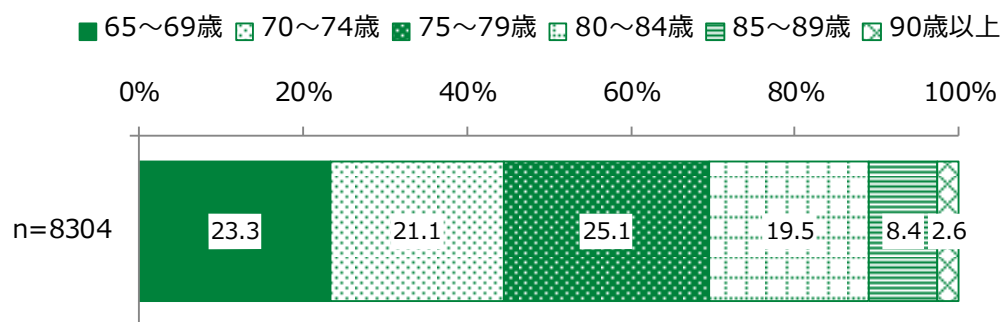
中部地区 (蟹甲・折戸・栄 (1～2丁目)・本郷・岩崎・岩藤・南ヶ丘・東山・藤塚・竹の山)
東部地区 (藤枝・米野木・米野木台・三本木・藤島・北新・五色園・栄 (3～5丁目))
西部地区 (赤池・赤池南・浅田・浅田平子・梅森・梅森台・野方・香久山・岩崎台)

3. 年齢(認定データより)

☑ 「75～79 歳」が 25.1%

対象者の年齢については、「65～69 歳」が 23.3%、「70 歳代」が 46.2%、「80 歳代」が 27.9%、「90 歳以上」が 2.6%となっています。前期高齢者（65～74 歳）は 44.4%、後期高齢者（75 歳以上）は 55.6%となっています。

図表 147 年齢

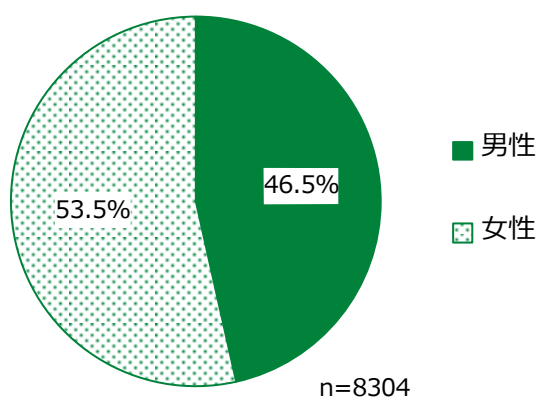


4. 性別(認定データより)

☑ 「女性」が 53.5%

対象者の性別については、「女性」が 53.5%、「男性」が 46.5%となっています。

図表 148 性別



2. 対象者の状況について

1. 家族構成

問2 家族構成をお教えてください。(〇は1つ)

☑ 「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 43.9%

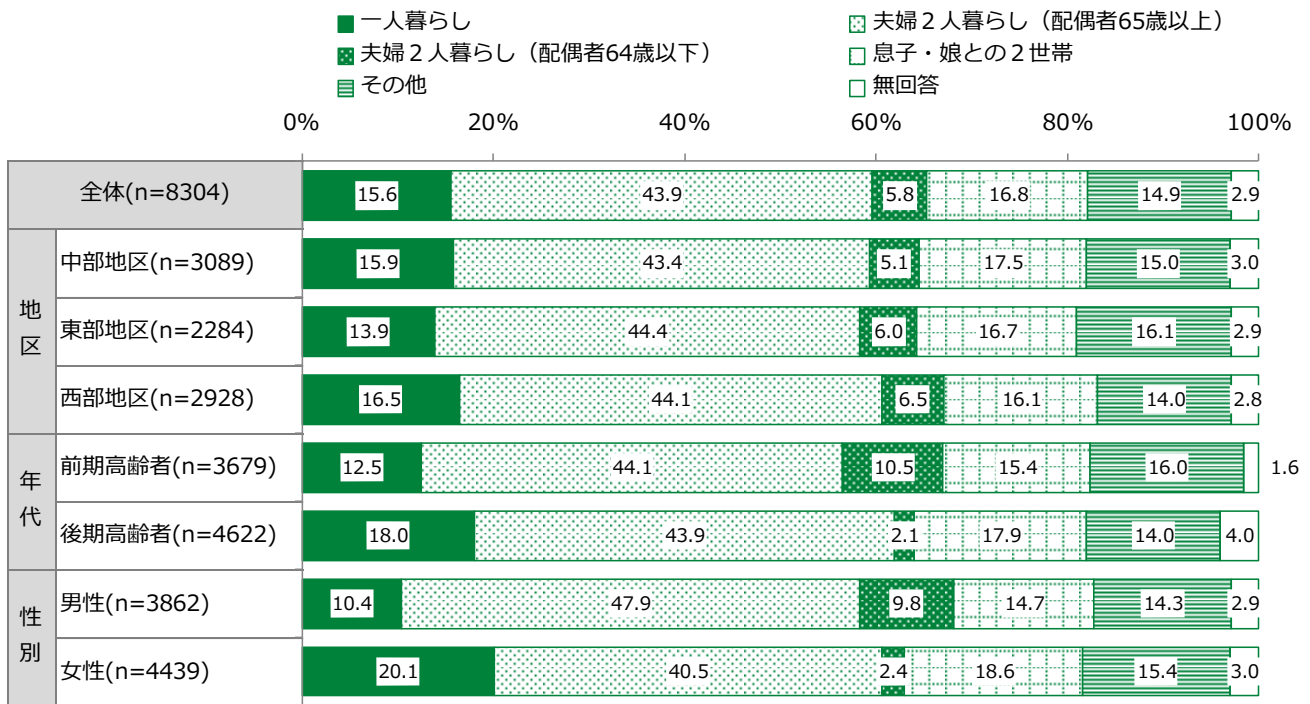
家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 43.9%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」（16.8%）、「一人暮らし」（15.6%）となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）」が 8.4 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「一人暮らし」が 9.7 ポイント、男性より高くなっています。

図表 149 家族構成



2. 経済状況

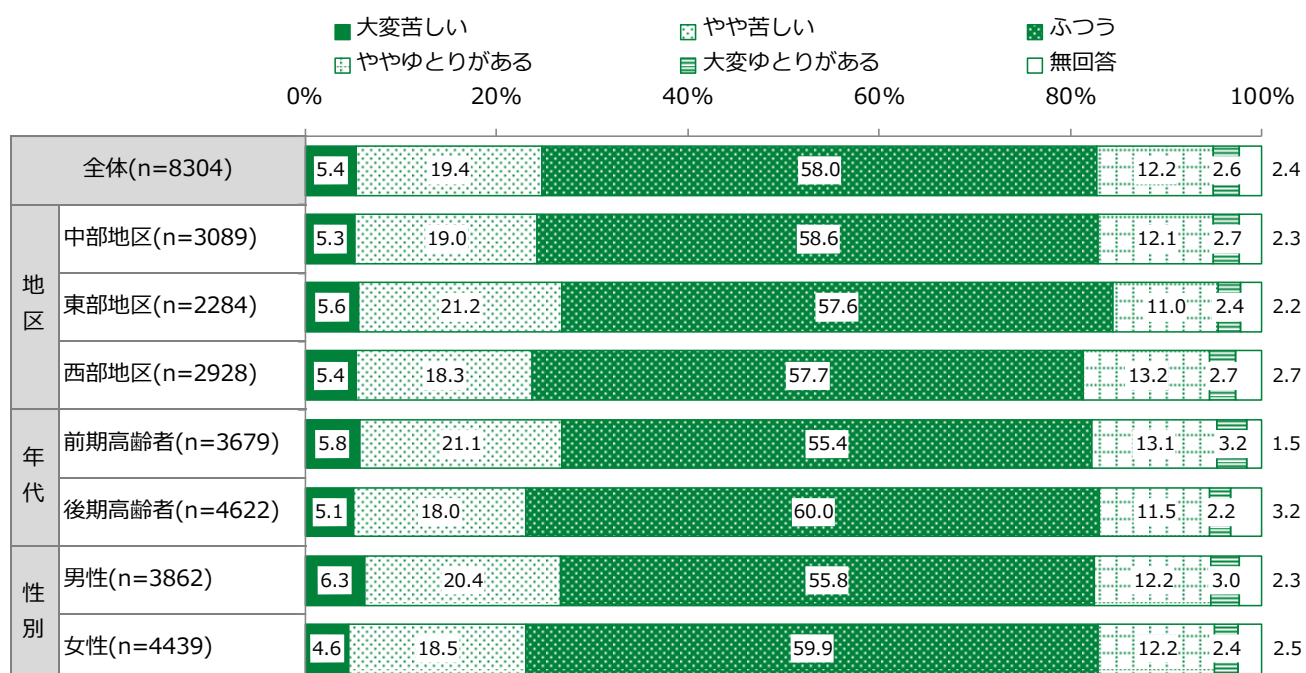
問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

☑ 「ふつう」が58.0%

現在の経済状況については、「ふつう」が58.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」(19.4%)、「ややゆとりがある」(12.2%)となっています。また、「経済的に苦しい」(「大変苦しい」+「やや苦しい」)は24.8%、「経済的にゆとりがある」(「ややゆとりがある」+「大変ゆとりがある」)は14.8%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 150 経済状況



3. 学校教育を受けた年数

問 4 あなたが受けられた学校教育は何年間でしたか。(○は1つ)

☑ 「13 年以上」 が 45.1%

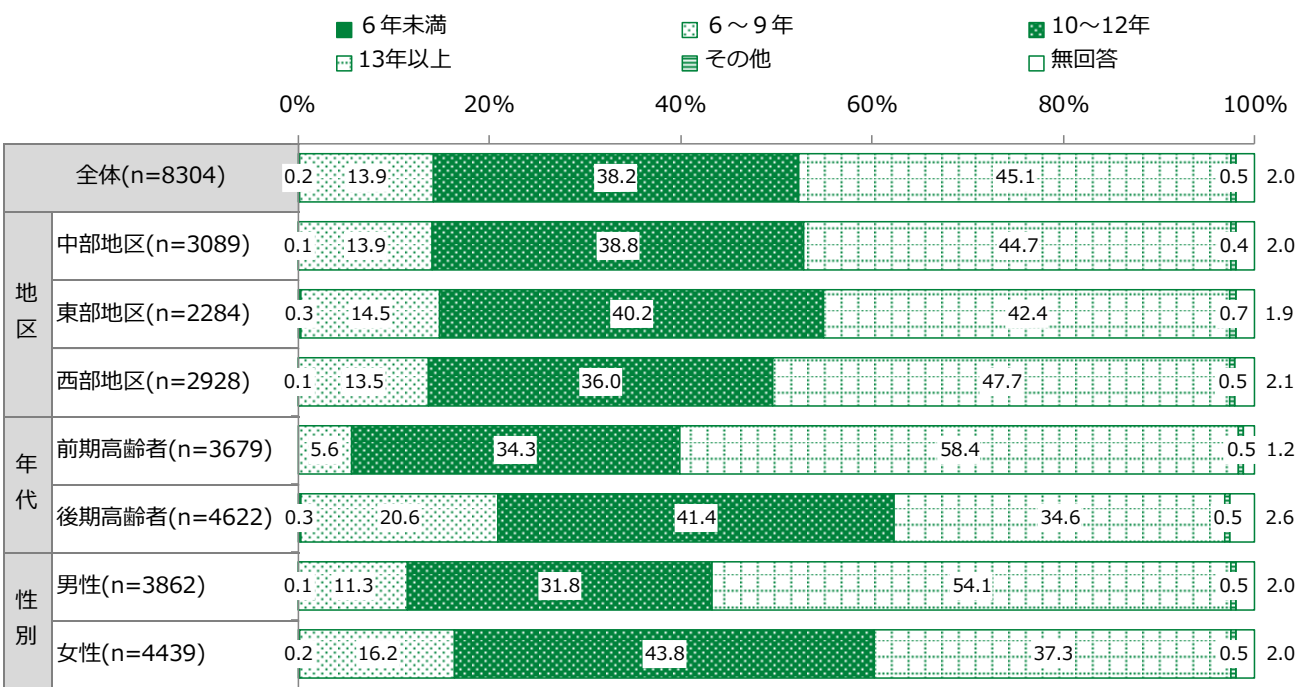
学校教育を受けた年数については、「13 年以上」が 45.1%と最も高く、次いで「10～12 年」(38.2%)、「6～9 年」(13.9%) となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者では「10～12 年」が最も高くなっています。

性別でみると、女性では「10～12 年」が最も高くなっています。

図表 151 学校教育を受けた年数



4. スマートフォンの利用時間

問5

あなたは1日にどのくらいの時間、スマートフォンを使っていますか。(○は1つ)

(電話・メール・LINE・写真・ゲームなど、すべての利用を含みます)

☑

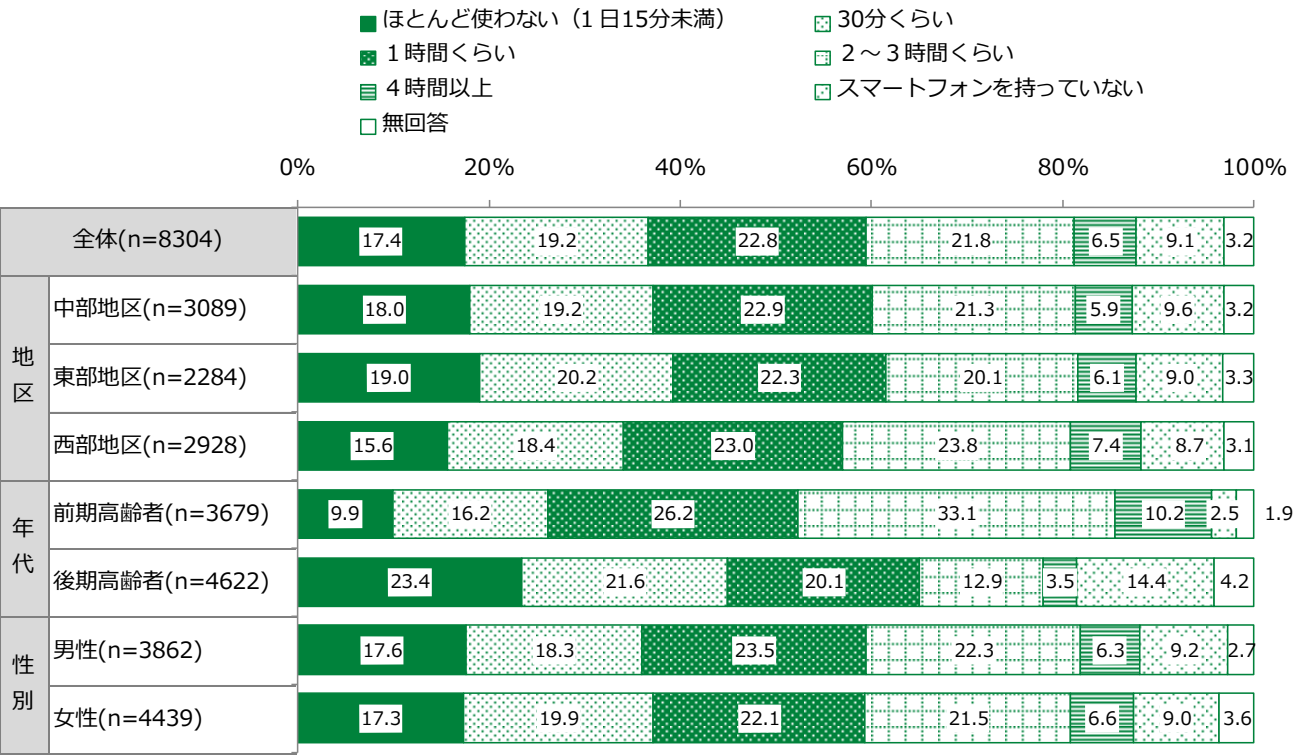
「1時間くらい」が22.8%

スマートフォンの利用時間については、「1時間くらい」が22.8%と最も高く、次いで「2～3時間くらい」(21.8%)、「30分くらい」(19.2%)となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「2～3時間くらい」が20.2ポイント、後期高齢者で「ほとんど使わない(1日15分未満)」が13.5ポイント、「スマートフォンを持っていない」が11.9ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

図表 152 スマートフォンの利用時間



5. スマートフォンの利用目的

※問5で「1. ほとんど使わない（1日15分未満）」～「5. 4時間以上」とお答えの方

問5-1 あなたは主にどのような目的でスマートフォンを使っていますか。（〇はいくつでも）

☑ 「電話をかける・受ける」が67.7%

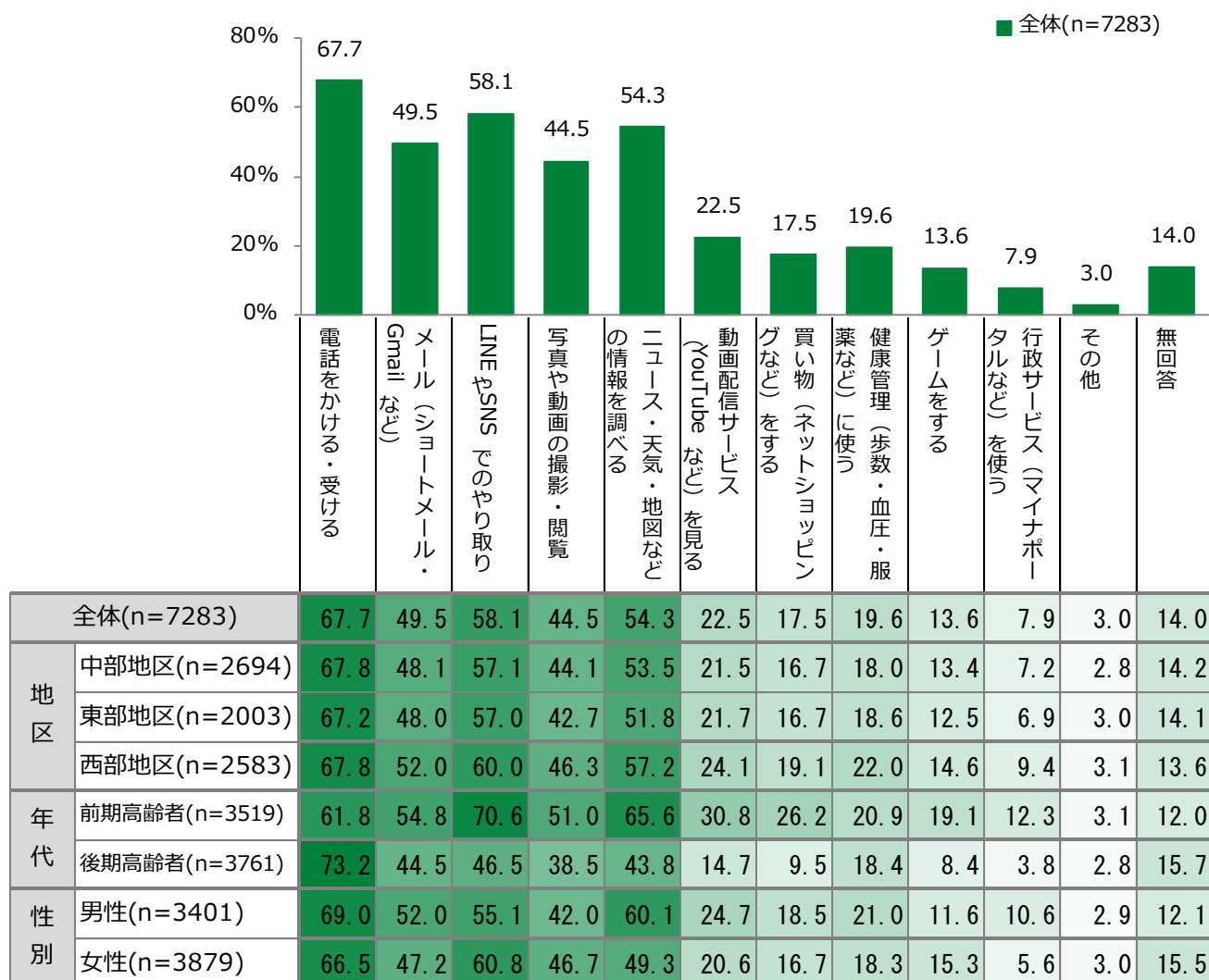
スマートフォンの利用目的については、「電話をかける・受ける」が67.7%と最も高く、次いで「LINE や SNS でのやり取り」（58.1%）、「ニュース・天気・地図などの情報を調べる」（54.3%）、「メール（ショートメール・Gmail など）」（49.5%）となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者では「LINE や SNS でのやり取り」が最も高く、「電話をかける・受ける」を除くすべての項目で前期高齢者の割合が後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「ニュース・天気・地図などの情報を調べる」が10.8ポイント、女性より高くなっています。

図表 153 スマートフォンの利用目的



6. 階段を昇ること

問6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

☑ 「できるし、している」が59.7%

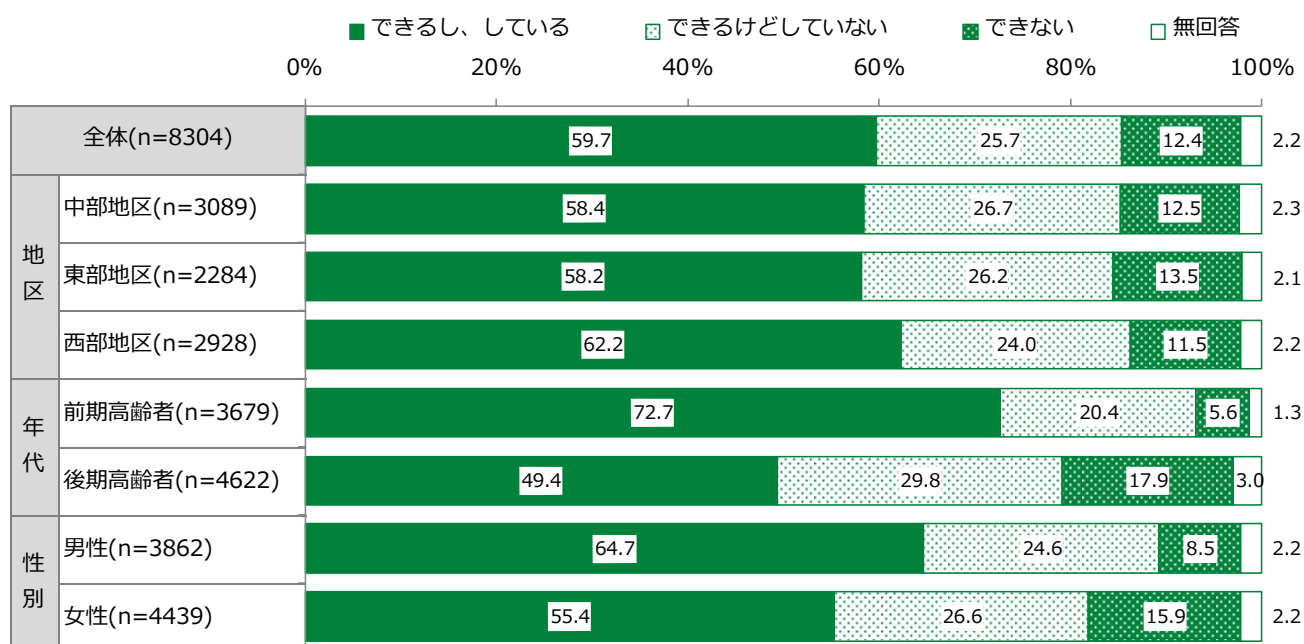
階段を手すりや壁をつたわずに昇ることについては、「できるし、している」が59.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(25.7%)、「できない」(12.4%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が23.3ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「できるし、している」が9.3ポイント、女性より高くなっています。

図表 154 階段を昇ること



7. 椅子から立ち上がること

問7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

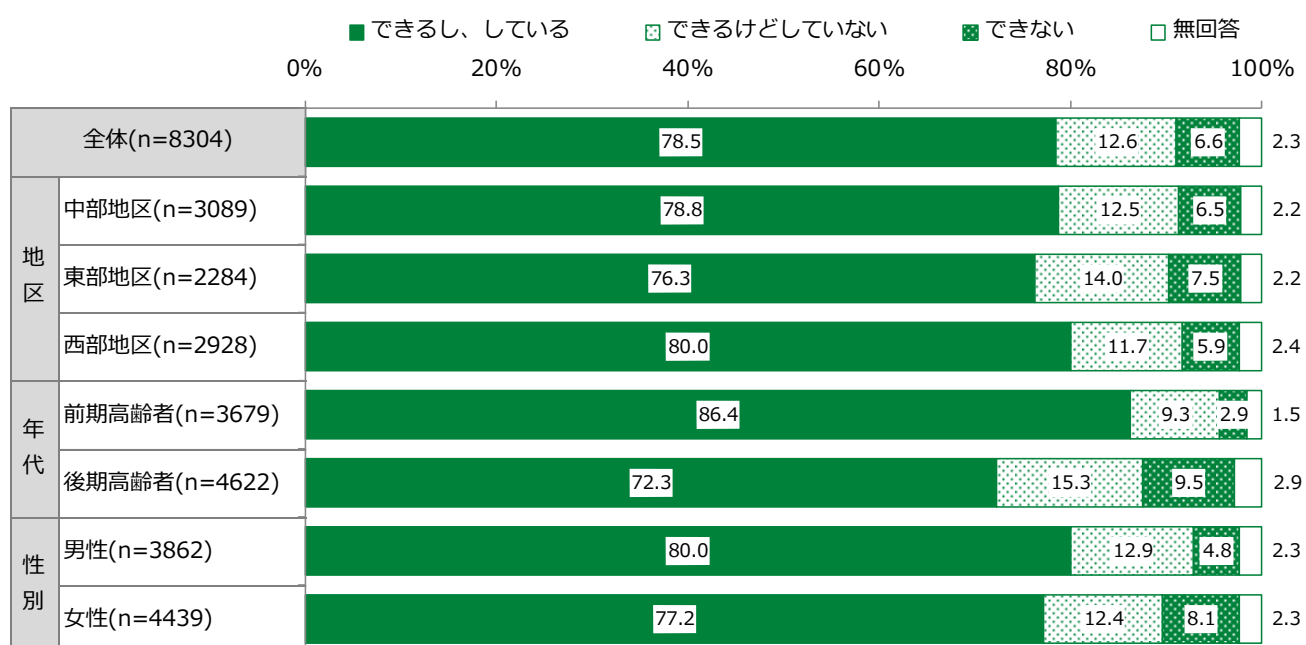
☑ 「できるし、している」が78.5%

椅子から何もつかまらずに立ち上がることについては、「できるし、している」が78.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(12.6%)、「できない」(6.6%)となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が14.1ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 155 椅子から立ち上がること



8. 15分続けて歩くこと

問8 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

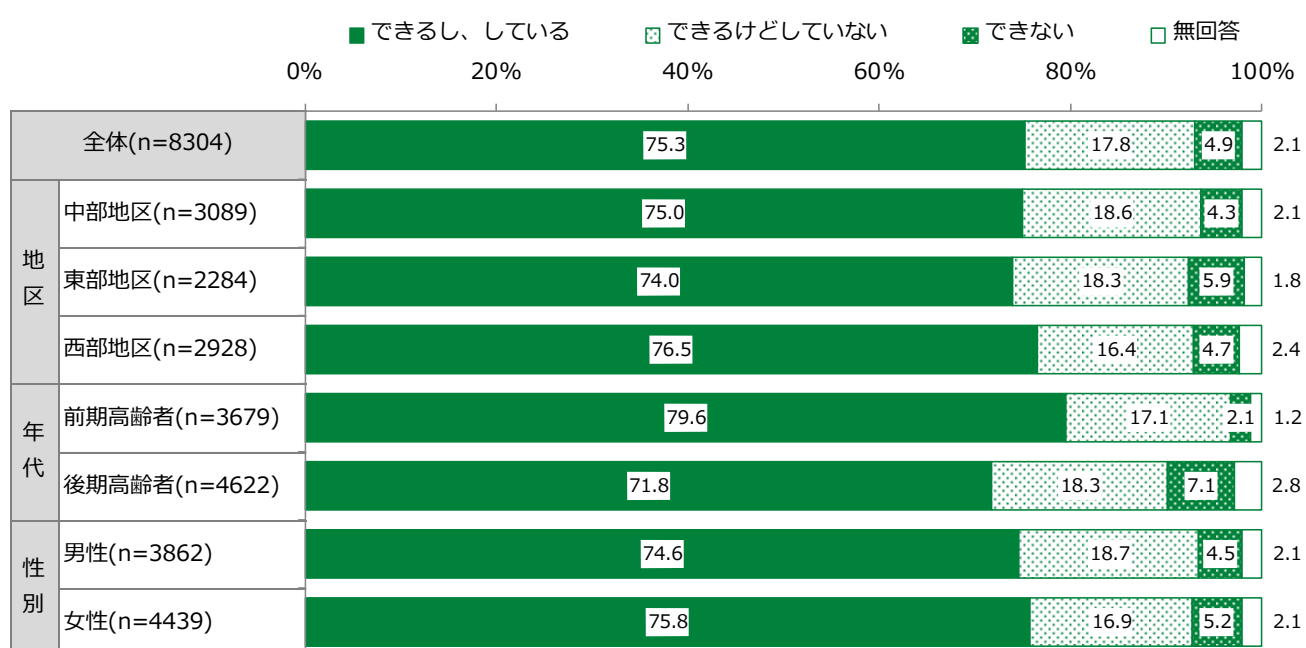
☑ 「できるし、している」が75.3%

15分位続けて歩くことについては、「できるし、している」が75.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(17.8%)、「できない」(4.9%)となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が7.8ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 156 15分続けて歩くこと



9. 過去1年間に転んだこと

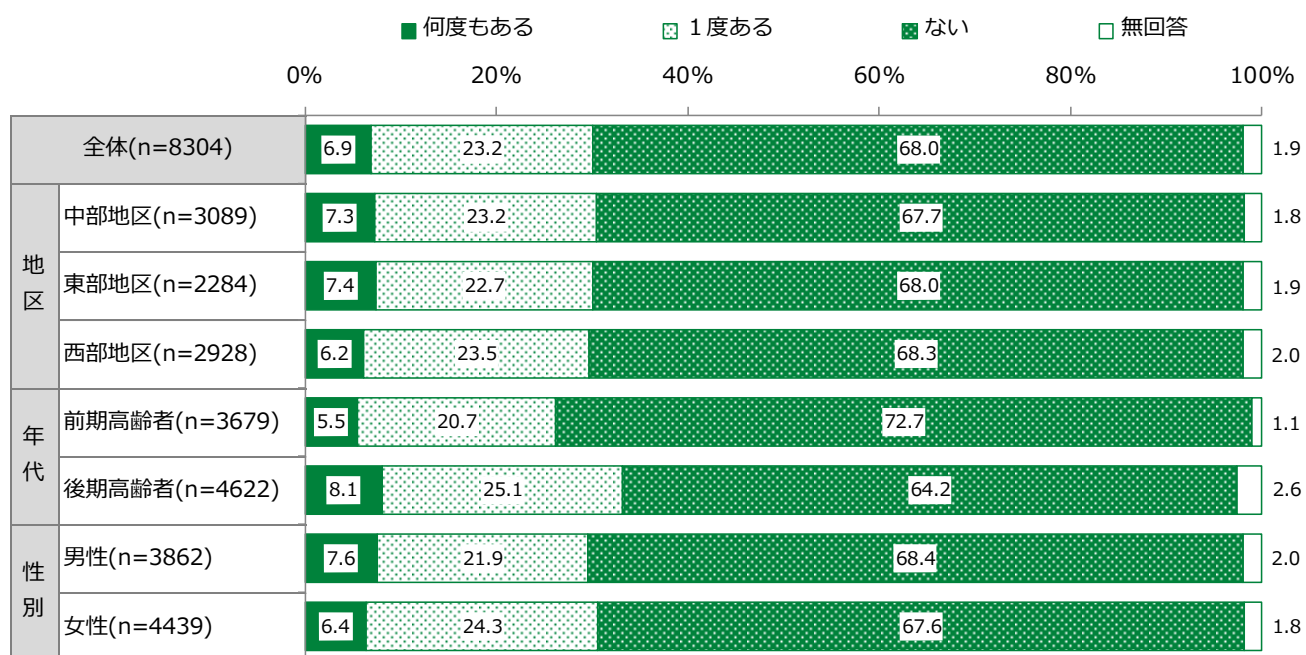
問9 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

☑ 「ない」が68.0%

過去1年間の転倒経験については、「ない」が68.0%と最も高く、次いで「1度ある」(23.2%)、「何度もある」(6.9%)となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 157 過去1年間に転んだこと



10.転倒に対する不安

問 10 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

☑ “不安である”(「とても不安である」+「やや不安である」)が50.5%

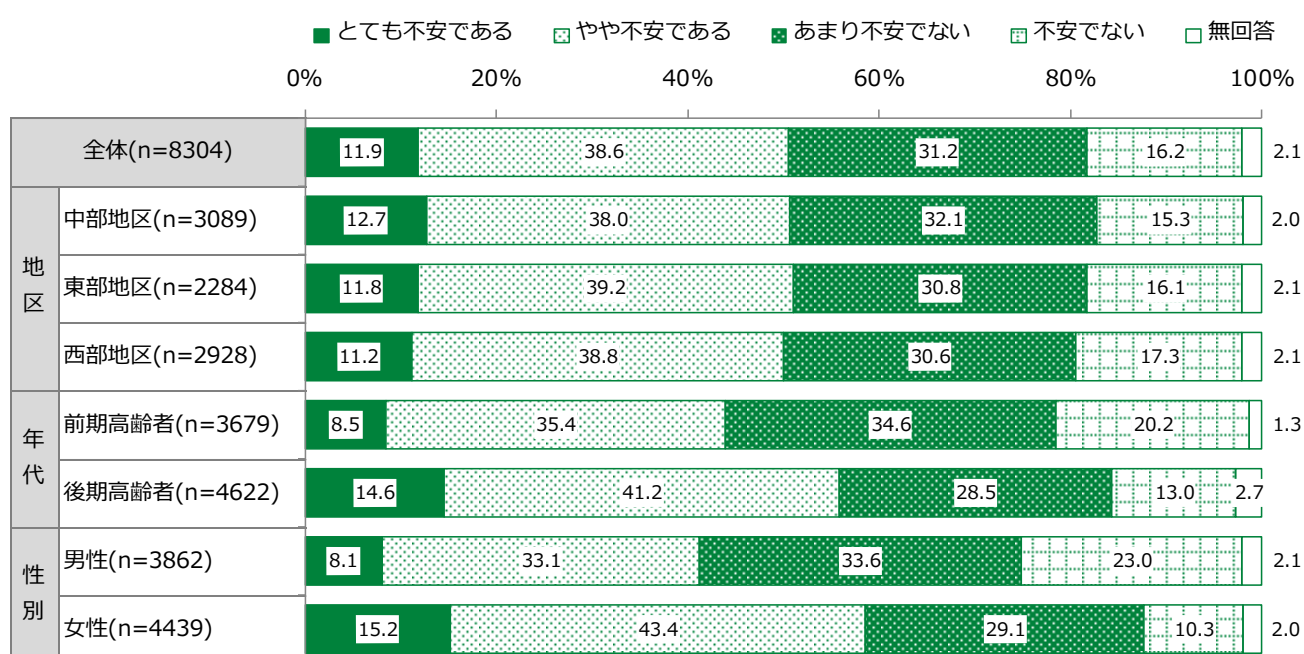
転倒に対する不安については、「やや不安である」が38.6%と最も高く、次いで「あまり不安でない」(31.2%)となっています。また、「不安でない」(「あまり不安でない」+「不安でない」)が47.4%、「不安である」が50.5%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で“不安である”が11.9ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で“不安である”が17.4ポイント、男性より高くなっています。

図表 158 転倒に対する不安



11.外出の頻度

問 11 週に 1 回以上は外出していますか。(○は 1 つ)

☑ 「週 5 回以上」 が 44.4%

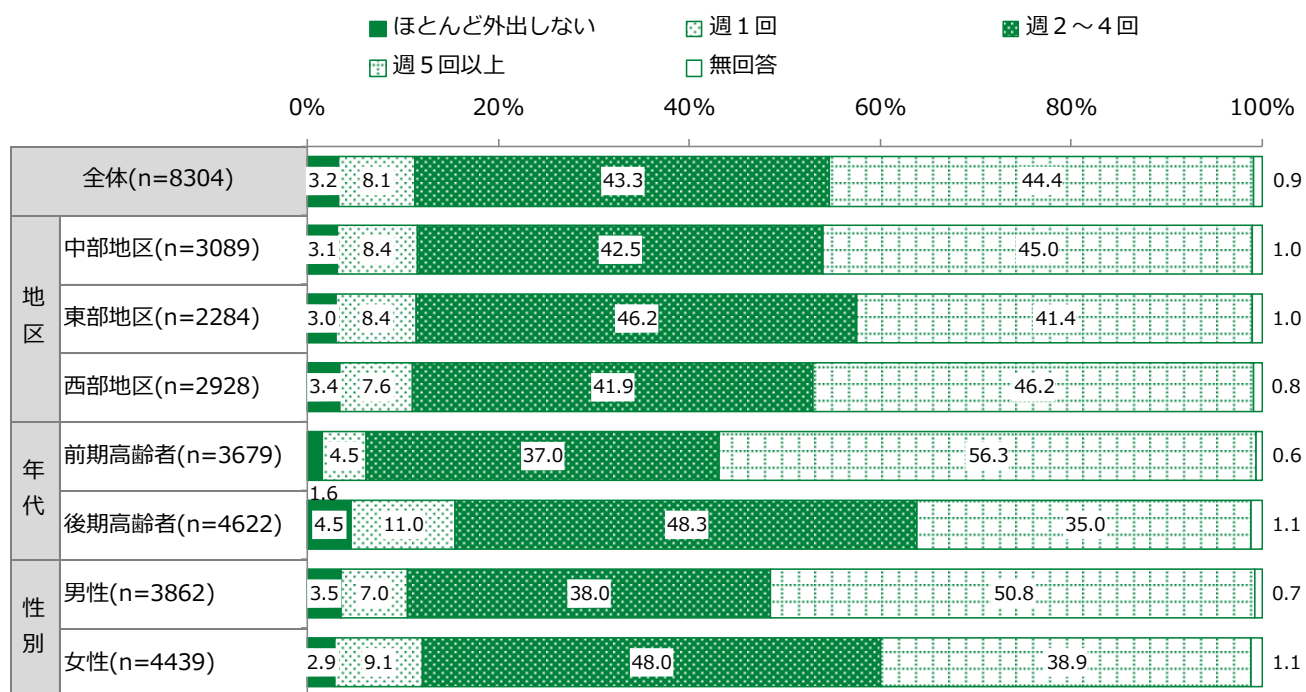
外出の頻度については、「週 5 回以上」が 44.4%と最も高く、次いで「週 2～4 回」(43.3%)、「週 1 回」(8.1%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「週 5 回以上」が 21.3 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「週 5 回以上」が 11.9 ポイント、女性より高くなっています。

図表 159 外出の頻度



12.外出の回数の変化

問 12 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇は1つ)

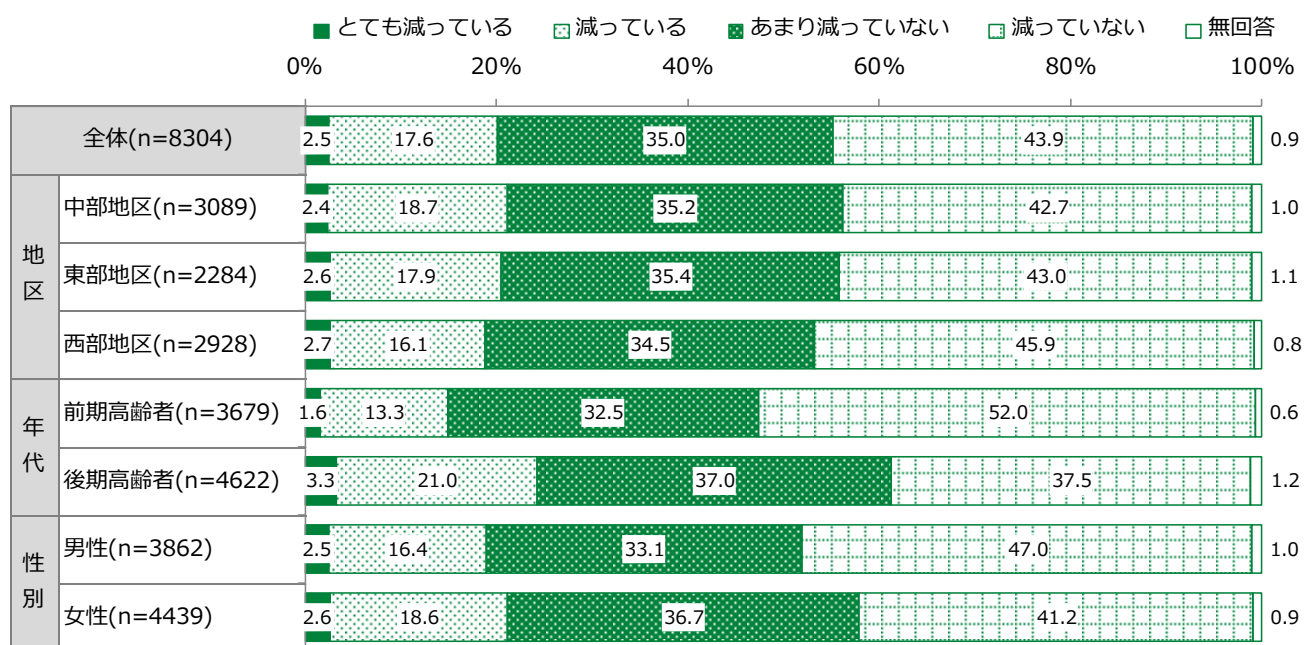
☑ 「減っていない」が43.9%

外出の回数の変化については、「減っていない」が43.9%と最も高く、次いで「あまり減っていない」(35.0%)となっています。また、“外出回数が減っていない”(「あまり減っていない」+「減っていない」)が78.9%、“外出回数が減っている”(「とても減っている」+「減っている」)が20.1%となっています。

地区別・性別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で“外出回数が減っている”が9.4ポイント、前期高齢者より高くなっています。

図表 160 外出の回数の変化



13.BMI¹

問 13 身長と体重をお書きください。

☑ 「普通体重（18.5 以上 25.0 未満）」が 68.0%

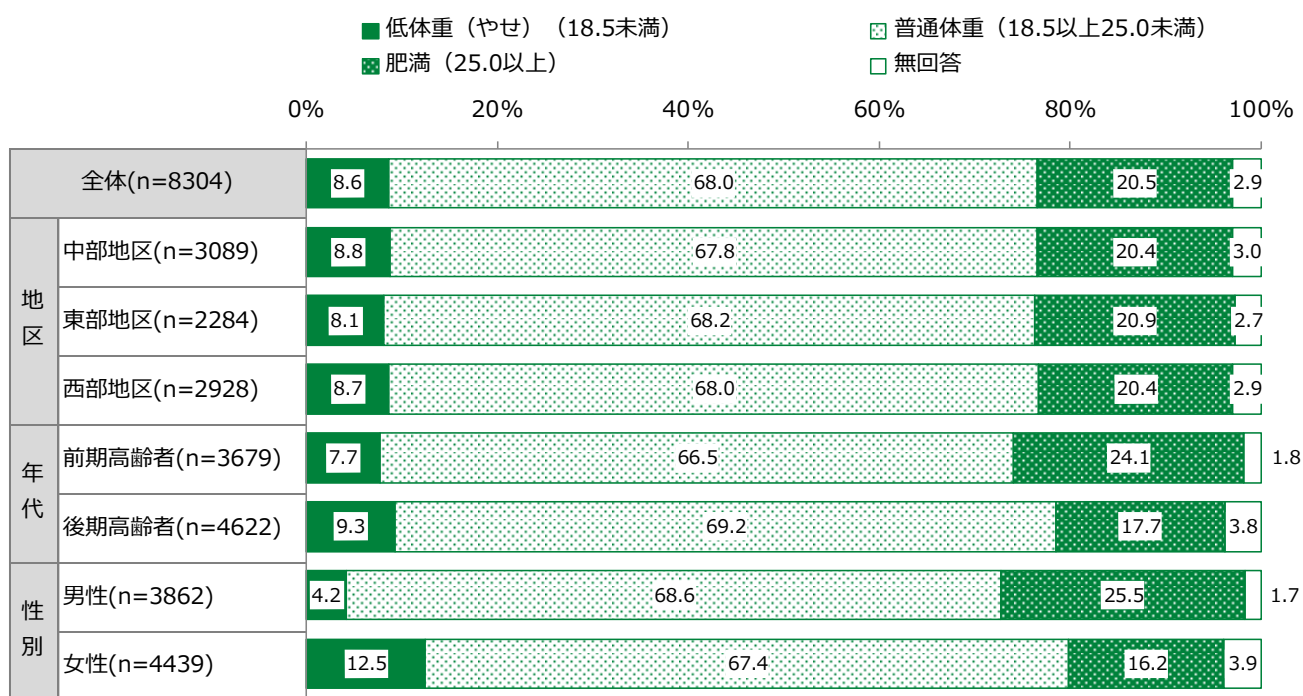
BMI については、「普通体重（18.5 以上 25.0 未満）」が 68.0%と最も高く、次いで「肥満（25.0 以上）」（20.5%）、「低体重（やせ）（18.5 未満）」（8.6%）となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「肥満」が 6.4 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「肥満」が 9.3 ポイント、女性で「低体重（やせ）」が 8.3 ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 161 BMI



¹ 成人の肥満度を表す体格指数。体重（kg）÷（身長（m）×身長（m））で算出される。

14.急な体重減少の有無

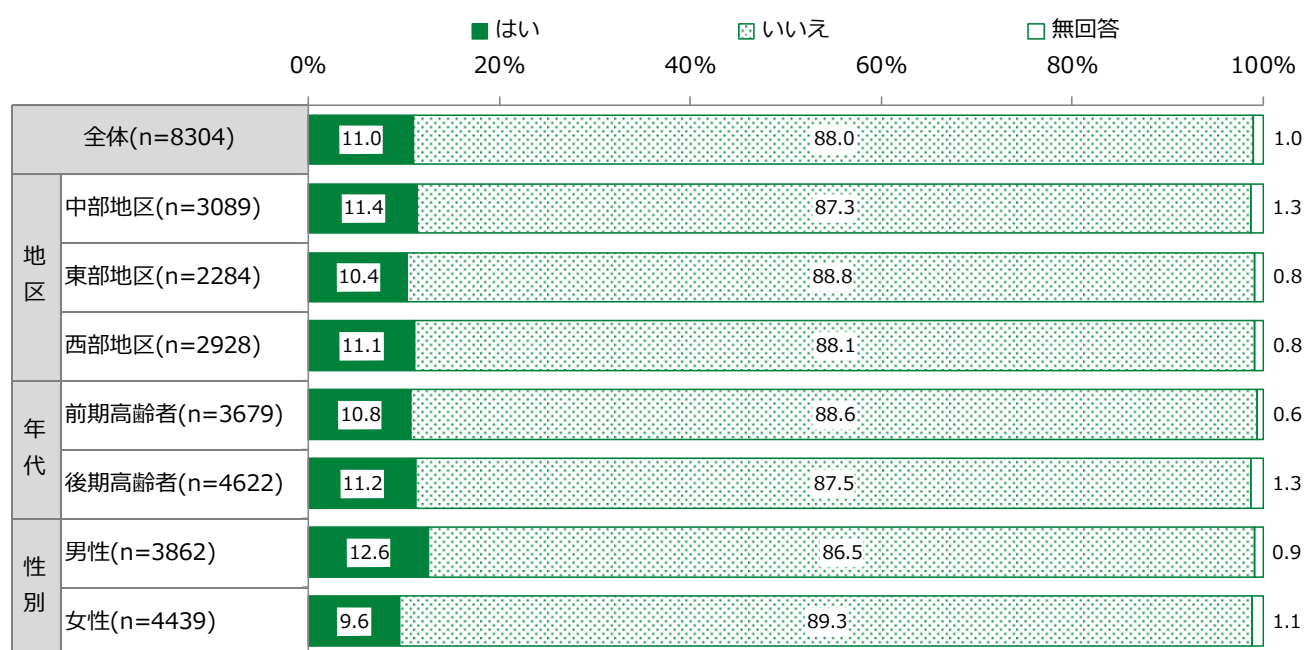
問 14① 6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか。(○は 1 つ)

☑ 「はい」 が 11.0%

急な体重減少の有無については、「いいえ」が 88.0%、「はい」が 11.0%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 162 急な体重減少の有無



15.固いものが食べにくくなったか

問 14② 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

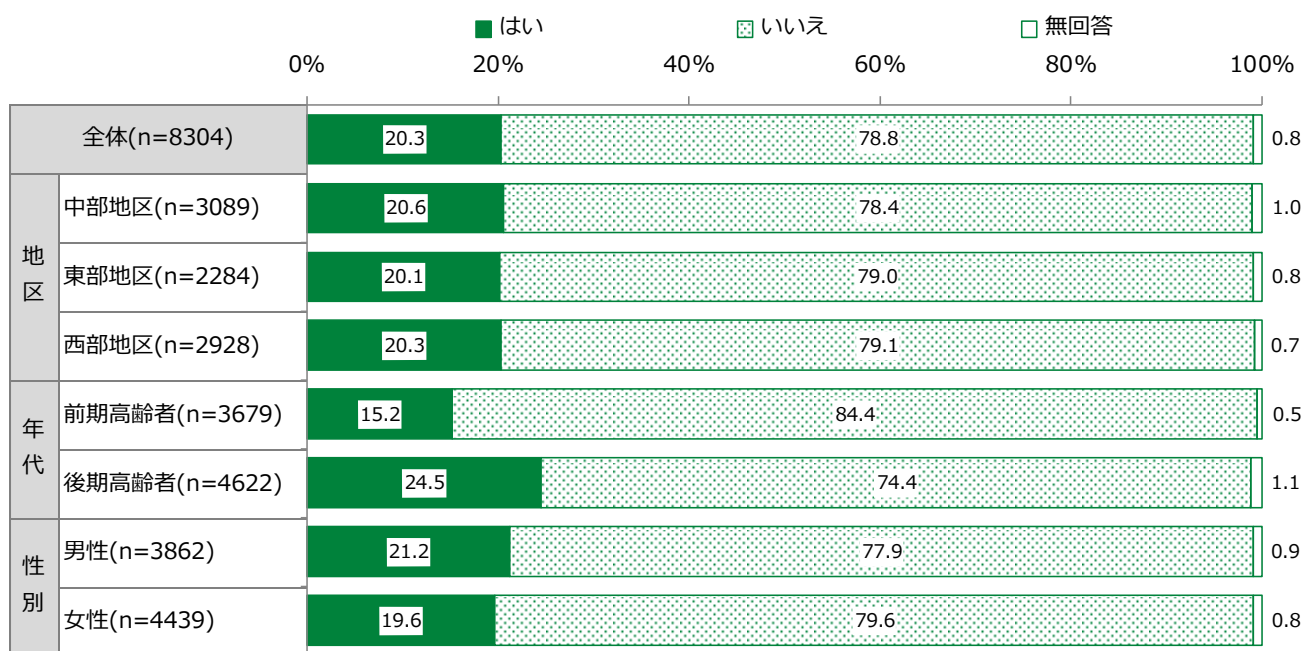
☑ 「はい」が20.3%

固いものが食べにくくなったかについては、「いいえ」が78.8%、「はい」が20.3%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が10.0ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 163 固いものが食べにくくなったか



16.お茶や汁物等でむせることがあるか

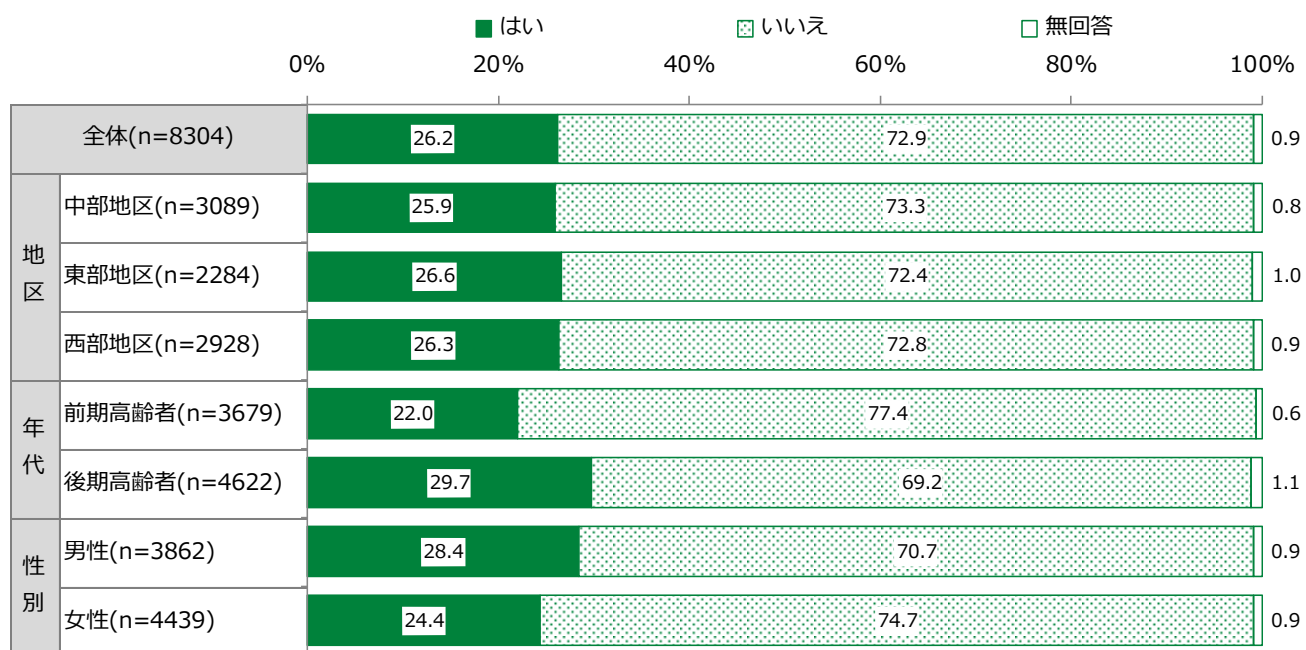
問 14③ お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

☑ 「はい」が26.2%

お茶や汁物等でむせることについては、「いいえ」が72.9%、「はい」が26.2%となっています。
地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が8.2ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 164 お茶や汁物等でむせることがあるか



17.口の渇きが気になるか

問 14④ 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

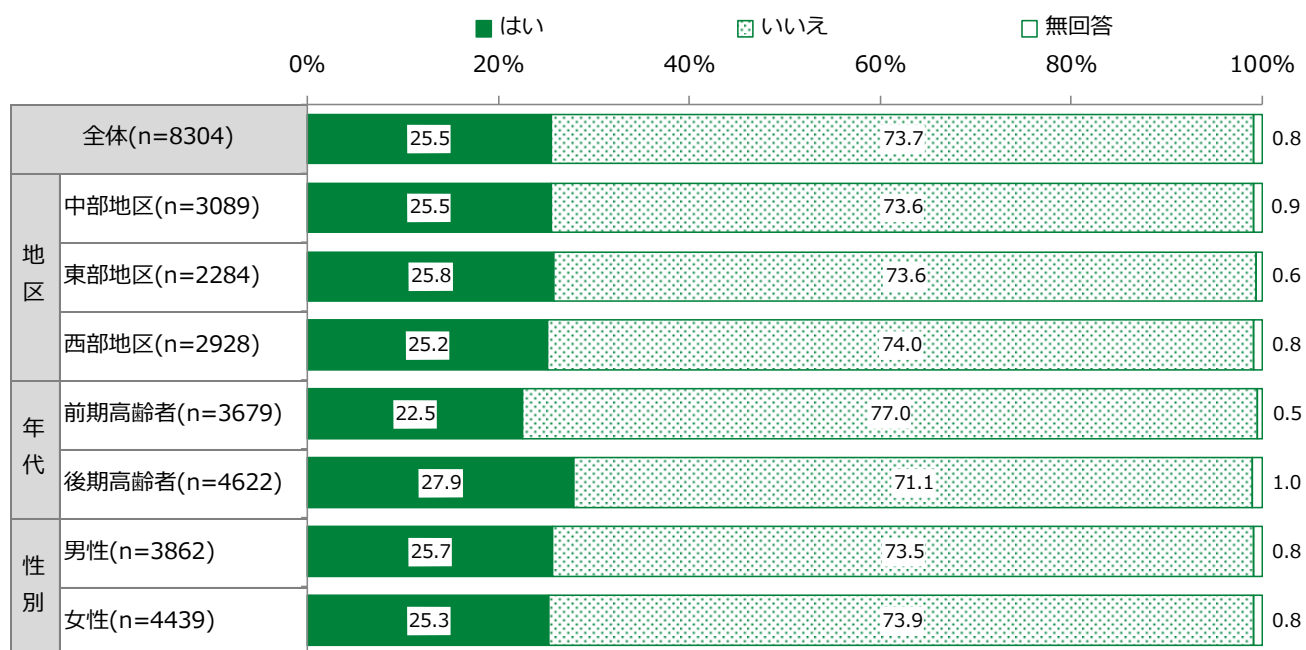
☑ 「はい」が25.5%

口の渇きが気になるかについては、「いいえ」が73.7%、「はい」が25.5%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が5.9ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 165 口の渇きが気になるか



18.現在の健康状態

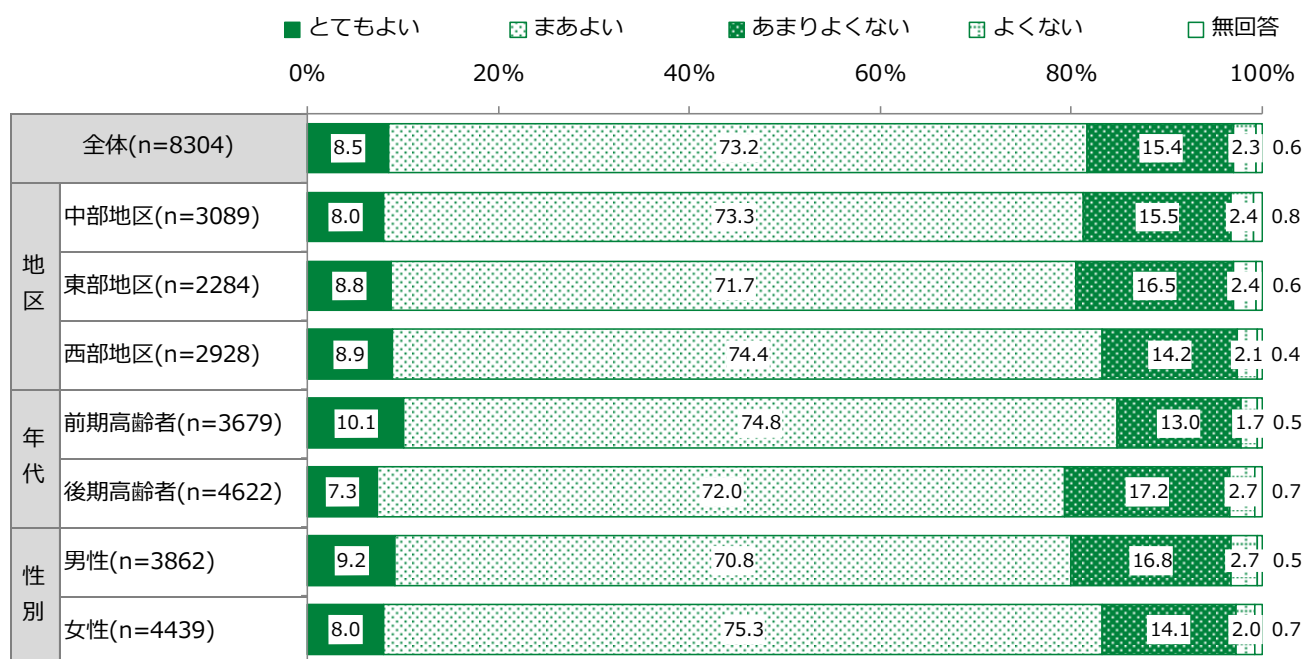
問 15 あなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

☑ 「まあよい」が73.2%

現在の健康状態については、「まあよい」が73.2%と最も高くなっています。また、“健康状態がよい”(「とてもよい」+「まあよい」)が81.7%、“健康状態がよくない”(「あまりよくない」+「よくない」)が17.7%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 166 現在の健康状態



19.バスや電車を使って一人で外出すること

問 16 バスや電車を使って一人で外出していますか。(自家用車でも可) (○は1つ)

☑ 「できるし、している」が79.5%

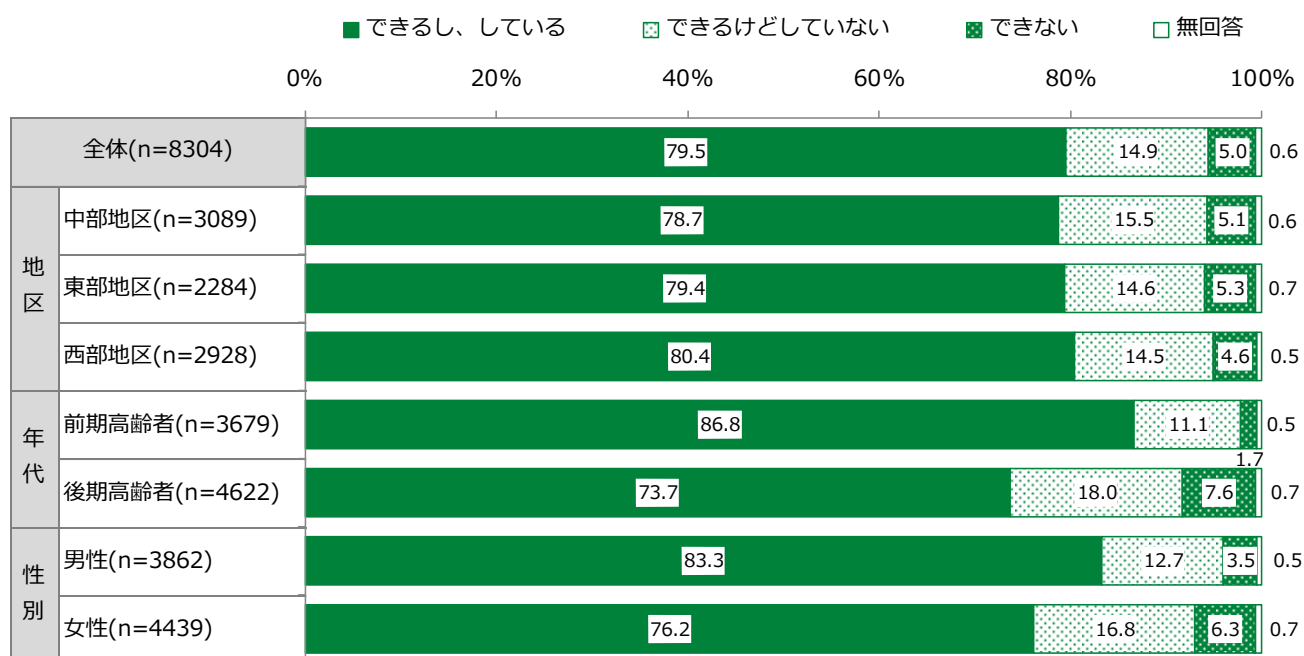
バスや電車を使って一人で外出することについては、「できるし、している」が79.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(14.9%)、「できない」(5.0%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が13.1ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「できるし、している」が7.1ポイント、女性より高くなっています。

図表 167 バスや電車を使って一人で外出すること



20.食品・日用品の買物

問 17 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

☒ 「できるし、している」が 85.2%

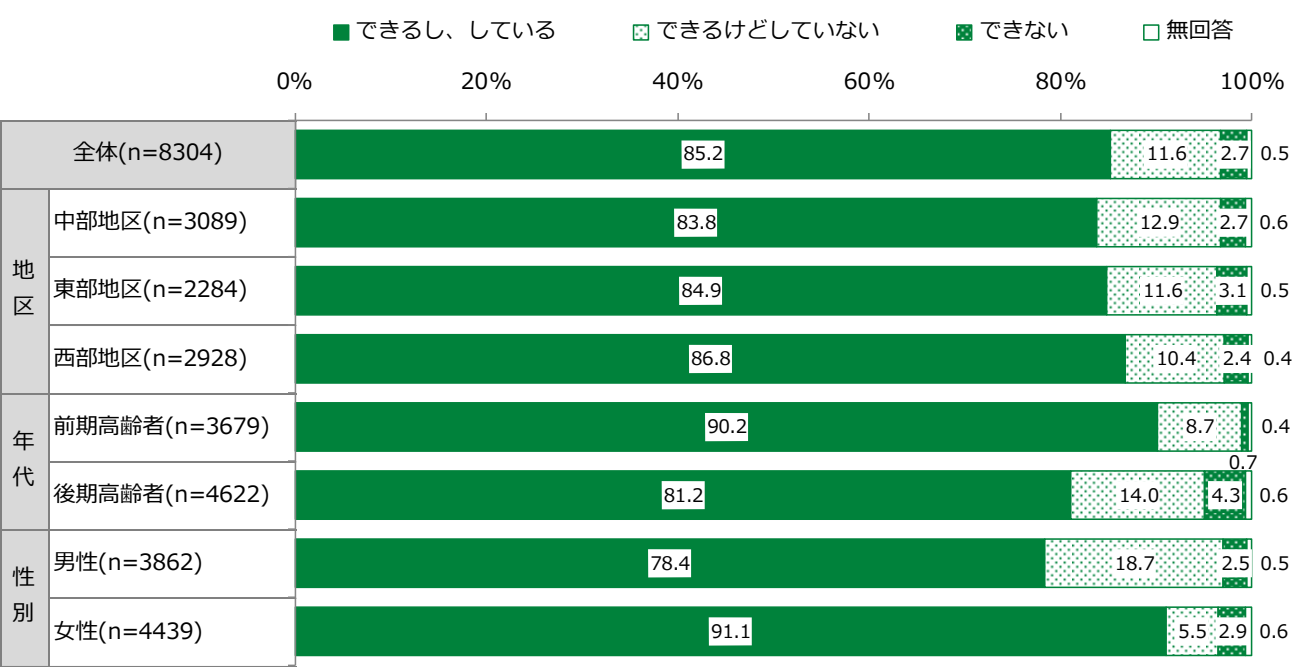
自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が 85.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(11.6%)、「できない」(2.7%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が 9.0 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「できるけどしていない」が 13.2 ポイント、女性より高くなっています。

図表 168 食品・日用品の買物



21. 預貯金の出し入れ

問 18 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

☑ 「できるし、している」が 86.3%

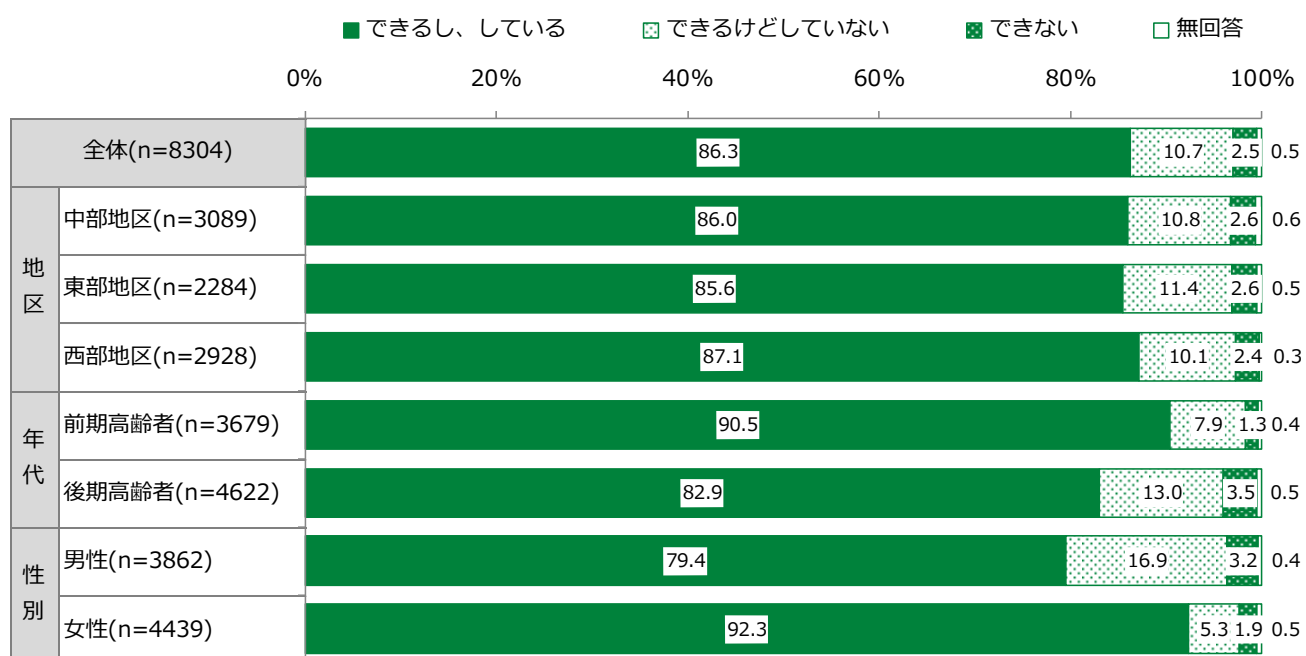
自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が 86.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(10.7%)、「できない」(2.5%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が 7.6 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「できるけどしていない」が 11.6 ポイント、女性より高くなっています。

図表 169 預貯金の出し入れ



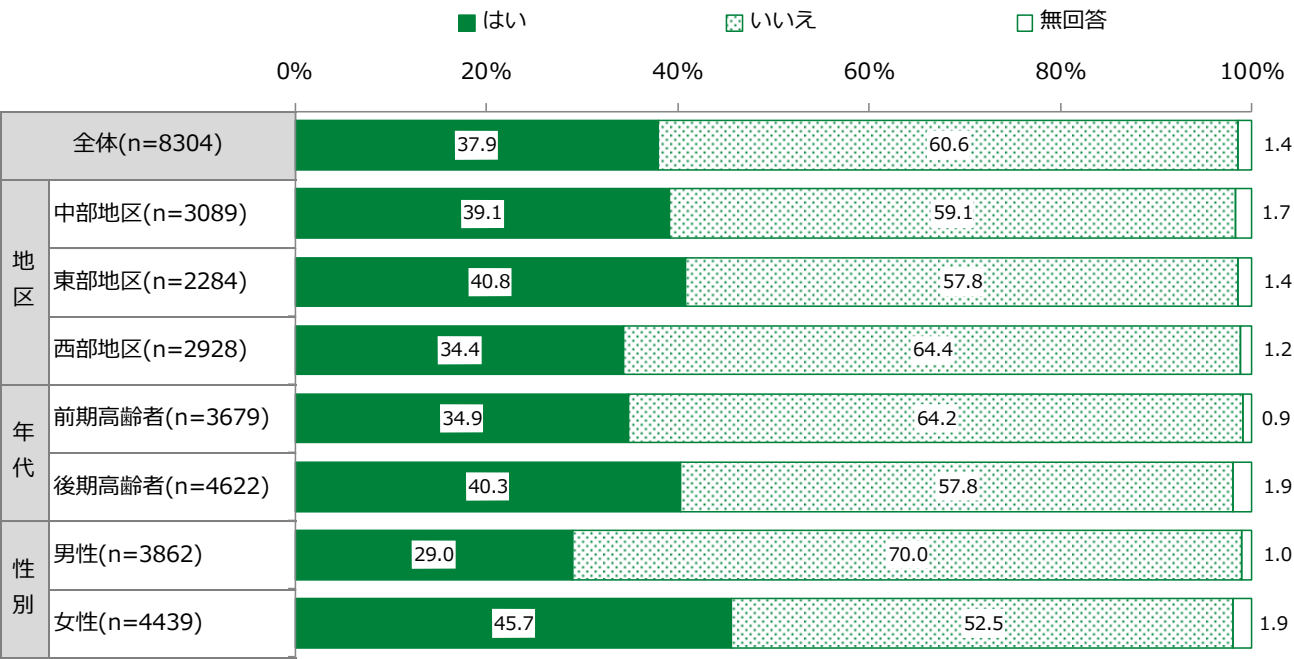
22.友人の家を訪ねること

問 19① 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

☒ 「はい」が37.9%

友人の家を訪ねているかについては、「いいえ」が60.6%、「はい」が37.9%となっています。
 地区別でみると、西部地区で「はい」が他の地区より低くなっています。
 年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が6.4ポイント、後期高齢者より高くなっています。
 性別でみると、男性で「いいえ」が17.5ポイント、女性より高くなっています。

図表 170 友人の家を訪ねること



23. 家族や友人の相談にのること

問 19② 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

☑ 「はい」が75.9%

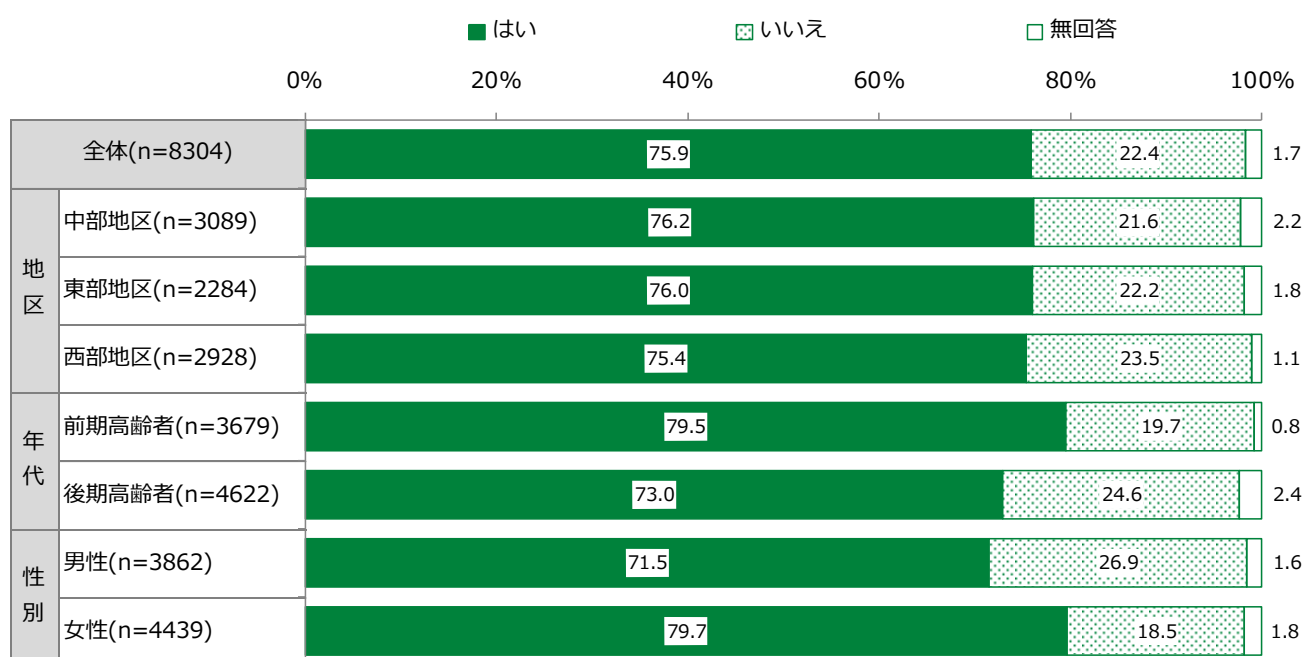
家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が75.9%、「いいえ」が22.4%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「はい」が6.5ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「いいえ」が8.4ポイント、女性より高くなっています。

図表 171 家族や友人の相談にのること



24.電話番号を調べてかけること

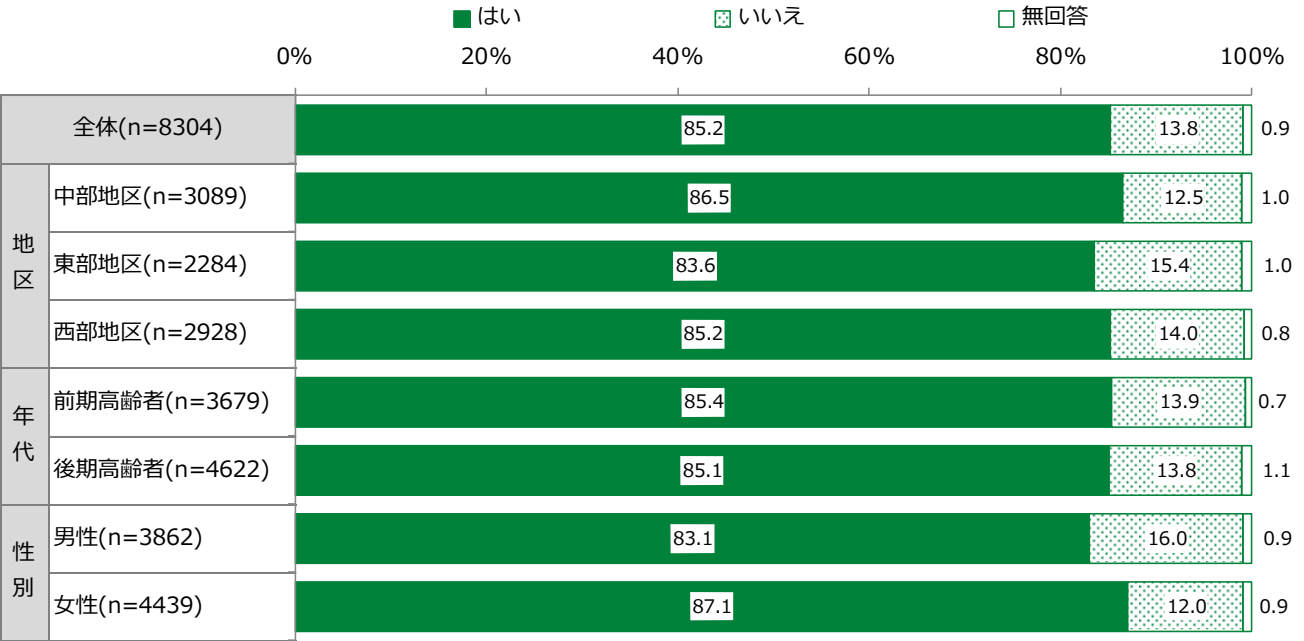
問 19③ 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

☒ 「はい」が 85.2%

自分で電話番号を調べて電話をかけることについては、「はい」が 85.2%、「いいえ」が 13.8%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 172 電話番号を調べてかけること



25. 今日の日付がわからないこと

問 19④ 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

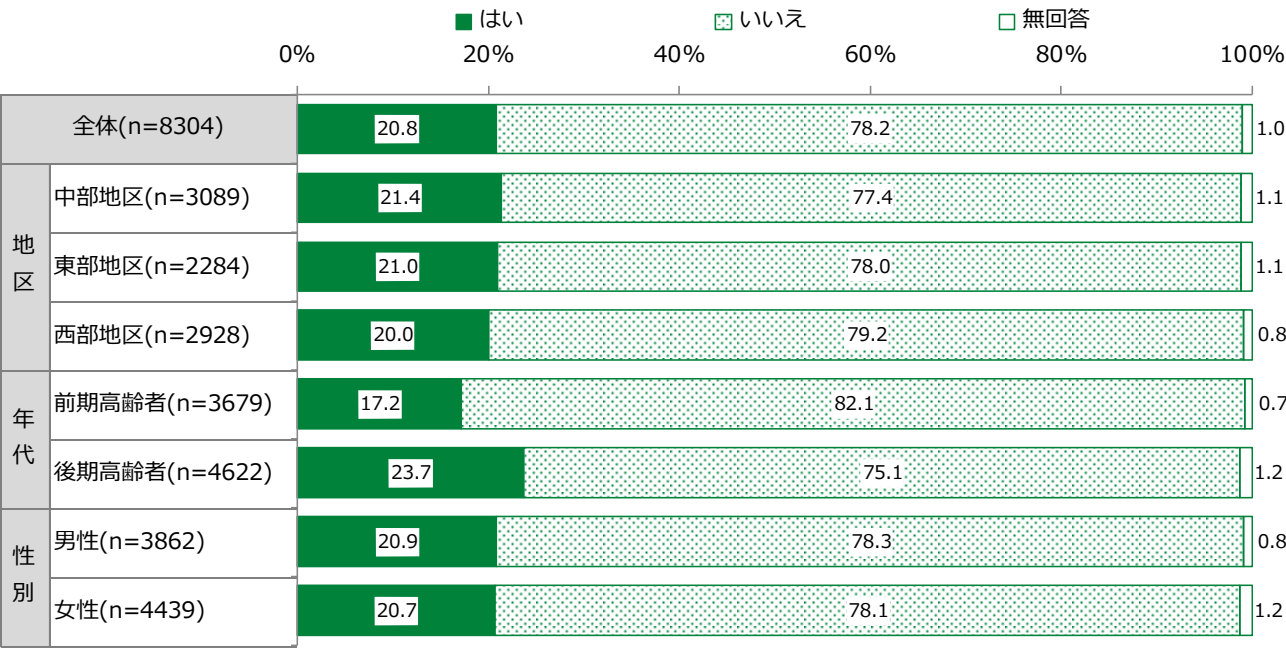
☑ 「はい」が20.8%

今日の日付がわからない時があるかについては、「いいえ」が78.2%、「はい」が20.8%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が7.0ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 173 今日の日付がわからないこと



26.生活の充実感

問 19⑤ （ここ 2 週間）毎日の生活に充実感がない。（○は 1 つ）

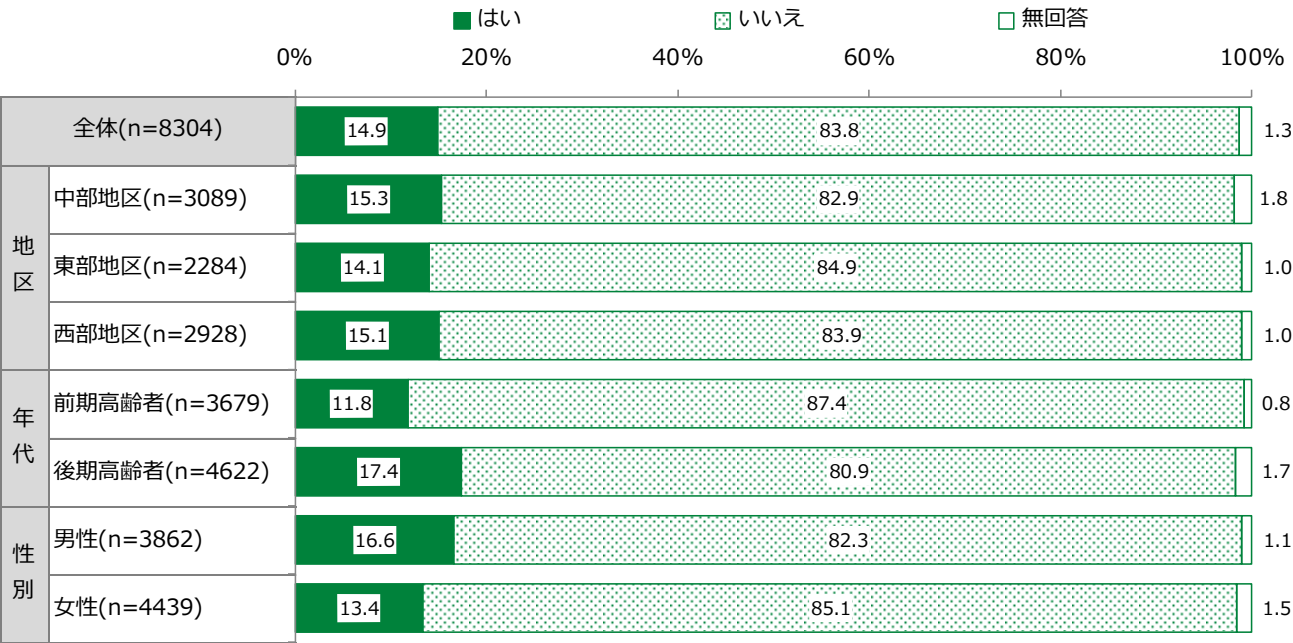
☒ 「はい」（充実感がない）が 14.9%

毎日の生活に充実感がないかについては、「いいえ」（充実感がある）が 83.8%、「はい」（充実感がない）が 14.9%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で「いいえ」が 6.5 ポイント、前期高齢者より高くなっています。

図表 174 生活の充実感



27.物事を楽しめなくなったこと

問 19⑥ （ここ 2 週間）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった。（○は 1 つ）

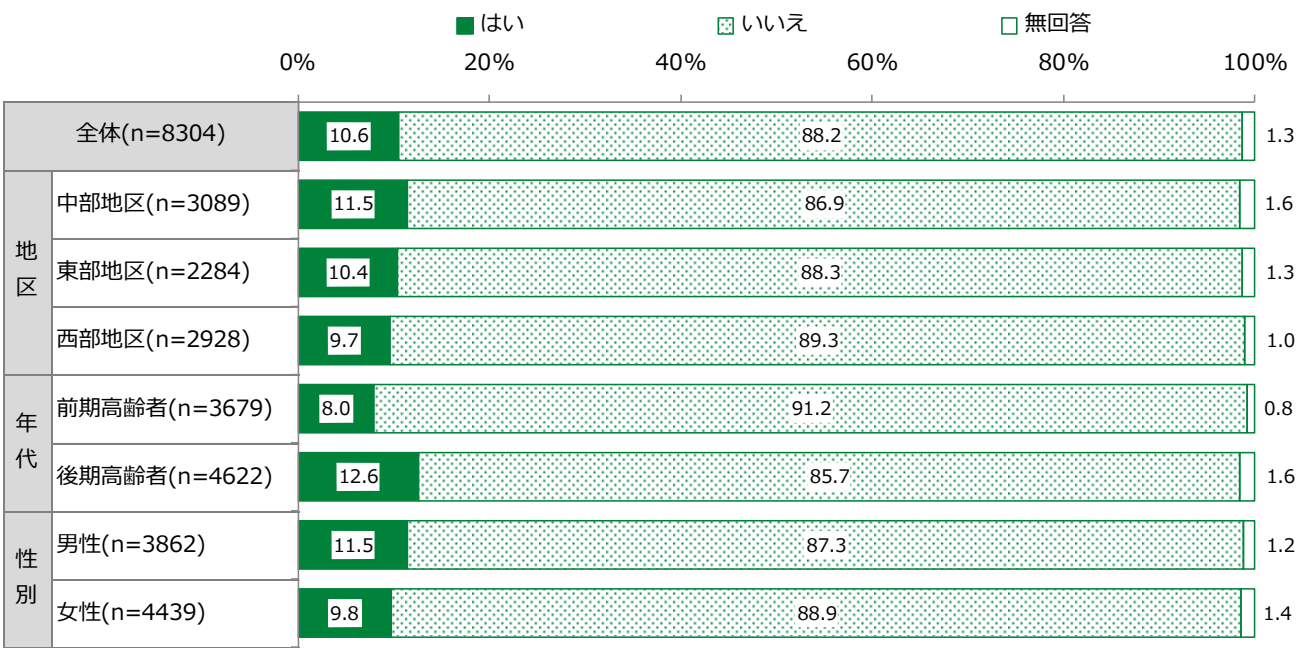
☒ 「はい」が 10.6%

これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったかについては、「いいえ」が 88.2%、「はい」が 10.6%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が 5.5 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 175 物事を楽しめなくなったこと



28.物事がおっくうに感じられること

問 19⑦ （ここ 2 週間）以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる。（○は 1 つ）

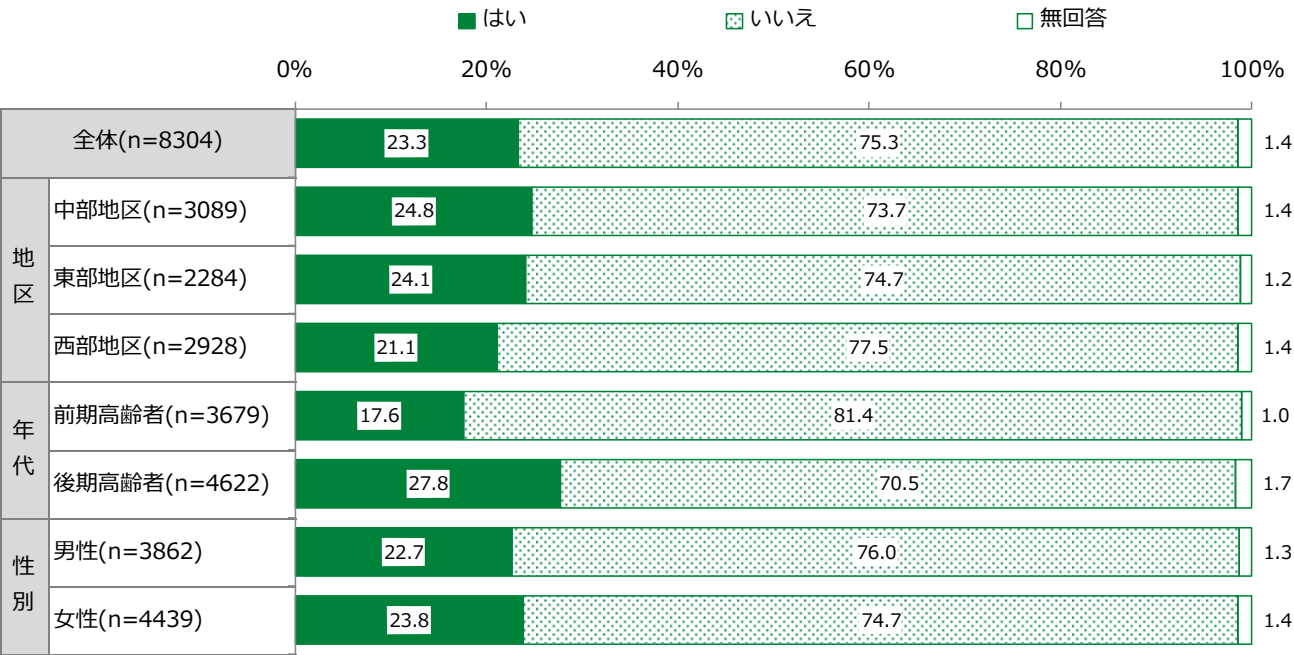
☑ 「はい」 が 23.3%

以前は楽にできていたことがおっくうに感じられるかについては、「いいえ」が 75.3%、「はい」が 23.3%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が 10.9 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 176 物事がおっくうに感じられること



29.自分が役に立つ人間だと思えないこと

問 19⑧ （ここ 2 週間）自分が役に立つ人間だと思えない。（○は 1 つ）

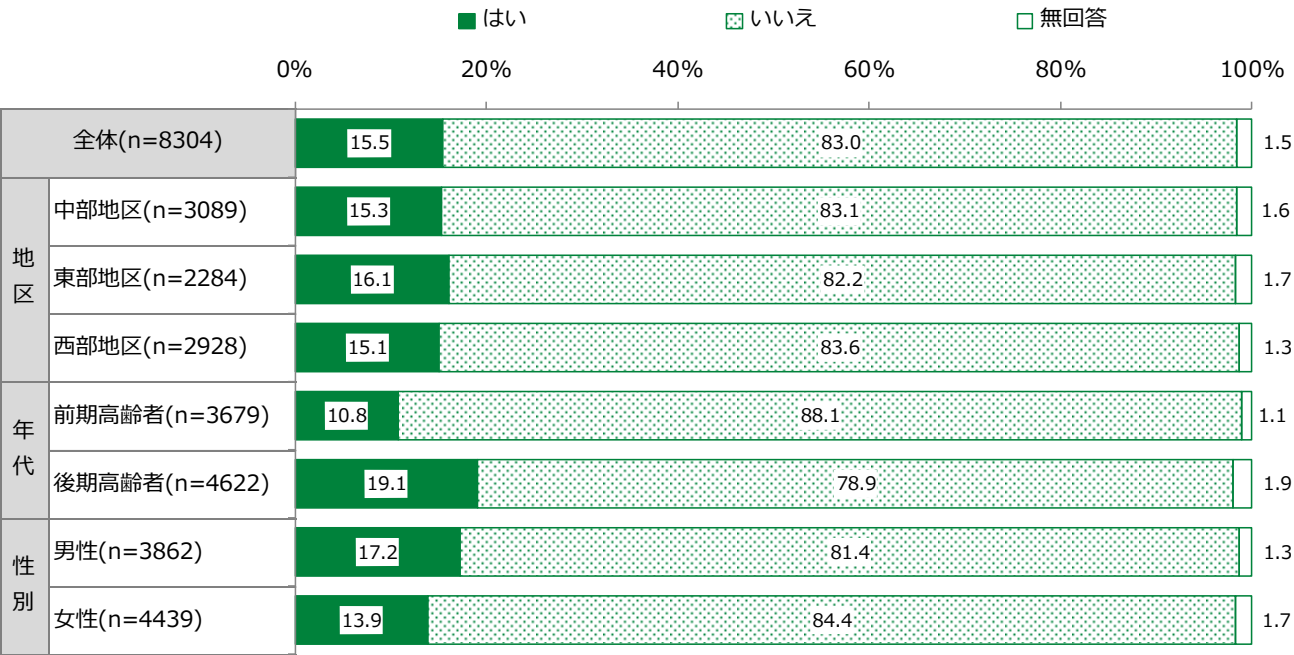
☑ 「はい」（役に立つ人間だと思えない）が 15.5%

自分が役に立つ人間だと思えないかについては、「いいえ」（役に立つ人間だと思う）が 83.0%、「はい」（役に立つ人間だと思えない）が 15.5%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が 9.2 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 177 自分が役に立つ人間だと思えないこと



30.わけもなく疲れたように感じること

問 19⑨ （ここ 2 週間）わけもなく疲れたような感じがする。（○は 1 つ）

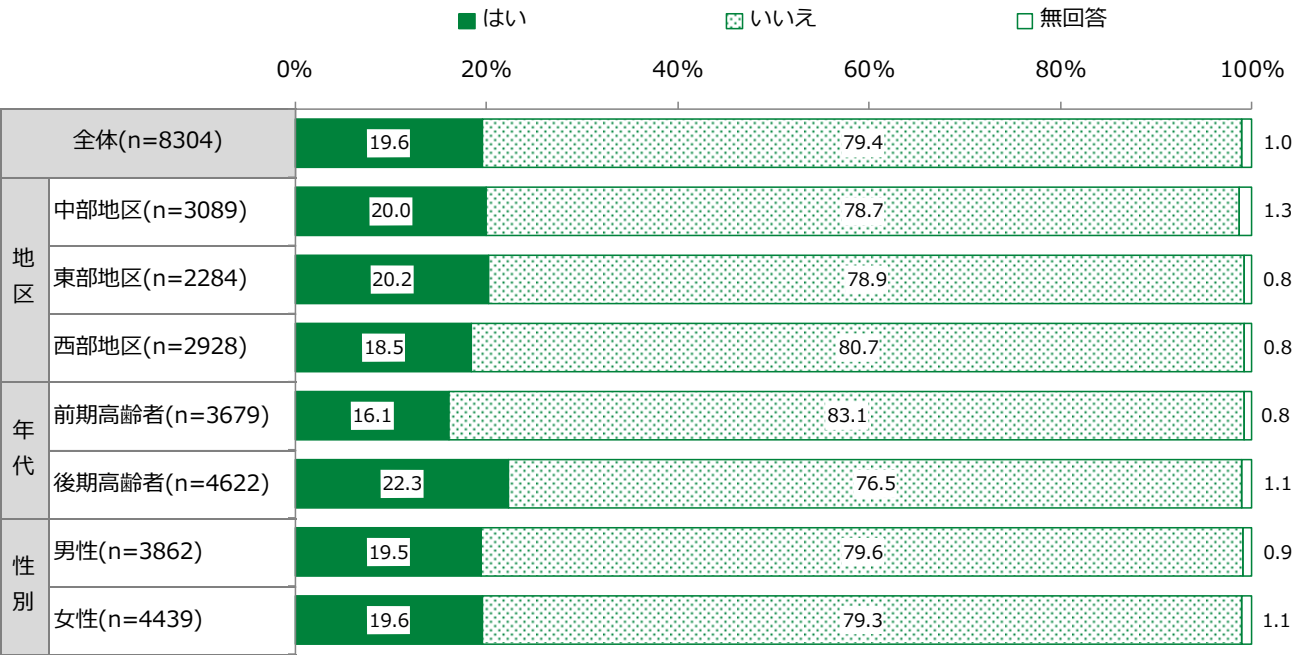
☒ 「はい」 が 19.6%

わけもなく疲れたような感じがするかについては、「いいえ」が 79.4%、「はい」が 19.6%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が 6.6 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 178 わけもなく疲れたように感じること



31.周りの人から物忘れがあると言われること

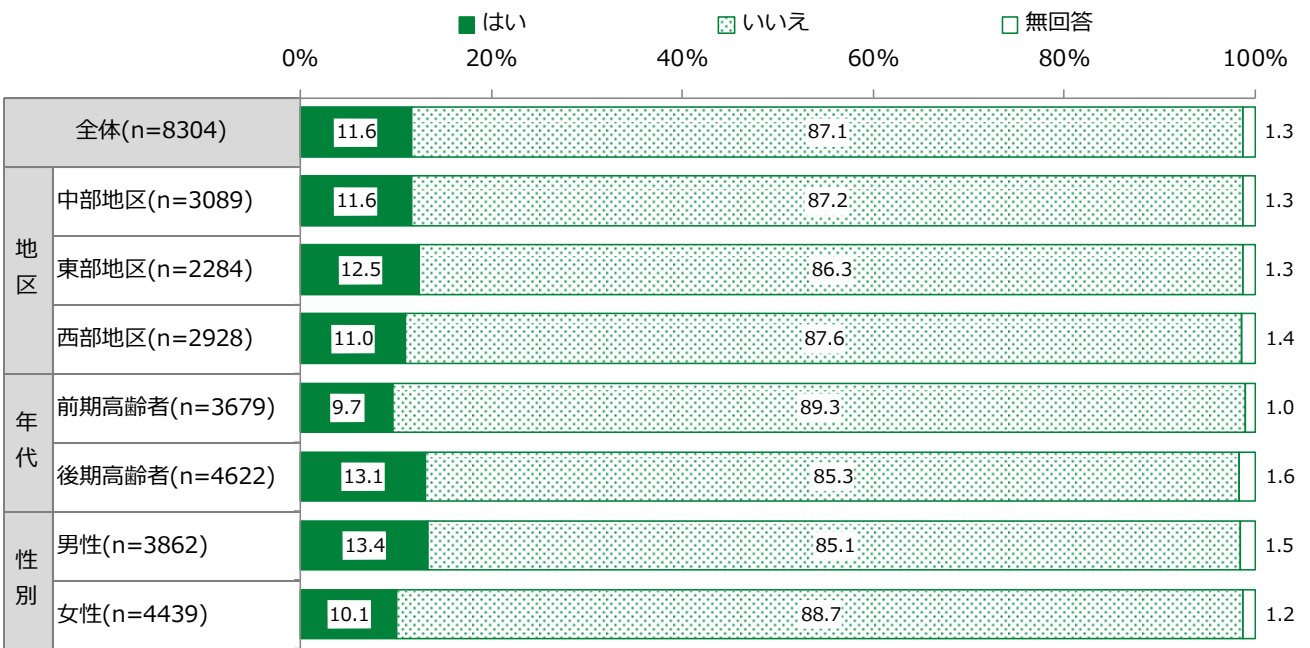
問 19⑩ 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われるか。(○は1つ)

☑ 「はい」が11.6%

周りの人から物忘れがあると言われるかについては、「いいえ」が87.1%、「はい」が11.6%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 179 周りの人から物忘れがあると言われること



32.現在の幸福度

問 20 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

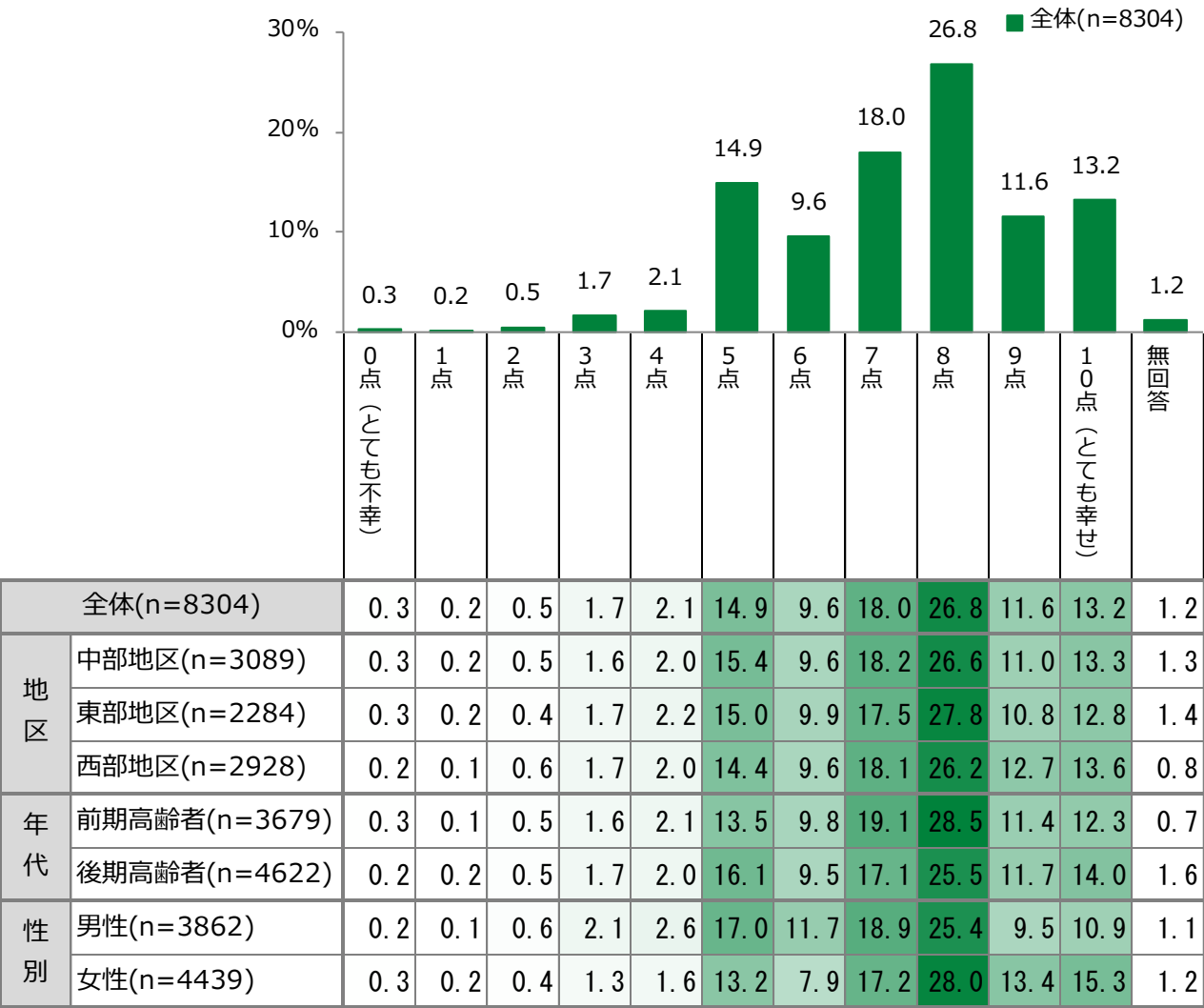
☑ 「8点」が26.8%

現在の幸福度については、「8点」が26.8%と最も高く、次いで「7点」(18.0%)、「5点」(14.9%)となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると、いずれの性別でも「8点」「7点」の順で高く、次いで男性では「5点」、女性では「10点(とても幸せ)」となっています。

図表 180 現在の幸福度



33.地域活動への参加状況

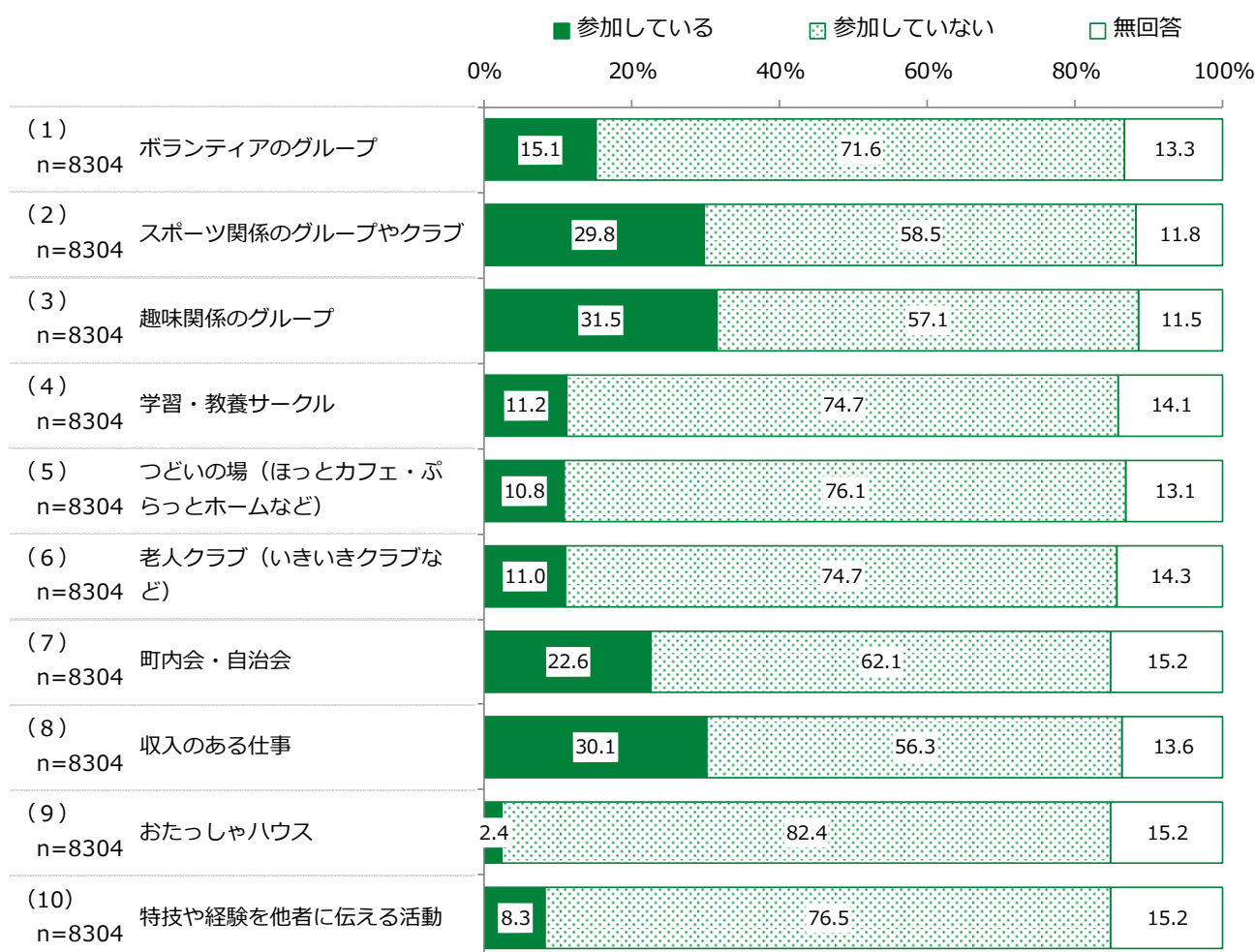
問 21 以下のような会・グループ等による活動にどのくらいの頻度で参加していますか。

※（１）～（９）それぞれに回答してください。

☑ 趣味関係のグループに“参加している”¹が31.5%

地域活動への参加状況について、“参加している”は趣味関係のグループが31.5%と最も高く、次いで収入のある仕事(30.1%)、スポーツ関係のグループやクラブ(29.8%)、町内会・自治会(22.6%)となっています。

図表 181 地域活動への参加状況



¹ 「週４回以上」「週２～３回」「週１回」「月１～３回」「年に数回」を合わせたもの

(1) ボランティアのグループ

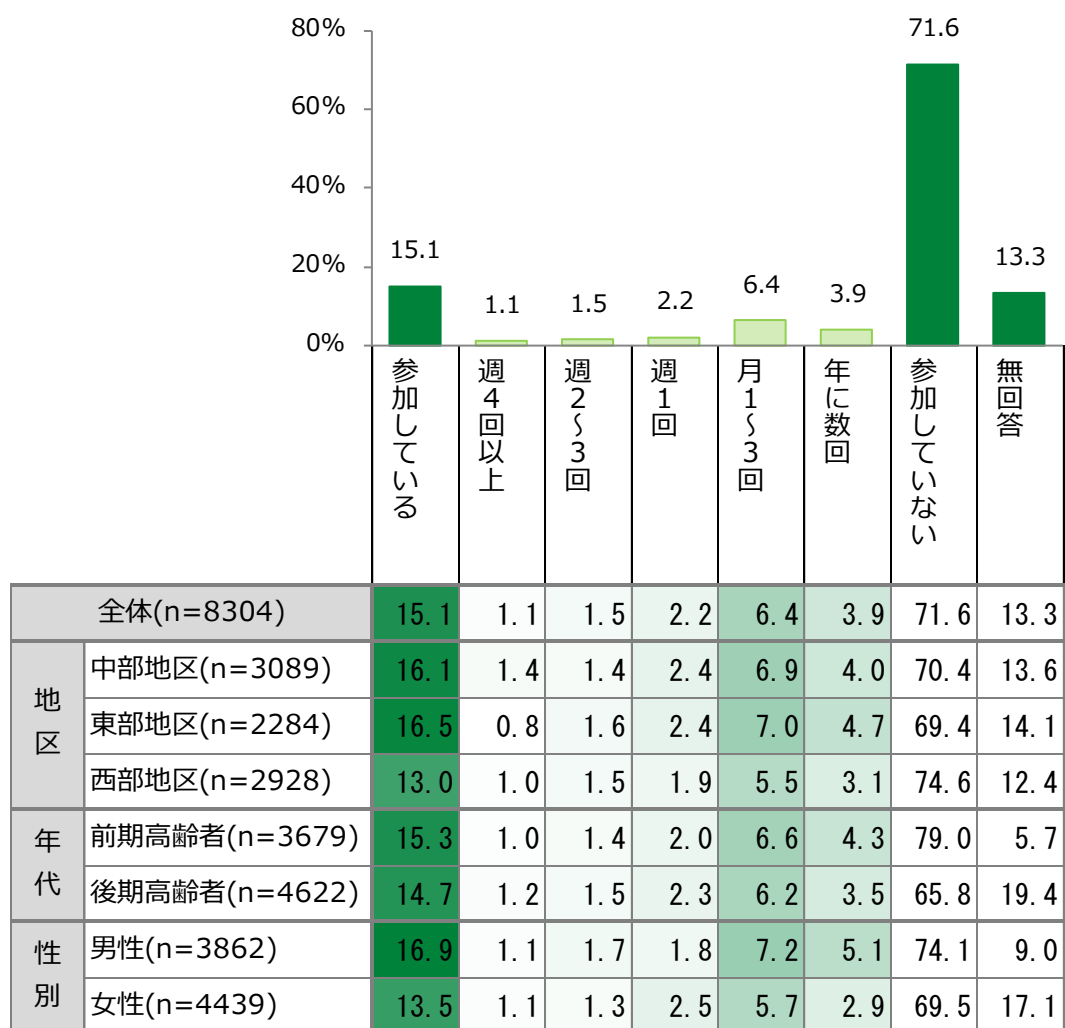
☑ 参加している人は 15.1%

ボランティアのグループについて、「参加している」は 15.1%となっています。参加頻度としては、「月 1～3 回」が 6.4%と最も高く、次いで「年に数回」(3.9%) となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が 13.2 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 182 (1) ボランティアのグループ



(2) スポーツ関係のグループやクラブ

☑ 参加している人は 29.8%

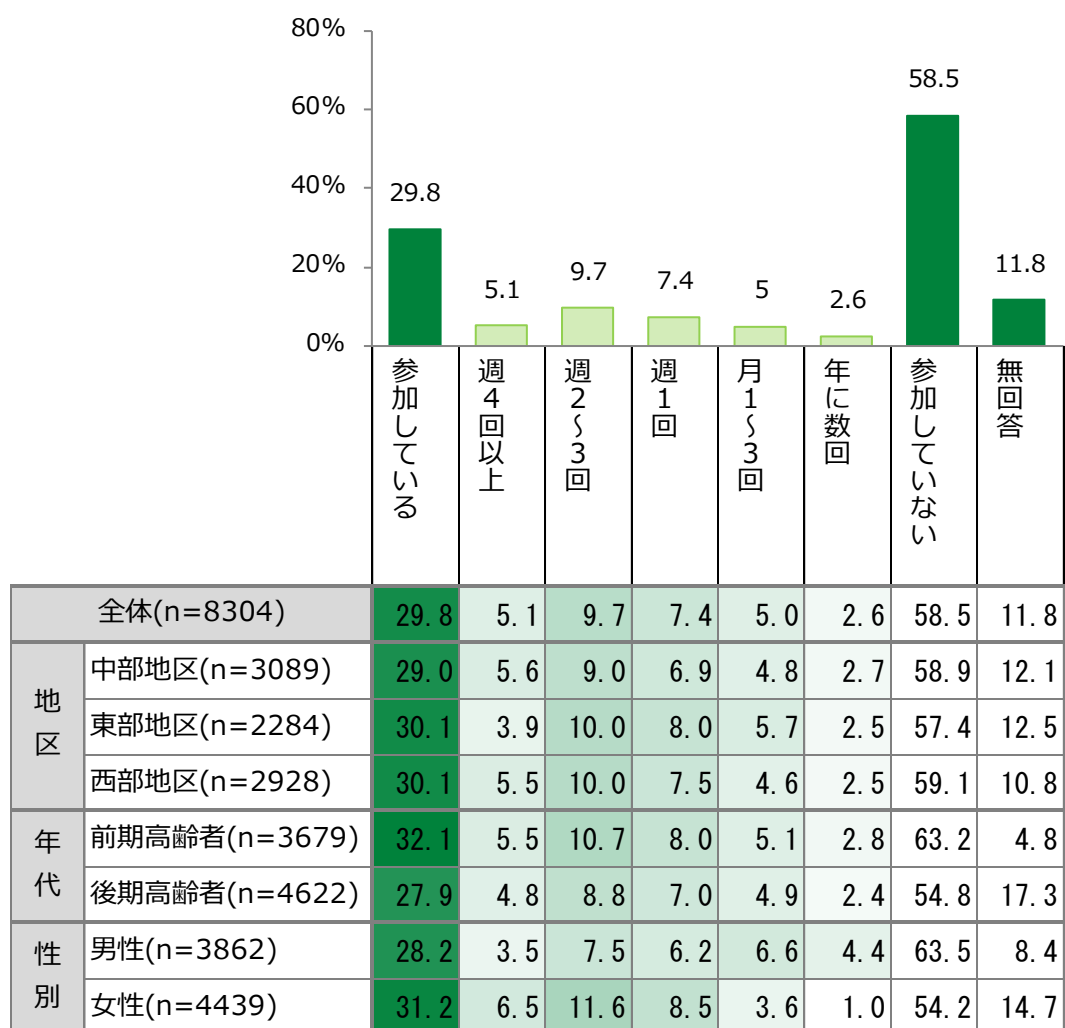
スポーツ関係のグループやクラブについて、“参加している”が29.8%となっています。参加頻度としては、「週2～3回」が9.7%と最も高く、次いで「週1回」(7.4%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が8.4ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が9.3ポイント、女性より高くなっています。

図表 183 (2) スポーツ関係のグループやクラブ



(3) 趣味関係のグループ

☑ 参加している人は 31.5%

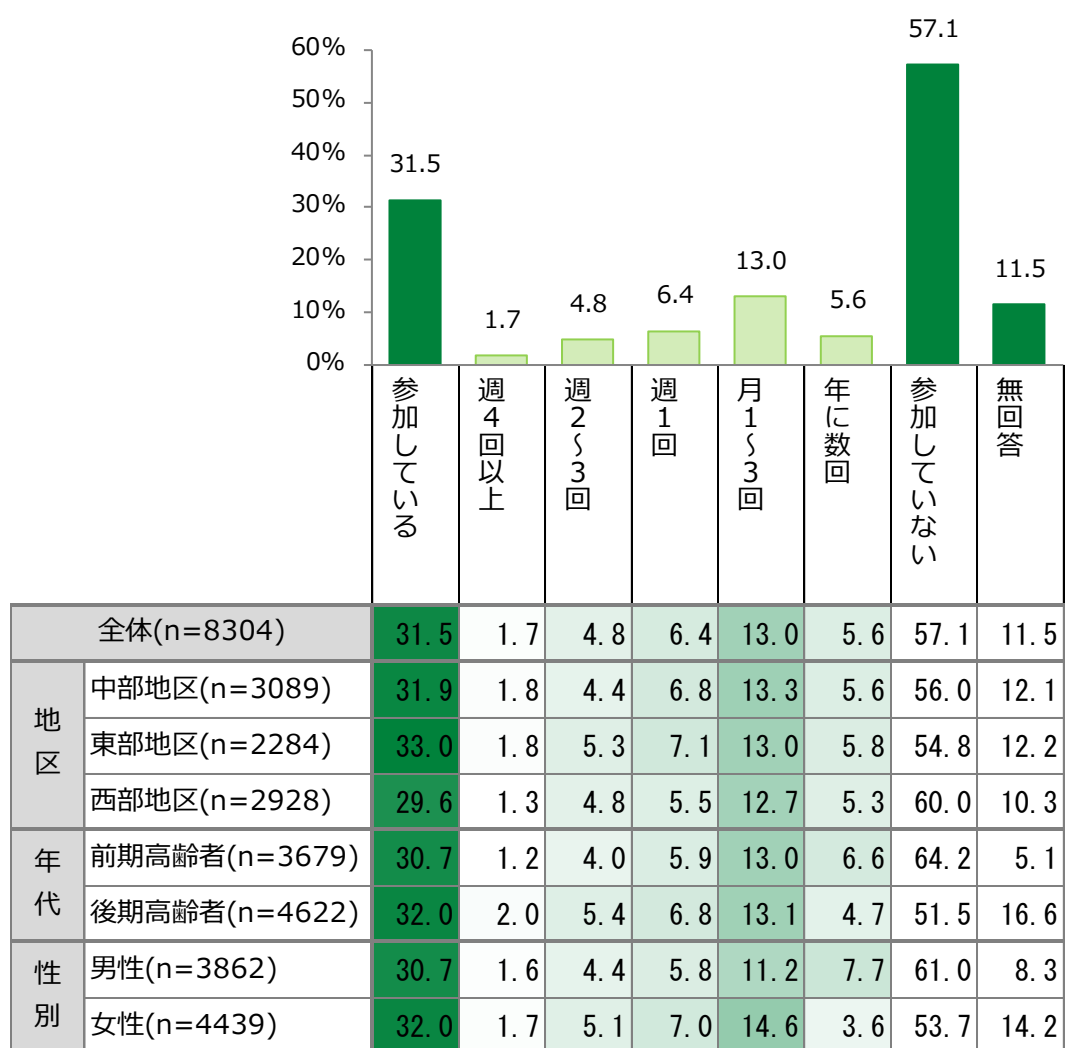
趣味関係のグループについて、“参加している”が31.5%となっています。参加頻度としては、「月1～3回」が13.0%と最も高く、次いで「週1回」(6.4%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が12.7ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が7.3ポイント、女性より高くなっています。

図表 184 (3) 趣味関係のグループ



(4) 学習・教養サークル

☑ 参加している人は 11.2%

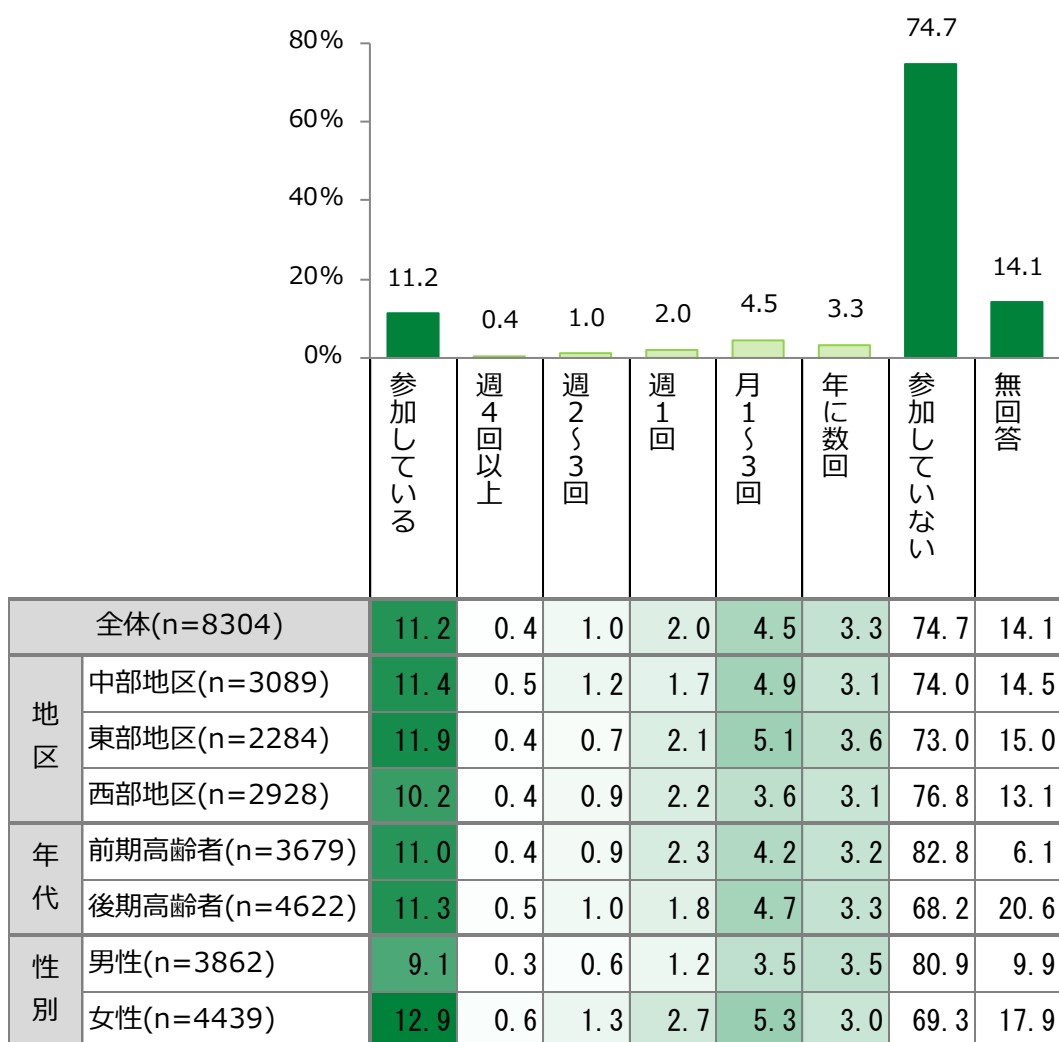
学習・教養サークルについて、“参加している”が11.2%となっています。参加頻度としては、「月1～3回」が4.5%と最も高く、次いで「年に数回」(3.3%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が14.6ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が11.6ポイント、女性より高くなっています。

図表 185 (4) 学習・教養サークル



(5) つどいの場（ほっとカフェ・ぷらっとホームなど）

☑ 参加している人は 10.8%

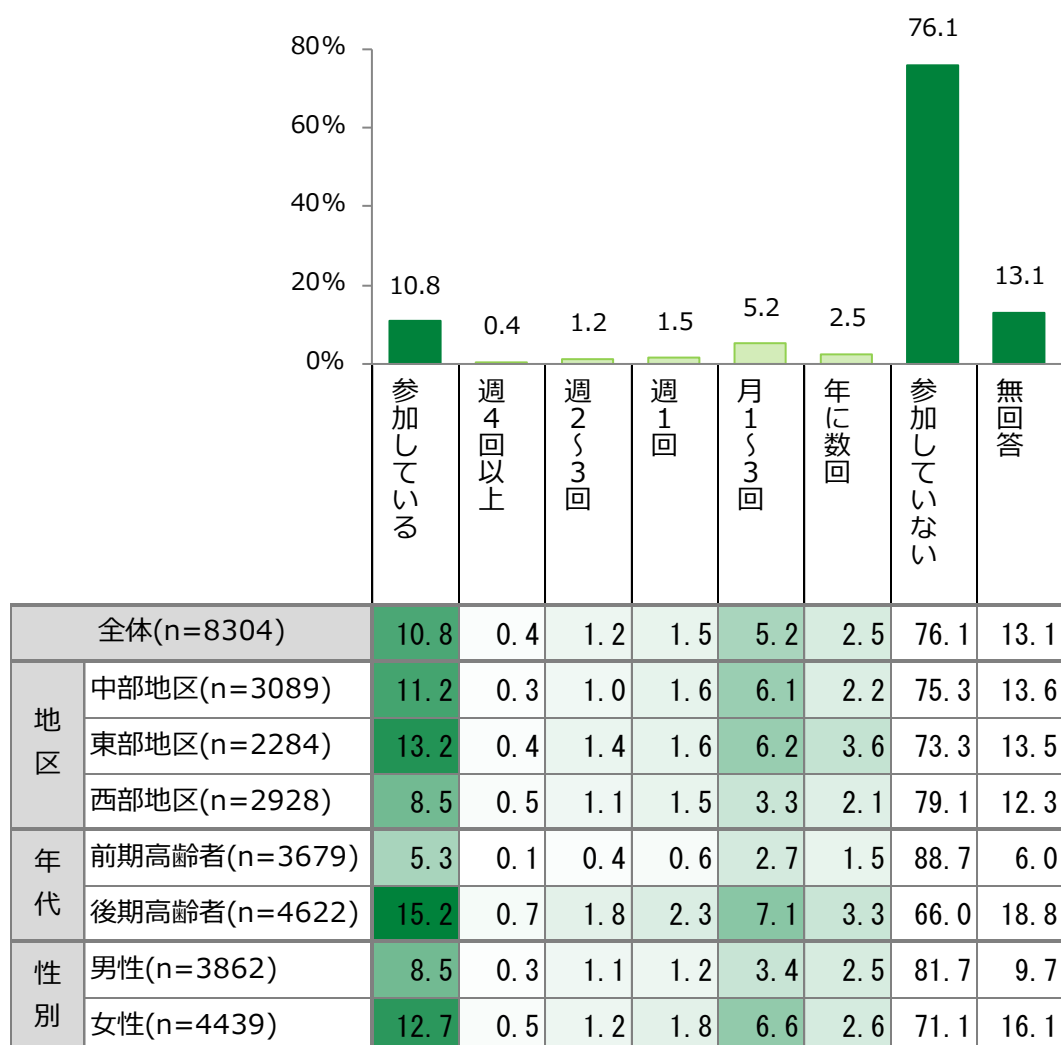
つどいの場について、“参加している”が10.8%となっています。参加頻度としては、「月1～3回」が5.2%と最も高く、次いで「年に数回」（2.5%）となっています。

地区別でみると、西部地区で「参加していない」が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、後期高齢者で“参加している”が9.9ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が10.6ポイント、女性より高くなっています。

図表 186 (5) つどいの場（ほっとカフェ・ぷらっとホームなど）



(6) 老人クラブ（いきいきクラブなど）

☑ 参加している人が 11.0%

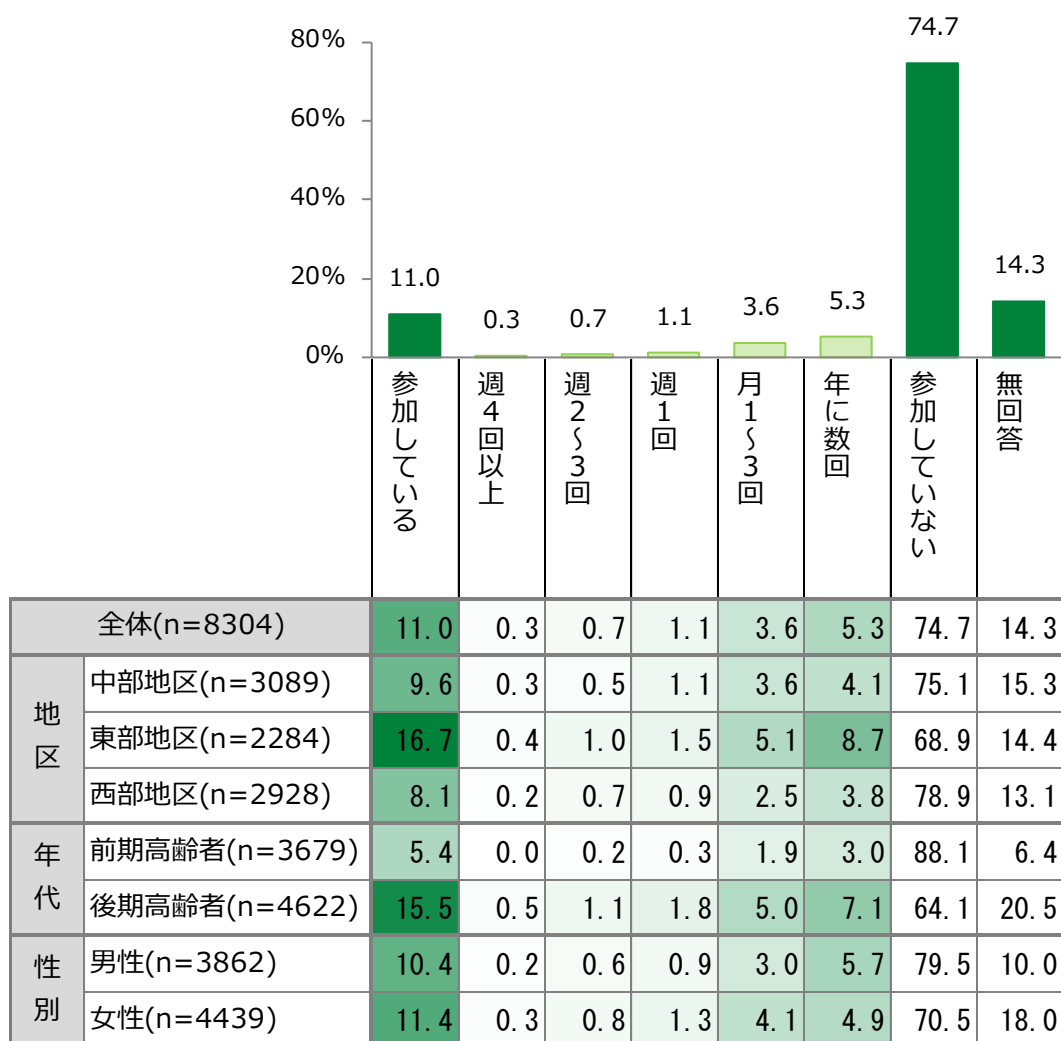
老人クラブについては、“参加している”が 11.0%となっています。参加頻度としては、「年に数回」が 5.3%と最も高く、次いで「月 1～3 回」（3.6%）となっています。

地区別でみると、東部地区で“参加している”が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、後期高齢者で“参加している”が 10.1 ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が 9.0 ポイント、女性より高くなっています。

図表 187 (6) 老人クラブ（いきいきクラブなど）



(7) 町内会・自治会

☑ 参加している人は 22.6%

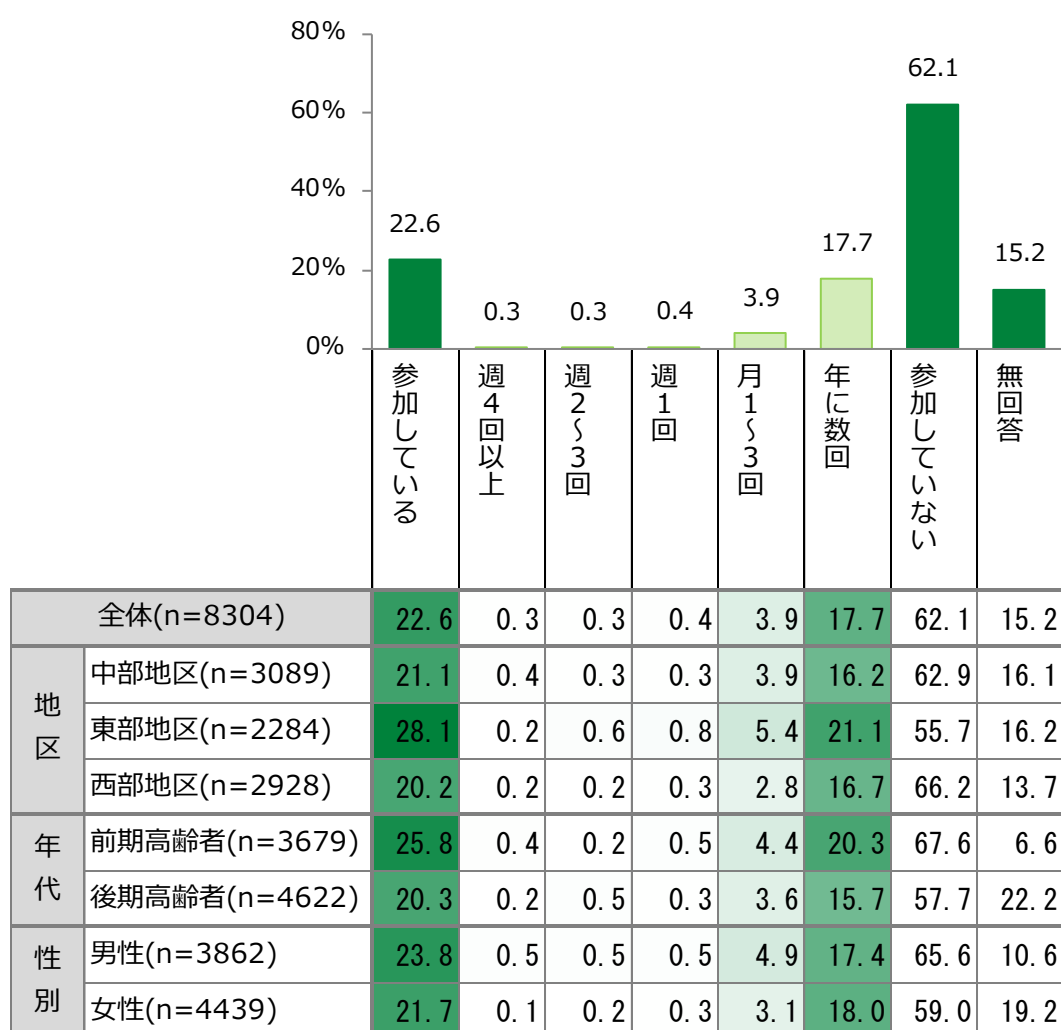
町内会・自治会については、“参加している”が22.6%となっています。参加頻度としては、「年に数回」が17.7%と最も高く、次いで「月1～3回」(3.9%)となっています。

地区別でみると、東部地区で“参加している”が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が9.9ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が6.6ポイント、女性より高くなっています。

図表 188 (7) 町内会・自治会



(8) 収入のある仕事

☑ 収入のある仕事をしている人は 30.1%

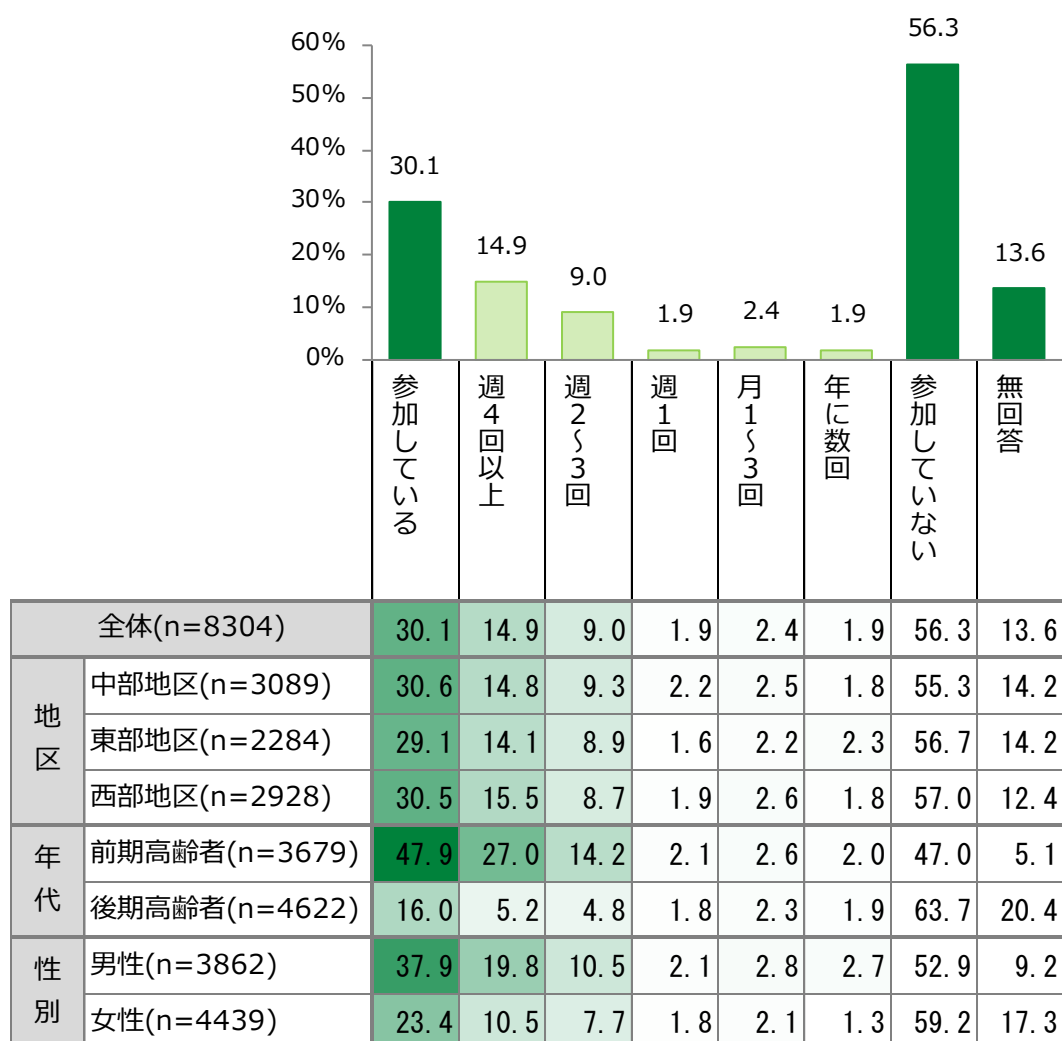
収入のある仕事について、“参加している”が 30.1%となっています。参加頻度としては、「週 4 回以上」が 14.9%と最も高く、次いで「週 2～3 回」(9.0%) となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で“参加している”が 31.9 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で“参加している”が 14.5 ポイント、女性より高くなっています。

図表 189 (8) 収入のある仕事



(9) おたっしゃハウス

☑ 参加している人は2.4%

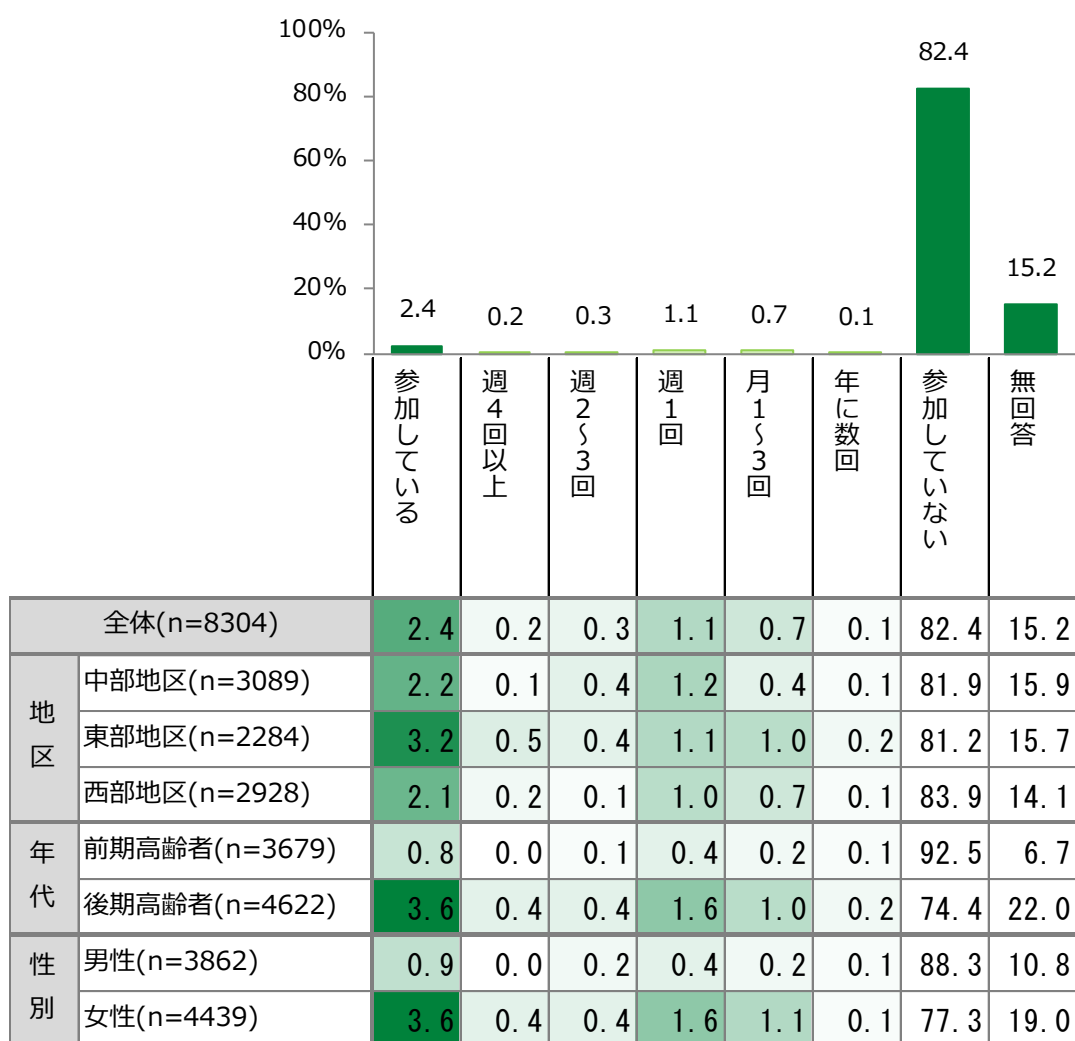
おたっしゃハウスについて、“参加している”が2.4%となっています。参加頻度としては、「週1回」が1.1%と最も高く、次いで「月1～3回」(0.7%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が18.1ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が11.0ポイント、女性より高くなっています。

図表 190 (9) おたっしゃハウス



(10) 特技や経験を他者に伝える活動

☑ 参加している人は 8.3%

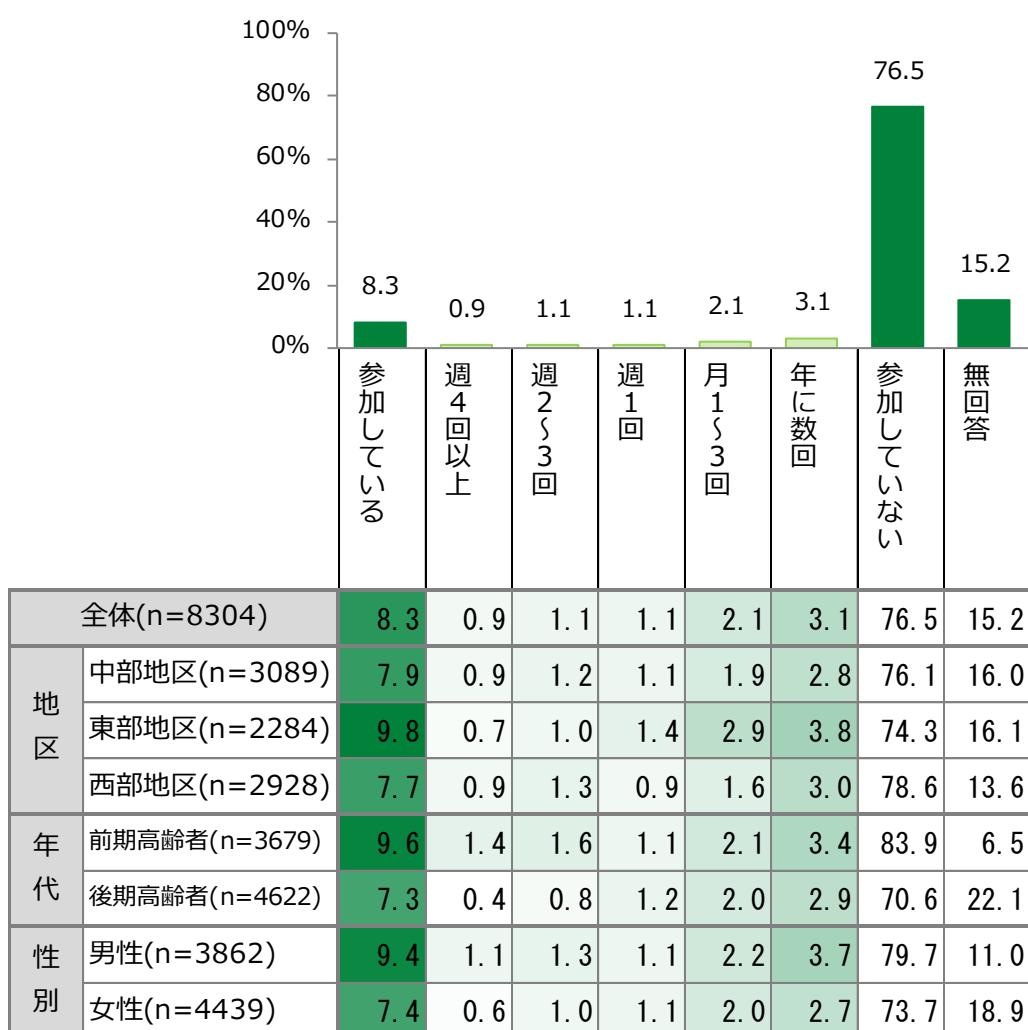
特技や経験を他者に伝える活動については、“参加している”が 8.3%となっています。参加頻度としては、「年に数回」が 3.1%と最も高く、次いで「月 1～3 回」(2.1%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が 13.3 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が 6.0 ポイント、女性より高くなっています。

図表 191 (10) 特技や経験を他者に伝える活動



34.つどいの場の参加期間

※問 21（５） つどいの場（ほっとカフェ・ぷらっとホームなど）で「年に数回～週４回以上」とお答えの方

問 21－１ いつから参加されているか参加期間はどれくらいですか。（○は１つ）

☑ 「参加４年以上」が 34.6%

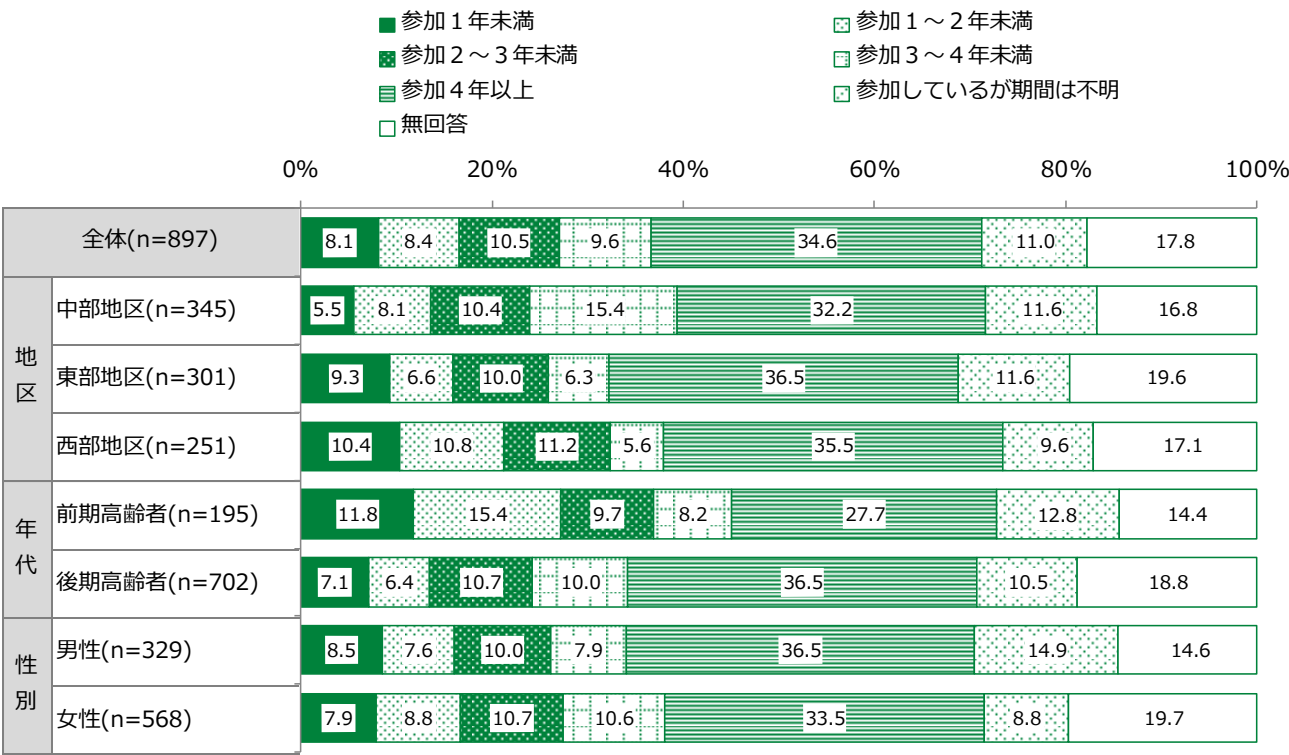
つどいの場の参加期間については、「参加４年以上」が 34.6%と最も高く、次いで「参加しているが期間は不明」（11.0%）、「参加２～３年未満」（10.5%）、「参加３～４年未満」（9.6%）となっています。

地区別でみると、中部地区で「参加３～４年未満」が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「参加１～２年未満」が 9.0 ポイント、後期高齢者で「参加４年以上」が 8.8 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加しているが期間は不明」が 6.1 ポイント、女性より高くなっています。

図表 192 つどいの場の参加期間



35.おたっしやハウスの参加期間

※問 21（9）おたっしやハウスで「年に数回～週 4 回以上」とお答えの方

問 21－2 いつから参加されているか参加期間はどれくらいですか。（○は 1 つ）

☑ 「参加 4 年以上」が 29.4%

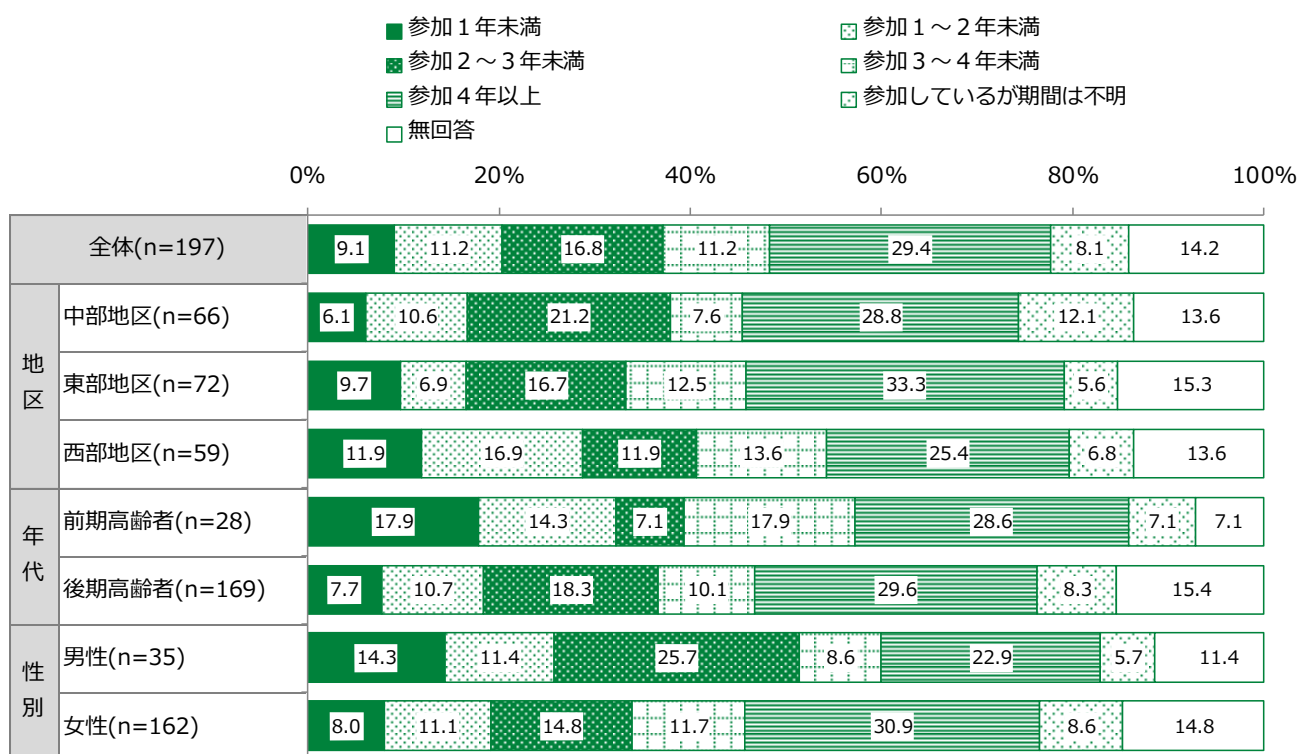
おたっしやハウスの参加期間については、「参加 4 年以上」が 29.4%と最も高く、次いで「参加 2～3 年未満」（16.8%）、「参加 1～2 年未満」「参加 3～4 年未満」（11.2%）となっています。

地区別でみると、いずれの地区でも「参加 4 年以上」が最も高く、次いで中部地区・東部地区では「参加 2～3 年未満」、西部地区では「参加 1～2 年未満」が高くなっています。

年代別でみると、いずれの年代でも「参加 4 年以上」が最も高く、次いで前期高齢者では「参加 1 年未満」「参加 3～4 年未満」、後期高齢者では「参加 2～3 年未満」が高くなっています。

性別でみると、男性では「参加 2～3 年未満」、女性では「参加 4 年以上」が最も高くなっています。

図表 193 おたっしやハウスの参加期間



36.現在の就労状態

問 22 現在のあなたの就労状態はどれですか。(〇はいくつでも)

☑ 「引退した」が 44.7%

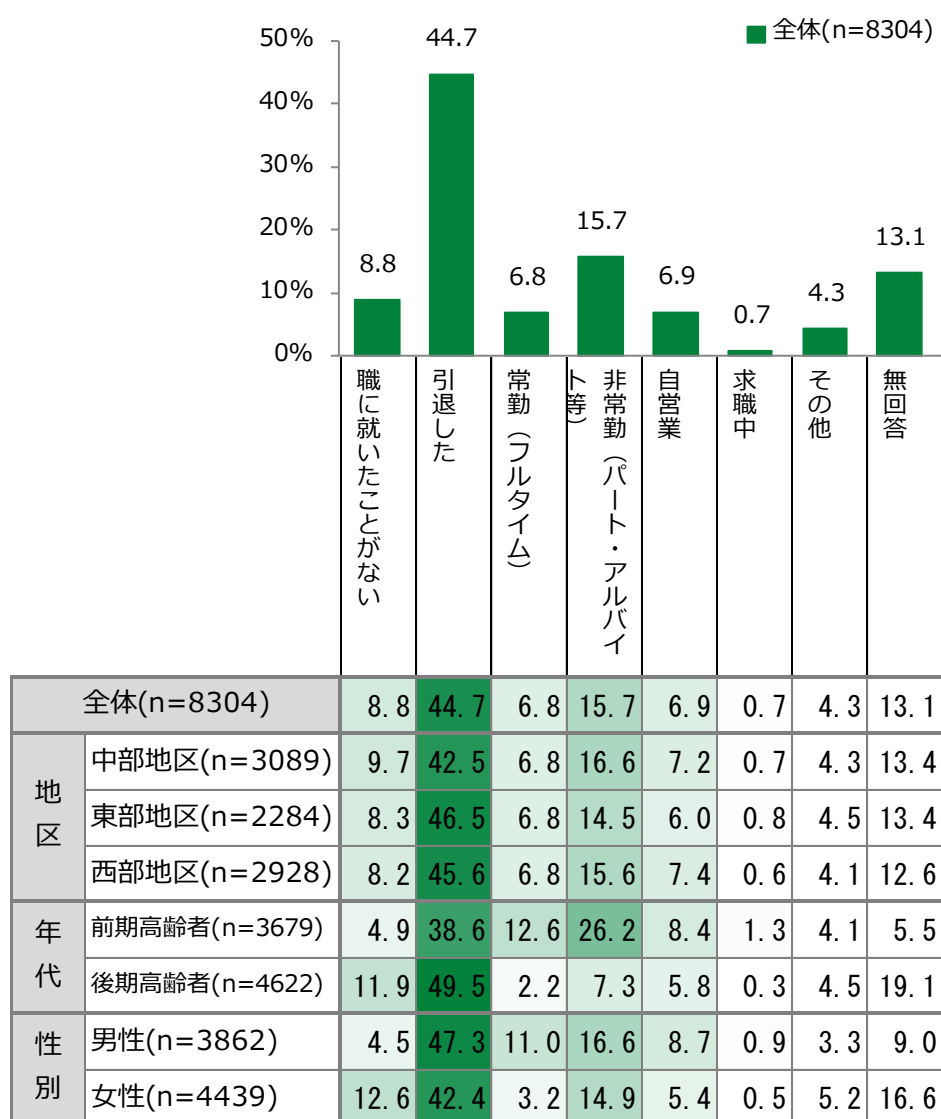
現在の就労状態については、「引退した」が 44.7%と最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」（15.7%）、「職に就いたことがない」（8.8%）となっています。

地区別でみると、特に大きな差はありません。

年代別でみると、前期高齢者で「非常勤（パート・アルバイト等）」が 18.9 ポイント、「常勤（フルタイム）」が 10.4 ポイント、後期高齢者で「引退した」が 10.9 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、女性で「職に就いたことがない」が 8.1 ポイント、男性で「常勤（フルタイム）」が 7.8 ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 194 現在の就労状態



37.今後の就労希望

※問 22 で「1. 職に就いたことがない」「2. 引退した」とお答えの方

問 22－1 今後就労したいと思いますか。(○は1つ)

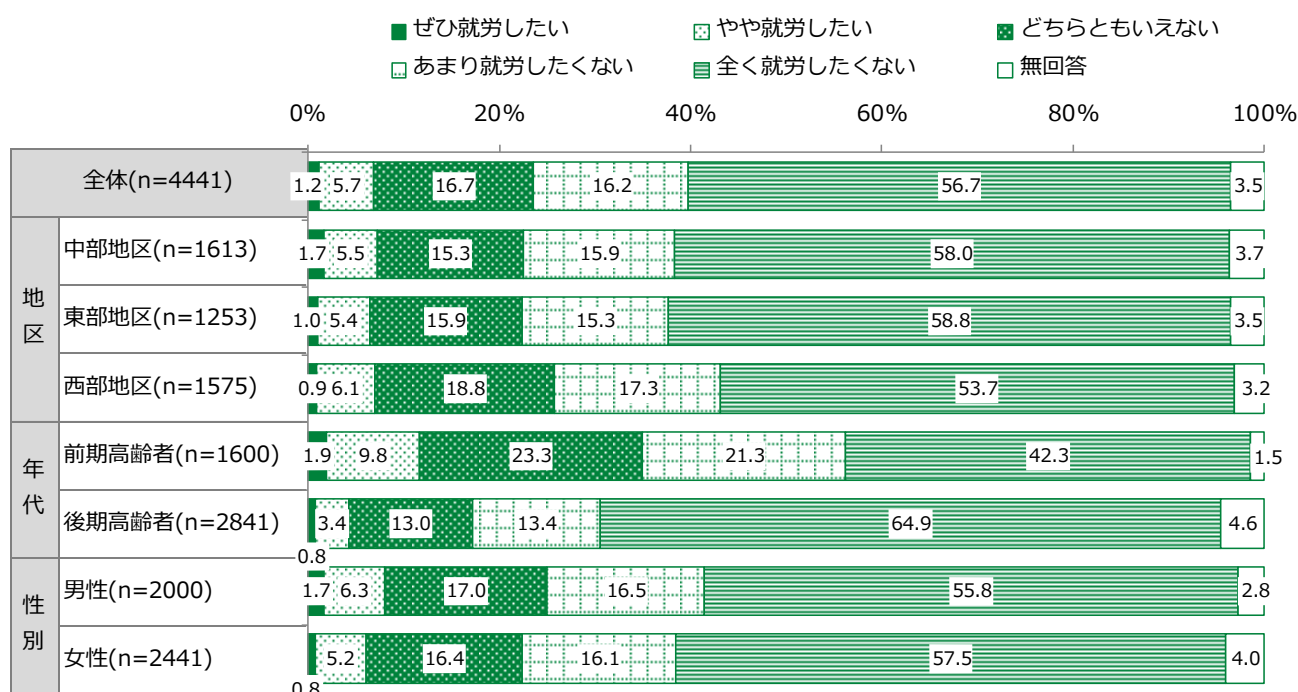
☑ “就労したい”¹が 6.9%

今後の就労希望については、「全く就労したくない」が 56.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」(16.7%)となっています。“就労したい”は 6.9%、“就労したくない”²は 72.9%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で“就労したい”が 7.5 ポイント、後期高齢者で“就労したくない”が 14.7 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

図表 195 今後の就労希望



¹ 「ぜひ就労したい」「やや就労したい」の計

² 「あまり就労したくない」「全く就労したくない」の計

38.今後の就労継続希望

※問 22 で「3. 常勤（フルタイム）」～「6. 求職中」とお答えの方

問 22－2 あなたは何歳ぐらいまで就労したいと思いますか。（○は1つ）

☑ 「70～74 歳」が 26.5%

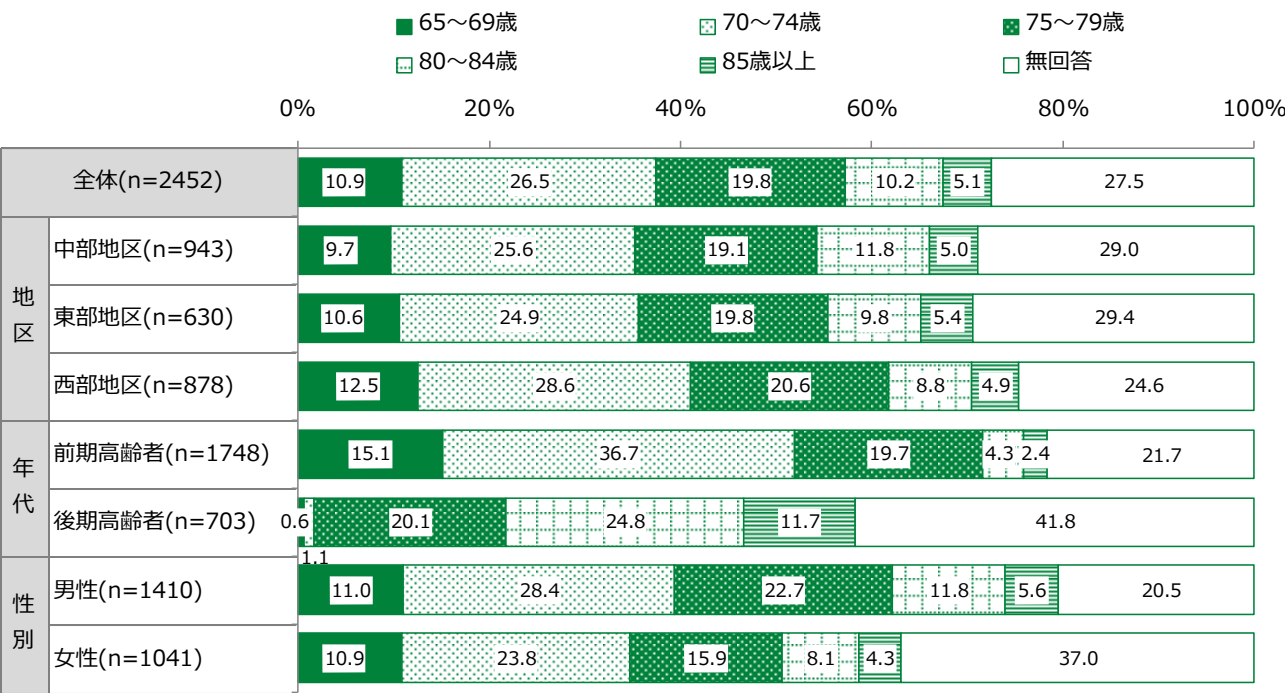
今後の就労継続希望については、「70～74 歳」が 26.5%と最も高く、次いで「75～79 歳」（19.8%）、「65～69 歳」（10.9%）となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で「80～84 歳」が最も高くなっています。

性別でみると、男性ですべての年齢が女性より高くなっています。

図表 196 今後の就労継続希望



39.たすけあいの状況について

問 23 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

あてはまる人すべてに○をつけてください。

あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。

(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人 (○はいくつでも)

☑ 「配偶者」が 60.2%

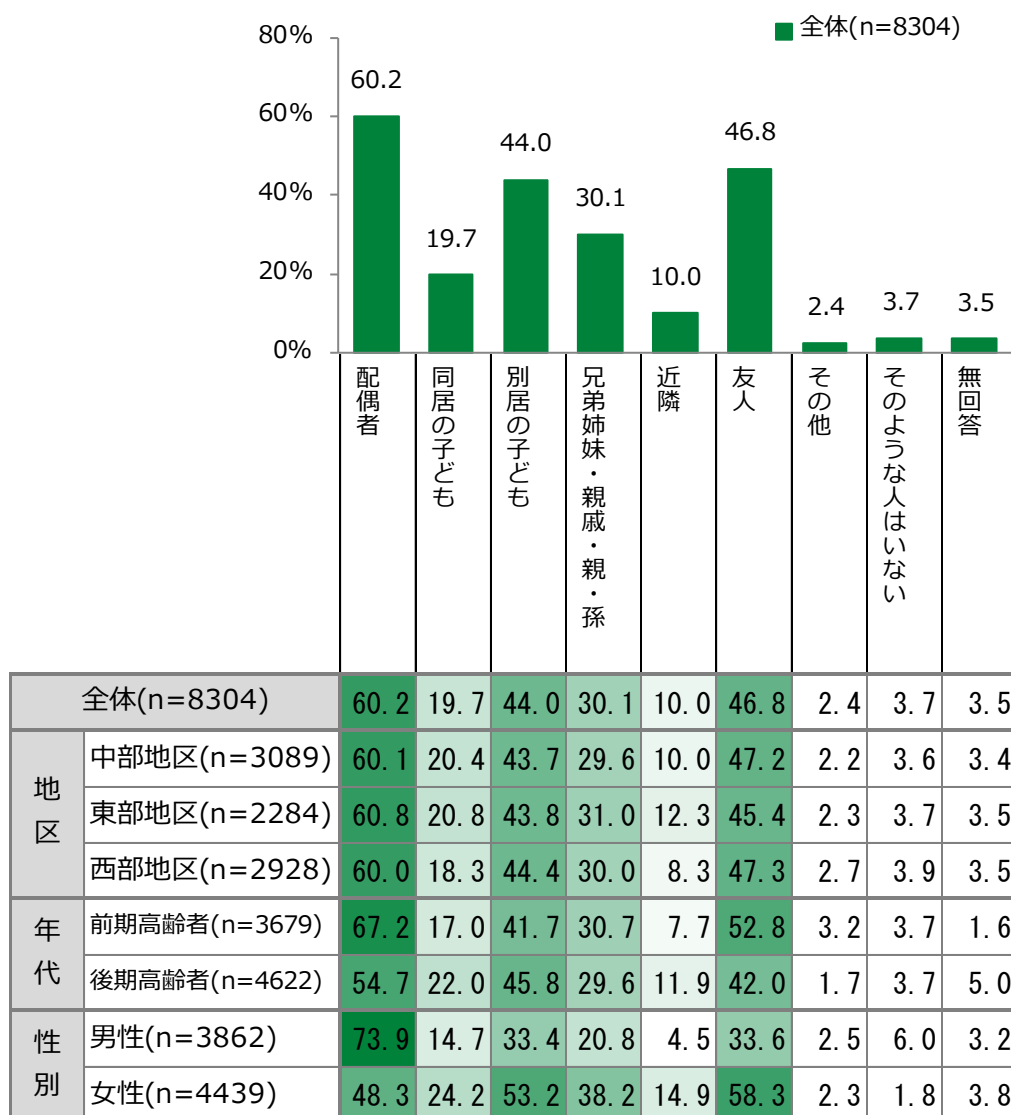
心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が 60.2%と最も高く、次いで「友人」(46.8%)、「別居の子ども」(44.0%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はありません。

年代別でみると、後期高齢者では「配偶者」に次いで「別居の子ども」が高くなっています。

性別でみると、女性では「友人」が最も高く、次いで「別居の子ども」が高くなっています。

図表 197 心配事や愚痴を聞いてくれる人



(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (○はいくつでも)

☑ 「配偶者」が 58.5%

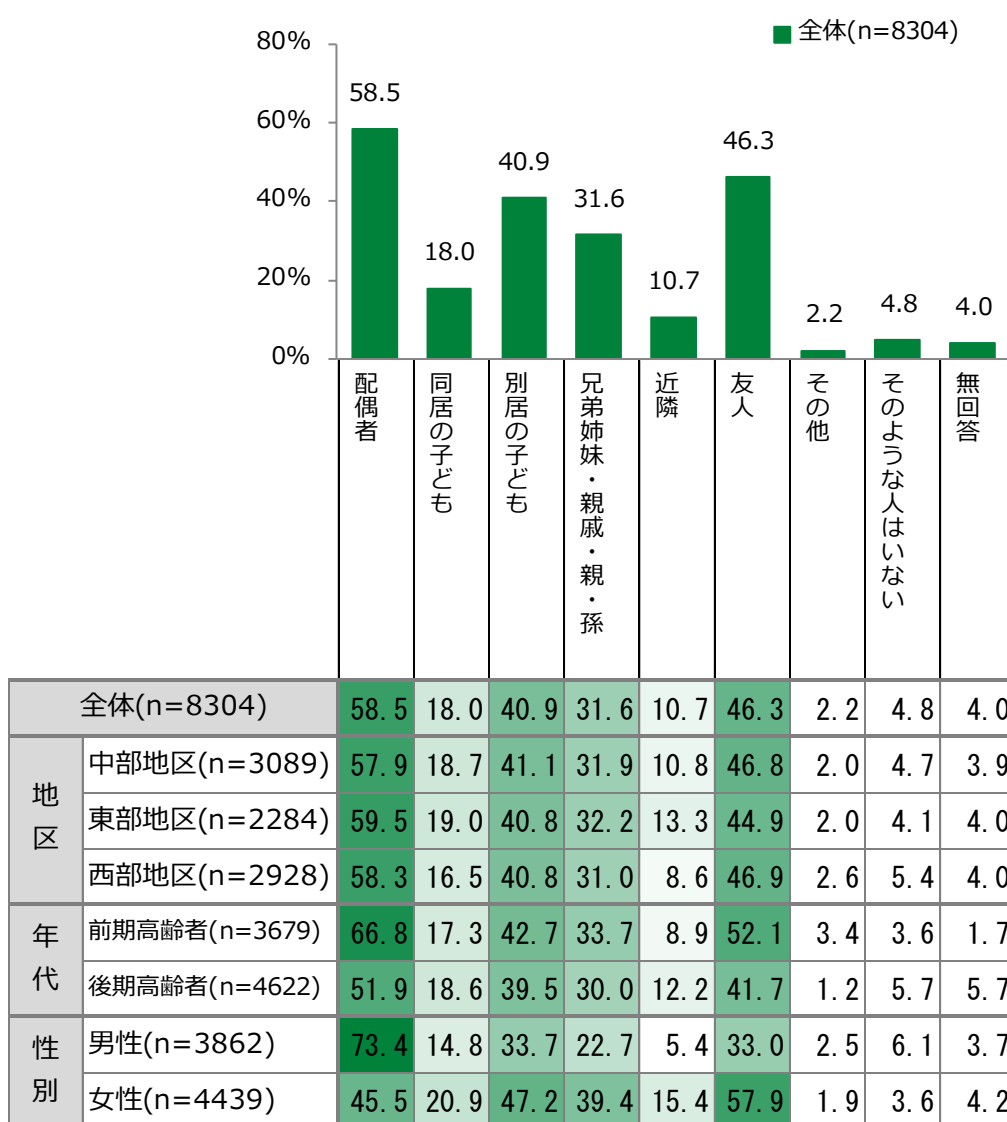
心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が 58.5%と最も高く、次いで「友人」(46.3%)、「別居の子ども」(40.9%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「配偶者」が 14.9 ポイント、「友人」が 10.4 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性では「友人」が最も高く、次いで「別居の子ども」が高くなっています。

図表 198 心配事や愚痴を聞いてあげる人



(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(○はいくつでも)

☑ 「配偶者」が 64.8%

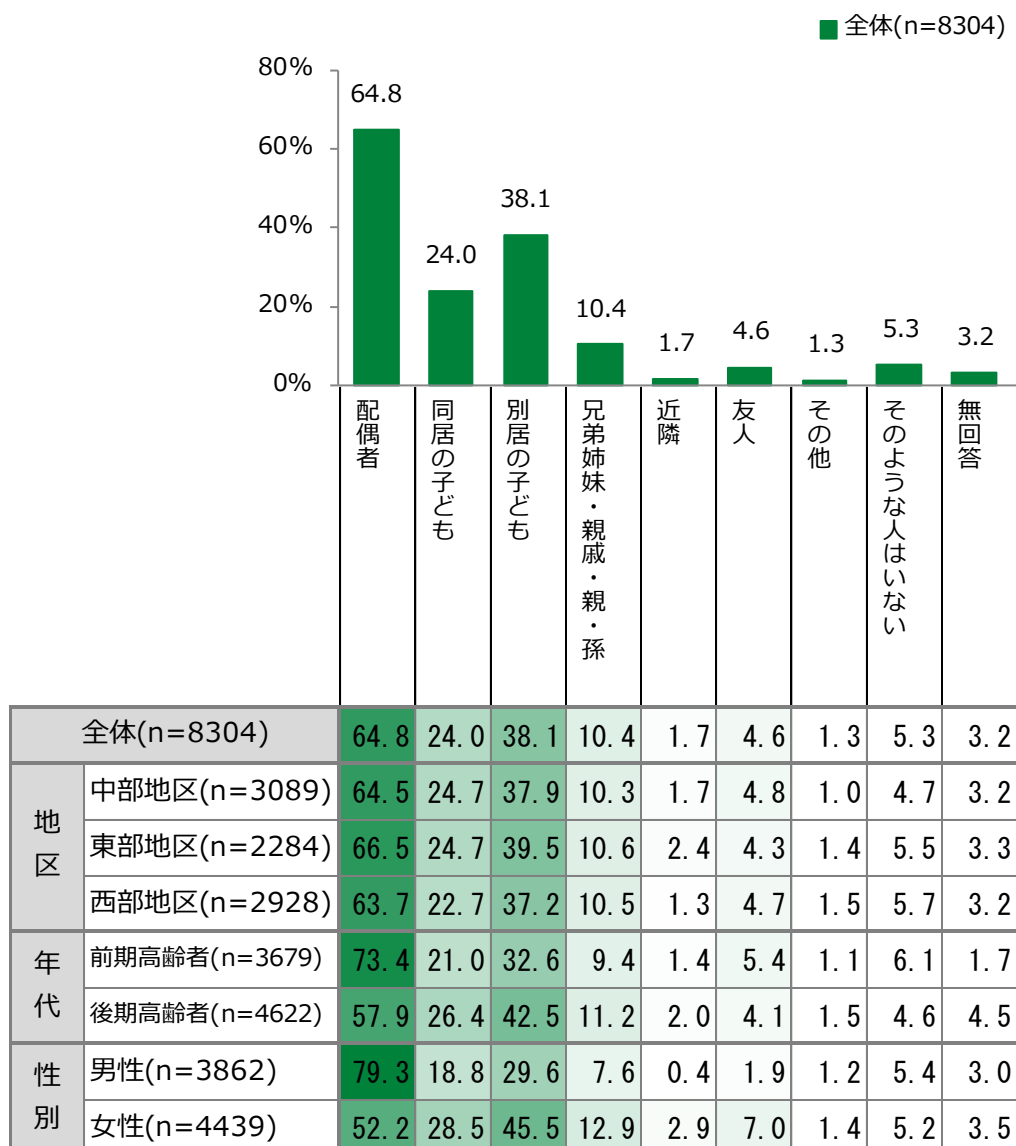
看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が 64.8%と最も高く、次いで「別居の子ども」(38.1%)、「同居の子ども」(24.0%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「配偶者」が 15.5 ポイント、後期高齢者で「別居の子ども」が 9.9 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、男性で「配偶者」が 27.1 ポイント、女性で「別居の子ども」が 15.9 ポイント、「同居の子ども」が 9.7 ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 199 看病や世話をしてくれる人



40.地域の人々は信用できるか

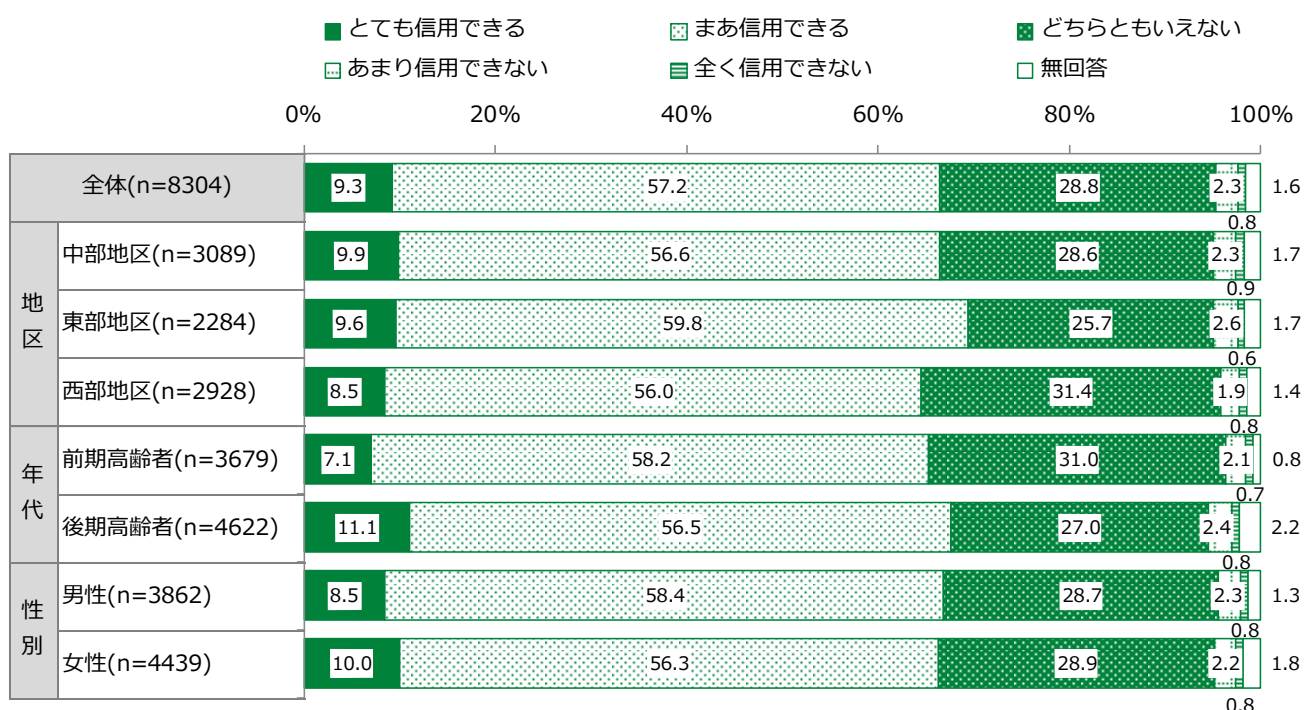
問 24（１） あなたの地域の人々は、一般的に信用できると思いますか。（○は１つ）

☑ 「まあ信用できる」が 57.2%

地域の人々は信用できるかについては、「まあ信用できる」が 57.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」(28.8%)、「とても信用できる」(9.3%)となっています。“信用できる”¹は 66.5%、“信用できない”²は 3.1%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 200 地域の人々は信用できるか



¹ 「とても信用できる」「まあ信用できる」の計

² 「あまり信用できない」「全く信用できない」の計

4.1.地域の人々は他の人の役に立とうとするか

問 24（２） あなたの地域の人々は、多くの場合、他の人の役に立とうとするとおもいますか。
（○は１つ）

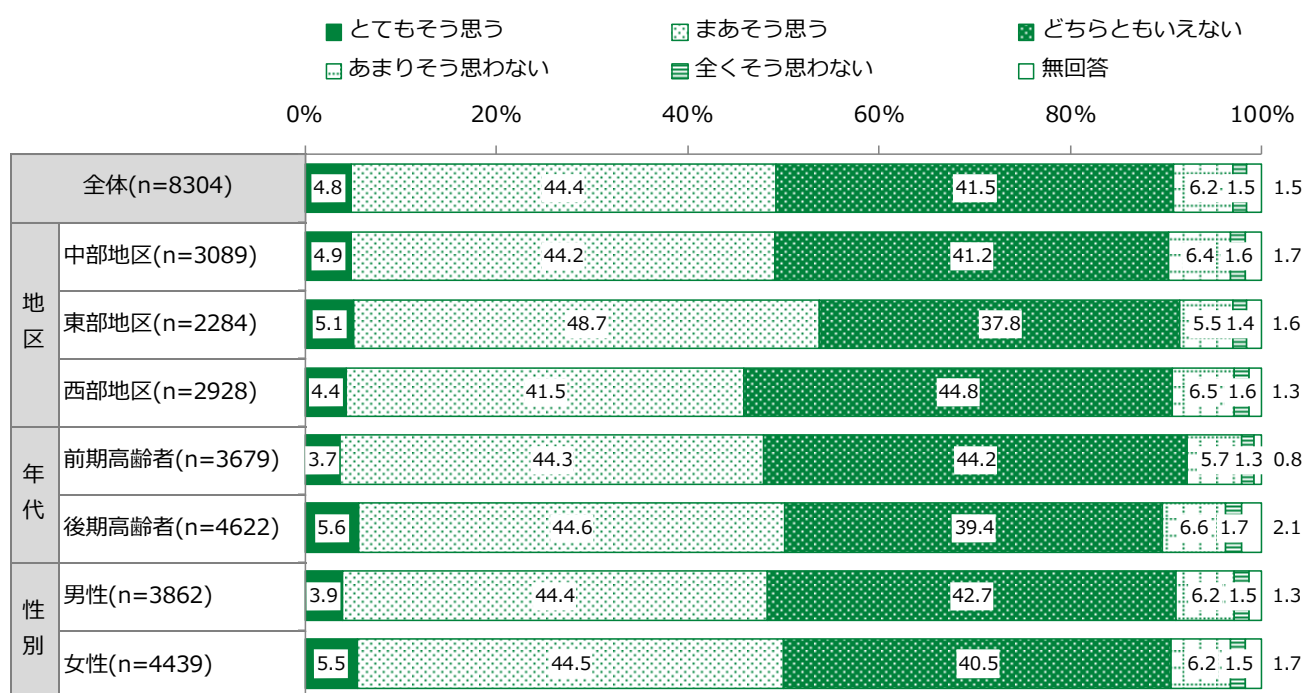
☑ 「まあそう思う」が 44.4%

地域の人々は他の人の役に立とうとするかについては、「まあそう思う」が 44.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」(41.5%)、「あまりそう思わない」(6.2%)となっています。“そう思う”¹は 49.2%、“そう思わない”²は 7.7%となっています。

年代別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

地区別でみると、西部地区では「どちらともいえない」が最も高くなっています。

図表 201 地域の人々は他の人の役に立とうとするか



¹ 「とてもそう思う」「まあそう思う」の計

² 「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の計

42.地域への愛着

問 24（3） あなたは、現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。（○は1つ）

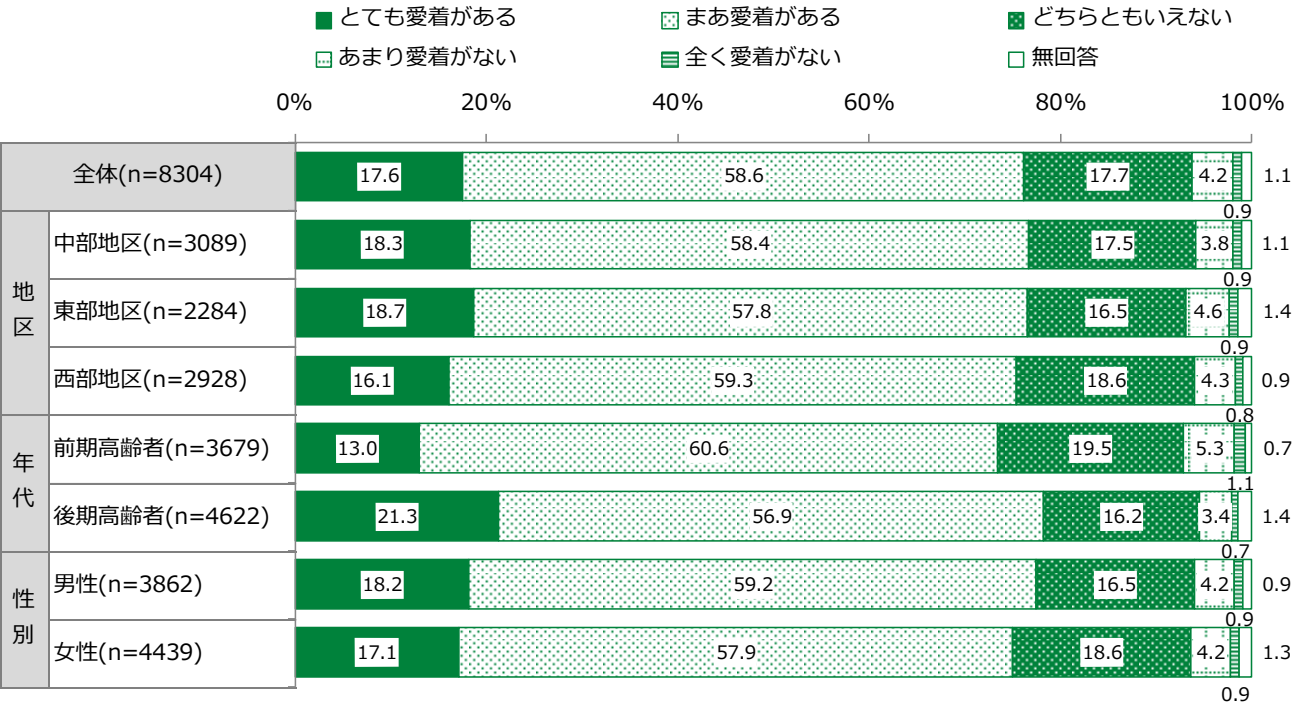
☑ 「まあ愛着がある」が58.6%

地域への愛着については、「まあ愛着がある」が58.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」（17.7%）、「とても愛着がある」（17.6%）となっています。“愛着がある”¹は76.2%、“愛着がない”²は5.1%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で「とても愛着がある」が8.3ポイント、前期高齢者より高くなっています。

図表 202 地域への愛着



¹ 「とても愛着がある」「まあ愛着がある」の計

² 「あまり愛着がない」「全く愛着がない」の計